

第2章 維持修繕工事の調達支援に関する研究

2.1 はじめに

2.1.1 研究背景

社会資本ストックの高齢化に伴い、戦略的な維持管理の重要性が指摘されているが、その実行には維持管理業務について適正な条件明示や積算等を行うことが重要である。このため、国土交通省では維持修繕工事の標準歩掛等の新設・見直しや共通仕様書の改訂等の改善を行っている。一方、国土交通省や地方公共団体では調達に係る職員数が少ないことから、維持修繕工事の積算等の効率化が求められている。

維持修繕工事は施工条件や施工内容が多種多様であることから、標準積算基準の整備がなされていない工種が多く存在する。また、施工段階における監督・検査においても出来形の確認方法や品質管理基準等の整備がなされていない状況である。

2.1.2 研究目的

本研究では、維持修繕工事が抱える課題を解決するため、積算の効率化及び監督・検査手法についての改善検討に取り組んだものである。図 2.1.2-1 に本研究の流れを示す。

積算の効率化については、標準積算基準が整備されていない工種の積算における見積徴集の方法を検討するために、全国の直轄事務所より歩掛見積により積算した工事の発注関係資料を収集し、現場条件や施工条件など必要情報を整理分類することにより、工種毎に見積依頼時に必要とする情報の提案を行った。

また、監督・検査においては、現場での実施事例をアンケート調査と施工計画書を収集し、整理・分類することにより、現場で活用することができる出来形管理や品質管理項目について提案を行った。

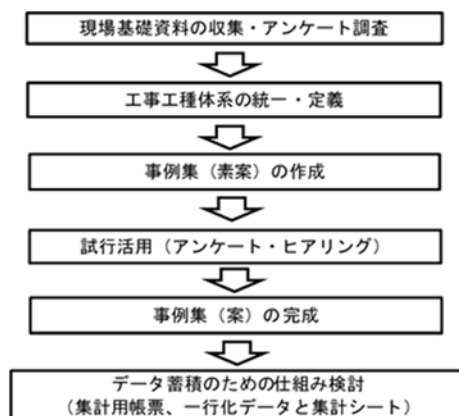


図 2.1.2-1 本研究の流れ

2.2 現状調査

2.2.1 現場基礎資料の収集

全国の各地方整備局等が平成 25 年度に発注した維持修繕工事の中から、積算の体系化が図られていない河川及び道路の土木構造物の維持・修繕に関する工種の見積り資料を各地方整備局より 98 工事分を収集した。(表 2.2.1-1)

表 2.2.1-1 地方整備局工事件数

整備局名	橋梁	トンネル	函渠	河川構造物	合 計
北海道開発局	24	5	—	5	34
東北地方整備局	7	—	—	2	9
関東地方整備局	1	—	—	—	1
北陸地方整備局	2	—	—	2	4
中部地方整備局	1	1	—	1	3
近畿地方整備局	9	4	—	3	16
中国地方整備局	5	(2) 3	—	4	(2) 12
四国地方整備局	4	1	—	—	5
九州地方整備局	(1) 7	2	—	3	(1) 12
沖縄総合事務局	1	—	1	—	2
合 計	61	16	1	20	(3) 98

※1 件の工事で複数の対象構造物区分（橋梁、トンネル）が含まれる工事が 3 件あり、件数を（ ）内に外数で表示している。(表 2.2.1-2 参照)

(1) 見積り資料の内容

1) 工事及び対象構造物

見積り資料を収集した 98 工事の資料の内訳を、以下の表 2. 2. 1-2 に示す。

見積り資料のうち 3 件については、橋梁とトンネルの諸元が工事概要アンケートから確認できるため、対象構造物数は 101 となった。

また、1 工事で複数の施設を施工している工事もあり、構造物諸元の情報が確認できる施設数で計上すると、207 施設であった。

表2. 2. 1-2 工事及び対象構造物一覧 1 / 2

番号	整備局名	事務所名	工事名	対象構造物区分	施設数	備考
1	北海道開発局	札幌開発建設部 岩見沢河川事務所	石狩川応急対策工事の内 伊藤樋門外吐口改良工事	河川構造物	1	
2	北海道開発局	札幌開発建設部 江別河川事務所	石狩川維持工事の内 江別河川事務所管内樋門管補修工事	河川構造物	4	
3	北海道開発局	札幌開発建設部 千歳河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物	1	
4	北海道開発局	札幌開発建設部 深川道路事務所	一般国道275号 北竜町 碧水防雪柵設置外一連工事	橋梁	1	
5	北海道開発局	札幌開発建設部 滝川道路事務所	一般国道12号 砂川市 空知太地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁	1	
6	北海道開発局	札幌開発建設部 岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 三タトンネル補修外一連工事	トンネル	1	
7	北海道開発局	札幌開発建設部 札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁	4	
8	北海道開発局	函館開発建設部 函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁	3	
9	北海道開発局	函館開発建設部 八雲道路事務所	国道229号 せたな町 茂津多トンネル補強工事	トンネル	1	
10	北海道開発局	函館開発建設部 江差道路事務所	一般国道228号 江差町 椴川橋補修工事	橋梁	1	
11	北海道開発局	小樽開発建設部 小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	1	
12	北海道開発局	小樽開発建設部 岩内道路事務所	一般国道5号 共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	1	
13	北海道開発局	旭川開発建設部 旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事	トンネル	1	
14	北海道開発局	室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	1	
15	北海道開発局	室蘭開発建設部 室蘭事務所	一般国道36号 室蘭市 御崎高架橋東補修工事	橋梁	2	
16	北海道開発局	室蘭開発建設部 浦河道路事務所	一般国道235号 新ひだか町 静内橋補修工事	橋梁	1	
17	北海道開発局	釧路開発建設部 釧路事務所	一般国道38号 釧路市 釧路大橋補修外一連工事	橋梁	1	
18	北海道開発局	釧路開発建設部 根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事	橋梁	3	
19	北海道開発局	釧路開発建設部 根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事	橋梁	1	
20	北海道開発局	釧路開発建設部 弟子屈道路事務所	一般国道243号 弟子屈町 鳥見橋補修外一連工事	橋梁	1	
21	北海道開発局	釧路開発建設部 中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁	1	
22	北海道開発局	釧路開発建設部 中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	1	
23	北海道開発局	釧路開発建設部 中標津道路事務所	一般国道335号 羅臼町 湯元橋耐震補強外一連工事	橋梁	1	
24	北海道開発局	帯広開発建設部 帯広河川事務所	十勝川維持工事の内 十勝川護岸補修外工事	河川構造物	1	
25	北海道開発局	帯広開発建設部 帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁	1	
26	北海道開発局	帯広開発建設部 広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外一連工事	橋梁	1	
27	北海道開発局	帯広開発建設部 足寄道路事務所	一般国道242号 池田町 高島橋耐震補強工事	橋梁	1	
28	北海道開発局	網走開発建設部 北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物	1	
29	北海道開発局	網走開発建設部 北見道路事務所	北見道路事務所管内 橋梁補修外一連工事	橋梁	1	
30	北海道開発局	網走開発建設部 網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	1	
31	北海道開発局	網走開発建設部 興部道路事務所	一般国道273号 紋別市 柳生橋補修外一連工事	橋梁	1	
32	北海道開発局	網走開発建設部 遠軽開発事務所	一般国道238号 湧別町湧別大橋耐震補強工事	橋梁	1	
33	北海道開発局	留萌開発建設部 羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁	1	
34	北海道開発局	留萌開発建設部 留萌開発事務所	一般国道231号 増毛町 大別荘トンネル補修外一連工事	トンネル	1	
35	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁	1	
36	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	2	
37	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事	橋梁	3	
38	東北地方整備局	山形河川国道事務所	蔵王大橋他橋梁補修工事	橋梁	1	
39	東北地方整備局	酒田河川国道事務所	平成25年度 新広田橋補修工事	橋梁	1	
40	東北地方整備局	青森河川国道事務所	弘前国道維持補修工事	橋梁	1	
41	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物	1	
42	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁	0	
43	東北地方整備局	北上川下流河川事務所	北上川下流米谷管内維持工事	河川構造物	1	
44	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁	3	
45	北陸地方整備局	新潟国道事務所事務所	上ノ沢橋耐震補強工事	橋梁	1	
46	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁	1	
47	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物	2	
48	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物	1	
49	中部地方整備局	多治見砂防国道事務所	平成25年度睦母大橋補修工事	橋梁	1	見積資料なし
50	中部地方整備局	飯田事務所	平成25年度 鳥居トンネル補修工事	トンネル	1	見積資料なし

表2.2.1-2 工事及び対象構造物一覧 2 / 2

番号	整備局名	事務所名	工事名	対象構造物区分	施設数	備考
51	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度 揖斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	1	
52	近畿地方整備局	淀川河川事務所	毛馬管内維持補修工事	河川構造物	1	
53	近畿地方整備局	九頭竜川ダム統合管理事務所	九頭竜ダム管理用道路法面補修工事	河川構造物	1	
54	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁	1	
55	近畿地方整備局	京都国道事務所事務所	国道1号他道路補修工事	橋梁	1	
56	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道26号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁	1	
57	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	1	
58	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁	1	
59	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル	1	
60	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁	1	
61	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁	1	
62	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物	1	
63	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁	20	
64	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル	3	
65	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁	22	
66	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル	5	
67	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道42号紀南管内トンネル補修工事	トンネル	5	
68	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物	1	
69	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物	1	
70	中国地方整備局	太田河川事務所	小瀬川維持工事	河川構造物	1	
71	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物	1	
72	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	3	
				トンネル	1	
73	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁	8	
74	中国地方整備局	三次河川国道事務所事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁	6	
75	中国地方整備局	山口河川国道事務所事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	1	
				トンネル	1	
76	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁	1	
77	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	1	
78	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	1	
79	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル	1	
80	四国地方整備局	土佐国道事務所	平成25年度 南国管内橋梁補修工事	橋梁	4	
81	四国地方整備局	土佐国道事務所	平成25年度 奈半利管内橋梁補修工事	橋梁	2	
82	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	平成25年度 北只橋耐震補強工事	橋梁	1	
83	四国地方整備局	香川河川国道事務所	平成25年度 香川管内トンネル補修工事	トンネル	7	
84	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	平成25年度 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	9	
85	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事	橋梁	1	
86	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋(A1～P1・A2)耐震補強外工事	橋梁	1	
87	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大波樋管外2件補修工事	河川構造物	4	
88	九州地方整備局	佐賀国道事務所事務所	嘉瀬橋(起点高架)(下り)耐震補強工事	橋梁	1	
89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	1	
				橋梁	1	
90	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁	4	
91	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物	1	
92	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事	トンネル	1	
93	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁	1	
94	九州地方整備局	八代河川国道事務所	球磨川下流地区根固製作その他工事	河川構造物	1	
95	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	1	
96	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁	1	
97	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成25年度中山防災対策その他工事	箱渠	1	
98	沖縄総合事務局	北部国道事務所	平成25年度北部国道管内橋梁補修(その5)工事	橋梁	3	
			98工事	101	207	

※工事名が「橋梁外補修工事」であっても、工事概要アンケートでトンネルの諸元を回答している工事については、対象構造物区分を「トンネル」としている。

※表2.2.1-1では、複数の対象構造物区分が含まれる工事は、上記表の上段の構造物区分で工事件数をカウントしている。

(2) 工事概要アンケート

1) 工事概要アンケート調査

見積り資料を収集した工事について、当該工事の概要や現場の施工条件、土木構造物の諸元について図 2.2.1-1 に示すアンケートを実施し、工事概要を整理した。

記入例 **工 事 概 要 ア ン ケ ー ト**

概 要	
管轄	(関東地方整備局) (○○国道) 事務所
工事名	(○○橋維持補修工事)
当該土木構造物 ※複数選択可	☒ 橋梁 ☐ 函渠 ☐ トンネル ☐ 河川構造物
所在地	(自 ○○県○○市○○ 至 ○○県××市××)
工期	(自 平成25年8月 至 平成26年3月)
工事概要	鋼橋の老朽化による床版補修、支承取替、部分塗替え工事。
土木工事積算基準が 適用できない点 (見積り取した理由)	橋梁上部工の維持修繕工事で該当する標準歩掛が存在しないため (類似工事は存在するが、施工規模等の観点から適用するのは好ましくないと判断)
施 工 条 件	
施工時間帯指定	(通常昼間施工 (8:00~17:00)) 施工時間 (: ~ :) (施工時間規制なし) 規制時間 (: ~ :)
現場条件 ※複数選択可	☒ 小規模工事 (施工数量が少ない) ☒ 施工箇所点 ☐ 資材搬入制限あり ☐ 水中施工 ☐ 人家に隣接 (近接施工) ☐ 環境対策あり (騒音・振動) ☐ 自然環境保全に関する制約あり ☐ 当該工事が影響を受ける他工事あり ☐ その他 () ☐ なし
作業条件 ※複数選択可	☒ 作業空間狭小 ☐ 上空制限あり ☐ 施工機械の搬入路に制限あり ☐ 交通規制あり ☐ 施工機械の規格指定あり (内容:) ☐ その他 () ☐ なし
環境条件 ※複数選択可	☐ 市街地 ☒ 郊外 ☐ 山間地 ☐ 河川 ☐ 海岸 ☐ その他 ()
足場条件 ※複数選択可	☐ 単管・枠組足場 ☐ 張出し足場 ☒ 吊り足場 ☐ 高所作業車 (幅広タイプ) 施工 ☐ その他 () ☐ 不要
その他 (特記事項等)	

記入例 **諸 元**

土木構造物の諸元 (黄色塗りつた土木構造物の諸元) についてご回答下さい。
※複数存在する場合、本ファイルをコピーした別ファイルで作成して下さい。

諸 元		
橋 梁 諸 元	橋梁名	(○○橋)
	完成年度	(19××) 年
	路線名	(国道○○号)
	橋長	(50) m
	径間数	(4) 径間 最大支間長 (15) m
	橋種	(鋼橋) その他 ()
	橋梁形式	(トラス橋) その他 ()
函 渠 諸 元	床版	(PC床版) その他 ()
	下部工	(RC) その他 ()
	路線名	()
	完成年度	() 年
	延長	() m
	材質	(【※函渠の材質を選択】) その他 ()
	構造	(【※構造を選択】) その他 ()
ト ン ネ ル 諸 元	目的	(【※仕様の目的を選択】) その他 ()
	掘削土被り	() m程度
	断面	内幅 () m程度 内高 () m程度
	既設構造物撤去	(なし)
	水替有無	(なし)
	トンネル名	()
	完成年度	() 年
河 川 構 造 物 諸 元	路線名	()
	延長	() m
	道路幅員	() m 片側車線数 () 車線
	断面積	() m2
	分類	(【※トンネル分類を選択】) その他 ()
	湧水有無	(湧水なし)
	内装種類	(【※内装の種類を選択】) その他 ()
河 川 構 造 物 諸 元	河川構造物	(【※当該構造物を選択】)
	構造物名称	()
	完成年度	() 年
	河川名	()
	躯体構造	(なし) その他 ()
	施工部位 ※複数選択可	☐ 基礎 ☐ 躯体 ☐ 堰柱・門柱 ☐ 胸壁・翼壁 ☐ 扉体 ☐ 水叩き ☐ 龍床 ☐ 護岸 ☐ 管理橋 ☐ その他 ()

図2.2.1-1 工事概要アンケート調査票

2) 回答数

回答を得た整備局等別の事務所数・工事数・回答数は以下のとおりであり、それぞれ合計 86 事務所、98 工事、工事概要アンケート 207 件であった。

事務所数では北海道開発局が最も多く 31 事務所であり、近畿地方整備局 13 事務所、九州地方整備局 11 事務所等であった。

工事数では北海道開発局が最も多く 34 件であり、近畿地方整備局 16 件、中国地方整備局及び九州地方整備局がそれぞれ 12 件等であった。

回答数（施設数）では近畿地方整備局が最も多く 66 件であり、次いで北海道開発局 45 件、中国地方整備局 28 件であった。

表2.2.1-3 回答数

	アンケート回答数			構造物内訳			
	事務所数	工事数	回答数	橋梁	トンネル	函渠	河川 構造物
北海道開発局	31	34	45	32	5	0	8
東北地方整備局	9	9	11	9	0	0	2
関東地方整備局	1	1	3	3	0	0	0
北陸地方整備局	3	4	5	2	0	0	3
中部地方整備局	3	3	3	1	1	0	1
近畿地方整備局	13	16	66	49	14	0	3
中国地方整備局	9	12	28	19	5	0	4
四国地方整備局	4	5	23	16	7	0	0
九州地方整備局	11	12	19	11	2	0	6
沖縄総合事務局	2	2	4	3	0	1	0
	86	98	207	145	34	1	27

3) 対象構造物の属性

ア. 対象構造物の区分（工事単位）

工事概要アンケートの中で、1 工事で 2 つの構造物区分に跨るものがあることから、対象構造物区分ごとに集計を行うと以下の通りである。

表 2.2.1-4 見積り資料の整備局、構造物区分集計

整備局名	橋梁	トンネル	函渠	河川構造物	総計
北海道開発局	24	5	—	5	34
東北地方整備局	7	—	—	2	9
関東地方整備局	1	—	—	—	1
北陸地方整備局	2	—	—	2	4
中部地方整備局	1	1	—	1	3
近畿地方整備局	9	4	—	3	16
中国地方整備局	5	5	—	4	14
四国地方整備局	4	1	—	—	5
九州地方整備局	8	2	—	3	13
沖縄総合事務局	1	—	1	—	2
総計	62	18	1	20	101

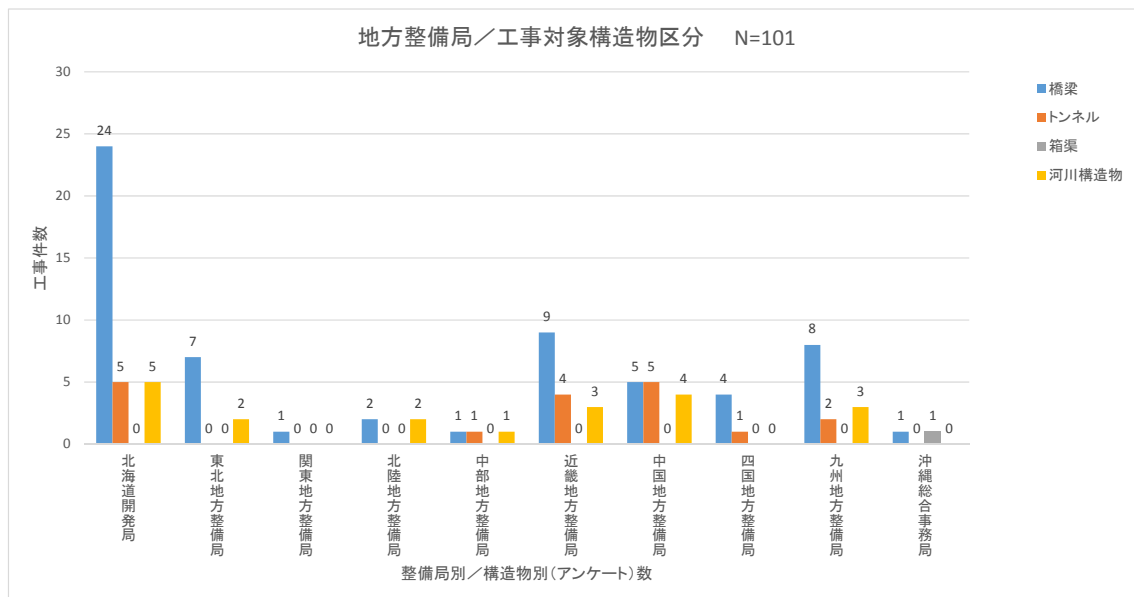


図 2.2.1-2 見積り資料の整備局、構造物区分

イ．対象構造物の区分、諸元（施設単位）

アンケート票の未回収や、記載事項の不備などを除き、工事概要アンケートから以下の通り 98 工事で 207 施設が確認された。

表 2.2.1-5 地方整備局ごとの構造物区分別アンケート回答施設数

整備局名	橋梁	トンネル	函渠	河川構造物	総計
北海道開発局	32	5	0	8	45
東北地方整備局	9	0	0	2	11
関東地方整備局	3	0	0	0	3
北陸地方整備局	2	0	0	3	5
中部地方整備局	1	1	0	1	3
近畿地方整備局	49	14	0	3	66
中国地方整備局	19	5	0	4	28
四国地方整備局	16	7	0	0	23
九州地方整備局	11	2	0	6	19
沖縄総合事務局	3	0	1	0	4
総計	145	34	1	27	207

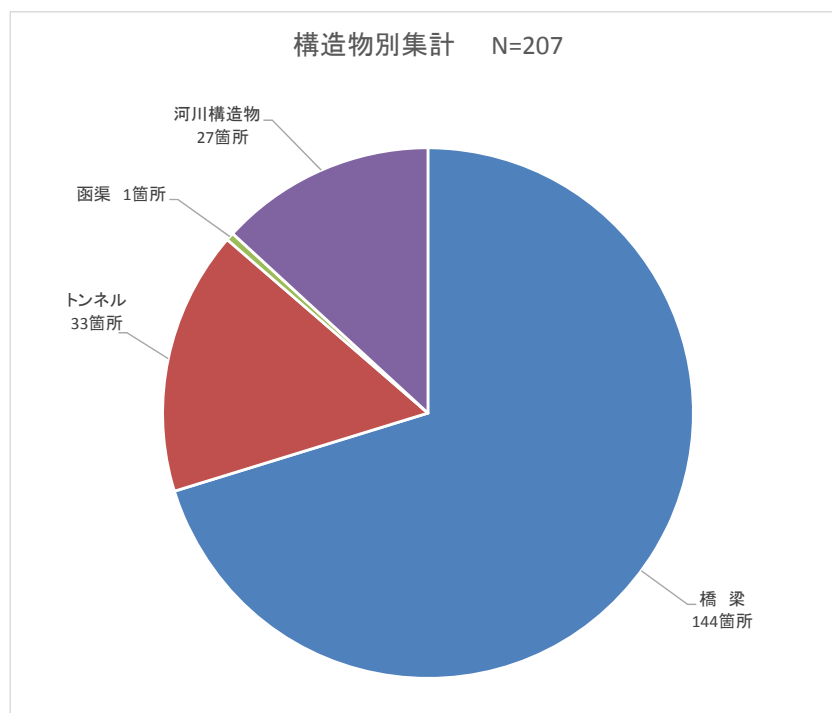


図 2.2.1-3 地方整備局ごとの構造物別アンケート回答施設数

構造物区分ごとの諸元別の内訳を表 2.2.1-6～表 2.2.1-9 および、図 2.2.1-4～図 2.2.1-6に示す。対象構造物ごとの工事概要諸元一覧を表2.2.1-10～表2.2.1-13に示す。

表 2.2.1-6 橋梁諸元内訳

橋梁諸元(橋種)	票数
鋼橋	82
PC橋	33
RC橋	24
鋼橋+PC橋	5
未記載	1
合計	145

※「未記載」は、アンケート票
に橋梁諸元が未記載の工事

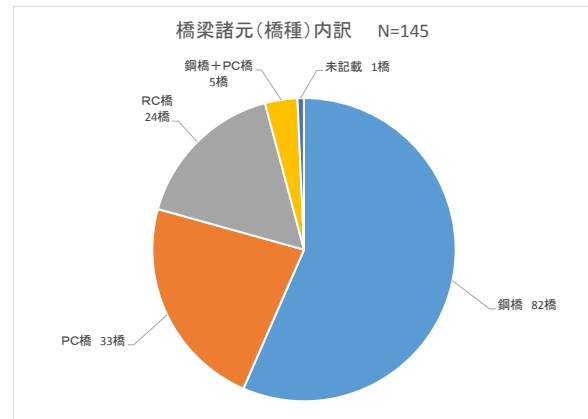


図 2.2.1-4 橋梁諸元(橋種)内訳

表 2.2.1-7 トンネル諸元内訳

トンネル諸元(分類)	票数
山岳トンネル	30
開削トンネル	2
その他	2
合計	34

※「その他」は陸上トンネル掘進工法

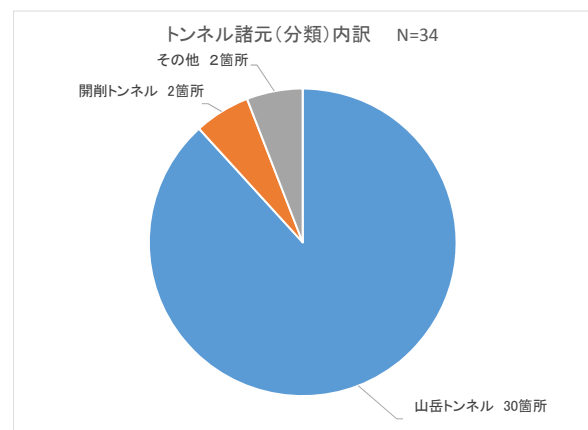


図 2.2.1-5 トンネル諸元(分類)内訳

表 2.2.1-8 函渠諸元内訳

函渠諸元(構造)	票数
ボックスカルバート	1
合計	1

表 2.2.1-9 河川構造物諸元内訳

河川構造物諸元(河川構造物)	票数
樋門・樋管	20
可動堰	3
水門	1
陸閘門	1
高水護岸	1
ダム管理用道路法面	1
合計	27

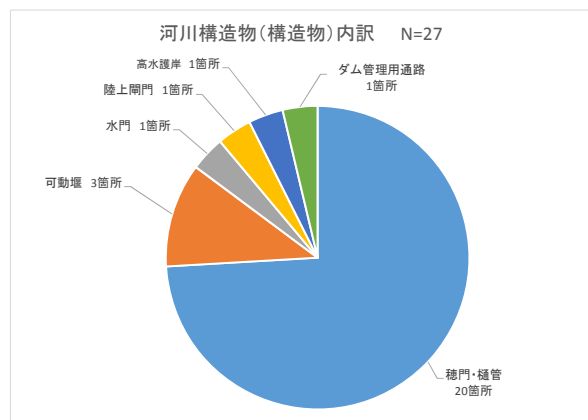


図 2.2.1-6 河川構造物(構造物)内訳

表 2.2.1-10 対象構造物諸元一覧（橋梁） 1 / 3

整理番号	管轄	事務所	出張所	橋梁名称	路線名	完成年度	橋長(m)	総径間数	支間長(最大m)	橋梁諸元	橋梁形式	床版	下部工
1	北海道開発局	札幌開発建設部	深川道路事務所	東ちばり橋	深川留萌自動車道	2003	105	4	90.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
2	北海道開発局	札幌開発建設部	滝川道路事務所	新空知大橋	国道12号BP	1994	677	10	107.30	PC橋	桁橋	PC床版	RC
3	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	豊平橋	一般国道36号	1966	132.2	3	49.60	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
4	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	真駒内橋	国道453号	1968	55.8	1	54.60	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
5	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	等似新橋	一般国道5号	1970	52.4	2	25.80	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
6	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	追分橋	一般国道5号	1953	6	1	6.00	PC橋	桁橋	RC床版	RC
7	北海道開発局	函館開発建設部	函館道路事務所	峠下橋	国道5号	1991	32	1	32.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
8	北海道開発局	函館開発建設部	函館道路事務所	常盤橋	国道5号	1996	17.2	1	16.50	PC橋	その他	合成床版	RC
9	北海道開発局	函館開発建設部	函館道路事務所	上六量橋	国道228号	1971	7.34	1	7.00	PC橋	その他	合成床版	RC
10	北海道開発局	函館開発建設部	江差道路事務所	蝦川橋	国道228号	1972	60	2	29.60	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
11	北海道開発局	小樽開発建設部	岩内道路事務所	島付内橋	一般国道5号	1964(39)	25.26	2	18.44	PC橋	桁橋	RC床版	RC
12	北海道開発局	室蘭開発建設部	苫小牧道路事務所	静川高架橋	日高自動車道	1997	1401.5	31	41.65	鋼橋	桁橋	その他	RC
13	北海道開発局	室蘭開発建設部	設部 室蘭事務所	御崎高架橋(下り線)	国道36号線	1978	459	20	88.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
14	北海道開発局	室蘭開発建設部	設部 室蘭事務所	御崎高架橋(上り線)	国道36号線	1978	459	22	88.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
15	北海道開発局	室蘭開発建設部	浦河道路事務所	静内橋	国道235号	1972	408.5	9	44.89	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
16	北海道開発局	釧路開発建設部	設部 釧路事務所	釧路大橋	国道38号	1972	287.2	8	37.50	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
17	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	根室跨線橋	一般国道44号	1979	17.8	1		鋼橋	桁橋	RC床版	RC
18	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	大別橋	一般国道44号	1968	35.7	1		鋼橋	桁橋	合成床版	RC
19	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	尾根橋	一般国道44号	1969	60	1		鋼橋	その他	RC床版	RC
20	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	矢口別橋	一般国道243号	1966	60.1	3	19.98	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
21	北海道開発局	釧路開発建設部	弟子屈道路事務所	島見橋	一般国道243号	1964	17.4	1	16.80	RC橋	桁橋	RC床版	RC
22	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	西別川橋	国道243号	1960	73.9	3	24.50	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
23	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	茶志別橋	一般国道334号	1993	144	4	39.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
24	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	春刈古丹橋	一般国道334号	1987	70	3	23.10	PC橋	その他	その他	RC
25	北海道開発局	帯広道路事務所	帯広道路事務所	十勝大橋	国道241号	1995(7)	501.8	3	251.00	PC橋	斜張橋	RC床版	RC
26	北海道開発局	帯広開発建設部	広尾道路事務所	湧別大橋	一般国道336号	1970	52.4	2	25.50	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
27	北海道開発局	帯広開発建設部	足寄道路事務所	高島橋	一般国道242号	1996	457	6	83.00	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
28	北海道開発局	網走開発建設部	北見道路事務所	北釧橋	R240	1966	20.79	1	20.52	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
29	北海道開発局	網走開発建設部	網走道路事務所	新橋	一般国道39号	1953	80.8	3	30.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
30	北海道開発局	網走開発建設部	興部道路事務所	柳生橋	一般国道273号	1967	12	1	12.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
31	北海道開発局	網走開発建設部	遠軽開発事務所	漆別大橋	国道238号	1956	383.6	13	50.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
32	北海道開発局	留萌開発建設部	羽幌道路事務所	遠別橋	一般国道232号	1971	239	6	39.50	PC橋	桁橋	PC床版	RC
33	東北地方整備局	岩手河川国道事		鍛河大橋	国道4号	2002	532	8	137.15	鋼橋	その他	RC床版	RC
34	東北地方整備局	郡山国道事務所		釈迦堂川橋	国道4号	1982	94.5	2	52.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
35	東北地方整備局	郡山国道事務所		滑川橋	国道4号	1976	67.55	3	21.85	PC橋	桁橋	RC床版	RC
36	東北地方整備局	三陸国道事務所		立根大橋(上り)	国道45号	1998	210	5	45.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
37	東北地方整備局	三陸国道事務所		前田橋(上り)	国道45号	1991	202	4	55.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
38	東北地方整備局	三陸国道事務所		前田橋(下り)	国道45号	2001	202	4	55.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
39	東北地方整備局	山形河川国道事		蔵王大橋	国道13号	1978	160.4	5	35.30	鋼橋	桁橋	その他	RC
40	東北地方整備局	酒田河川国道事		新広田橋	国道7号	1976	104.7	3	36.45	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
41	東北地方整備局	青森河川国道事		船岡橋	国道7号	1971	48	1	47.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
42	関東地方整備局	宇都宮国道事務		一丁田橋	一般国道4号	1961	11.7	1	11.70	RC橋	桁橋	RC床版	RC
43	関東地方整備局	宇都宮国道事務		砂田高架橋(下り)	新4号国道バイパス	1998	1042.6	34	58.00	その他	桁橋	その他	RC
44	関東地方整備局	宇都宮国道事務		砂田高架橋(上り)	新4号国道バイパス	1995	1042.6	34	58.00	その他	桁橋	その他	RC
45	北陸地方整備局	新潟国道事務所		上ノ沢橋	国道113号	1973	57	3	27.60	鋼橋	その他	合成床版	RC
46	北陸地方整備局	富山河川国道事		雄峰大橋2	国道8号	1981	482	8	62.00	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
47	中部地方整備局	多治見砂防国道		篠母大橋	国道19号	1986	179.88	4	68.38	鋼橋	トラス橋	RC床版	RC
48	近畿地方整備局	滋賀国道事務所		瀬田川大橋	国道1号	1959	221.76	5	56.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
49	近畿地方整備局	京都国道事務所		—	—	—	—	—	(不明)	—	—	—	—
50	近畿地方整備局	大阪国道事務所		塚高架橋	国道26号	1980	2926	115	78.00	その他	桁橋	その他	RC

表 2.2.1-10 対象構造物諸元一覧（橋梁） 2 / 3

整理 番号	管轄	事務所	出張所	橋梁名称	路線名	完成 年度	橋長(m)	総径 間数	支間長 (最大m)	橋梁諸元	橋梁形式	床版	下部工
51	近畿地方整備局	兵庫国道事務所		浜手バイパス高架橋	国道2号	1986	2656.6	65	85.00	鋼橋	桁橋	鋼床版	鋼製
52	近畿地方整備局	奈良国道事務所		奈良高架橋	国道24号	1974	954.4	42	39.33	その他	桁橋	RC床版	RC
53	近畿地方整備局	福井河川国道事		丸山高架橋	一般国道8号	1972	441	17	40.00	その他	桁橋	RC床版	RC
54	近畿地方整備局	福知山河川国道		福知山大橋	国道9号	1963	129.45	5	21.40	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
55	近畿地方整備局	姫路河川国道事		千原橋(上)	国道2号	1989	12.04	1	11.50	PC橋	その他	その他	RC
56	近畿地方整備局	姫路河川国道事		千原橋(下)	国道2号	1991	12.04	1	11.50	PC橋	その他	その他	RC
57	近畿地方整備局	姫路河川国道事		上郡6号橋	国道2号	不明	6.7	1	6.70	RC橋	その他	RC床版	RC
58	近畿地方整備局	姫路河川国道事		六九谷1号橋	国道29号	1981	3.2	1	3.20	RC橋	その他	RC床版	RC
59	近畿地方整備局	姫路河川国道事		引原高山橋	国道29号	1981	87.5	3	58.95	その他	その他	RC床版	RC
60	近畿地方整備局	姫路河川国道事		野尻大橋	国道29号	1965	60.57	2	39.00	鋼橋	その他	RC床版	RC
61	近畿地方整備局	姫路河川国道事		ハサリ橋	国道29号	1991	48	2	39.00	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
62	近畿地方整備局	姫路河川国道事		三軒家橋	国道29号	1941	52.12	4	12.48	PC橋	その他	RC床版	RC
63	近畿地方整備局	姫路河川国道事		大殿橋	国道29号	1965	42	1	41.20	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
64	近畿地方整備局	姫路河川国道事		須賀沢4橋	国道29号	1964	5	1	5.00	RC橋	その他	RC床版	RC
65	近畿地方整備局	姫路河川国道事		上野1橋	国道29号	1964	3.2	1	4.74	RC橋	その他	RC床版	RC
66	近畿地方整備局	姫路河川国道事		井ヶ瀬橋	国道29号	1965	89.9	6	14.97	RC橋	その他	RC床版	RC
67	近畿地方整備局	姫路河川国道事		杉田橋	国道29号	1955	58	3	19.34	RC橋	その他	RC床版	RC
68	近畿地方整備局	姫路河川国道事		船元3橋	国道29号	1963	2.3	1	2.30	RC橋	その他	RC床版	RC
69	近畿地方整備局	姫路河川国道事		安橋橋	国道29号	1968	72.39	7	10.04	RC橋	その他	RC床版	RC
70	近畿地方整備局	姫路河川国道事		新安志橋側歩道橋	国道29号	1968	10	1	10.04	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
71	近畿地方整備局	姫路河川国道事		安濃橋側歩道橋	国道29号	1972	20.86	2	10.00	PC橋	その他	RC床版	RC
72	近畿地方整備局	姫路河川国道事		橋樑側歩道橋	国道29号	1972	24.29	1	23.90	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
73	近畿地方整備局	姫路河川国道事		津能橋側歩道橋	国道29号	1972	30.06	1	35.40	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
74	近畿地方整備局	姫路河川国道事		大殿橋側歩道橋	国道29号	1975	42	1	40.30	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
75	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		てあい橋	国道9号	1959	12	1	12.00	PC橋	桁橋	PC床版	RC
76	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		てあい橋側道橋	国道9号	1980	12.4	1	12.00	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
77	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		猿尾橋側道橋(下)	国道9号	1977	21.2	1	20.70	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
78	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		温泉大橋	国道9号	1962	93.1	3	30.40	鋼橋	ラーメン橋	合成床版	RC
79	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		求橋	国道9号	1973	21.2	1	20.20	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
80	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		高山橋	国道9号	1959	12	1	11.25	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
81	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		民陽橋	国道9号	1962	13.54	1	13.50	PC橋	桁橋	PC床版	RC
82	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		鹿田大橋	国道9号	1988	57.8	2	31.30	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
83	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		小豆谷橋	国道9号	1962	18	1	17.30	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
84	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		上野橋側歩道橋(上)	国道9号	1989	4	1	3.40	RC橋	桁橋	RC床版	RC
85	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		上野川橋	国道9号	1999	12.3	1	11.74	PC橋	桁橋	PC床版	RC
86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		池ヶ谷橋	国道9号	1958	5.5	1	5.30	RC橋	桁橋	RC床版	RC
87	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		新倉橋	国道9号	1986	16.7	1	15.98	PC橋	桁橋	PC床版	RC
88	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		湯村温泉橋	国道9号	1962	38.58	1	38.30	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
89	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		湯村温泉側道橋(下)	国道9号	1983	42.7	1	42.00	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
90	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		湯谷橋	国道9号	1962	13.3	1	12.60	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
91	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		二見橋	国道9号	1964	13.5	1	13.00	PC橋	桁橋	PC床版	RC
92	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		夫婦橋	国道9号	1962	32	1	31.30	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
93	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		美父市尾崎側道橋	国道9号	1978	2	1	2.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
94	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		流田橋	国道9号	1964	2.56	1	2.56	RC橋	桁橋	RC床版	RC
95	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		梁瀬橋側道橋(上)	国道9号	1972	34.91	2	19.00	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
96	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		和田山大橋	国道9号	1971	330	8	44.80	鋼橋	桁橋	合成床版	RC
97	中国地方整備局	福山河川国道事		小田川橋	国道2号	1973	53.4	1	53.40	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
98	中国地方整備局	福山河川国道事		近江橋	国道2号	1995	41.9	2	20.20	PC橋	桁橋	その他	RC
99	中国地方整備局	福山河川国道事		南方橋	国道2号	1957	16.89	2	8.40	RC橋	桁橋	RC床版	RC
100	中国地方整備局	松江国道事務所		直江歩道橋	国道9号	1968	16.8	1	15.00	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製

表 2.2.1-10 対象構造物諸元一覧（橋梁） 3 / 3

整理番号	管轄	事務所	出張所	橋梁名称	路線名	完成年度	橋長(m)	総径間数	支間長(最大m)	橋梁諸元	橋梁形式	床版	下部工
101	中国地方整備局	松江国道事務所		神門横断歩道橋	国道9号	1974	16.3	1	14.50	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
102	中国地方整備局	松江国道事務所		差海歩道橋	国道9号	1992	20.6	1	18.50	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
103	中国地方整備局	松江国道事務所		湖陵横断歩道橋	国道9号	1973	14.5	1	12.20	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
104	中国地方整備局	松江国道事務所		大池歩道橋	国道9号	1985	16.7	1	14.40	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
105	中国地方整備局	松江国道事務所		多伎第1歩道橋	国道9号	1981	21.5	1	20.00	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
106	中国地方整備局	松江国道事務所		清里横断歩道橋	国道9号	1982	21.8	1	20.00	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
107	中国地方整備局	松江国道事務所		稲光歩道橋	国道9号	1968	14.8	1	13.00	鋼橋	その他	鋼床版	鋼製
108	中国地方整備局	三次河川国道事		安森歩道橋(上り)	国道54号	1983	20.1	1	19.50	鋼橋	その他	その他	RC
109	中国地方整備局	三次河川国道事		安森歩道橋(下り)	国道54号	1979	16.6	1	16.00	鋼橋	その他	その他	RC
110	中国地方整備局	三次河川国道事		明神歩道橋(上り)	国道54号	1979	21.1	2	10.70	鋼橋	その他	その他	RC
111	中国地方整備局	三次河川国道事		櫛木歩道橋(上り)	国道54号	1983	12.6	1	12.10	鋼橋	その他	その他	RC
112	中国地方整備局	三次河川国道事		新天神橋	国道54号	1970	31	1	30.10	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
113	中国地方整備局	三次河川国道事		荒神橋	国道54号	1969	29.5	1	28.70	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
114	中国地方整備局	山口河川国道事		柳川橋	国道2号	1978	20.7	1	20.05	PC橋	桁橋	PC床版	RC
115	中国地方整備局	岡山国道事務所		新兼田橋	一般国道53号	1971	127.4	6	31.54	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
116	四国地方整備局	土佐国道事務所		豊栄橋側道橋		1974	57.02	3	17.90	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
117	四国地方整備局	土佐国道事務所		香宗川橋側道橋 上り	国道55号	1978	40.61	3	13.11	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
118	四国地方整備局	土佐国道事務所		香宗川橋側道橋 下り	国道55号	1979	40.6	3	13.08	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
119	四国地方整備局	土佐国道事務所		小竜側道橋 上り	国道55号	1987	278.75	13	29.00	PC橋	桁橋	RC床版	RC
120	四国地方整備局	土佐国道事務所		元大橋	国道55号	2002	221	5	44.00	PC橋	桁橋	RC床版	RC
121	四国地方整備局	土佐国道事務所		加領郷大橋	国道55号	1973	222	7	35.00	PC橋	桁橋	RC床版	RC
122	四国地方整備局	大洲河川国道事		北只橋(上)	大洲道路	1988	106	3	44.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
123	四国地方整備局	徳島河川国道事		穴吹新橋	国道192号	1966	195.73	6	32.00	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
124	四国地方整備局	徳島河川国道事		市の建橋	国道192号	1955	3	1	3.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
125	四国地方整備局	徳島河川国道事		上駄喰橋(上)	国道192号	1970	305	10	29.99	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
126	四国地方整備局	徳島河川国道事		川島新橋	国道192号	1964	17	1	16.40	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
127	四国地方整備局	徳島河川国道事		川島東橋	国道192号	1964	31.4	3	13.00	PC橋	桁橋	PC床版	RC
128	四国地方整備局	徳島河川国道事		大松川溝橋	国道55号	1978	9.6	1	9.16	PC橋	桁橋	PC床版	RC
129	四国地方整備局	徳島河川国道事		大津橋	国道28号	1953	143.6	11	13.00	鋼橋	桁橋	その他	RC
130	四国地方整備局	徳島河川国道事		真光大橋側道橋(下り)	国道192号	1983	200	7	35.75	鋼橋	桁橋	鋼床版	RC
131	四国地方整備局	徳島河川国道事		立江川橋	国道55号	1988	61.3	2	30.43	PC橋	桁橋	PC床版	RC
132	九州地方整備局	宮崎河川国道事		新狩野橋	国道110号	1965	30.66	1	30.00	鋼橋	桁橋	RC床版	鋼製
133	九州地方整備局	熊本河川国道事		白鷺橋	一般国道3号	1964	250	7	35.00	PC橋	桁橋	PC床版	RC
134	九州地方整備局	佐賀国道事務所		嘉瀬橋(起点高架)(下り)	国道34号	1982	129.18	8	16.21	鋼橋	桁橋	RC床版	RC
135	九州地方整備局	佐伯河川国道事		深山橋	国道57号	1967	25	1	74.00	PC橋	その他	PC床版	RC
136	九州地方整備局	鹿児島国道事務		下井手橋	国道3号	1934	30	3	10.00	RC橋	桁橋	RC床版	RC
137	九州地方整備局	鹿児島国道事務		第二都橋	国道3号	1981	50	2	25.00	PC橋	桁橋	PC床版	RC
138	九州地方整備局	鹿児島国道事務		都川橋	国道3号	2005	36	1	36.00	RC橋	桁橋	PC床版	RC
139	九州地方整備局	鹿児島国道事務		八房橋	国道3号	1952	62	4	14.70	RC橋	桁橋	RC床版	RC
140	九州地方整備局	長崎河川国道事		早岐瀬戸大橋(上)(下)	一般国道205号	1999(上) 1987(下)	381(上) 385(下)	8	87.85	鋼橋	アーチ橋	鋼床版	RC
141	九州地方整備局	福岡国道事務所		中洲新橋	国道202号	1959	35.1	3	11.73	PC橋	桁橋	PC床版	RC
142	九州地方整備局	北九州国道事務		貴船橋	国道3号	1937	86.8	5	18.65	RC橋	ラーメン橋	RC床版	RC
143	沖縄総合事務局	北部国道事務所		根路鉾橋	国道58号	1986	15.2	1	14.30	PC橋	桁橋	RC床版	RC
144	沖縄総合事務局	北部国道事務所		新世富度橋	一般国道58号	1975	22.74	1	22.70	PC橋	桁橋	PC床版	RC
145	沖縄総合事務局	北部国道事務所		長堂橋	一般国道329号	1992	900	35	53.90	鋼橋	桁橋	RC床版	RC

表 2. 2. 1-11 対象構造物諸元一覧（トンネル）

整理番号	管轄	事務所	出張所	トンネル名称	路線名	完成年度	延長(m)	道路幅員(m)	片側車線数	断面積	分類	湧水有無	内装種類
1	北海道開発局	札幌開発建設部	岩見沢道路事務所	三タトンネル	一般国道452号	1976	469	5.5	1	40.7	山岳トンネル	湧水なし	内装パネル
2	北海道開発局	函館開発建設部	八雲道路事務所	茂達多トンネル	一般国道229号	1974	1974	6.5	1		山岳トンネル	限定湧水あり	その他
3	北海道開発局	小樽開発建設部	小樽道路事務所	稲穂トンネル	一般国道5号	1962	1230	6.5	1	39.9	山岳トンネル	湧水なし	内装パネル
4	北海道開発局	旭川開発建設部	旭川道路事務所	新大洞トンネル	一般国道39号	1974	573	3.25	1	54.6	山岳トンネル	限定湧水あり	内装パネル
5	北海道開発局	留萌開発建設部	留萌開発事務所	大別洞トンネル	一般国道231号	1992	1992	9	2	49.3	山岳トンネル	湧水なし	
6	中部地方整備局	飯田事務所		鳥居トンネル	国道19号	1978	1738	8.5	1	61.5	山岳トンネル	限定湧水あり	内装パネル
7	近畿地方整備局	福井河川国道事		散賀トンネル	一般国道8号	1962	735	7.5	2	37.2	山岳トンネル	連続湧水あり	その他
8	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		新和田山トンネル	国道9号	1971	330	7	1	47.1	山岳トンネル	連続湧水あり	内装パネル
9	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		南伯馬トンネル	国道9号	1992	1224	8	1	63	山岳トンネル	限定湧水あり	内装パネル
10	近畿地方整備局	豊岡河川国道事		和田山トンネル	国道9号	1963	226.3	7	1	43.6	山岳トンネル	連続湧水あり	内装パネル
11	近畿地方整備局	和歌山河川国道		観音崎トンネル	一般国道42号	1957	108	7.5	1	39	山岳トンネル	湧水なし	内装パネル
12	近畿地方整備局	和歌山河川国道		新毛見トンネル(下り)	一般国道42号	1971	196	7.5	1	48	山岳トンネル	連続湧水あり	塗装
13	近畿地方整備局	和歌山河川国道		新毛見トンネル(上り)	一般国道42号	1994	222	10.3	1	70	山岳トンネル	湧水なし	塗装
14	近畿地方整備局	和歌山河川国道		水越トンネル	一般国道42号	1964	551.2	7.5	1	42	山岳トンネル	連続湧水あり	塗装
15	近畿地方整備局	和歌山河川国道		篠川トンネル	一般国道42号	1954	247.9	7.5	1	40	山岳トンネル	連続湧水あり	塗装
16	近畿地方整備局	紀南河川国道事		旧通川トンネル	国道42号	1939	278	3.7	1	23	山岳トンネル	湧水なし	その他
17	近畿地方整備局	紀南河川国道事		玉之浦トンネル	国道42号	1964	322.1	7.5	1	38.5	山岳トンネル	湧水なし	その他
18	近畿地方整備局	紀南河川国道事		新浦川トンネル	国道42号	1971	350	8.41	1	49	山岳トンネル	湧水なし	その他
19	近畿地方整備局	紀南河川国道事		白鳥トンネル	国道42号	1966	442	7	1	38.2	山岳トンネル	湧水なし	その他
20	近畿地方整備局	紀南河川国道事		和深トンネル	国道42号	1966	270	7	1	39.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
21	中国地方整備局	福山河川国道事		時広トンネル	国道2号	2006	1160	9.5	1	50	山岳トンネル	湧水なし	その他
22	中国地方整備局	山口河川国道事		愛宕山トンネル	国道188号	2002	668	11.8	1	73.5	その他	湧水なし	その他
23	中国地方整備局	浜田河川国道事		遠田トンネル	一般国道9号	1963	260	7.6	1		開削トンネル	湧水なし	塗装
24	中国地方整備局	浜田河川国道事		浅利トンネル	一般国道9号	1964	470	8	1		開削トンネル	限定湧水あり	塗装
25	中国地方整備局	鳥取河川国道事		新戸倉トンネル	国道29号	1995	1730	3.5	1	54.8	その他	限定湧水あり	その他
26	中国地方整備局	香川河川国道事		引田トンネル	一般国道11号	1958	76.1	8	1	44.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
27	四国地方整備局	香川河川国道事		金山トンネル(下り)	一般国道11号	1987	574.5	10.75	2	74.5	山岳トンネル	限定湧水あり	内装パネル
28	四国地方整備局	香川河川国道事		金山トンネル(上り)	一般国道11号	1978	480	9.48	2	69.7	山岳トンネル	限定湧水あり	内装パネル
29	四国地方整備局	香川河川国道事		財田第1トンネル	一般国道32号	1964	58.5	7.5	1	38.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
30	四国地方整備局	香川河川国道事		財田第2トンネル	一般国道32号	1965	40.3	7.5	1	38.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
31	四国地方整備局	香川河川国道事		財田第3トンネル	一般国道32号	1965	58.7	7.5	1	38.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
32	四国地方整備局	香川河川国道事		財田第4トンネル	一般国道32号	1965	50.4	7.5	1	38.6	山岳トンネル	湧水なし	その他
33	九州地方整備局	佐伯河川国道事		大原トンネル	国道10号	1965	327	7	1	不明	山岳トンネル	限定湧水あり	
34	九州地方整備局	大分河川国道事		加々鶴トンネル	一般国道210号	1965	409.2	6.75	1	35.4	山岳トンネル	限定湧水あり	その他

表 2. 2. 1-12 対象構造物諸元一覧（函渠）

整理番号	管轄	事務所	出張所	路線名	完成年度	延長(m)	材質	構造	目的	土被り	断面(内幅)	断面(内高)	既設構造物	水替有無
1	沖縄総合事務局	南部国道事務所		国道331号 ※複数箇所代表1箇所を記入 (南城市中山)	2003	16.9		ボックスカルバート	水路用	不明	1.8	1.8	なし	あり

表 2.2.1-13 対象構造物諸元一覧（河川構造物）

整理 番号	管轄	事務所	出張所	河川構造物	構造物名称	完成 年度	河川名	面体構造	基礎	躯体	堰柱 門柱	胸壁 翼壁	扉体	水門	護床	護岸	管理橋	その他
1	北海道開発局	札幌開発建設部	岩見沢河川事務所	樋門・樋管	伊藤樋門	1989	石狩川	RC構造	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-
2	北海道開発局	札幌開発建設部	江別河川事務所	樋門・樋管	清真布川5線樋門	1989	石狩川水系清真布川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	北海道開発局	札幌開発建設部	江別河川事務所	樋門・樋管	清真布川高橋樋門	1994	石狩川水系清真布川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	北海道開発局	札幌開発建設部	江別河川事務所	樋門・樋管	清真布川左岸東6号樋門	1995	石狩川水系清真布川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
5	北海道開発局	札幌開発建設部	江別河川事務所	樋門・樋管	清真布川南6線樋門	1986	石狩川水系清真布川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	北海道開発局	札幌開発建設部	千歳河川事務所	水門	馬追運河水門	1964	旧夕張川	RC構造	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7	北海道開発局	帯広開発建設部	帯広河川事務所	樋門・樋管	白人樋門、木越原樋門	1978, 1976	十勝川水系	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	北海道開発局	網走開発建設部	北見河川事務所	樋門・樋管	豊里樋門、網島樋門、 つつし沢川樋門、伏見樋門	1966, 1988 1981, 1983	網走川（豊里樋門、網島樋門） 常呂川（つつし沢川樋門、伏見樋門）	RC構造	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
9	東北地方整備局	仙台河川国道事		樋門・樋管	中河原排水樋管	1948	広瀬川	RC構造	-	-	-	-	-	-	-	-	-	管体
10	東北地方整備局	北上川下流河川		樋門・樋管	第二柳生排水樋管	1955	北上川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
11	北陸地方整備局	信濃川下流河川		可動堰	蒲原大堰	1971	信濃川下流	なし	-	-	○	-	-	-	-	-	-	主ゲート門柱上屋
12	北陸地方整備局	信濃川下流河川		可動堰	中ノ口川水門	1978	信濃川下流	なし	-	-	○	-	-	-	-	-	-	主ゲート門柱上屋
13	北陸地方整備局	信濃川下流河川		可動堰	新潟大堰	1971	信濃川下流（関屋分水路）	なし	-	-	○	-	-	-	-	-	○	主ゲート門柱上屋
14	中部地方整備局	木曽川下流河川		樋門・樋管	高須輪中排水樋管	1979	木曽川水系 揖斐川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	近畿地方整備局	淀川河川事務所		高水護岸	高水護岸	25	淀川	なし	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
16	近畿地方整備局	九頭竜川ダム統		ダム管理用道路法面	ダム管理用道路法面	2015	九頭竜川	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ダム管理用道路法面
17	近畿地方整備局	福知山河川国道		陸開門	スイングゲート（陸開）	2013	由良川水系由良川	なし	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
18	中国地方整備局	浜田河川国道事		樋門・樋管	鹿賀第2排水樋門（1987） 天神川排水樋門（1971） 河木谷排水樋門（1973）	1971	江の川	RC構造	-	○	○	-	-	-	-	-	-	上屋
19	中国地方整備局	浜田河川国道事		樋門・樋管	大滝排水樋門（1979） 市原第2排水樋門（1974）	1974	高津川	RC構造	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-
20	中国地方整備局	太田川河川事務		樋門・樋管	フラップゲート（バランゲート）	2014	小瀬川	なし	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
21	中国地方整備局	出雲河川事務所		樋門・樋管	下宇部尾第2号排水樋門	1981	斐伊川（中海）	RC構造	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-
22	九州地方整備局	熊本河川国道事		樋門・樋管	大渡樋管	1979	緑川水系 加勢川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
23	九州地方整備局	熊本河川国道事		樋門・樋管	渡場排水樋管	1988	緑川水系 浜戸川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
24	九州地方整備局	熊本河川国道事		樋門・樋管	六間恵水樋管	1977	緑川水系 緑川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
25	九州地方整備局	熊本河川国道事		樋門・樋管	六間用水樋管	1999	緑川水系 加勢川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
26	九州地方整備局	大隅河川国道事		樋門・樋管	道園樋管	1985	肝属川水系始良川	RC構造	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
27	九州地方整備局	八代河川国道事		樋門・樋管	前川排水樋管	1981	前川	RC構造	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

4) データ集計（施工条件）

ア. 施工時間帯指定

施工時間帯指定は「通常昼間施工」が最も多く 58.5%を占め、「指定なし」が 30.0%であった。

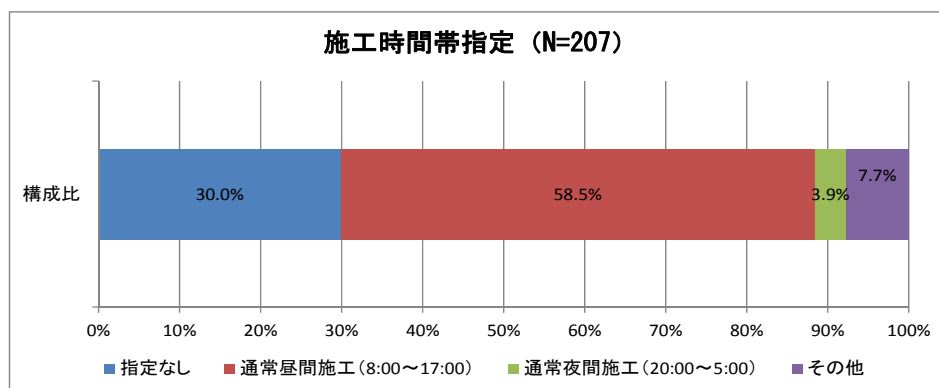


図 2.2.1-7 施工時間帯指定

工事別では、函渠工事では時間帯指定はなく、河川構造物工事もない場合が多いが、橋梁工事及びトンネル工事では通常昼間施工の時間帯指定ありが 6 割であった。

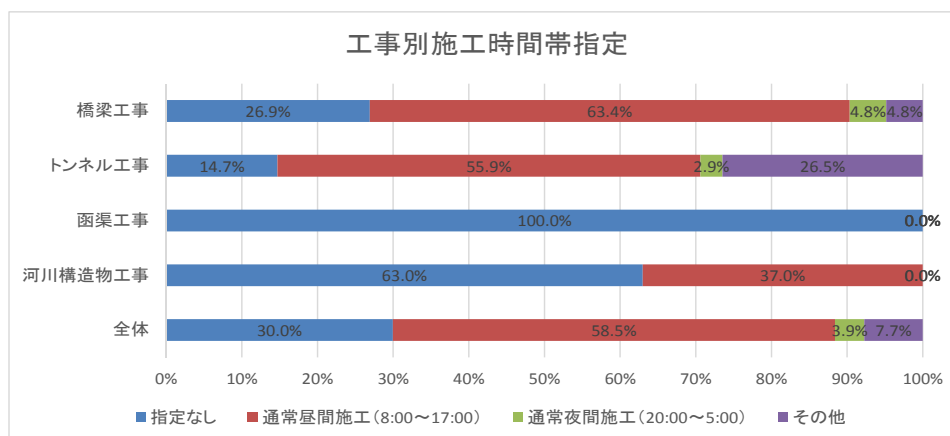


図 2.2.1-8 工事別施工時間帯指定

表 2.2.1-14 工事別施工時間帯指定

		指定なし	通常昼間施工 (8:00~17:00)	通常夜間施工 (20:00~5:00)	その他	計
実数	橋梁工事	39	92	7	7	145
	トンネル工事	5	19	1	9	34
	函渠工事	1	0	0	0	1
	河川構造物工事	17	10	0	0	27
	全体	62	121	8	16	207
構成比	橋梁工事	26.9%	63.4%	4.8%	4.8%	100.0%
	トンネル工事	14.7%	55.9%	2.9%	26.5%	100.0%
	函渠工事	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	河川構造物工事	63.0%	37.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	全体	30.0%	58.5%	3.9%	7.7%	100.0%

イ．施工時間規制の有無

施工時間規制は 82.1%が「規制なし」で、「規制あり」は 17.9%であった。

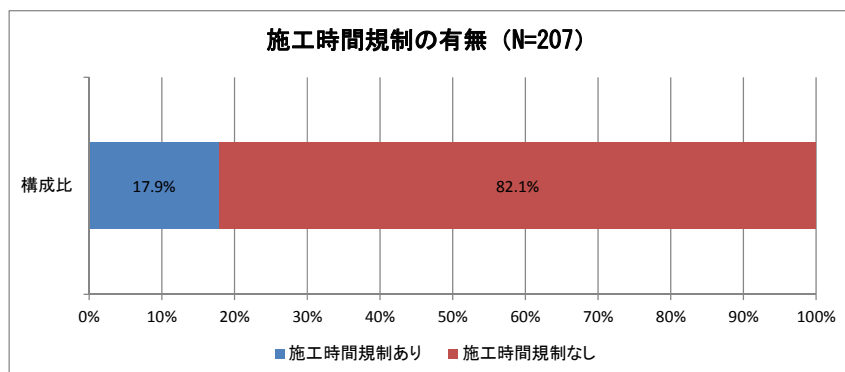


図 2.2.1-9 施工時間帯指定

工事別では、トンネル工事で 26.5%、橋梁工事で 19.3%は時間規制があるが、函渠工事及び河川構造物工事では施工時間規制はなかった。

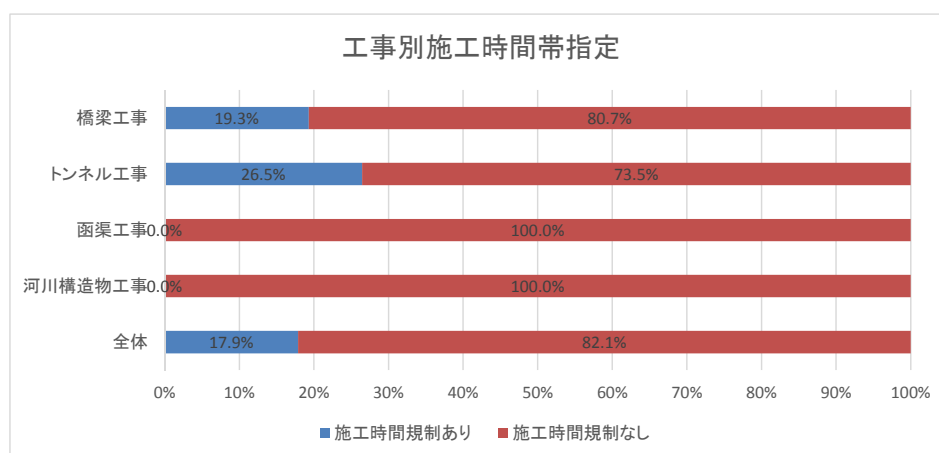


図 2.2.1-10 工事別施工時間帯規制の有無

表 2.2.1-15 工事別施工時間帯規制の有無

		施工時間規制あり	施工時間規制なし	計
実数	橋梁工事	28	117	145
	トンネル工事	9	25	34
	函渠工事	0	1	1
	河川構造物工事	0	27	27
	全体	37	170	207
構成比	橋梁工事	19.3%	80.7%	100.0%
	トンネル工事	26.5%	73.5%	100.0%
	函渠工事	0.0%	100.0%	100.0%
	河川構造物工事	0.0%	100.0%	100.0%
	全体	17.9%	82.1%	100.0%

表 2.2.1-16 施工時間規制ありの内訳

施工時間規制ありの回答（37 件）の規制時間内訳

- ・ 8:00～17:00（橋梁：6 件／トンネル：1 件）
- ・ 8:30～17:00（橋梁：2 件／トンネル：1 件）
- ・ 9:00～17:00（トンネル：2 件）
- ・ 9:30～16:00（橋梁：6 件）
- ・ 20:00～6:00（橋梁：1 件）
- ・ 20:00～5:00（橋梁：9 件）
- ・ 21:00～6:00（橋梁：3 件／トンネル 5 件）
- ・ 22:00～5:00（橋梁：1 件）

これを構造物別・昼夜間別で集計すると以下のとおり

	昼間	夜間	合計
橋梁	14	14	28
トンネル	4	5	9
合計	18	19	37

ウ. 現場条件

現場条件では「施行箇所点在」が最も多く、63.3%となっており、次いで「小規模工事（施工数量が少ない）」33.8%が3割を超え、「環境対策あり（騒音・振動）」12.6%、「人家に隣接（近接施工）」8.7%、「資材搬入制限あり」7.2%、「当該工事が影響を受ける他工事あり」6.8%等であった。

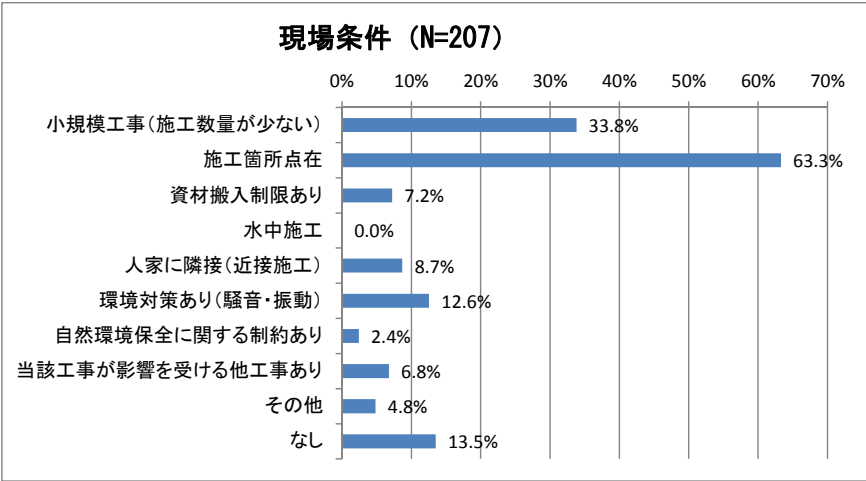


図 2.2.1-11 現場条件

表 2.2.1-17 現場条件

	回答数	構成比
小規模工事(施工数量が少ない)	70	33.8%
施工箇所点在	131	63.3%
資材搬入制限あり	15	7.2%
水中施工	0	0.0%
人家に隣接(近接施工)	18	8.7%
環境対策あり(騒音・振動)	26	12.6%
自然環境保全に関する制約あり	5	2.4%
当該工事が影響を受ける他工事あり	14	6.8%
その他	10	4.8%
なし	28	13.5%
回答総数	317	
回答数	207	

表 2.2.1-18 その他現場条件

・ 商業施設あり（4 件）
・ 施工場所、進入路幅員（1 件）
・ 通行止が必要（1 件）
・ 高架橋上下での施工（1 件）
・ 現道トンネル内での施工（1 件）
・ 河川協議が必要（1 件）
・ 一般河川流入あり（1 件）

構造物区別に現場条件を見ると、施工箇所点在は「河川構造物」では少なく、小規模工事は「トンネル」では少ない傾向であった。

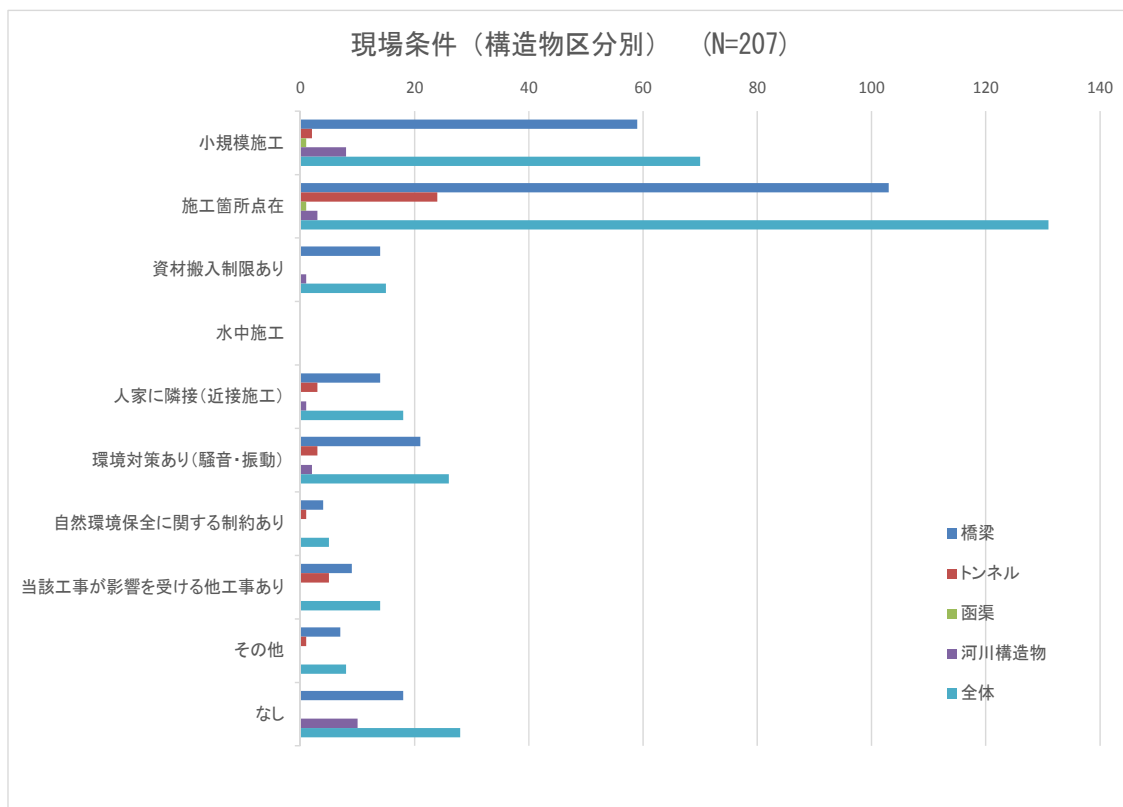


図 2.2.1-12 現場条件（構造物区別）

表 2.2.1-19 現場条件（構造物区別）

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体
小規模施工	59	2	1	8	70	40.7%	5.9%	100.0%	30%	33.8%
施工箇所点在	103	24	1	3	131	71.0%	70.6%	100.0%	11%	63.3%
資材搬入制限あり	14	0	0	1	15	9.7%	0.0%	0.0%	4%	7.2%
水中施工	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0%	0.0%
人家に隣接(近接施工)	14	3	0	1	18	9.7%	8.8%	0.0%	4%	8.7%
環境対策あり(騒音・振動)	21	3	0	2	26	14.5%	8.8%	0.0%	7%	12.6%
自然環境保全に関する制約あり	4	1	0	0	5	2.8%	2.9%	0.0%	0%	2.4%
当該工事が影響を受ける他工事あり	9	5	0	0	14	6.2%	14.7%	0.0%	0%	6.8%
その他	7	1	0	0	8	4.8%	2.9%	0.0%	0%	3.9%
なし	18	0	0	10	28	12.4%	0.0%	0.0%	37%	13.5%
回答数	145	34	1	27	207					

表 2.2.1-20 その他現場条件（構造物区別）

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	
商業施設あり	4	0	0	0	4
施工場所、進入路幅員	0	0	0	1	1
通行止が必要	1	0	0	0	1
現道トンネル内での施工	0	1	0	0	1
河川協議が必要	1	0	0	0	1
一般河川流入あり	0	0	0	1	1
高架橋上下での施工	1	0	0	0	1
合計	7	1	0	2	10

エ. 作業条件

作業条件では、「交通規制あり」が最も多く 64.7%となっており、次いで「作業空間狭小」が 30.4%で 3 割を超え、「上空制限あり」が 20.8%で 2 割を超えていた。「施工機械の搬入路に制限あり」は 5.3%となっている。

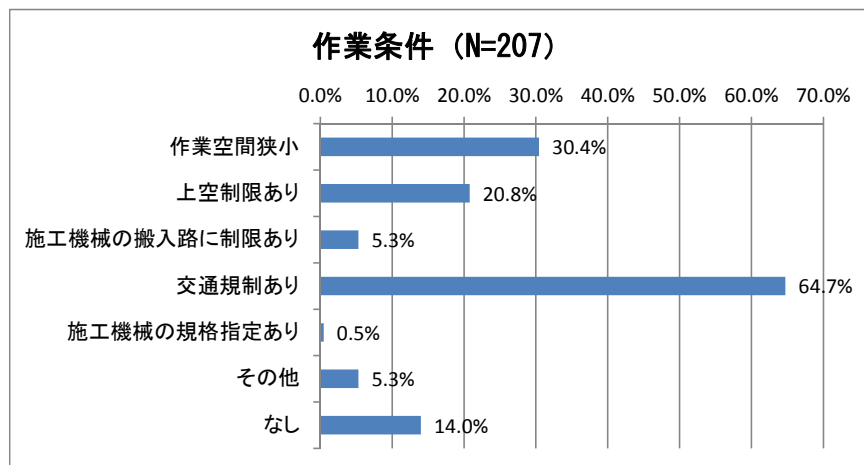


図 2.2.1-13 作業条件

表 2.2.1-21 作業条件

	回答数	構成比
作業空間狭小	63	30.4%
上空制限あり	43	20.8%
施工機械の搬入路に制限あり	11	5.3%
交通規制あり	134	64.7%
施工機械の規格指定あり	1	0.5%
その他	11	5.3%
なし	29	14.0%
計	292	141.1%

※複数回答あり

表 2.2.1-22 その他作業条件

- ・ 歩行者・通行車両昼夜多し（4 件）
- ・ 箱桁内（1 件）
- ・ 吊り足場内作業（1 件）
- ・ 水替作業あり（1 件）
- ・ 進入路幅員（1 件）
- ・ 仮設足場の上での作業（1 件）
- ・ トンネル内作業（1 件）

構造物区別に作業条件を見ると、河川構造物では「交通規制あり」、「作業空間狭小」は少なく、作業条件がない割合が高かった。

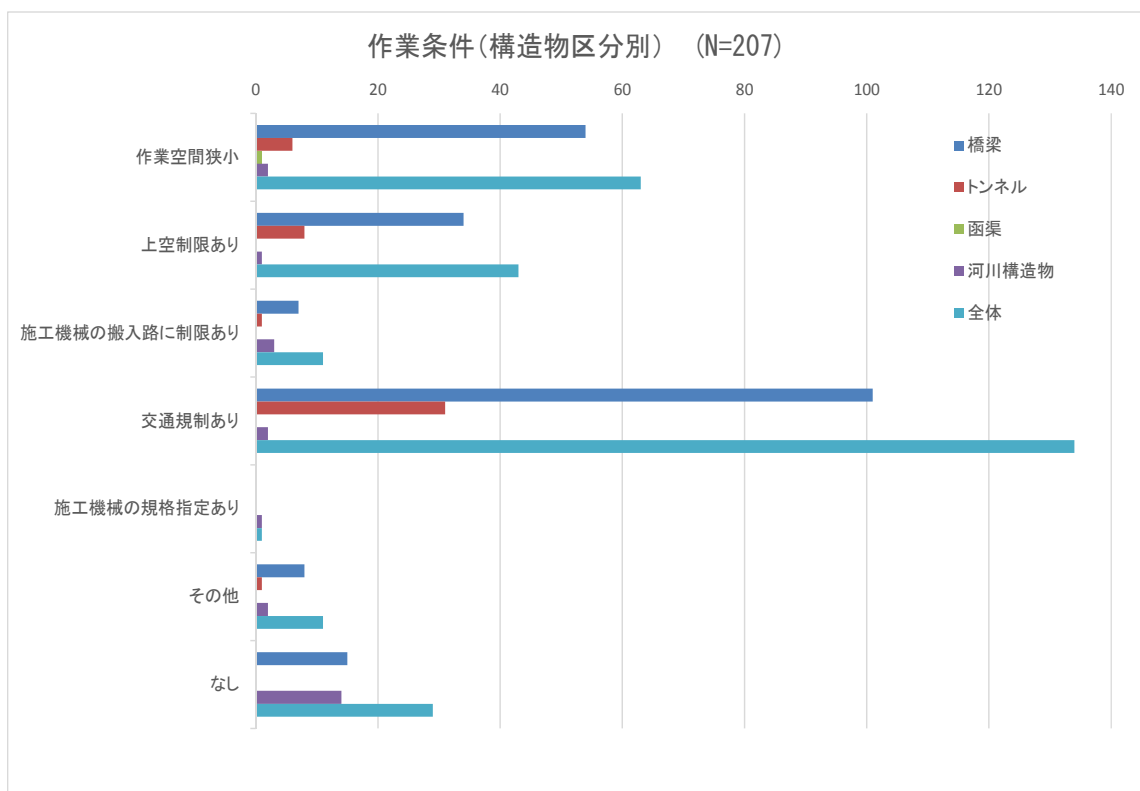


図 2.2.1-14 作業条件 (構造物区分別)

表 2.2.1-23 作業条件 (構造物区分別)

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体
作業空間狭小	54	6	1	2	63	37.2%	17.6%	100.0%	7%	30.4%
上空制限あり	34	8	0	1	43	23.4%	23.5%	0.0%	4%	20.8%
施工機械の搬入路に制限あり	7	1	0	3	11	4.8%	2.9%	0.0%	11%	5.3%
交通規制あり	101	31	0	2	134	69.7%	91.2%	0.0%	7%	64.7%
施工機械の規格指定あり	0	0	0	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	4%	0.5%
その他	8	1	0	2	11	5.5%	2.9%	0.0%	7%	5.3%
なし	15	0	0	14	29	10.3%	0.0%	0.0%	52%	14.0%
回答数	145	34	1	27	207					

表 2.2.1-24 その他作業条件 (構造物区分別)

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	合 計
歩行者・通行車両昼夜多し	4	0	0	0	4
箱桁内	1	0	0	0	1
吊り足場内作業	1	0	0	0	1
吊り足場上での作業	1	0	0	0	1
水替作業あり	0	0	0	1	1
進入路幅員	0	0	0	1	1
仮設足場の上での作業	1	0	0	0	1
トンネル内作業	0	1	0	0	1
合計	8	1	0	2	7

オ. 環境条件

環境条件では、「郊外」が 56.0%で最も多く、「河川」、「山間地」、「市街地」がそれぞれ 25%前後であった。

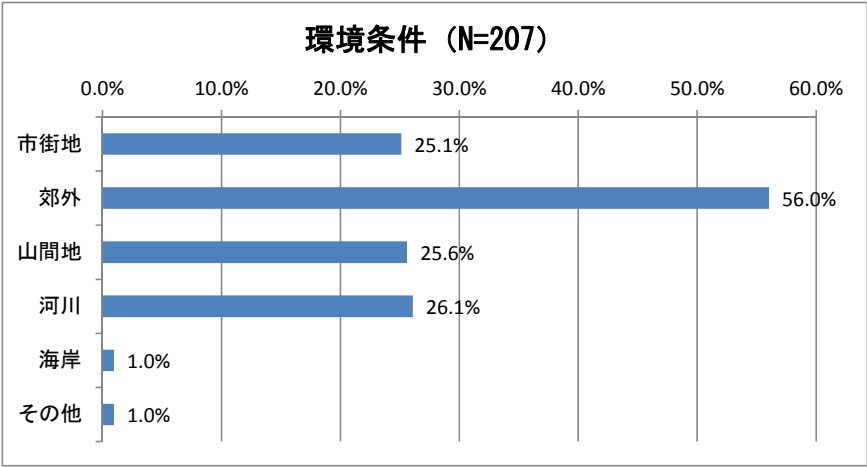


図 2.2.1-15 環境条件

表 2.2.1-25 環境条件

	回答数	構成比
市街地	52	25.1%
郊外	116	56.0%
山間地	53	25.6%
河川	54	26.1%
海岸	2	1.0%
その他	2	1.0%
回答票数	207	100.0%

表 2.2.1-26 その他環境条件（各 1 件）

- ・ 地方部（一般交通等の影響を受けない）
- ・ 橋梁上部工に設置した吊り足場内

構造物区分別では、それぞれの施設の立地場所に即した条件と考えられる。

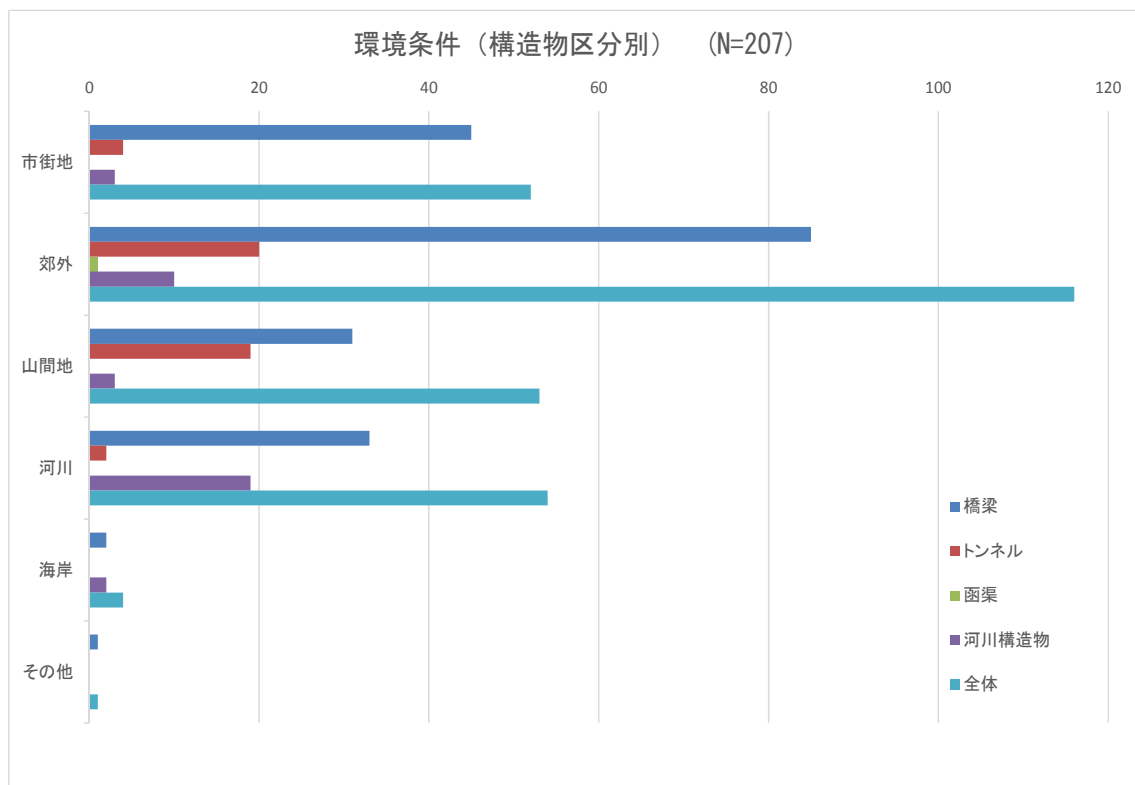


図 2. 2. 1-16 環境条件（構造物区分別）

表 2. 2. 1-27 環境条件（構造物区分別）

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体
市街地	45	4	0	3	52	31.0%	11.8%	0.0%	11%	25.1%
郊外	85	20	1	10	116	58.6%	58.8%	100.0%	37%	56.0%
山間地	31	19	0	3	53	21.4%	55.9%	0.0%	11%	25.6%
河川	33	2	0	19	54	22.8%	5.9%	0.0%	70%	26.1%
海岸	2	0	0	2	4	1.4%	0.0%	0.0%	7%	1.9%
その他	1	0	0	0	1	0.7%	0.0%	0.0%	0%	0.5%
回答数	145	34	1	27	207					

表 2. 2. 1-28 その他環境条件（構造物区分別）

	橋梁	トンネル	函渠	河川構造物	合 計
橋梁上部工に設置した吊り足場内	1	0	0	0	1
地方部（一般交通等の影響を受けない）	0	0	0	1	1
合計	1	0	0	1	2

カ. 足場条件

足場条件では、「吊り足場」が 56.5%で最も多く、「単管枠組足場」が 35.3%、「高所作業車（幅広タイプ）施工」が 28.5%と 3 割前後であり、「張出し足場」は 2.9%であった。

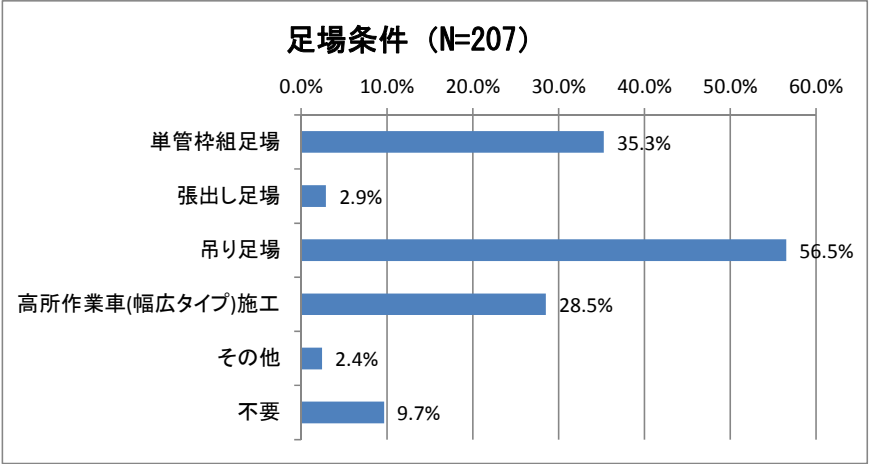


図 2.2.1-17 足場条件

表 2.2.1-29 足場条件

	回答数	構成比
単管枠組足場	73	35.3%
張出し足場	6	2.9%
吊り足場	117	56.5%
高所作業車(幅広タイプ)施工	59	28.5%
その他	5	2.4%
不要	20	9.7%
回答票数	207	100.0%

表 2.2.1-30 その他足場条件

- ・ 高所作業車、橋梁点検車（3 件）
- ・ 橋梁点検車（歩廊式）（1 件）
- ・ 移動昇降式足場（1 式）

構造物区分別では、吊り足場は橋梁で多く、高所作業車はトンネルで多かった。

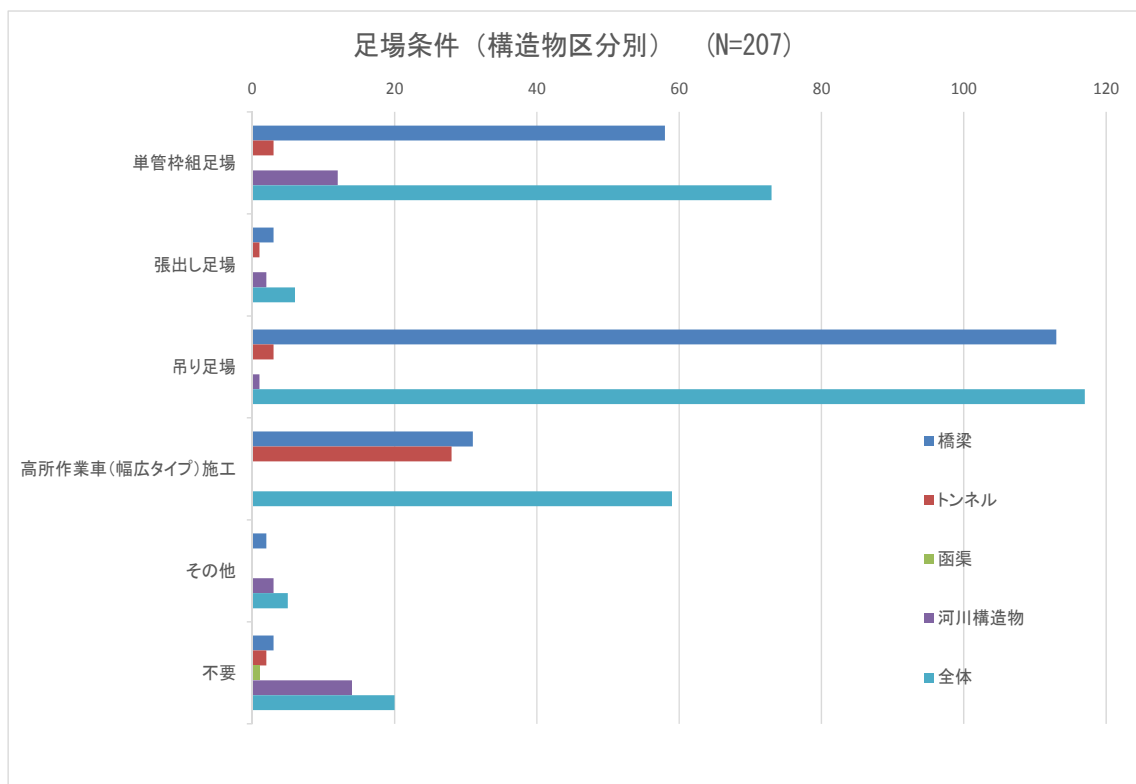


図 2.2.1-18 足場条件（構造物区分別）

表 2.2.1-31 足場条件（構造物区分別）

	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体	橋梁工事	トンネル工事	函渠工事	河川構造物工事	全 体
単管枠組足場	58	3	0	12	73	40.0%	8.8%	0.0%	44%	35.3%
張出し足場	3	1	0	2	6	2.1%	2.9%	0.0%	7%	2.9%
吊り足場	113	3	0	1	117	77.9%	8.8%	0.0%	4%	56.5%
高所作業車(幅広タイプ)施工	31	28	0	0	59	21.4%	82.4%	0.0%	0%	28.5%
その他	2	0	0	3	5	1.4%	0.0%	0.0%	11%	2.4%
不要	3	2	1	14	20	2.1%	5.9%	100.0%	52%	9.7%
回答数	145	34	1	27	207					

表 2.2.1-32 その他足場条件（構造物区分別）

- ・ 高所作業車、橋梁点検車（3 件－河川構造物）
- ・ 橋梁点検車（歩廊式）（1 件－橋梁）
- ・ 移動昇降式足場（1 式－橋梁）

5) 構造物の諸元

ア. 橋梁

・完成年度

完成年度は 1970 年代が最も多く、次いで 1960 年代、1980 年代などとなっている。（上下線で完成年度が異なる橋梁があり、回答総数は 146 となっている。）

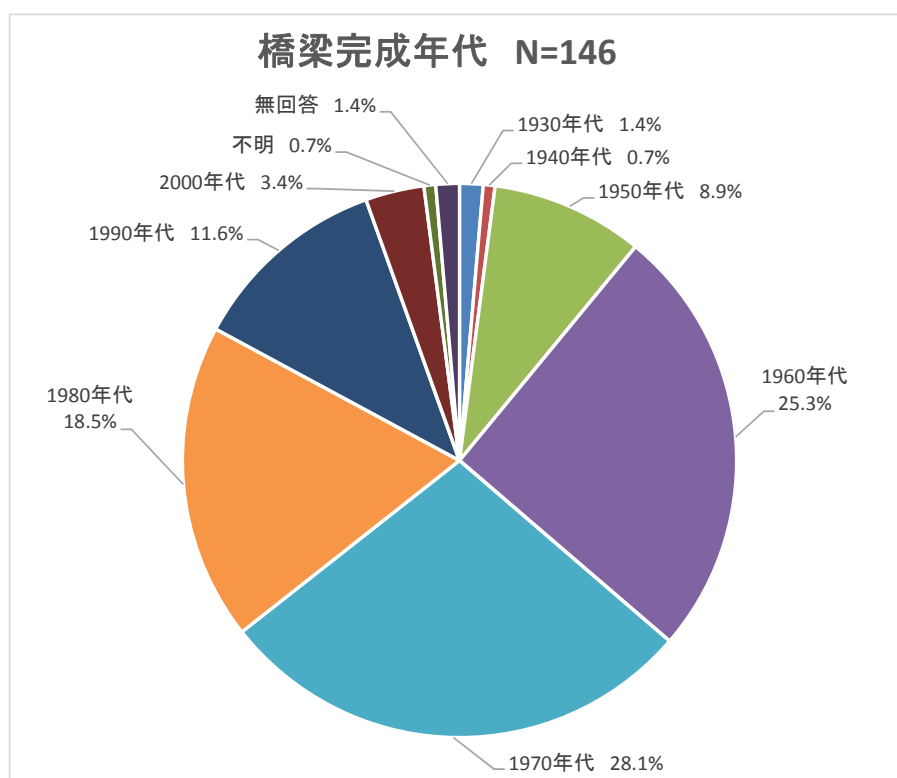


図 2. 2. 1-19 橋梁完成年代

表 2. 2. 1-33 橋梁の完成年代

年代	橋梁数	構成比
1930年代	2	1.4%
1940年代	1	0.7%
1950年代	13	8.9%
1960年代	37	25.3%
1970年代	41	28.1%
1980年代	27	18.5%
1990年代	17	11.6%
2000年代	5	3.4%
不明	1	0.7%
無回答	2	1.4%
計	146	100.0%

- ・橋種

鋼橋が最も多く、PC 橋、RC 橋の順であった。

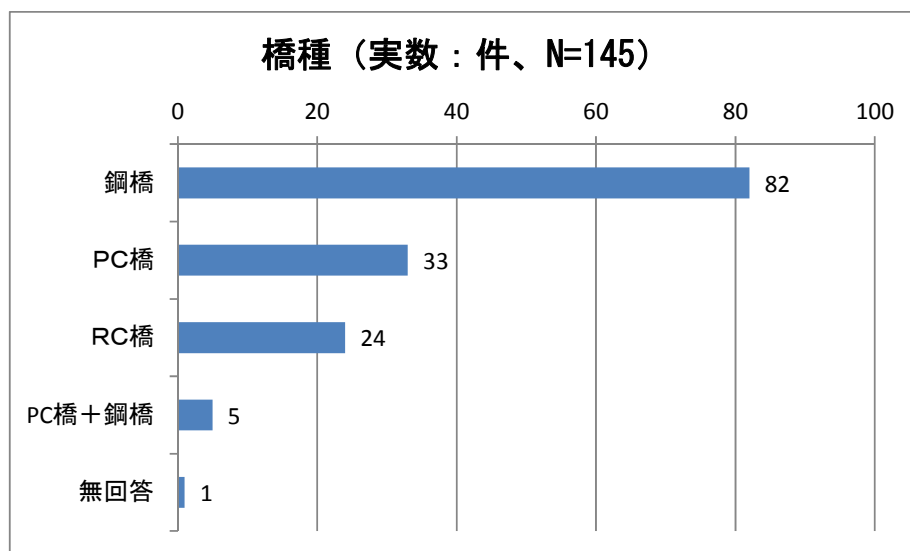


図 2. 2. 1-20 橋種

- ・橋梁形式

橋梁形式は大半が桁橋あった。

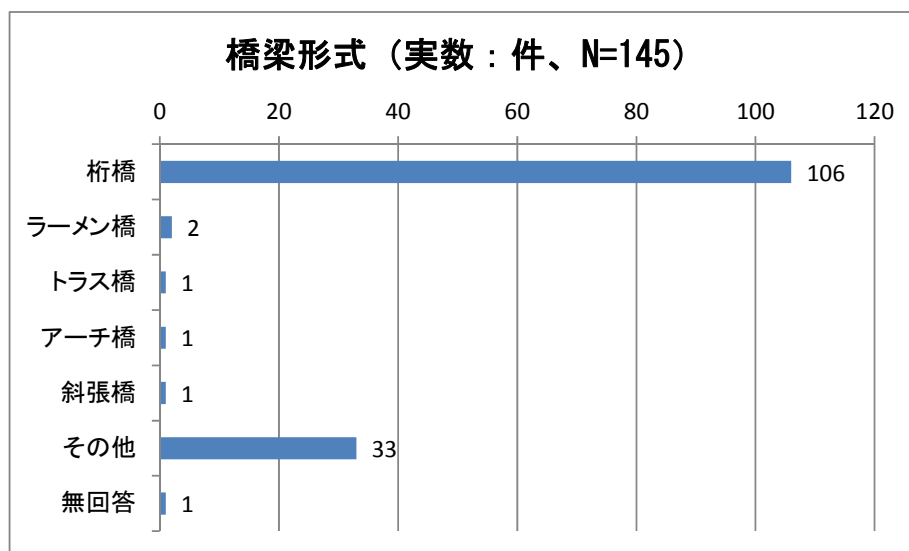


図 2. 2. 1-21 橋梁形式

その他の欄に詳細な記載があるものがあり、アーチ橋には「ランガー橋」、トラス橋には「単純鋼鈑桁＋2 径間連続ワーレントラス＋単純鋼鈑桁」と記載がある。桁橋には 10 件について追記があり、以下の通りであった。

表 2.2.1-34 橋梁における追記

・ I 桁橋：3 件	／・ I 桁（合成）：2 件	／・ PC 箱桁：1 件
・ トラス径間もあり：1 件	／・ 単純非合成桁橋、4 径間連続非合成桁橋：1 件	
・ 箱桁：1 件	／・ 拡幅部も桁橋：1 件	

その他では「横断歩道橋」、「単純桁」等であった。

表 2.2.1-35 橋梁形式その他

・ 横断歩道橋：8 件
・ 単純桁：6 件
・ その他：19 件

・ 床版

床版は「RC 床版」が最も多く、次いで「鋼床版」、「合成床版」、「PC 床版」等であった。なお「鋼床版」のうち、8 件は「横断歩道橋」と追記されていた。

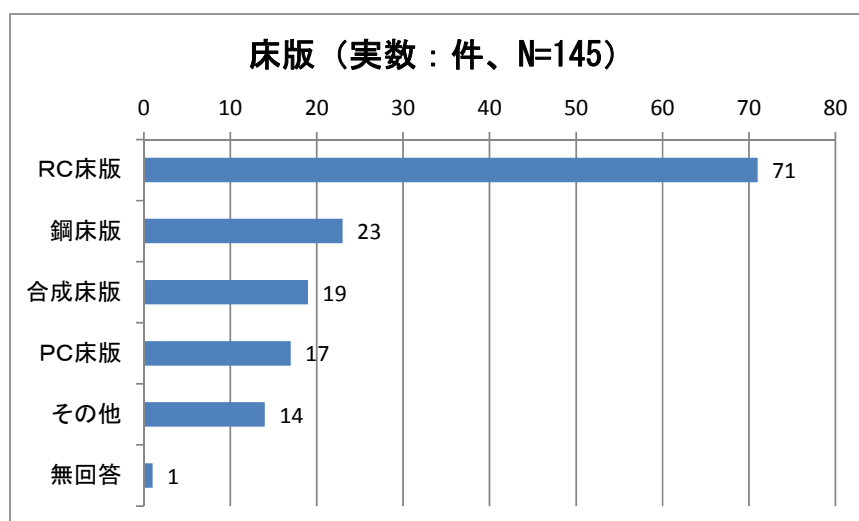


図 2.2.1-22 床版

- ・ 下部工

下部工は大半が「RC」であり、鋼製のうち8件は「横断歩道橋」であった。

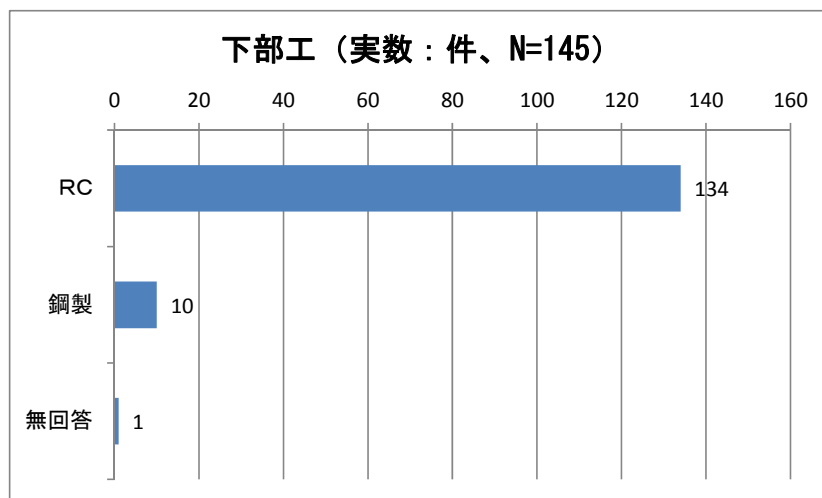


図 2. 2. 1-23 下部工

イ．トンネル

- ・ 完成年度

完成年度は 1960 年代が最も多く、次いで 1970 年代、1990 年代等であった。

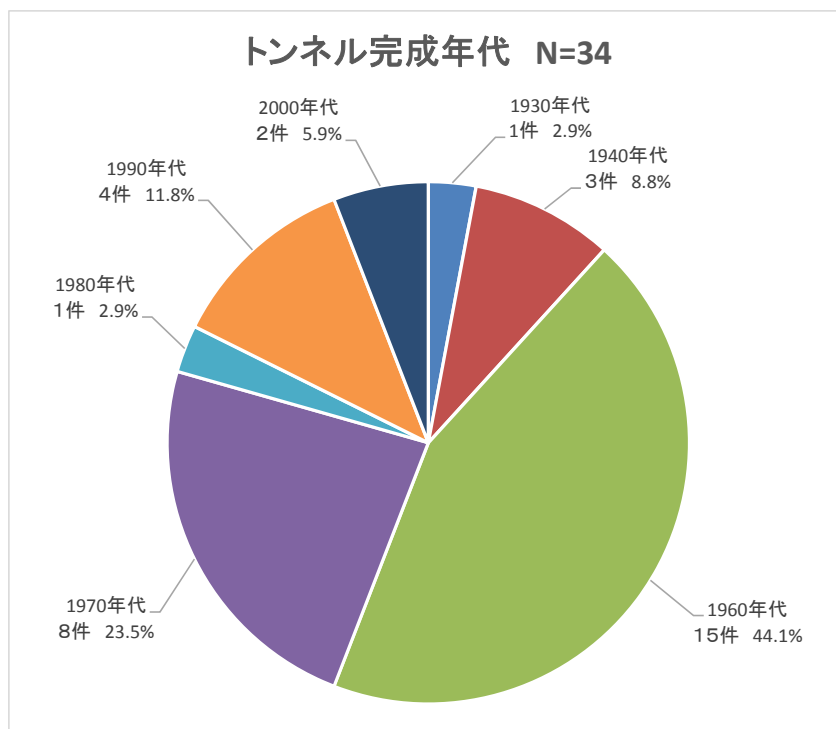


図 2. 2. 1-24 トンネル完成年代

表 2.2.1-36 トンネル完成年代

完成年代	トンネル数	構成比
1930年代	1	2.9%
1950年代	3	8.8%
1960年代	15	44.1%
1970年代	8	23.5%
1980年代	1	2.9%
1990年代	4	11.8%
2000年代	2	5.9%
計	34	100.0%

・分類

「山岳トンネル」が32件、「開削トンネル」が2件であった。

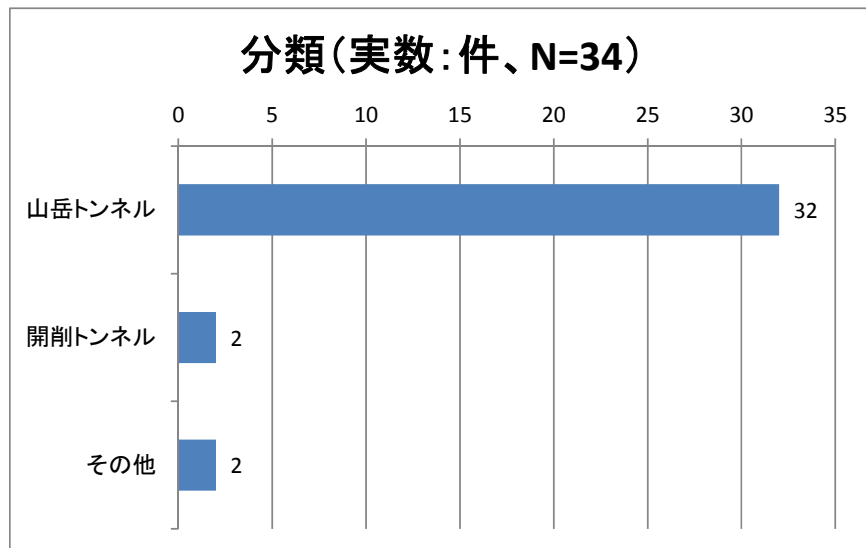


図 2.2.1-25 分類

※その他 2 件は、陸上トンネル掘進工法

・湧水有無

湧水の有無は「湧水なし」が 22 件、「限定湧水あり」が 10 件、「連続湧水あり」が 6 件であった。

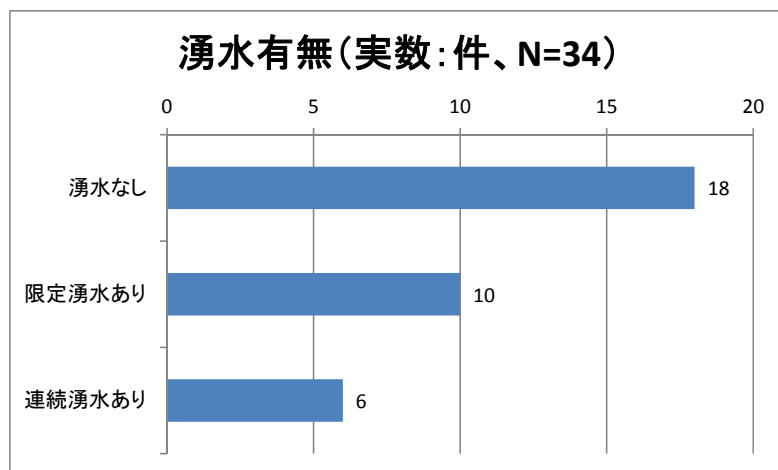


図 2. 2. 1-26 湧水有無

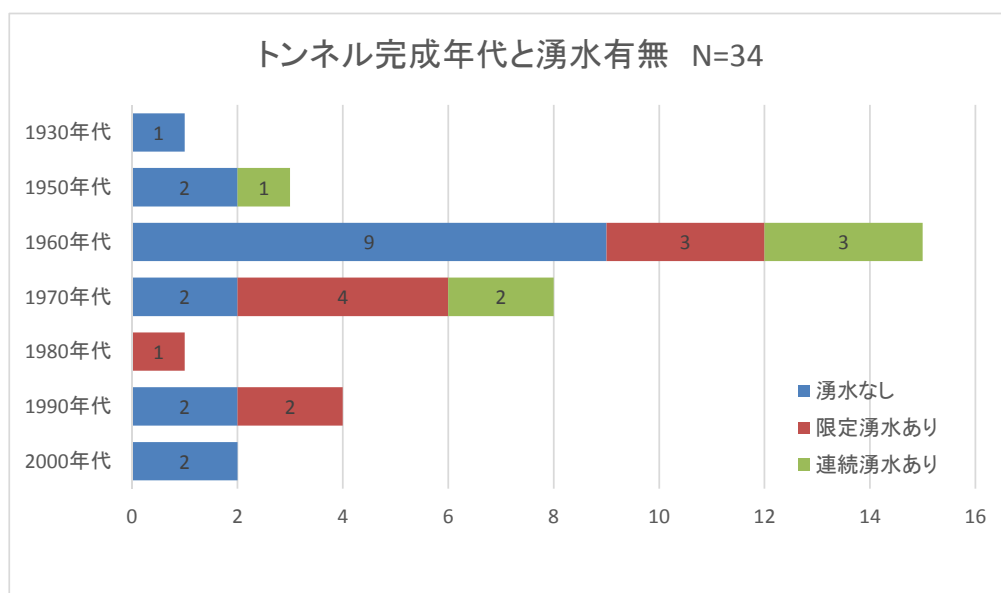


図 2. 2. 1-27 トンネルの完成年代と湧水有無

表 2. 2. 1-37 トンネルの完成年代と湧水有無

	湧水なし	限定湧水あり	連続湧水あり	総計
2000年代	2			2
1990年代	2	2		4
1980年代		1		1
1970年代	2	4	2	8
1960年代	9	3	3	15
1950年代	2		1	3
1930年代	1			1
総計	18	10	6	34

- ・内装種類

内装種類は「内装パネル」10 件、「塗装」6 件等となっている。「その他」は「覆工コンクリート」1 件、残り 15 件は「内装なし」であった。

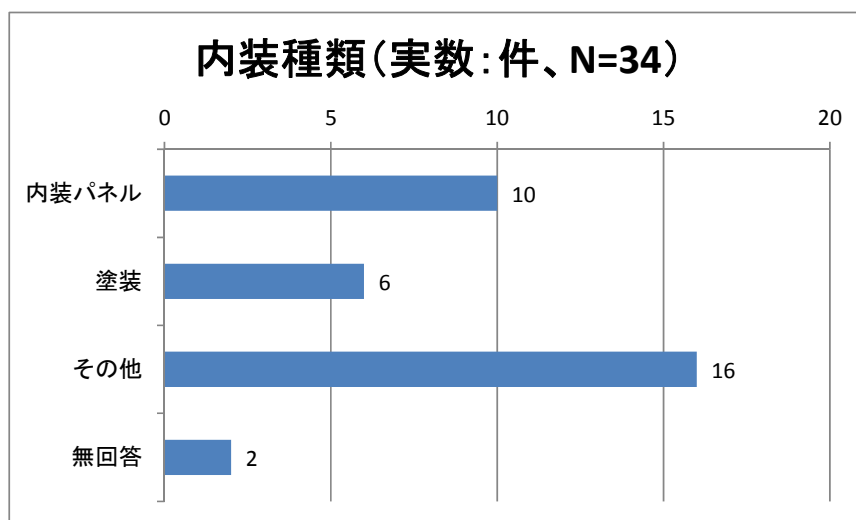


図 2.2.1-28 内装種類

- ・トンネル延長による区分

トンネル延長は、大きく 4 つに区分されるが今回の調査では、500m 未満の「短い」が 20 箇所、 $500\text{m} \leq W < 3,000\text{m}$ の「中程度」が 10 箇所という結果であった。

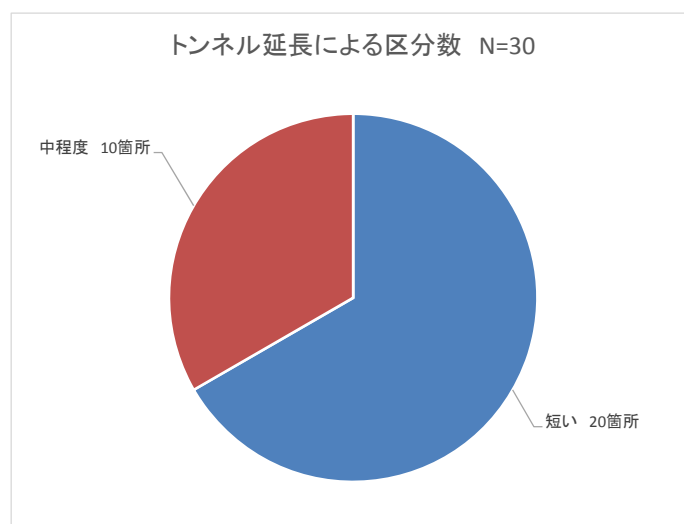


図 2.2.1-29 トンネル延長による区分数（対象は山岳トンネル N=30）

- ・断面積による区分

断面積は、大きく 4 つに区分されるが今回の調査では、 $10\text{m}^2 \leq W < 30\text{m}^2$ の「中断面」が 27 箇所、 $30\text{m}^2 \leq W < 100\text{m}^2$ の「大断面」が 1 箇所という結果であった。なお、「不明」と未記入が 2 件含まれていた。

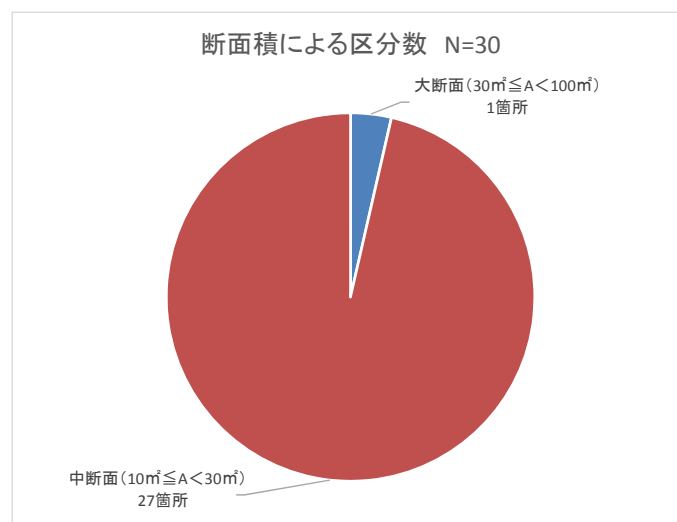


図 2.2.1-30 断面積による区分数（対象は山岳トンネル N=30）

- ・道路幅員による区分

トンネル規格には、道路幅員による明確な区分が無いため、諸元に記載された道路幅員について、「 5.5m 未満」、「 $5.5\text{m} \leq W < 9\text{m}$ 」、「 9m 以上」に区分した。

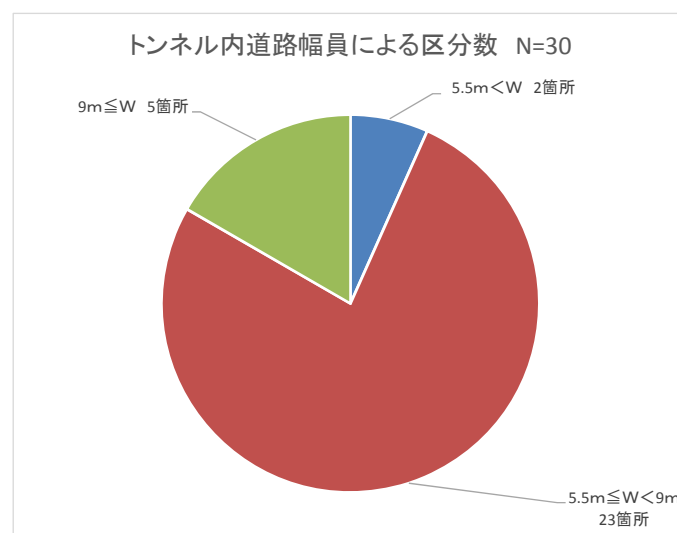


図 2.2.1-31 断面積による区分数（対象は山岳トンネル N=30）

ウ. 函渠

函渠工事は 1 件のみであり、諸元は以下のとおりである。

表 2.2.1-38 函渠工事

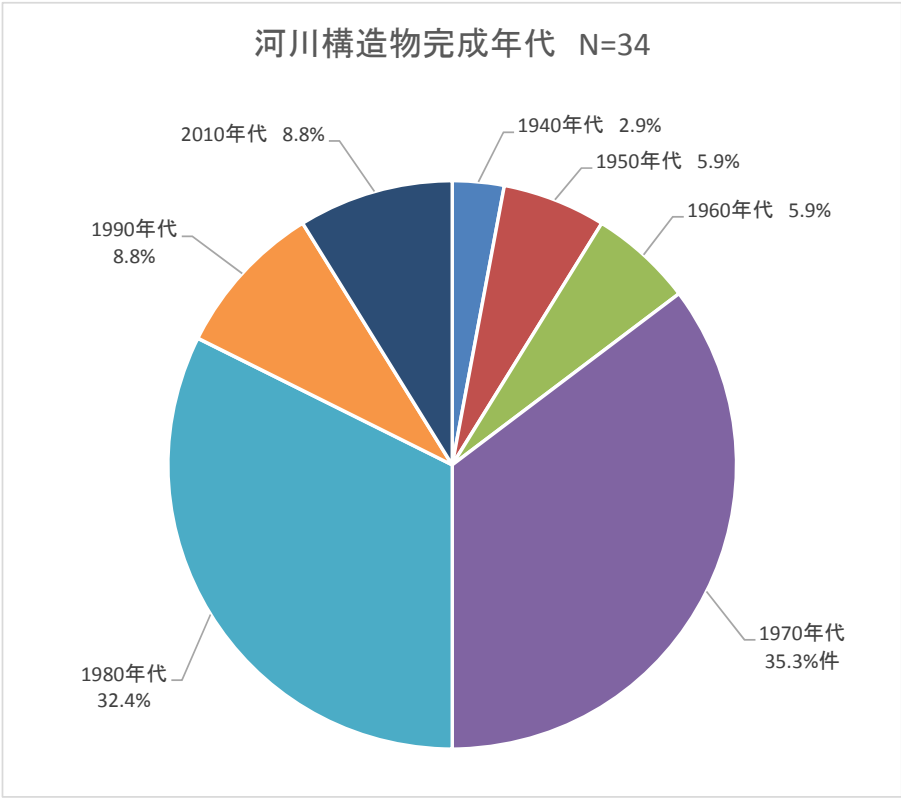
完成年度：2003 年
材質：RC
構造：ボックスカルバート
目的：水路用
土被り：不明
断面（内幅）：1.8
断面（内高）：1.8
既設構造物撤去：なし
水替有無：あり

エ. 河川構造物工事

・ 完成年度

完成年度は 1970 年代、1980 年代が最も多い。

(複数の完成年度を含む構造物があり、回答数 27 件に対し合計は 7 件多くなっている。)



※回収アンケート数は 27 件、構造物概要で名称、完成年代が確認できるため 34 件での表示とした。

図 2.2.1-32 河川構造物完成年代

表 2.2.1-39 河川構造物完成年代

完成年代	構造物件数	構成比
1940年代	1	2.9%
1950年代	2	5.9%
1960年代	2	5.9%
1970年代	12	35.3%
1980年代	11	32.4%
1990年代	3	8.8%
2010年代	3	8.8%
計	34	100.0%

・ 函体構造

函体構造は 20 件が「RC 構造」、他は「なし」だった。

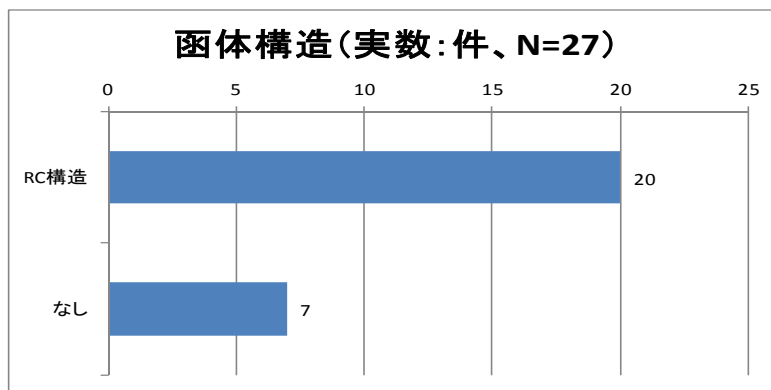


図 2.2.1-33 函体構造

・ 施工部位

施工部位については複数回答で 44 件の回答があった。

「躯体」がおよそ 4 割、「堰柱・門柱」がおよそ 2 割等だった。

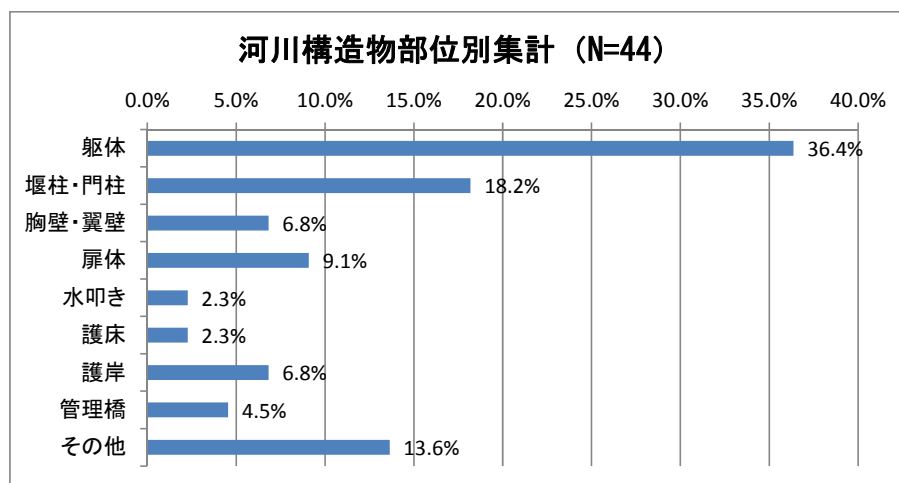


図 2.2.1-34 河川構造物部位別集計

表 2.2.1-40 河川構造物部位別集計

河川構造物工事対象部位	回答数	構成比
躯体	16	36.4%
堰柱・門柱	8	18.2%
胸壁・翼壁	3	6.8%
扉体	4	9.1%
水叩き	1	2.3%
護床	1	2.3%
護岸	3	6.8%
管理橋	2	4.5%
その他	6	13.6%
計	44	100.0%

6) 工事概要アンケートのまとめ

ア. 施工条件のまとめ

・施工時間帯

函渠工事及び河川構造物工事では時間帯指定なし又は通常昼間施工であるが、橋梁工事及びトンネル工事では通常昼間施工の時間帯指定ありが、それぞれ 63%、56% だった。

・現場条件

63%の工事で施工箇所が点在し、34%の工事は施工数量の少ない小規模工事であった。施工箇所点在は橋梁工事、トンネル工事に多く、小規模工事は橋梁工事、河川構造物工事に多かった。

・作業条件

65%の工事で交通規制があり、30%の工事は作業空間狭小となっていた。交通規制ありは橋梁工事、トンネル工事に多く、作業空間狭小は橋梁工事に多かった。

・環境条件

郊外の工事が 56%を占めている。橋梁工事は、市街地、郊外、山間部、河川、郊外とすべての環境条件で多く、トンネル工事は郊外、山間地に多かった。

・足場条件

足場は橋梁工事、トンネル工事に多い。橋梁工事では吊り足場、単管枠組足場、高所作業車施工の順に多く、トンネル工事は高所作業車施工が多かった。

イ. 構造部の諸元

・橋梁

1950 年代までに完成した橋梁が 11%を占め、1960 年代完成は 25%、1970 年代完成は 28%、1980 年代完成は 19%を占める。橋種では鋼橋が 6 割近くを占め、次いで PC 橋、RC 橋であった。

・トンネル

1950 年代まで完成したトンネルは 12%、1960 年代完成は 44%、1970 年代完成は 24%を占める。古いトンネルほど連続湧水を伴う傾向がある。

・函渠

函渠は 1 件だけであり、水路用ボックスカルバート□1.8m×1.8m であった。

・河川構造物

1960 年代までに完成した河川構造物が 15%を占め、1970 年代完成は 35%、80 年代完成は 32%を占めていた。施工部位では躯体が 1/3 強を占め、次いで堰柱・門柱、扉体が多かった。

(3) 収集した資料の一覧

収集した工事関係の資料の内訳を表 2.2.1-41 に示す。

表 2.2.1-41 見積り資料一覧 1 / 3

番号	整備局名	事務所名	工事名	対象構造物 区分	施設数	図面 数	特記 仕様書	公表 歩掛	見積依頼 見積説明書	見積書 (社数)	見積 比較	その他	備考
1	北海道開発局	札幌開発建設部	岩見沢河川事務所	石狩川応急対策工事の内 伊藤樋門外吐口改良工事	河川構造物	1	-	-	-	1	-	○	
2	北海道開発局	札幌開発建設部	江別河川事務所	石狩川維持工事の内 江別河川事務所管内樋門管補修工事	河川構造物	4	○	-	-	-	4	○	
3	北海道開発局	札幌開発建設部	千歳川河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物	1	-	-	-	○	1	○	
4	北海道開発局	札幌開発建設部	深川道路事務所	一般国道275号 北竜町 碧水防雪構築外・連工事	橋梁	1	○	-	-	○	2	○	
5	北海道開発局	札幌開発建設部	滝川道路事務所	一般国道12号 砂川市 空知太地区橋梁防護欄補修外・連工事	橋梁	1	○	-	-	-	1	○	
6	北海道開発局	札幌開発建設部	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 三タトンネル補修外・連工事	トンネル	1	○	-	-	○	8	○	
7	北海道開発局	札幌開発建設部	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央区橋梁防護欄補修外・連工事	橋梁	4	○	-	-	-	1	-	
8	北海道開発局	函館開発建設部	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外・連工事	橋梁	3	-	-	-	-	2	○	
9	北海道開発局	函館開発建設部	八雲道路事務所	国道229号 せたな町 茂津多トンネル補修工事	トンネル	1	-	-	-	-	1	-	
10	北海道開発局	函館開発建設部	江差道路事務所	一般国道228号 江差町 蝦川橋補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	1	-	
11	北海道開発局	小樽開発建設部	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	1	-	-	-	-	9	-	○
12	北海道開発局	小樽開発建設部	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外・連工事	橋梁	1	-	-	-	-	4	-	○
13	北海道開発局	旭川開発建設部	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外・連工事	トンネル	1	-	-	-	○	1	-	○
14	北海道開発局	室蘭開発建設部	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外・連工事	橋梁	1	○	-	-	○	-	-	
15	北海道開発局	室蘭開発建設部	室蘭事務所	一般国道36号 室蘭市 御崎 高架橋東補修工事	橋梁	2	○	-	-	○	1	-	○
16	北海道開発局	室蘭開発建設部	浦河道路事務所	一般国道235号 新ひだか町 静内橋補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	1	-	○
17	北海道開発局	釧路開発建設部	釧路事務所	一般国道38号 釧路市 釧路大橋補修外・連工事	橋梁	1	○	-	-	-	1	-	○
18	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾崎橋補修外・連工事	橋梁	3	-	-	-	-	3	○	-
19	北海道開発局	釧路開発建設部	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢別橋耐震補強工事	橋梁	1	-	-	-	-	3	○	-
20	北海道開発局	釧路開発建設部	弟子屈道路事務所	一般国道243号 弟子屈町 島尻橋補修外・連工事	橋梁	1	○	-	-	-	1	-	○
21	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁	1	-	-	-	-	1	-	○
22	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外・連工事	橋梁	1	-	-	-	-	1	-	○
23	北海道開発局	釧路開発建設部	中標津道路事務所	一般国道335号 羅臼町 湯元橋耐震補強外・連工事	橋梁	1	-	-	-	-	1	-	○
24	北海道開発局	帯広開発建設部	帯広河川事務所	十勝川維持工事の内 十勝川護岸補修外工事	河川構造物	1	○	-	-	○	8	○	○
25	北海道開発局	帯広道路事務所	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁	1	○	-	-	-	9	○	-
26	北海道開発局	帯広開発建設部	広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外・連工事	橋梁	1	-	-	-	○	7	○	○
27	北海道開発局	帯広開発建設部	足寄道路事務所	一般国道242号 池田町 高島橋耐震補強工事	橋梁	1	○	-	-	-	8	○	○
28	北海道開発局	網走開発建設部	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物	1	○	-	-	○	3	○	○
29	北海道開発局	網走開発建設部	北見道路事務所	北見道路事務所管内 橋梁補修外・連工事	橋梁	1	-	-	○	-	-	○	
30	北海道開発局	網走開発建設部	網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	1	-	-	○	-	-	○	○
31	北海道開発局	網走開発建設部	興部道路事務所	一般国道273号 紋別市 柳生橋補修外・連工事	橋梁	1	-	-	○	-	-	○	
32	北海道開発局	網走開発建設部	遠軽開発事務所	一般国道238号 湧別町 湧別大橋耐震補強工事	橋梁	1	-	-	○	-	-	○	
33	北海道開発局	留萌開発建設部	留萌道路事務所	一般国道232号 遠軽町 遠別橋補修工事	橋梁	1	-	-	○	-	-	○	
34	北海道開発局	留萌開発建設部	留萌事務所	一般国道231号 増毛町 大別河トンネル補修外・連工事	トンネル	1	○	-	○	-	-	○	
35	東北地方整備局	岩手河川国道事務所		水沢国道管内橋梁補修工事	橋梁	1	○	-	-	○	6	○	-
36	東北地方整備局	郡山国道事務所		郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	2	○	○	-	○	6	○	○
37	東北地方整備局	三陸国道事務所		立根大橋外補強工事	橋梁	3	○	○	-	○	4	-	○
38	東北地方整備局	山形河川国道事務所		蔵王大橋他橋梁補修工事	橋梁	1	○	○	-	○	1	-	-
39	東北地方整備局	酒田河川国道事務所		平成25年度 新大田橋補修工事	橋梁	1	○	-	-	○	8	-	-
40	東北地方整備局	青森河川国道事務所		弘前国道維持補修工事	橋梁	1	○	-	-	-	3	-	-

表 2.2.1-41 見積り資料一覧 2 / 3

番号	整備局名	事務所名	工事名	対象構造物 区分	施設数	図面	数量 総括表	特記 仕様書	公表 歩掛	見積依頼 見積説明書	見積書 (社数)	見積 比較	その他	備考
41	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
42	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁	0	0	0	-	-	-	1	-	○	工事概要アット無し
43	東北地方整備局	北上川下流河川事務所	北上川下流米谷管内維持工事	河川構造物	1	0	-	-	-	-	3	○	-	
44	関東地方整備局	宇都宮河川事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁	3	0	-	○	-	○	6	○	○	
45	北陸地方整備局	新潟国道事務所	上ノ沢橋耐震補強工事	橋梁	1	0	0	○	○	○	1	-	○	
46	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁	1	-	-	-	-	-	1	-	○	
47	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物	2	0	0	-	-	-	1	-	○	
48	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物	1	0	0	-	-	-	1	-	○	
49	中部地方整備局	多治見砂防国道事務所	平成25年度隣母大橋補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	見積資料無し
50	中部地方整備局	飯田事務所	平成25年度 鳥居トンネル補修工事	トンネル	1	-	-	-	-	-	-	-	-	見積資料無し
51	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度 揖斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	1	0	0	○	○	○	6	○	○	
52	近畿地方整備局	淀川河川事務所	毛馬管内維持補修工事	河川構造物	1	-	-	-	-	○	-	-	-	
53	近畿地方整備局	九頭竜川ダム統合管理事務所	九頭竜ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物	1	-	-	-	-	○	-	-	-	
54	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号他道路補修工事	橋梁	1	-	-	-	○	-	-	-	-	
55	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	○	-	-	-	
56	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道26号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁	1	-	-	-	○	-	-	-	-	
57	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	1	-	-	-	○	-	-	-	-	
58	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁	1	0	0	○	-	○	-	-	○	
59	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル	1	-	-	-	-	○	-	-	-	
60	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	○	-	-	-	
61	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁	1	-	-	-	○	○	-	-	-	
62	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物	1	-	-	-	○	○	-	-	-	
63	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号補強維持補修工事	橋梁	20	0	0	○	○	-	-	-	-	
64	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル	3	-	-	-	○	○	-	-	-	
65	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁	22	-	-	-	○	○	-	-	-	
66	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル	5	-	-	-	-	○	-	-	-	
67	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道42号紀南管内トンネル補修工事	トンネル	5	-	-	-	○	○	-	-	-	
68	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物	1	0	-	-	○	○	4	○	-	
69	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物	1	-	-	-	○	○	3	○	-	
70	中国地方整備局	太田川河川事務所	小瀬川維持工事	河川構造物	1	0	-	-	-	○	5	○	-	
71	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物	1	0	-	○	-	○	4	○	○	
72	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	3	0	-	-	-	○	4	○	-	
73	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	トンネル	1	-	-	-	○	○	-	-	-	
74	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道64号三次管内橋梁補修工事	橋梁	6	-	-	-	-	○	4	○	-	
75	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	1	0	-	-	-	○	3	○	-	
76	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新築田橋耐震補強補修工事	トンネル	1	0	-	○	-	○	5	○	-	
77	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	橋梁	1	0	-	-	-	○	3	○	-	
78	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	1	0	-	-	○	○	1	-	-	

表 2.2.1-41 見積り資料一覧 3 / 3

番号	整備局名	事務所名	工事名	対象構造物 区分	施設数	図面	数量 総括表	特記 仕様書	公表 歩掛	見積依頼 見積説明書	見積書 (社数)	見積 比較	その他	備考
79	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル	1	-	-	-	-	○	4	○	-	
80	中国地方整備局	土佐国道事務所	平成25年度 南国管内橋梁補修工事	橋梁	4	○	○	○	○	○	4	○	-	
81	四国地方整備局	土佐国道事務所	平成25年度 奈半利管内橋梁補修工事	橋梁	2	○	○	○	○	○	5	○	-	
82	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	平成25年度 北只橋耐震補強工事	橋梁	1	○	○	○	○	○	3	○	-	
83	四国地方整備局	香川河川国道事務所	平成25年度 香川管内トンネル補修工事	トンネル	7	○	○	○	○	○	4	○	-	
84	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	平成25年度 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	9	○	○	○	○	○	1	-	○	
85	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事	橋梁	1	○	○	○	-	○	8	-	-	
86	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋(A1～P1・A2)耐震補強外工事	橋梁	1	○	-	-	○	○	7	○	-	
87	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大渡樋管外2件補修工事	河川構造物	4	○	○	○	-	-	1	-	-	
88	九州地方整備局	佐賀国道事務所事務所	嘉瀬橋(起点高架)(下り)耐震補強工事	橋梁	1	○	○	○	-	-	10	-	-	
89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	1	○	○	○	-	○	8	-	-	
90	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁	1	-	-	-	-	○	5	-	○	
91	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物	1	○	-	-	-	○	3	-	-	
92	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々額トンネル補修(2期)工事	トンネル	1	○	○	○	-	○	1	-	-	
93	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁	1	○	-	-	-	○	6	-	-	
94	九州地方整備局	八代河川国道事務所	球磨川下流地区根固製作その他工事	河川構造物	1	○	-	-	-	-	3	-	-	
95	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	1	○	○	○	○	○	3	○	○	
96	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号真船橋外6橋橋梁補修工事	橋梁	1	○	-	-	-	○	-	○	○	
97	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成25年度中山防災対策その他工事	函渠	1	○	○	○	○	-	-	-	-	
98	沖縄総合事務局	北部国道事務所	平成25年度北部国道管内橋梁補修(その5)工事	橋梁	3	○	-	○	○	○	13	○	-	
			全 98工事	101	207									

(4) 見積り資料の工事工種体系の整理

見積り資料の 98 工事での細別数は 1097 件であった。

地方整備局別・構造物区分別の内訳を以下表 2.2.1-42 に示す。

また、見積り資料の工事ごとの細別数を表 2.2.1-43～表 2.2.1-46 に示す。

表 2.2.1-42 見積り資料の細別数の内訳

地方整備局名	橋梁	トンネル	函渠	河川構造物	合 計
北海道開発局	155	26		17	198
東北地方整備局	42			5	47
関東地方整備局	13				13
北陸地方整備局	13			12	25
中部地方整備局				22	22
近畿地方整備局	235	56		21	312
中国地方整備局	95	32		53	180
四国地方整備局	69	10			79
九州地方整備局	157	25		24	206
沖縄総合事務局	2		13		15
合 計	781	149	13	154	1097

1) 構造物区分別に見た細別の内訳
ア. 橋梁

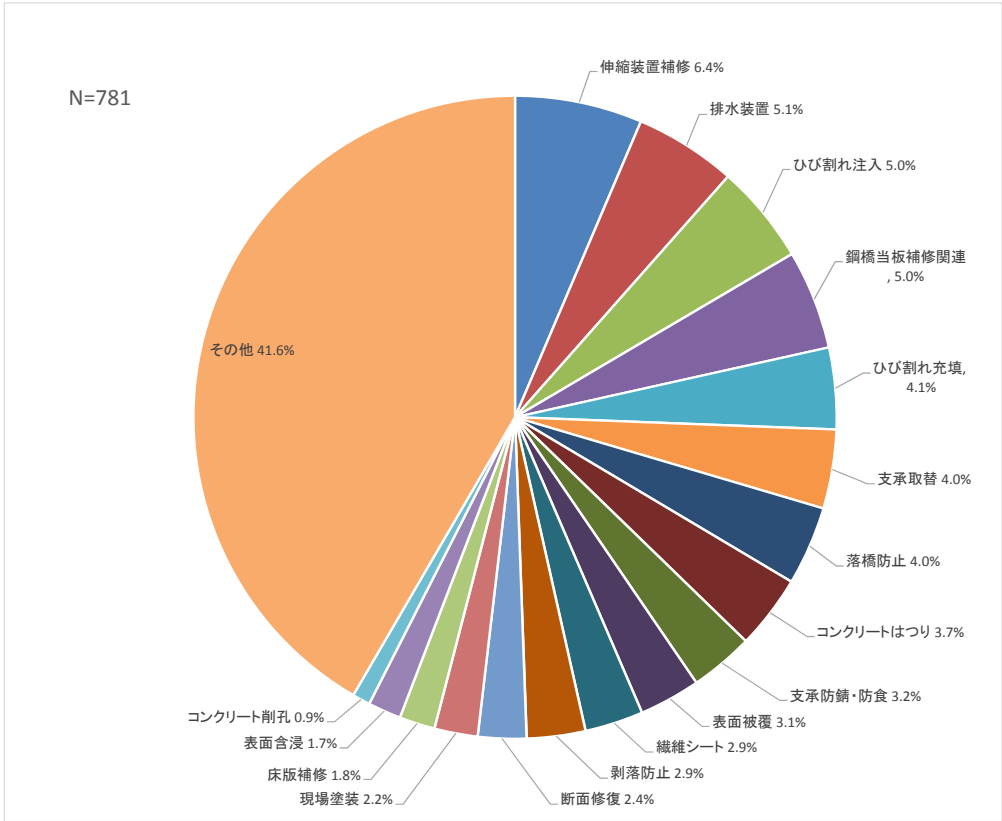


図 2. 2. 1-35 見積り資料の細別の内訳（橋梁）

表 2. 2. 1-43 見積り資料の細別の内訳（橋梁）

見積り資料からは、橋梁工事は62件であり、細別数は781細別であった。

橋梁工事では、伸縮装置の補修が多く50細別、ひび割れ注入とひび割れ充填を合計すると71細別となり、構成比も10%程度を占めていた。

番号	細別名称	細別数	構成比
1	伸縮装置補修	50	6.4%
2	排水装置	40	5.1%
2	ひび割れ注入	39	5.0%
4	鋼橋当板補修関連	39	5.0%
5	ひび割れ充填	32	4.1%
6	支承取替	31	4.0%
7	落橋防止	31	4.0%
8	コンクリートはつり	29	3.7%
9	支承防錆・防食	25	3.2%
10	表面被覆	24	3.1%
11	繊維シート	23	2.9%
12	剥落防止	23	2.9%
13	断面修復	19	2.4%
14	現場塗装	17	2.2%
15	床版補修	14	1.8%
16	表面含浸	13	1.7%
17	コンクリート削孔	7	0.9%
18	その他	325	41.6%
	合 計	781	

イ. トンネル

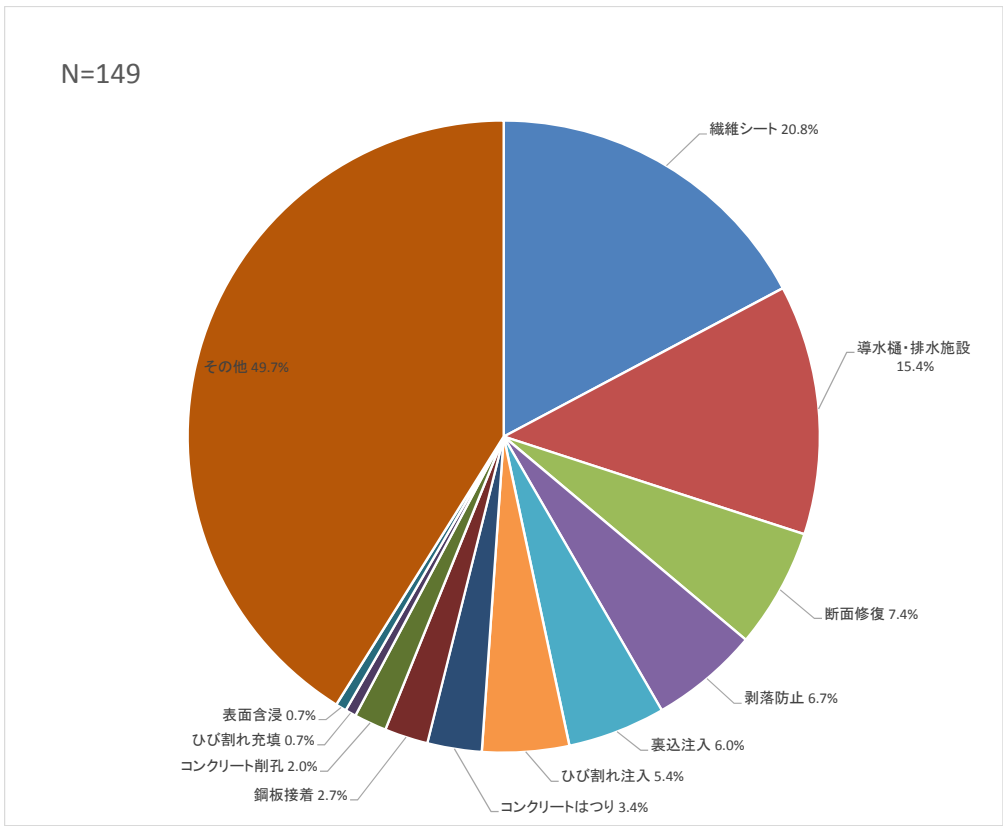


図 2. 2. 1-36 見積り資料の細別の内訳（トンネル）

表 2. 2. 1-44 見積り資料の細別の内訳（トンネル）

見積り資料からは、トンネル工事は 15 工事であり、細別数は 149 細別であった。

トンネル工事では、繊維シート関連の細別が多く、炭素繊維シートと合わせると構成比が 20%を超えていた。次いで、湧水等の処理を行う導水樋や排水施設の細別が多かった。

番号	細別名称	細別数	構成比
1	繊維シート	31	20.8%
2	導水樋・排水施設	23	15.4%
3	断面修復	11	7.4%
4	剥落防止	10	6.7%
5	裏込注入	9	6.0%
6	ひび割れ注入	8	5.4%
7	コンクリートはつり	5	3.4%
8	鋼板接着	4	2.7%
9	コンクリート削孔	3	2.0%
10	ひび割れ充填	1	0.7%
11	表面含浸	1	0.7%
12	その他	74	49.7%
合 計		149	

ウ．函渠

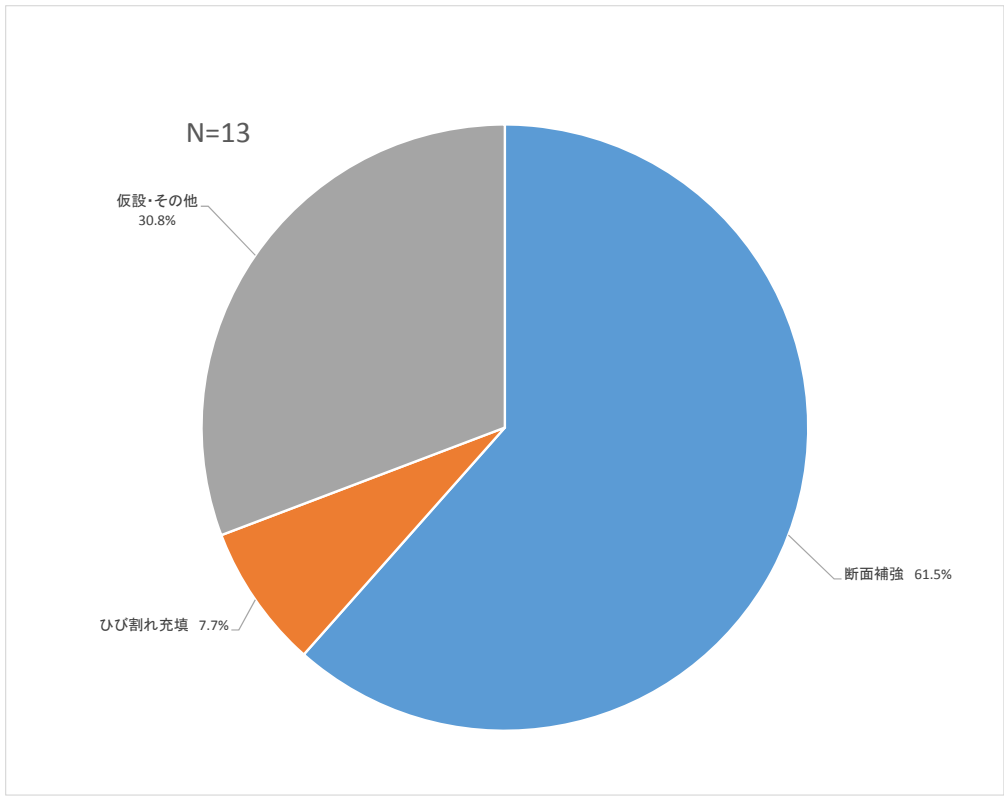


図 2.2.1-37 見積り資料の細別の内訳（函渠）

表 2.2.1-45 見積り資料の細別の内訳（函渠）

見積り資料からは、函渠工事は 1 工事で、細別数は 13 細別であった。内訳は、断面補強が 8 細別と最も多く、ひび割れ充填が 1 細別であった。

番号	細別名称	細別数	構成比
1	断面補強	8	61.5%
2	ひび割れ充填	1	7.7%
3	仮設・その他	4	30.8%
	合 計	13	

エ. 河川構造物

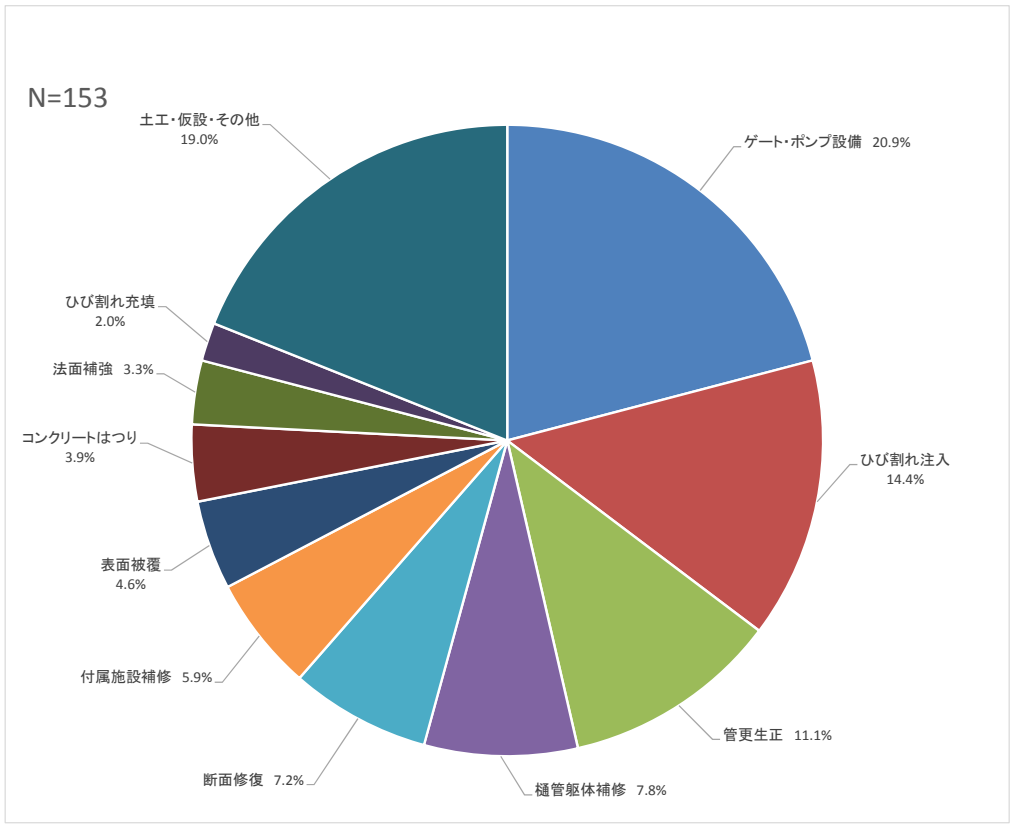


図 2. 2. 1-38 見積り資料の細別の内訳（河川構造物）

表 2. 2. 1-46 見積り資料の細別の内訳（河川構造物）

見積り資料からは、27 工事で、細別数は 154 細別であった。

内訳は、ゲートやポンプなどの設備機器に関する見積りが最も多く、33 細別となっている。次いでひび割れ注入、管渠更生となり、河川・水関連の細別数が多くなっている。

番号	細別名称	細別数	構成比
1	ゲート、ポンプ等設備	32	20.9%
2	ひび割れ注入	22	14.4%
3	管渠更正	17	11.1%
4	樋管等躯体補修	12	7.8%
5	断面修復	11	7.2%
6	付属施設補修	9	5.9%
7	表面被覆	7	4.6%
8	はつり	6	3.9%
9	法面補強	5	3.3%
10	ひび割れ充填	3	2.0%
11	土工、仮設、その他	29	19.0%
	合 計	153	

(5) レベル階層（レベル1～4）

見積り資料のレベル階層（レベル1～4）の一覧を表2.2.1-47に示す。

表2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 1 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工程 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
1	81	北海道開発局	岩見沢河川事務所	石狩川応急対策工事の内 伊藤樋門外吐口改良工事	河川構造物			断面補修工	防水工：瀝青シート
2	81	北海道開発局	岩見沢河川事務所	石狩川応急対策工事の内 伊藤樋門外吐口改良工事	河川構造物			断面補修工	ひび割れ充填工
3	81	北海道開発局	江別河川事務所	石狩川維持工事の内 江別河川事務所管内樋門管補修工事	河川構造物				可撓継手設置工
4	81	北海道開発局	江別河川事務所	石狩川維持工事の内 江別河川事務所管内樋門管補修工事	河川構造物				既設継手撤去工
5	81	北海道開発局	江別河川事務所	石狩川維持工事の内 江別河川事務所管内樋門管補修工事	河川構造物				取付面修正工
6	81	北海道開発局	千歳川河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物			断面修復工	下地処理
7	81	北海道開発局	千歳川河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物			断面修復工	断面修復
8	81	北海道開発局	千歳川河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物			断面修復工	断面修復
9	81	北海道開発局	千歳川河川事務所	石狩川改修工事の内 旧夕張川左岸築堤工事	河川構造物			断面修復工	漏水補修工
10	81	北海道開発局	深川道路事務所	一般国道275号 北竜町 碧水防雪柵設置外一連工事	橋梁				コンクリートはつり
11	81	北海道開発局	深川道路事務所	一般国道275号 北竜町 碧水防雪柵設置外一連工事	橋梁				コンクリートはつり
12	81	北海道開発局	滝川道路事務所	一般国道12号 砂川市 空知太地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁				炭素繊維シート（表面保護メタル）
13	81	北海道開発局	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 ミタトンネル補修外一連工事	トンネル				コンクリート削孔
14	81	北海道開発局	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 ミタトンネル補修外一連工事	トンネル				注入管（取付器具含む）設置
15	81	北海道開発局	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 ミタトンネル補修外一連工事	トンネル				剥落防止工
16	81	北海道開発局	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 ミタトンネル補修外一連工事	トンネル				ひび割れ注入工
17	81	北海道開発局	岩見沢道路事務所	一般国道452号 夕張市 ミタトンネル補修外一連工事	トンネル				斜面用パイプアンカー打込み
18	81	北海道開発局	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁			防護柵ベースプレート設置	ベースプレート設置
19	81	北海道開発局	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁			豊平橋橋面防水撤去	ポリウレタン樹脂撤去
20	81	北海道開発局	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁			現場施工費	スタッドボルト溶接
21	81	北海道開発局	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁			現場施工費	スタッド溶接
22	81	北海道開発局	札幌道路事務所	一般国道36号 札幌市 中央地区橋梁防護柵補修外一連工事	橋梁			プレキャストコンクリート取壊し	コンクリート取壊し
23	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	断面修復工
24	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	断面修復工
25	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	断面修復工
26	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	断面修復工
27	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	構造物取壊し工
28	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	構造物取壊し工
29	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁付属物工	伸縮装置工 SW型-40
30	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁付属物工	伸縮装置工 CD型Ⅱ-40
31	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁付属物工	伸縮装置工 SW型-20
32	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁付属物工	伸縮装置工 SW型-固定
33	81	北海道開発局	函館道路事務所	平成25年度 国道5号 七飯町 峠下橋補修外一連工事	橋梁			橋梁付属物工	埋設型伸縮装置補修工
34	81	北海道開発局	八雲道路事務所	国道229号 せたな町 茂津多トンネル補強工事	トンネル				内面補強工
35	81	北海道開発局	八雲道路事務所	国道229号 せたな町 茂津多トンネル補強工事	トンネル				作業足場
36	81	北海道開発局	江差道路事務所	一般国道228号 江差町 蝦川橋補修工事	橋梁				断面修復工（吹付）
37	81	北海道開発局	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	道路維持			注入口削孔
38	81	北海道開発局	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	道路維持			注入管設置
39	81	北海道開発局	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	道路維持			注入口プレート設置
40	81	北海道開発局	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	道路維持			閉塞用プラグ設置
41	81	北海道開発局	小樽道路事務所	一般国道5号 仁木町 稲穂トンネル補修工事	トンネル	道路維持			漏水防止板撤去

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 2 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
42	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		P C 橋支施工	変位制限装置設置
43	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		橋梁付属物工	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工
44	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		コンクリート補修工	コンクリートはつり（ウォーター・ジェット）
45	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		橋梁用防護柵工	防護柵撤去・設置費
46	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		場所打擁壁工	コンクリート削孔（さく機）
47	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		落石防護柵工	落石防護柵中間支柱撤去設置費
48	81	北海道開発局	岩内道路事務所	一般国道5号共和町島付内橋補修外一連工事	橋梁	道路修繕		落石防護柵工	落石防護柵ロープ金網撤去設置費
49	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			内面補強工	クレン工(施工単価)
50	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			内面補強工	下塗り工(施工単価)
51	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			内面補強工	増厚工(施工単価)
52	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			内面補強工	上塗り工(施工単価)
53	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			内面補強工	補強鉄筋取付工(施工単価)
54	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			裏込め注入工	注入孔削孔工(施工単価)
55	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			裏込め注入工	注入管取付工(施工単価)
56	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			裏込め注入工	注入管取付工(施工単価)
57	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			裏込め注入工	トンネル裏込め注入工
58	81	北海道開発局	旭川道路事務所	一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事(新大函トンネル区)	トンネル			ひび割れ注入工	ひび割れ注入工
59	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			下地処理工
60	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			組立アンカー 設置
61	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			軸方向鉄筋アンカー設置
62	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			ずれ止めアンカー 設置
63	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			ずれ止めアンカー 設置
64	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			検査路撤去
65	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			検査路撤去
66	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			落橋防止装置設置
67	81	北海道開発局	苫小牧道路事務所	日高自動車道苫小牧市静川高架橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			埋戻し
68	81	北海道開発局	室蘭道路事務所	一般国道36号 室蘭市 御崎高架橋東補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ注入工
69	81	北海道開発局	室蘭道路事務所	一般国道36号 室蘭市 御崎高架橋東補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ充填
70	81	北海道開発局	浦河道路事務所	一般国道235号_新ひだか町_静内橋補修工事	橋梁				移動制限装置撤去費
71	81	北海道開発局	浦河道路事務所	一般国道235号_新ひだか町_静内橋補修工事	橋梁				排水管撤去設置費
72	81	北海道開発局	釧路道路事務所	一般国道38号 釧路市 釧路大橋補修外一連工事	橋梁				ひびわれ注入工
73	81	北海道開発局	釧路道路事務所	一般国道38号 釧路市 釧路大橋補修外一連工事	橋梁				ひびわれ充填工
74	81	北海道開発局	釧路道路事務所	一般国道38号 釧路市 釧路大橋補修外一連工事	橋梁				ひびわれ充填工
75	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(車道部)
76	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(地震部)
77	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(車道部)
78	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(歩道部)
79	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(地震部)
80	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	支承モルタル補修工
81	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			橋梁補修工	支承モルタル補修工
82	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(尾幌橋)	橋梁			橋梁補修工	コンクリートカッター工
83	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	コンクリートカッター工
84	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			伸縮継手補修工	ウォーター・ジェットはつり工
85	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			伸縮継手補修工	コンクリートカッター工
86	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床路線橋)	橋梁			伸縮継手補修工	ウォーター・ジェットはつり工
87	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	防護柵切断復旧
88	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	鋼製支承取替工

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 3 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
89	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	鋼製ブラケット撤去
90	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(大別橋)	橋梁			橋梁補修工	現場塗装
91	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事	橋梁			橋梁補修工	現場塗装
92	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道44号 厚岸町 尾幌橋補修外一連工事(厚床跨線橋)	橋梁			橋梁塗装工	鋼管取付
93	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事(矢臼別橋)	橋梁			コンクリート巻き立て工	コンクリート巻き立て工
94	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事(矢臼別橋)	橋梁			コンクリート巻き立て工	コンクリート巻き立て工
95	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事(矢臼別橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(車道部)
96	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事(矢臼別橋)	橋梁			伸縮継手補修工	伸縮装置取替工(地覆部)
97	81	北海道開発局	根室道路事務所	一般国道243号 別海町 矢臼別橋耐震補強工事(矢臼別橋)	橋梁			路面切削	路面切削工
98	81	北海道開発局	弟子屈道路事務所	一般国道243号 弟子屈町 島見橋補修外一連工事(島見橋 車道部)	橋梁			伸縮継手工	伸縮装置取替工
99	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ充填
100	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ注入
101	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			橋脚耐震補強工	無収縮モルタル打設
102	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			排水施設工	パラベット舗設置
103	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			排水施設工	桁側誘導板設置
104	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			橋脚耐震補強工	ガス圧接
105	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			排水施設工	排水側蓋設置
106	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			橋面防水工	フレキシブルパイプ設置
107	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			橋面防水工	水抜きパイプ設置
108	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			構造物取壊し工	コンクリート切断
109	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道243号 別海町 西別川橋耐震補強工事	橋梁			構造物取壊し工	ウォータージェットはつり
110	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
111	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
112	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
113	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
114	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
115	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道334号 羅臼町 茶志別橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			炭素繊維補強工
116	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道335号 羅臼町 湯元橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			PC鋼棒配置工
117	81	北海道開発局	中標津道路事務所	一般国道335号 羅臼町 湯元橋耐震補強外一連工事	橋梁	道路維持			アンカー設置工
118	81	北海道開発局	帯広河川事務所	十勝川維持工事の内 十勝川護岸補修外工事	河川構造物				クラック補修工
119	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				複合防水
120	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				ケーブル被覆補修
121	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				表面保護工(防水)
122	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				移動昇降用設備
123	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				ポリマーセメント系プライマー
124	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				伸縮装置(車道部)
125	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				伸縮装置(歩道部)
126	81	北海道開発局	帯広道路事務所	一般国道241号 音更町 十勝大橋橋梁補修工事	橋梁				伸縮装置(地覆部)
127	81	北海道開発局	広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外一連工事	橋梁				伸縮装置乾式止水材設置工(寒冷地仕様)
128	81	北海道開発局	広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外一連工事	橋梁				伸縮装置乾式止水材設置工(寒冷地仕様)
129	81	北海道開発局	広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外一連工事	橋梁				目地材(シーリング)
130	81	北海道開発局	広尾道路事務所	一般国道336号 豊頃町 湧洞大橋大橋耐震補強外一連工事	橋梁				支承防錆工(金属溶射 最低膜厚100μ以上)
131	81	北海道開発局	定寄道路事務所	一般国道242号 池田町 高島橋耐震補強工事	橋梁				既設落橋防止装置(PCケーブ)撤去
132	81	北海道開発局	定寄道路事務所	一般国道242号 池田町 高島橋耐震補強工事	橋梁				落橋防止装置(PCケーブ)設置
133	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			断面修復工	カッター工
134	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			断面修復工	はつり工
135	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			断面修復工	プライマー塗布

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル 1～4）一覧 4 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル 1	工種 レベル 2	種別 レベル 3	細別 レベル 4
136	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			断面修復工	断面修復工
137	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			ひび割れ修復工	止水注入工
138	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			ひび割れ修復工	ひび割れ充填工
139	81	北海道開発局	北見河川事務所	網走川・常呂川維持工事の内 樋門水路掘削外工事	河川構造物			ひび割れ修復工	ひび割れ注入工
140	81	北海道開発局	北見道路事務所	北見道路事務所管内 橋梁補修外一連工事	橋梁	道路維持			ウォータージェットはつり(上向き)
141	81	北海道開発局	網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	道路維持			剥落防止処理工（下地処理工）
142	81	北海道開発局	網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	道路維持			剥落防止処理工（プライマー工）
143	81	北海道開発局	網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	道路維持			剥落防止処理工（不陸調整・シート貼付工）
144	81	北海道開発局	網走道路事務所	一般国道39号 網走市 新橋補修工事	橋梁	道路維持			剥落防止処理工（表面仕上工）
145	81	北海道開発局	興部道路事務所	一般国道273号 紋別市 柳生橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			コンクリート構造物取壊し
146	81	北海道開発局	興部道路事務所	一般国道273号 紋別市 柳生橋補修外一連工事	橋梁	道路維持			コンクリート構造物取壊し
147	81	北海道開発局	遠軽開発事務所	一般国道238号湧別町湧別大橋耐震補強工事	橋梁				ウォータージェットはつり
148	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				断面修復工(吹付工法)
149	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				ウォータージェットはつり工(ロボット)
150	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				ウォータージェットはつり工(ハンドガン)
151	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				ウォータージェットはつり工(ハンドガン)
152	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				犠牲陽極材設置
153	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				チタンメッシュ陽極材
154	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				チタンメッシュ陽極復旧
155	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
156	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
157	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
158	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
159	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
160	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
161	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
162	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
163	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
164	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管撤去
165	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
166	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
167	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
168	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
169	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
170	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
171	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
172	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
173	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
174	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
175	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
176	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
177	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
178	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
179	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
180	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
181	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 5 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
182	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
183	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
184	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
185	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
186	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
187	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
188	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
189	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
190	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
191	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
192	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
193	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
194	81	北海道開発局	羽幌道路事務所	一般国道232号 遠別町 遠別橋補修工事	橋梁				配線配管復旧
195	81	北海道開発局	留萌開発事務所	一般国道231号 増毛町 大別河トンネル補修外一連工事	トンネル	道路維持			注入工削孔
196	81	北海道開発局	留萌開発事務所	一般国道231号 増毛町 大別河トンネル補修外一連工事	トンネル	道路維持			注入管取付
197	81	北海道開発局	留萌開発事務所	一般国道231号 増毛町 大別河トンネル補修外一連工事	トンネル	道路維持			繊維シート貼り
198	81	北海道開発局	留萌開発事務所	一般国道231号 増毛町 大別河トンネル補修外一連工事	トンネル	道路維持			ひび割れ注入
199	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				橋層ゴム支承取替（A1）
200	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				橋層ゴム支承取替（P1）
201	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				橋層ゴム支承取替（P2,P3）
202	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				橋層ゴム支承取替（P4）
203	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				橋層ゴム支承取替（P7）
204	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				現場溶接
205	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				あて板補強
206	82	東北地方整備局	岩手河川国道事務所	水沢国道管内橋梁補修補強工事	橋梁				緩衝ゴム取付
207	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	中間貫通PC鋼棒設置工
208	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	コンクリート削孔
209	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	フラア溶接
210	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	シール工
211	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	中間貫通PC鋼棒設置工
212	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	コンクリート削孔
213	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	固定/バンド設置工
214	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋梁付属物工	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修
215	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋梁付属物工	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修
216	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋梁支承工	鋼橋支承工	支承防錆工1500kN以下
217	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋梁支承工	鋼橋支承工	支承防錆工1501～3000kN以下
218	82	東北地方整備局	郡山国道事務所	郡山維持管内橋梁補修工事	橋梁	道路補修	橋梁支承工	鋼橋支承工	支承防錆工3001～4500kN以下
219	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[立根大橋(上り線P1～P4橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承取替工	支承取替
220	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置取付
221	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置取付
222	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置取付
223	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋(A1橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	変位制限装置工	変位制限装置取付
224	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋(P1橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	変位制限装置工	変位制限装置取付
225	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋(P2橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	変位制限装置工	変位制限装置取付
226	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋(P3橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	変位制限装置工	変位制限装置取付
227	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[前田橋(A2橋脚)]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	変位制限装置工	変位制限装置取付

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 6 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
228	82	東北地方整備局	三陸国道事務所	立根大橋外補強工事[立根大橋]	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置取付
229	82	東北地方整備局	山形河川国道事務所	蔵王大橋他橋梁補修工事(蔵王大橋(上))	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版補修工	墨出し
230	82	東北地方整備局	山形河川国道事務所	蔵王大橋他橋梁補修工事(蔵王大橋(上))	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版補修工	下地処理
231	82	東北地方整備局	山形河川国道事務所	蔵王大橋他橋梁補修工事(蔵王大橋(上))	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版補修工	炭素繊維集成板貼付 w=50×1.2
232	82	東北地方整備局	酒田河川国道事務所	平成25年度 新広田橋補修工事	橋梁				中間貫通PC鋼棒定着工
233	82	東北地方整備局	酒田河川国道事務所	平成25年度 新広田橋補修工事	橋梁				フラア溶接
234	82	東北地方整備局	青森河川国道事務所	弘前国道維持補修工事	橋梁				伸縮装置補修（歩道部）
235	82	東北地方整備局	青森河川国道事務所	弘前国道維持補修工事	橋梁				伸縮装置補修（車道部）
236	82	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物				SA.メインライナー形成工
237	82	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物				SA.メインライナー形成工 仮設備工
238	82	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物				SA.メインライナー形成工 構成工
239	82	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	平成25年度名取川左岸地区維持工事	河川構造物				SA.メインライナー形成工 既設本管調査工
240	82	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁				表面保護 コンクリート塗装
241	82	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁				地覆ジョイント設置 伸縮量20mm(車道部)
242	82	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁				地覆ジョイント設置 伸縮量30mm(車道部)
243	82	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁				地覆ジョイント設置 伸縮量20mm(歩道部)
244	82	東北地方整備局	福島河川国道事務所	福島維持管内橋梁補修工事	橋梁				地覆ジョイント設置 伸縮量30mm(歩道部)
245	82	東北地方整備局	北上川下流河川事務所	北上川下流米谷管内維持工事	河川構造物				びび割れ充填
246	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 RC-Ⅲ 素地調整
247	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 RC-Ⅲ 下塗り
248	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 RC-Ⅲ 中塗り
249	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 RC-Ⅲ 上塗り
250	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (1) RC-I 素地調整
251	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (1) RC-I 下塗り
252	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (1) RC-I 下塗り(2回塗り)
253	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (1) RC-I 中塗り
254	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (1) RC-I 上塗り
255	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (2) RC-Ⅲ 素地調整
256	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (2) RC-Ⅲ 下塗り(2回塗り)
257	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (2) RC-Ⅲ 中塗り
258	83	関東地方整備局	宇都宮国道事務所	H26国分寺管内橋梁補修工事	橋梁		橋梁補修工	橋梁塗装工	塗替塗装 (2) RC-Ⅲ 上塗り
259	84	北陸地方整備局	新潟国道事務所	上ノ沢橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	支保(支保工設置)
260	84	北陸地方整備局	新潟国道事務所	上ノ沢橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋脚巻立て工	橋脚コンクリート巻立て工	支保(支保工撤去)
261	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
262	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
263	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
264	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
265	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
266	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				亀裂補修工
267	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				当て板補修工
268	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				当て板補修工
269	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				当て板補修工
270	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				当て板補修工
271	84	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	H25中島大橋耐震補強その8工事	橋梁				当て板補修工
272	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				はつり工・断面修復工(昼間)
273	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				はつり工・断面修復工(夜間)

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 7 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
274	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				はつり工・断面修復工(昼間)
275	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				表面被覆工（昼間）
276	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				表面被覆工（夜間）
277	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	三条管内堰等剥離防止外工事	河川構造物				表面被覆工（昼間）
278	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			クラック処理工	断面修復
279	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			表面被覆工	表面被覆工（下地処理）
280	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			表面被覆工	表面被覆工（下地処理）
281	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			表面被覆工	表面被覆工（中塗り）
282	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			表面被覆工	表面被覆工（上塗り）
283	84	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	関屋管内堰等剥離防止外工事	河川構造物			構造物撤去工	被覆除去 WJ
284	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
285	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
286	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
287	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
288	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
289	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
290	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
291	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
292	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
293	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
294	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
295	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
296	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
297	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
298	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
299	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
300	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
301	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
302	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
303	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	クラック補修工	ひび割れ注入
304	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	欠損部補修工	断面修復
305	85	中部地方整備局	木曽川下流河川事務所	平成25年度損斐川高須輪中排水機樋管補修工事	河川構造物	河川修繕	構造物補修工	欠損部補修工	継手開口補修
306	86	近畿地方整備局	淀川河川事務所	毛馬管内維持補修工事	河川構造物		構造物撤去工	構造物取壊し工	ブロックマット撤去
307	86	近畿地方整備局	淀川河川事務所	毛馬管内維持補修工事	河川構造物		法覆護岸工	ブロックマット工	ブロックマット
308	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	密着ボルト工
309	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	水抜きパイプ増設
310	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	繊維補強モルタル吹付工
311	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	補強鉄筋工（削孔工）
312	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	補強鉄筋工（鋼材挿入工）
313	86	近畿地方整備局	九頭電川ダム統合管理事務所	九頭電ダム管理用道路路面補修工事	河川構造物			法面吹付け工	補強鉄筋工（注入打設工）
314	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				ワザイド・α・ト縛工
315	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				リベット撤去工
316	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				パテ補修
317	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				主桁ジョイントアップ・ダウン
318	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				添接板取付
319	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				はつり工

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 8 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
320	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				びび割れ充填工
321	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				下地処理
322	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				素地調整(剥落防止工)
323	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				プライマー(剥落防止工)
324	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				中塗り(剥落防止工)
325	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				上塗り(剥落防止工)
326	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				ジャッキアップ補強材取付
327	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				添接板撤去
328	86	近畿地方整備局	滋賀国道事務所	国道1号瀬田川大橋他橋梁補修工事	橋梁				支承部補修
329	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				手摺
330	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				手摺
331	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				鋼板接合
332	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				剥落防止塗装工
333	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				剥落防止塗装工
334	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				剥落防止塗装工
335	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				剥落防止塗装工
336	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
337	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
338	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
339	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
340	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
341	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				落書き防止塗装工
342	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				目地補修
343	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				点字シート補修
344	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				点字シート補修
345	86	近畿地方整備局	京都国道事務所	国道1号他道路維持補修工事	橋梁				横断歩道撤去
346	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				断面修復工 カッター
347	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 表面処理
348	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 素地調整
349	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 プライマー
350	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 中塗り
351	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 上塗り
352	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 プライマー
353	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 表面保護剤塗布
354	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 メッシュ材張付工
355	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				剥落防止工 仕上げ剤塗布
356	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				表面保護工 表面処理
357	86	近畿地方整備局	大阪国道事務所	国道2号堺高架橋(永代地区)他補修工事	橋梁				表面保護工 表面保護剤塗布
358	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	共通仮設費	技術管理費	載荷試験費(P32、P48、P50橋脚) 直接人件費
359	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	共通仮設費	技術管理費	載荷試験費(P32、P48、P50橋脚) 材料費
360	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	共通仮設費	技術管理費	載荷試験費(P32、P48、P50橋脚) 機械器具損料費
361	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	仮設ジャッキアップ構台工	ジャッキアップ構台 設置
362	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	仮設ジャッキアップ構台工	ジャッキアップ構台 撤去
363	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	足場工	足場(手摺先行型枠組足場) 撤去
364	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	足場工	足場(吊足場) 撤去
365	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	足場工	足場(吊足場) 朝顔撤去

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 9 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
366	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	仮設工	足場工	防護(板張防護) 撤去
367	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	隅角部補強板取付
368	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	あて板補強板取付
369	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	フィラープレート取付
370	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	隅角部補強
371	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	隅角部補強
372	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	隅角部補強
373	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	隅角部補強工	シート材
374	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	梁上フッパ補強工	梁上フッパ補強板取付
375	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	梁上フッパ補強工	梁上フッパ補強
376	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	柱部梁カブ補強工	柱部梁カブ補強板取付
377	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	柱部梁カブ補強工	柱部梁カブ補強
378	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	脚内補強工	脚内補強板取付
379	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	当て板補強工	当て板補強板取付
380	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	当て板補強工	当て板補強
381	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	当て板補強工	当て板補強
382	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	胴巻き部補強工	胴巻き部補強板取付
383	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	胴巻き部補強工	胴巻き部補強
384	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	柱部下フッパ補強工	柱部下フッパ補強板取付
385	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	柱部下フッパ補強工	柱部下フッパ補強高力ボルト
386	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	既設開口部補強工	既設開口部補強板取付
387	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	既設当て板補強工	既設当て板補強
388	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	上層鋼桁亀裂対策工	亀裂補強板取付(上層)
389	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	上層鋼桁亀裂対策工	スリットホール孔明
390	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	上層鋼桁亀裂対策工	スリットホール仕上げ
391	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	上層鋼桁亀裂対策工	ガス切断切断仕上げ
392	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	下層鋼桁亀裂対策工	亀裂補強板取付(下層)
393	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	梁上フッパあて板補強工	梁上フッパあて板補強板取付
394	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	梁上フッパあて板補強工	梁上フッパあて板補強
395	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	梯子工	梯子取付
396	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	踊り場工	踊り場 取付
397	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修工	マニール工	工事用マニール 取付
398	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	素地調整（動力工具処理（外面・塗装系F11））
399	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	素地調整
400	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	下塗り
401	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	下塗り
402	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	下塗り
403	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	中塗り
404	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	上塗り
405	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	畜産拡張撤去
406	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	梯子撤去 切削仕上げ
407	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	排水管撤去
408	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	排水金具撤去 切削仕上げ
409	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	アーク溶接除去
410	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	すみ内溶接除去
411	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	スリット溶接除去

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 10 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
412	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	溶接除去端部仕上げ すみ肉溶接部
413	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	溶接除去端部仕上げ
414	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	切削仕上
415	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	既設構造物撤去工	観察孔穿孔
416	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	中詰コンクリート撤去工	コンクリート削孔(コア・リングマシン)
417	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	中詰コンクリート撤去工	コンクリート削孔(コア・リングマシン)
418	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕	構造物撤去工	中詰コンクリート撤去工	中詰コンクリート脱搬出積込
419	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕			鋼・ゴム製伸縮装置補修
420	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕			鋼・ゴム製伸縮装置補修
421	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕			鋼・ゴム製伸縮装置補修
422	86	近畿地方整備局	兵庫国道事務所	国道2号浜手バイパス高架橋補修工事	橋梁	道路修繕			鋼・ゴム製伸縮装置補修
423	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			鋼板シール補修工	ボルト孔補修A
424	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			水切り設置工	シート張り防護工（枠組足場）
425	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			鋼板シール補修工	ボルト孔補修B
426	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			鋼板シール補修工	ボルト孔補修C
427	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			鋼板シール補修工	シール補修
428	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 下地処理
429	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			表面含浸処理工	表面含浸処理工 下地処理（ケレン）
430	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			クラック処理	充填工（ひびわれ充填工？）
431	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			断面修復工	カッター目地
432	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			断面修復工	プライマー（接着剤）塗布
433	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			水切り設置工	水切り設置
434	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			水切り設置工	止水構造設置工
435	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			支承補修工	支承補修工
436	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			コンクリート保護塗装工(塗替部)	コンクリート保護塗装工 下地処理
437	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 プライマー塗布
438	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 不陸整正（パテ材塗布）
439	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 表面塗布（接着剤塗布）
440	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 ガラスクロス貼付（1層接着含浸）
441	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			剥落防止工	剥落防止工 表面保護（下塗・上塗）
442	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			表面含浸処理工	表面含浸処理工 表面含浸処理
443	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			表面清掃工	コンクリート表面清掃
444	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			コンクリート保護塗装工(塗替部)	コンクリート保護塗装工 プライマー塗布
445	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			コンクリート保護塗装工(塗替部)	コンクリート保護塗装工 不陸整正（パテ材）
446	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			コンクリート保護塗装工(塗替部)	コンクリート保護塗装工 中塗り
447	86	近畿地方整備局	奈良国道事務所	国道24号奈良高架橋補修工事	橋梁			コンクリート保護塗装工(塗替部)	コンクリート保護塗装工 上塗り
448	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 下地処理工
449	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 プライマー塗布工
450	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 不陸修正工
451	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 繊維シート貼付工
452	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 仕上げ塗装工
453	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			繊維シート工	繊維シート工 コンクリート削孔
454	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			漏水対策工	線導水樋撤去
455	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			漏水対策工	線導水樋設置
456	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			漏水対策工	線導水樋(接続部)設置
457	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			漏水対策工	線導水樋(L型)設置

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 1 1 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
458	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			ひび割れ注入工	ひび割れ注入
459	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			集排水※-リク工	コクリート削孔
460	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			集排水※-リク工	水抜保孔管挿入
461	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			鋼板接着工	覆工鋼板取付
462	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			鋼板接着工	背面充填工
463	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号敦賀トンネル他補修工事	トンネル			断面修復工	カッター工
464	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			床版取替工	ポール工
465	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			床版取替工	床版バ*設置
466	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			床版取替工	床版バ*撤去
467	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			床版取替工	床版切断
468	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			主桁補修工	補剛材取付
469	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			主桁補修工	支承仮撤去・復旧
470	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			主桁補修工	主桁補修材取付
471	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			主桁補修工	反力受替
472	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			漏水対策工	水切り設置
473	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			支承防錆工	支承防錆(下塗り)
474	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			支承防錆工	支承防錆(中塗り・上塗り)
475	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工 伸縮装置取替工
476	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工 地覆部ポール工
477	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工 地覆部ポール工
478	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工 地覆部ポール工
479	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工 乾式止水材設置
480	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			断面修復工	断面修復工 カッター目地
481	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			断面修復工	断面修復工 コクリートはつり
482	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
483	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
484	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
485	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
486	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
487	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ注入
488	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ充填
489	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 ひび割れ充填
490	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 U字カット
491	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			表面保護工	表面保護
492	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			落橋防止装置工	アラカット移設
493	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			橋梁塗装工	塗替塗装(下塗り)
494	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			橋梁塗装工	塗替塗装(中塗り・上塗り)
495	86	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	国道8号丸山高架橋他橋梁補修工事	橋梁			橋梁足場工	単管足場
496	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査工
497	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査工
498	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部) 下地処理
499	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部) プライマー
500	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部) 不陸修正工
501	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部)
502	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部) 保護工
503	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強(一般車道部) 下地処理

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 1 2 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
504	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強（一般車道部） プライマー
505	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強（一般車道部） 不陸修正工
506	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強（一般車道部）
507	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維補強（一般車道部） 保護工
508	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維フカー(車道側) コンクリート削孔(ルミドリ38mm)
509	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維フカー(車道側) フカー埋込穿孔工
510	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維フカー(車道側) フカー設置用墨出工
511	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維フカー(車道側) フカー設置工
512	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁補強工	床版補強工	炭素繊維フカー(車道側) フカー設置工
513	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		舗装工	排水施設工	コンクリート削孔(コア・リングマシン)
514	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		舗装工	排水施設工	排水管設置工 床版水抜A°イ°
515	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	二次止水材設置
516	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	目地材等設置工(ｼｰﾙ工)
517	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	目地材等設置工(A°ウツァグ°材取付工)
518	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	目地材等設置工(ｼｰﾙ工)
519	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	目地材等設置工(A°ウツァグ°材取付工)
520	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		橋梁付属物工	伸縮継手工	排水管設置工 排水口
521	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		構造物撤去工	橋梁付属物撤去工	落下物防止柵撤去工
522	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	福知山道路福知山大橋補修工事	橋梁		構造物撤去工	構造物取壊し工	ワイヤーソー工
523	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				特殊モルタル被覆工 表面切削
524	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				特殊モルタル被覆工
525	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				打継目地コールドジョイント工 コンクリート面カッター
526	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				打継目地コールドジョイント工 Vカットはつり
527	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				打継目地コールドジョイント工 断面充填
528	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				打継目地コールドジョイント工 目地材注入材
529	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 コンクリート面カッター
530	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 はつり
531	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 断面修復工
532	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 型枠目地材
533	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 目地材充填部切削
534	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 充填目地材専用アラマー
535	86	近畿地方整備局	福知山河川国道事務所	内記地区堤防補修工事	河川構造物				施工目地補修工 充填目地材
536	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			伸縮継手工(夜間)	伸縮継手工
537	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			伸縮継手工(夜間)	伸縮継手工
538	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			伸縮継手工(夜間)	伸縮継手工
539	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			伸縮継手工(夜間)	伸縮継手工
540	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			伸縮継手工	伸縮継手工
541	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			地覆修復工	紫外線硬化型FRPシート
542	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			地覆修復工	表面含浸処理;浸透性コンクリート改質剤塗布下地処理工
543	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			地覆修復工	表面含浸処理;浸透性コンクリート改質剤塗布
544	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			地覆修復工	表面含浸処理;浸透性コンクリート改質剤塗布
545	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			地覆修復工	表面含浸処理;浸透性コンクリート改質剤塗布
546	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			支那防食処理工	支那防食処理;亜鉛溶射
547	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			段差補修工	段差補修:メタクリ樹脂薄層舗装
548	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			段差補修工	クラック補修 常温樹脂系注入材
549	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			上部工・下部工補修工	コンクリート切断工

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 13 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
550	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			上部工・下部工補修工	表面被覆；アクリルウレタン樹脂塗装
551	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			上部工・下部工補修工	ひび割れ注入；クラック処理工
552	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			上部工・下部工補修工	ひび割れ注入；ひび割れ部U字カット
553	86	近畿地方整備局	姫路河川国道事務所	国道2号・29号橋梁維持補修工事	橋梁			畜座補修工	無収縮モルタル
554	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			ひび割れ補修工	ひび割れ補修 A
555	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			ひび割れ補修工	ひび割れ補修 B
556	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	繊維シート接着
557	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	繊維シート接着
558	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	繊維シート接着
559	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	繊維シート接着
560	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	断面修復工
561	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	目地材
562	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			剥落防止工	はつり落とし
563	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号管内トンネル補修工事	トンネル			内装板工	内装板撤去
564	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査費
565	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査費
566	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁支承工	支承若返り
567	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付
568	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	ｼｰﾙ材
569	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付(鋼桁あて板補修工)
570	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付
571	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付 不陸修正
572	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付(亀裂損傷部あて板補修工)
573	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	あて板取付 リバット撤去
574	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁補修工	コンクリート切断
575	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	ｼｰﾙ材(伸縮継手部)
576	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	鋼ｼｰﾙ製伸縮装置補修
577	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	鋼ｼｰﾙ製伸縮装置補修
578	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	ｼｰﾙ材(地覆部)
579	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	ｼｰﾙ材(地覆部)
580	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	ｼｰﾙ材(地覆部)
581	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	簡易排水装置
582	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	簡易排水装置 フリッジﾊﾞｲﾌﾞ
583	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	簡易排水装置 ｻﾄﾞﾊﾞﾙﾌﾞﾄﾞ設置工
584	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	床版水抜装置
585	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			橋梁付属物工	水抜きﾊﾞｲﾌﾞ
586	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			仮設工	移動式足場
587	86	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	国道9号橋梁補修工事	橋梁			仮設工	高所作業車
588	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				含侵保護材塗布工
589	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				導水樋 鉛直樋
590	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				導水樋 水平樋
591	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				目地ｺｰｷﾝｸﾞ補修
592	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				ｺﾝｸﾘｰﾄ切欠
593	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				下地処理『素地調整』
594	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				墨出し工
595	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道42号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				ﾌﾗｲﾏｰ工

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル 1～4） 一覧 1 4 / 2 4

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル 1	工種 レベル 2	種別 レベル 3	細別 レベル 4
596	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				不陸整正工
597	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				炭素繊維シート
598	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				仕上げ塗装工・中塗り
599	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				仕上げ塗装工・上塗り
600	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				ひび割れ充填
601	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				断面修復
602	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				コンクリート切欠
603	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル				FRPメッシュ取付工
604	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル			導水種	鉛直樋設置工
605	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル			導水種	既設導水樋撤去
606	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル			導水種	FRPメッシュ
607	86	近畿地方整備局	和歌山河川国道事務所	国道 4 2 号水越トンネル他トンネル補修工事	トンネル			導水種	目地コーキング補修
608	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	線導水(補修)	線導水(補修)
609	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	線導水(補修)	線導水(補修)
610	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	線導水(補修)	線導水(補修)
611	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	剝落防止工	剝落防止工 下地処理工
612	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	炭素繊維シート	炭素繊維シート アプライー工
613	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	炭素繊維シート	炭素繊維シート 不陸整正工
614	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	炭素繊維シート	炭素繊維シート
615	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	炭素繊維シート	炭素繊維シート 仕上げ塗装
616	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	炭素繊維シート	炭素繊維シート 仕上げ塗装工・上塗り
617	86	近畿地方整備局	紀南河川国道事務所	国道 4 2 号紀南管内トンネル補修工事	トンネル		漏水対策工	FRPメッシュシート	FRPメッシュ
618	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				胸壁防護柵設置
619	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				操作台防護柵、架台撤去
620	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				ハコ架台設置
621	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				ハコ柱設置
622	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				扉体設置
623	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				開閉機設置
624	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				樋門上屋設置
625	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				扉体撤去
626	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				開閉機撤去
627	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				扉体設置
628	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				開閉機設置
629	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				胸壁防護柵設置
630	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				樋門上屋設置
631	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				扉体撤去
632	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	江の川樋門補修工事	河川構造物				開閉機撤去
633	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				鋼製防護柵設置
634	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				扉設置
635	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				鋼製防護柵撤去
636	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				扉撤去
637	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				ハランスワイ式フラッグゲート据付
638	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				防護蓋設置
639	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				スカーン設置
640	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				操作装置設置
641	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				電気工事

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 15 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
642	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				転落防止柵設置
643	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				コンクリートカッター切断
644	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				鋼製ゲート巻揚機撤去
645	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				鋼製ゲート撤去
646	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	高津川樋門補修工事	河川構造物				照明4" - 8撤去
647	87	中国地方整備局	太田河川事務所	小瀬川維持工事	河川構造物				バランスウェイト式フラップゲート揺動抑制装置付据付歩掛
648	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				機械設備撤去歩掛（下宇部尾2号排水樋門）
649	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				機械設備撤去歩掛（下宇部尾3号排水樋門）
650	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				機械設備撤去歩掛（下宇部尾4号排水樋門）
651	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				機械設備撤去歩掛（下宇部尾8号排水樋門）
652	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				機械設備撤去歩掛（下宇部尾9号排水樋門）
653	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				簡易型バランスウェイト式フラップゲート設置
654	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				バランスウェイト式フラップゲート設置
655	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				バランスウェイト式フラップゲート設置
656	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				バランスウェイト式フラップゲート設置
657	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				バランスウェイト式フラップゲート設置
658	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				敷鉄板設置
659	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				敷鉄板撤去
660	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				捨石投入（BH0.28m3）
661	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				捨石撤去（BH0.28m3）
662	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				捨石投入（BH0.45m3）
663	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう製作（BH0.28m3）
664	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう据付（BH0.28m3）
665	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう撤去（BH0.28m3）
666	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう製作（BH0.45m3）
667	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう据付（BH0.45m3）
668	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				大型土のう撤去（BH0.45m3）
669	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				ポンプ据付・撤去（BH0.28m3）
670	87	中国地方整備局	出雲河川事務所	中海島田護岸外補修工事	河川構造物				ポンプ据付・撤去（BH0.45m3）
671	87	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修	橋梁支承工	橋梁補修工
672	87	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修	橋梁支承工	橋梁補修工
673	87	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修	橋梁支承工	橋梁補修工
674	87	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修	表面被覆工	下地処理
675	87	中国地方整備局	福山河川国道事務所	福山管内構造物修繕工事	橋梁	道路修繕	橋梁補修	ひび割れ補修工	ひび割れ充填
676	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水装置取替(A)
677	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				高欄補修(A)
678	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				高欄補修(B)
679	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				高欄補修(D)
680	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				高欄補修(E)
681	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				注入目地
682	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水装置取替(B)
683	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水装置取替(C)
684	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水管撤去
685	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水取付金具取替
686	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				排水装置取替(E)
687	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				フランジ補修

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 16 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
688	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				フランジ補修
689	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(A)
690	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(B)
691	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(C)
692	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				横桁取替(A)
693	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(D)
694	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				横桁取替(B)
695	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(E)
696	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(F)
697	87	中国地方整備局	松江国道事務所	国道9号出雲管内歩道橋補修工事	橋梁				当板補修(G)
698	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				ひび割れ充填
699	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				はつり工
700	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				床版取替：床版切断
701	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				床版取替：コクリト取壊し
702	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				床版取替：ゲッキート取替
703	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				金属溶射
704	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				橋梁付属物：高欄取替
705	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				スラブドレーン設置
706	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				支承部補強材設置：連結版取り付け
707	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				支承部補強材設置：孔明工
708	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				支承部補強材設置：ボルト締め
709	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				排水施設：排水管取替
710	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				水路蓋：ﾌﾞﾚｯﾄﾞｽﾏｰﾌﾞ設置
711	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				水路蓋：ﾌﾞﾚｯﾄﾞｽﾏｰﾌﾞ設置
712	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				水路蓋：ﾌﾞﾚｯﾄﾞｽﾏｰﾌﾞ設置
713	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				水路蓋：ﾌﾞﾚｯﾄﾞｽﾏｰﾌﾞ歩道部
714	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				水路側壁：超早硬コンクリート打設手間
715	87	中国地方整備局	三次河川国道事務所	国道54号三次管内橋梁補修工事	橋梁				足場設置・撤去
716	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	ひび割れ補修工	ひび割れ充填(ｶﾞｰﾐｰﾍﾞｲﾄﾞﾐｯｸｼﾝｸﾞ)
717	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	製管工
718	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	製管工
719	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	製管工
720	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	製管工
721	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	充填注入工
722	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	充填注入工
723	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	充填注入工
724	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	管口仕上工
725	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	管渠補修工	管更生工	換気工
726	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	舗装工	排水施設工	排水管設置（床版水抜きパイプ）
727	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	断面修復工	断面修復(ﾌﾞﾗｲｰﾏｰ(A))
728	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入
729	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入
730	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入
731	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入
732	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入
733	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リウム内部圧入

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 17 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
734	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
735	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
736	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
737	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
738	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
739	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	圧入工	亜硝酸リサイクル内部圧入
740	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	コンクリート表面保護塗装	ランタナ系含浸材
741	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	コンクリート表面保護塗装	ランタナ系含浸材
742	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	コンクリート表面保護塗装	高分子系浸透性防水材
743	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	トンネル		トンネル工	管更生工	既設管整備工
744	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	トンネル		トンネル工	管更生工	既設管整備工
745	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	トンネル		トンネル工	剥落対策工	剥落防止(A)
746	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	トンネル		トンネル工	剥落対策工	剥落防止(A)(B)
747	87	中国地方整備局	山口河川国道事務所	山口東部構造物外補修工事	トンネル		トンネル工	剥落対策工	防錆処理
748	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		コンクリート削孔
749	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		※リマセメントミルク巻立て工
750	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		フラア溶接
751	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		フラア溶接
752	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		無収縮エポキシ打設
753	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋脚巻立て工		ジョーリング工
754	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査
755	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査
756	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		伸縮装置補修工
757	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		溶接除去
758	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁付属物工		縦型緩衝バンプ構造取付
759	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁付属物工		縦型緩衝バンプ構造取付
760	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		仮設工		暗渠排水管敷設
761	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		仮設工		暗渠排水管撤去
762	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
763	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
764	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
765	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
766	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
767	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
768	87	中国地方整備局	岡山国道事務所	国道53号新兼田橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補修工		高欄補修
769	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	橋梁	道路維持			プライマー塗布
770	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			コンクリートはつり
771	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			プライマー塗布
772	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			断面修復
773	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			FRPメッシュ
774	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			FRPメッシュ
775	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	益田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路維持			ガードレール設置
776	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	橋梁	道路修繕			プライマー塗布
777	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路修繕			コンクリートはつり
778	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路修繕			プライマー塗布
779	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路修繕			断面修復

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4） 一覧 18 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
780	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路修繕			FRPメッシュ
781	87	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	浜田管内橋梁外補修工事	トンネル	道路修繕			FRPメッシュ
782	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	ロックボルト設置
783	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	剥落防止工-剥落防止 A
784	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	剥落防止工-剥落防止 A
785	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	剥落防止工-剥落防止 B
786	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	漏水対策工
787	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	インバートコンクリート打設工
788	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			トンネル工	インバートコンクリート型枠工
789	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			舗装工	コンクリート舗装工(監査路舗装 A)-表層
790	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル		構造物取壊し工	塗装版破砕	塗装版撤去
791	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル		構造物取壊し工	塗装版破砕	塗装版荷卸し
792	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル		仮設工	防護施設工	仮設ガードレール設置
793	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル		仮設工	防護施設工	仮設ガードレール撤去
794	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			舗装工	コンクリート削孔
795	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			仮設工	ポンプ据付・撤去
796	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			仮設工	ポンプ運転
797	87	中国地方整備局	鳥取河川国道事務所	国道29号新戸倉トンネル補修工事	トンネル			共通仮設費	有線通信機設置・撤去
798	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	伸縮装置撤去
799	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	床版撤去
800	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	床版架設
801	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	高欄撤去
802	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	高欄設置
803	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	現場スリット溶接
804	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁床版工	床版架替工	スリット撤去
805	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	水切工	水切設置
806	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	地覆部止水
807	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	地覆部止水
808	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	伸縮装置止水処理
809	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	J型製伸縮装置補修
810	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	J型製伸縮装置補修
811	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	J型製伸縮装置
812	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	伸縮継手工	J型製伸縮装置
813	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	表面保護工	表面保護
814	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	橋梁上部補修工	ひび割れ注入
815	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承補修工	支承防食(豊栄橋側道橋)
816	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承補修工	支承防食(香宗川橋側道橋上・下)
817	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁下部補修工	ひび割れ注入工	ひび割れ注入
818	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	対傾構下弦部材取替工	対傾構下弦部材撤去
819	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	対傾構下弦部材取替工	対傾構下弦部材取付
820	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	対傾構下弦部材取替工	ガス切断切削仕上げ
821	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工(塗替塗装)	面取り
822	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	PC橋支承工	鋼製P型架け取付
823	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	PC橋支承工	鋼製P型架け撤去
824	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部補修工	目地防水処理工	目地防水処理
825	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋梁用高欄継手取替工	ガス切断切削仕上げ

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 19 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
826	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 南国管内橋梁補修工事(香南地区)	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋梁用高欄継手取替工	現場溶接
827	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	床版排水工	床版排水装置
828	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	床版排水工	床版排水装置
829	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	床版排水工	床版排水装置
830	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	表面保護工	表面保護
831	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	断面修復工	断面修復(部分電気防食部)
832	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	断面修復工	断面修復(電気防食部)
833	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁下部工	断面修復工	断面修復(電気防食部)
834	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承補修工	支承防食
835	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承補修工	支承防食
836	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	橋梁支承工	支承補修工	支承防食
837	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	橋梁上部工	ひび割れ注入工	ひび割れ注入
838	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	電気防食工	電気防食工	部分電気防食
839	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	電気防食工	電気防食工	電気防食
840	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	部分塗替塗装工	素地調整
841	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	部分塗替塗装工	下塗
842	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	部分塗替塗装工	下塗
843	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	部分塗替塗装工	中塗
844	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(室戸地区)	橋梁	道路修繕	現場塗装工	部分塗替塗装工	上塗
845	88	四国地方整備局	土佐国道事務所	H25 奈半利管内橋梁補修工事(奈半利地区)	橋梁	道路修繕	舗装工	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ 橋面舗装
846	88	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	H25 北只橋耐震補強工事	橋梁	共通仮設費	共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査
847	88	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	H25 北只橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止システム設置
848	88	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	H25 北只橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	せん断スリット設置
849	88	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	H25 北只橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	せん断スリット設置
850	88	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	H25 北只橋耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	排水管改造
851	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(引田トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工	ひび割れ止水工
852	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(引田トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	剥落対策工	繊維シート接着工(1号)
853	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(引田トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	剥落対策工	FRPシート工
854	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(引田トンネル)	トンネル	道路修繕	構造物撤去工	トンネル補修工	導水樋撤去
855	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(金山(上・下)トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工	導水樋清掃
856	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(金山(上・下)トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	剥落対策工	ひび割れ注入工
857	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(金山(上・下)トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	内面補強工	内面補強工(2号)
858	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(財田第一～第四トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	剥落対策工	鋼板接着工
859	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(財田第一～第四トンネル)	トンネル	道路修繕	トンネル工	剥落対策工	鋼板接着工 (既設鋼板撤去)
860	88	四国地方整備局	香川河川国道事務所	H25 香川管内トンネル補修工事(財田第一～第四トンネル)	トンネル	道路修繕	構造物撤去工	トンネル補修工	プレート撤去
861	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	床版排水管設置(施工費)
862	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁支承工	支承補修工	支承アンカーボルトナット取替
863	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置撤去(施工費)
864	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置撤去(施工費)
865	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁補修工	水切設置工	水切設置
866	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	床版排水管設置(施工費)
867	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	樹脂注入(施工費)
868	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁付属物工	排水施設工	フレキシブルチューブ設置(施工費)
869	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁支承工	支承補修工	支承防錆
870	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	鋼桁工	亀裂補修工	リベット撤去(施工費)
871	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	鋼桁工	亀裂補修工	補強板取付(施工費)

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 20 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
872	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	鋼桁工	亀裂補修工	補強板取付(施工費)
873	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁補修工	ひび割れ注入工	クラック処理(施工費)
874	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁補修工	ひび割れ充填工	ひび割れ充填(施工費)
875	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁補修工	表面被覆工	下地処理
876	88	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	H25 徳島出張所管内橋梁補修工事	橋梁	道路維持	橋梁補修工	表面被覆工	含浸材塗布
877	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（浮田高架橋上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
878	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（浮田高架橋上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
879	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（浮田高架橋下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
880	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（浮田高架橋下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
881	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新山下橋（下）上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
882	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新山下橋（下）上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
883	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新山下橋（下）下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
884	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新山下橋（下）下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
885	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（高岡高架橋上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
886	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（高岡高架橋上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
887	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（高岡高架橋下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
888	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（高岡高架橋下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
889	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(上部工)）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
890	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(上部工)）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	遊離石灰除去
891	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(下部工)）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
892	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(下部工)）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
893	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋側道橋）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
894	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（柚ノ木崎橋上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	表面含浸
895	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（境谷橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
896	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（境谷橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
897	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（八重橋 上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
898	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（八重橋 上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
899	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（八重橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
900	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（八重橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
901	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（松八重橋 上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
902	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（松八重橋 上部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
903	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（松八重橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ注入
904	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（松八重橋 下部工）	橋梁	道路修繕		橋梁補修工	ひび割れ充填
905	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(夜間作業)）	橋梁	道路修繕		端横桁巻立て工	アンカーバー設置
906	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（新狩野橋(夜間作業)）	橋梁	道路修繕	舗装工	切削ローリー工	切削ローリー
907	89	九州地方整備局	宮崎河川国道事務所	新狩野橋外橋梁補修工事（唐崎橋）	橋梁	道路修繕		橋梁塗装工	プラスチック材分
908	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				含浸材塗布(表面保護工) NETIS:KT-070047-A
909	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				輸送費
910	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				部材取付工(制震ダンパー) NETIS:QS-060010-A
911	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				注入工
912	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				部材取付工(落橋防止装置工(PCケーブル連結))
913	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				部材撤去工(構造物取壊し工)
914	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				鉄筋探査(昼間)
915	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	国道3号白鷺橋（A1～P1・A2）耐震補強外工事	橋梁				鉄筋探査(昼間)
916	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大渡橋管外2件補修工事	河川構造物	共通仮設費	共通仮設費	技術管理費	注入効果試験費
917	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大渡橋管外2件補修工事（渡場排水樋管）	河川構造物	河川維持	仮設工	汚濁防止工	濁水中和处理(pH)

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 21 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
918	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大渡樋管外2件補修工事（六間垂水樋門）	河川構造物	河川維持	構造物補修工	クワガ補修工	断面修復
919	89	九州地方整備局	熊本河川国道事務所	大渡樋管外2件補修工事（渡場排水樋管）	河川構造物	河川維持	構造物補修工	ポンピングクワガ工	沈下計設置
920	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	共通仮設費	共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査
921	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
922	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
923	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
924	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
925	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
926	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(PCケーブル)
927	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止構造(鋼製ブラケット)
928	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
929	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
930	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
931	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
932	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
933	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
934	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
935	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
936	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
937	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
938	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
939	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
940	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	落橋防止装置工	支承補強構造(アンカーバー)
941	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	排水施設工	排水管撤去
942	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P1	コンクリートはつり
943	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P1	コンクリートはつり
944	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P1	フレアー溶接
945	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P2	コンクリートはつり
946	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P2	コンクリートはつり
947	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P2	フレアー溶接
948	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P3	フレアー溶接
949	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P4	コンクリートはつり
950	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P4	コンクリートはつり
951	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P4	フレアー溶接
952	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P5	コンクリートはつり
953	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P5	コンクリートはつり
954	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P5	フレアー溶接
955	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P6	コンクリートはつり
956	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P6	コンクリートはつり
957	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	橋脚補強工P6	フレアー溶接
958	89	九州地方整備局	佐賀国道事務所	嘉瀬橋（起点高架）（下り）耐震補強工事	橋梁	道路修繕	橋梁付属物工	ブラケット支保工	ブラケット支保設置撤去
959	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	橋梁	共通仮設費	共通仮設費	技術管理費	鉄筋探査費
960	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工(大原トンネル)	導水樋設置
961	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工(大原トンネル)	導水樋撤去
962	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工(大原トンネル)	水抜き
963	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	クワガ処理工(大原トンネル)	ひび割れ注入(シール材含む)

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 22 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
964	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	断面修復工(大原トンネル)	コクリットはつり
965	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	断面修復工(大原トンネル)	断面修復
966	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	トンネル	道路修繕	トンネル工	断面修復工(大原トンネル)	はく落防止
967	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	橋梁	道路修繕	橋梁支保工	PC橋支保工(深山橋)	支保取替(A1側)
968	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	橋梁	道路修繕	橋梁支保工	PC橋支保工(深山橋)	支保取替(A2側)
969	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	上部工補修工(深山橋)	表面保護
970	89	九州地方整備局	佐伯河川国道事務所	平成26年度 大原トンネル補修外工事	橋梁	道路修繕	構造物補修工	上部工補修工(深山橋)	水切り
971	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁巻き立て工	橋脚コンクリート巻立て工	鉄筋探査(RCレーダー)
972	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁巻き立て工	橋脚コンクリート巻立て工	下地処理
973	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁巻き立て工	橋脚コンクリート巻立て工	フレア溶接
974	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁巻き立て工	橋脚コンクリート巻立て工	シール材設置(巻立て部天端)
975	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁巻き立て工	橋脚コンクリート巻立て工	組立アンカー
976	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	橋脚耐震補強工	鉄筋探査(RCレーダー)
977	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	橋脚耐震補強工	フレア溶接
978	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	橋脚耐震補強工	モルタル吹付増厚工
979	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	変位制限装置工	鉄筋探査(RCレーダー)
980	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	変位制限装置工	鉄筋探査(RCレーダー)
981	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	地覆止水処理工	地覆止水処理工
982	89	九州地方整備局	鹿児島国道事務所	国道3号八房橋外6橋耐震補強補修工事	橋梁		橋梁補強工	ひび割れ充填工	ひび割れ充填
983	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	ワイヤーストック設置工 反転タワー
984	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	反転挿入工 反転準備工
985	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	反転挿入工 反転挿入工
986	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	反転挿入工 用水運搬工(給水車)
987	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	反転挿入工 ラフドレーンクレーン
988	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	硬化工 硬化準備工
989	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	硬化工 硬化工
990	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	養生工 養生工(強制冷却)
991	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	養生工 用水運搬工(給水車)
992	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	養生後撤去工 養生後撤去工
993	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管口仕上げ工
994	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	本管内仕上げ工
995	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管路作成工 GFRP加工
996	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管路作成工 GFRP板設置
997	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管路作成工 モルタル打設
998	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管路作成工 セメントモルタル充填
999	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	管渠内清掃工
1000	89	九州地方整備局	大隅河川国道事務所	上名地区外護岸補修その他工事	河川構造物			涵渠更正工 (インシュフォーム工法)	目視調査工
1001	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	断面修復
1002	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	断面修復
1003	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	断面修復(歩道部)
1004	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	断面修復(歩道部)
1005	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	断面修復(歩道部)
1006	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	コクリット剥落防止シート(歩道部)
1007	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補修工	コクリット剥落防止シート(歩道部)
1008	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補強工	炭素繊維シート(補強対策)
1009	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修(2期)工事(第1回変更)	トンネル	道路修繕	トンネル工	補強工	炭素繊維シート(補強対策)

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 23 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
1010	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	補強工	炭素繊維シート（補強対策）
1011	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	補強工	炭素繊維シート（補強対策）
1012	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	補強工	炭素繊維シート（補強対策）
1013	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	漏水対策工	種導水（歩道部）
1014	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	排水施設工	排水管設置（歩道部）
1015	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	排水施設工	排水管設置（歩道部）
1016	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	トンネル工	排水施設工	水切り設置（歩道部）
1017	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	構造物撤去工	構造物取壊し工	線導水撤去（コンクリート切断）
1018	89	九州地方整備局	大分河川国道事務所	加々鶴トンネル補修（2期）工事（第1回変更）	トンネル	道路修繕	仮設工	足場工	足場撤去
1019	89	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁				横込（ルース）
1020	89	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁				土砂等運搬
1021	89	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁				土砂等運搬
1022	89	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁				クラック処理（充填）
1023	89	九州地方整備局	長崎河川国道事務所	長崎管内構造物補修外工事	橋梁				防錆剤塗布
1024	89	九州地方整備局	八代河川国道事務所	球磨川下流地区根固製作その他工事	河川構造物				後付式ゴム止水板
1025	89	九州地方整備局	八代河川国道事務所	球磨川下流地区根固製作その他工事	河川構造物				取付け施工費
1026	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	コンクリート充填
1027	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕	舗装工	橋面防水工	橋面防水（シート防水）
1028	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕	舗装工	橋面防水工	橋面防水（塗膜防水）
1029	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕	舗装工	橋面防水工	橋面防水（現場削孔）
1030	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		橋脚コンクリート巻立て工	フレア溶接
1031	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		橋脚コンクリート巻立て工	天端部シール材設置
1032	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	水切り設置
1033	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	支承防錆：エボガードシステム
1034	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	支承防錆：エボガードシステム
1035	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	支承防錆：エボガードシステム
1036	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	ひび割れ注入
1037	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	ひび割れ充填
1038	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	表面保護（階段蹴上部）
1039	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	表面保護（階段蹴上部）
1040	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	表面保護（階段蹴上部）
1041	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		上部工補修工	表面保護（階段蹴上部）
1042	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	ひび割れ注入
1043	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	ひび割れ注入
1044	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	ひび割れ充填
1045	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復
1046	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復（耐震区分A）
1047	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復（耐震区分B）
1048	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復（犠牲陽極材設置部）
1049	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復（犠牲陽極材設置部）
1050	89	九州地方整備局	福岡国道事務所	福岡西維持管内橋梁補修補強工事	橋梁	道路修繕		下部補修工	断面修復（犠牲陽極材設置部）
1051	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				排水管取替
1052	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				弾性シール材設置
1053	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				シール材設置
1054	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				鉄筋探査
1055	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡3号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				ひび割れ注入

表 2.2.1-47 見積り資料の工事のレベル階層（レベル1～4）一覧 24 / 24

No.	局 No	地方整備局名	事務所名	工事件名	対象構造物	区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4
1056	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				ひび割れ注入
1057	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				ひびわれ充填
1058	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				断面補修工
1059	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				カッター目地
1060	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆
1061	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆
1062	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面含浸
1063	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面含浸
1064	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆工
1065	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆工
1066	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆工 中塗り
1067	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				表面被覆工 上塗り
1068	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 素地調整
1069	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 脱脂洗浄工
1070	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 下地処理工
1071	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 下塗り工
1072	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 中塗り工
1073	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				支承補修 上塗り工
1074	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				遊離石灰除去
1075	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				路面切削
1076	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				路面切削
1077	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				路面切削
1078	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				路面切削
1079	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				アスファルト舗装工（機械）
1080	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				アスファルト舗装工（機械）
1081	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				アスファルト舗装工（機械）
1082	89	九州地方整備局	北九州国道事務所	福岡 3 号貴船橋外9橋橋梁補修工事	橋梁				アスファルト舗装工（機械）
1083	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補修工	ひび割れ充填
1084	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補修工	犠牲陽極材設置
1085	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補修工	目地修復
1086	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 下地処理
1087	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 墨出し
1088	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 養生
1089	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 プライマー
1090	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 不陸製正
1091	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 繊維シート1層
1092	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 繊維シート1層
1093	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	函渠修繕工	函渠補強工	断面補強 表面仕上げ
1094	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	擁壁工	場所打杭工	足場設置・撤去
1095	90	沖縄総合事務局	南部国道事務所	平成 2 5 年度中山防災対策その他工事	函渠	道路修繕	擁壁工	被覆コンクリート工	土留板設置
1096	90	沖縄総合事務局	北部国道事務所	平成 2 5 年度北部国道管内橋梁補修（その5）工事	橋梁				ひび割れ充填
1097	90	沖縄総合事務局	北部国道事務所	平成 2 5 年度北部国道管内橋梁補修（その5）工事	橋梁				カッター切り

2.2.2 工事工種体系の統一

見積りを活用する積算では、標準積算基準の対象となっている工種と異なり、工種体系を設定するルールがない。そのため、同様の工種でも異なる名称が使用されたり、レベルが異なったりするなどの状況となっている。

工事工種体系を統一することは、今後、データベースとして蓄積し、類似工事を参照するなど、利活用するためには必要性が高いことから、収集した情報を基にその提案を行った。

(1) 工事工種体系の現状

河川及び道路の土木構造物の維持・修繕工事では、積算の体系化が図られていない工種が多い。そのため、積算標準歩掛が無いといった課題の他に、同じ工種であっても工事によって工種名が異なる、あるいは工事数量総括表で規定する工種階層（レベル）が異なる等の課題が生じている。

そのような中、平成 26 年度より、

土木工事標準歩掛では、道路維持修繕工の橋梁補修工に、

- ・ 橋梁補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））
- ・ 橋梁補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））
- ・ 橋梁補修工（断面修復工（左官工法））
- ・ 橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法）） が新設され、

積算体系ツリーでは、道路修繕（レベル 1）、橋梁補修工（レベル 2）の下に、

- ・ ひび割れ補修工（レベル 3） 低圧注入工法（レベル 4）
- 〃 （レベル 3） 充てん工法（レベル 4）
- ・ 断面修復工（レベル 3） 左官工法（レベル 4）
- ・ 表面被覆工（レベル 3） 下地処理（レベル 4）
- 〃 （レベル 3） プライマー塗布（レベル 4）
- 〃 （レベル 3） 下塗り（パテ塗布）（レベル 4）
- 〃 （レベル 3） 中塗り材塗布（レベル 4）
- 〃 （レベル 3） 上塗り材塗布（レベル 4）

が新設された。

(2) 工事工種体系（案）の提案

河川及び道路の土木構造物の維持・修繕工事の、積算の体系化が図られていない工種について、積算の体系化と工種名の統一を図るため、工事工種体系（案）の検討を行った。

工事工種体系（案）は、見積り資料から 349 工種（細別）の名称等を収集・整理し、現行の工事工種体系との整合にも配慮して検討を行った。

- ①新設するレベル 4 は、多く見積りを取っている工種を対象にして、汎用性のある工種名（細別名）を設定する。
- ②レベル 4 の新設にあたって、工事工種体系の中に新たなレベル 1、レベル 2 は新設しない。
- ③既存のレベル 3 の中で、レベル 4 の新設を検討するが、いずれのレベル 3 にも属さないなどそれが難しい場合は、レベル 3 の新設を検討する。その際は、平成 26 年度から新設されたレベル 3 の階層を参考にして、新たな工種・工法のレベル的な横並びを考慮する。
- ④また、新設するレベル 3 は、工事発注時の工事数量総括表を作る際、見積りを取った新しいレベル 4 の工種をどのレベル 3 の下に入れたら良いか枠組みを示せる必要がある。橋梁、トンネル、函渠、河川構造物の維持・修繕系工事において発注されている細別がいずれかのレベル 3 に属することができるよう、工事工種体系（案）で提案するレベル 3 が、先進的な工種も含め、広く偏りがない設定となっているか確認を行いながら検討を進めた。
- ⑤新設するレベル 3 は、特定の工法に限定されない汎用性の高いものとする。例えば、炭素繊維シート取付、アラミド繊維シート取付など繊維シートの材料の違いによる工種については材料を特定せず、「繊維シート取付工」としてレベル 3 に新設した。
- ⑥塗装関係の、レベル 3 表面被覆工（塗装工法）、同橋梁塗装工では、工事工種体系上はレベル 4 において、下塗り、中塗り、上塗りなど各工程を歩掛単位としているが、実際の見積り積算では全工程で一本の歩掛単位としているケースも見られるため、レベル 4 の各工程については自由度のあるものとして縛りは設けなかった。
- ⑦同じ工種であれば、レベル 1 レベル 2 が異なっている、レベル 4 の階層を統一することを基本とする。

なお、現行の工事工種体系においても階層の統一はされていないものもある。

ひび割れ補修工、断面修復工、表面被覆工については、道路修繕ではレベル 2 の橋梁補修工の下にレベル 3 として位置付けられているが、河川維持ではレベル 2 構造物補修工、レベル 3 クラック補修工の下にレベル 4 として位置付けられている。

道路修繕のレベル 2 トンネル工では、レベル 3 に漏水対策工、裏込め注入工が位置付けられており、道路トンネル変状マニュアル（案）（平成 15 年 2 月土木研

究所)において「剥落防止対策」「漏水対策」「覆工背面空洞充填対策」の3対策が同列で謳われていることから、レベル3として剥落防止工を新設し、その下に河川維持に倣いレベル4としてひび割れ注入、ひび割れ充填、断面修復、表面被覆(含浸工法)を位置付けた。

函渠については、道路修繕のレベル2カルバート工にレベル3函渠補修工を新設し、その下にレベル4としてひび割れ注入、ひび割れ充填を位置付けた。

表2.2.2-1において、工事工種体系(案)を示す。

現行の工種を黒字で表示し、今回提案の工種を赤字で表示する。

表2.2.2-1 工事工種体系(案) 1/2

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
道路修繕	橋梁床版工	床版補強工(鋼板圧着工法)	鋼板圧着
		床版補強工(増桁架設工法)	クラック処理 増桁架設
		床版増厚補強工	クラック処理 表面荒らし
		床版取替工	増し厚コンクリート 増桁架設
		鋼桁工	鋼桁補強工 現場溶接鋼桁補強 あて板補強 鋼桁部材取替
	橋梁支承工	鋼橋支承工	支承取替
		PC橋支承工	支承取替
	橋梁付属物工	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修 埋設ジョイント補修 鋼・ゴム製伸縮装置補修 伸縮装置取替
		落橋防止装置工	落橋防止装置 アンカー(落橋防止)
		排水施設工	排水樹 排水管 水切り
		地覆工	場所打地覆
		橋梁用防護柵工	橋梁用防護柵
		橋梁用高欄工	橋梁用高欄
		沓座拡幅工	テッピン 削孔 アンカーボルト挿入
	橋脚巻立て工	RC橋脚鋼板巻立て工	鋼板巻立て 現場溶接 定着用アンカー
		橋脚コンクリート巻立て工	コンクリート削孔 下地処理 コンクリート巻立て フレア溶接
		構造物撤去工	コンクリート構造物取壊し コンクリートはつり コンクリート表面処理
		橋梁補修工	橋梁地覆補修 支承取替 沓座モルタル打換え 防錆塗装 金属溶射
	橋梁補修工	現場溶接鋼桁補強工	現場溶接鋼桁補強
		ひび割れ補修工	低圧注入工法 充てん工法
		断面修復工	左官工法 吹付工法
		表面被覆工(塗装工法)	下地処理 プライマー塗布 下塗り(パテ塗布) 中塗り 上塗り
		表面被覆工(含浸工法)	下地処理工 含浸材塗布
		繊維シート取付工	繊維シート取付
		電気防食工	チタンメッシュ陽極材設置 犠牲陽極材設置
		ひび割れ抑止工	亜硝酸リウム内部圧入
		橋面防水工	橋面防水

表 2.2.2-1 工事工種体系（案） 2 / 2

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
道路修繕	現場塗装工	橋梁塗装工	素地調整
			下塗り
			中塗り
			上塗り
		橋梁付属物塗装工	素地調整
			下塗り
			中塗り
			上塗り
		コンクリート面塗装工	素地調整
			下塗り
			中塗り
			上塗り
	トンネル工	内装板工	内装板
		裏込注入工	裏込注入
		漏水対策工	面導水
			線導水
		剥落防止工	ひび割れ注入
			ひび割れ充填
			断面修復
			含浸材塗布
			繊維シート取付
			FRPシート取付
		内面補強工	鋼板接着工
			増厚工
			ロックボルト設置
	カルバート工	場所打ち函渠工	函渠
		函渠補修工	ひび割れ注入
			ひび割れ充填
			繊維シート取付
			電気防食(犠牲陽極材設置工)
河川維持	構造物補修工	クラック補修工	はつり
			下地処理
			鉄筋防錆処理
			ひび割れ注入
			ひび割れ充填
			断面修復
			表面処理
			表面被覆(塗装工法)
			表面被覆(含浸工法)
		ポーリンググラウト工	削孔
			注入
		欠損部補修工	欠損部取壊し
			欠損部補修
		樋管継手補修工	継手取替

2.2.3 概算工事費の算出とデータ収集のための帳票作成

前項で検討した 10 細別に関し、今後の概算工事費（直接工事費）を収集するための集計用帳票（原単価表）を検討・作成した。

帳票は、求める情報量を簡素化するため更にポイントを絞り、作成する帳票にて収集される工事費データにより将来的に、工事発注時の当該工種・細別に関する概算工事費を推測することが可能となるよう、概算工事費と併せて収集すべき施工規模等の工事情報を検討した。

(1) 概算工事費の算出と相関のある項目の検討

集計用帳票にて収集すべき施工規模等の工事情報について、歩掛見積資料より入手できた情報を基に、直接工事費との相関のある項目を細別ごとに検討した。

1) 伸縮装置取替

伸縮装置取替については、歩掛見積資料より施工数量が明記されている「シーリング設置」「歩道用伸縮装置」について確認し、以下 2 点の図を作成した。

概算工事費の把握のためには、既設撤去、シーリング、新規設置の全ての作業を含む総額でのデータ収集が望まれるため、図 2.2.3-1 及び図 2.2.3-2 を基本とする。

ただし、伸縮装置の規格により、金属製の伸縮装置を埋め込むものと、目地材のような材料を埋設型等の違いがあり、作業内容が異なるため、伸縮装置の規格（分類）に関する情報が必要である。他に直接工事費に影響する事項としては、止水装置の有無が考えられる。

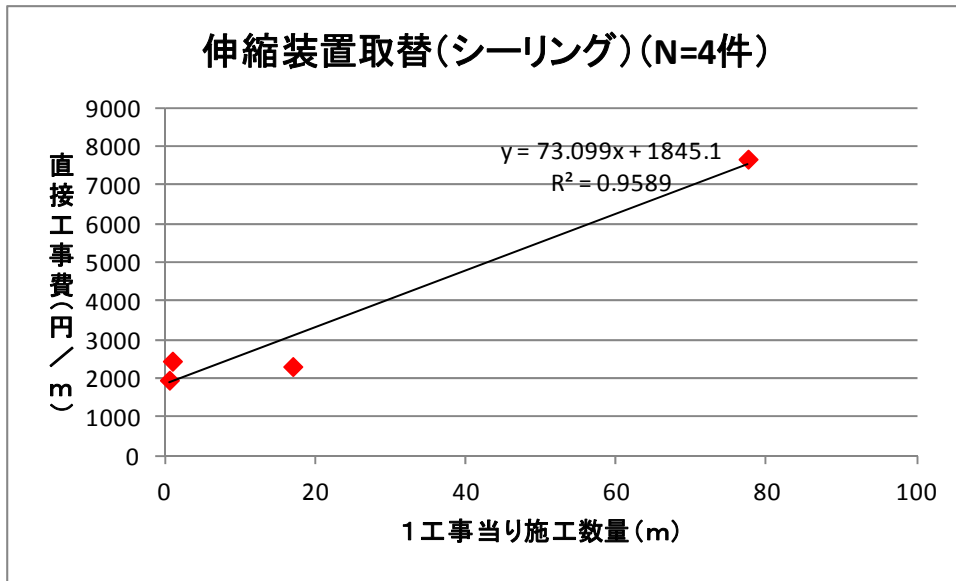


図 2. 2. 3-1 伸縮装置取替 (シーリング)

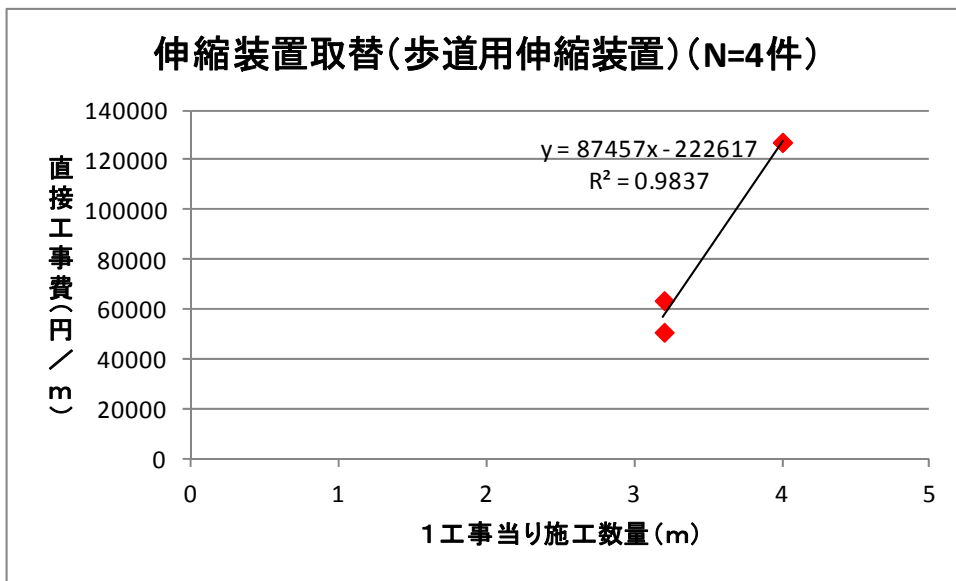


図 2. 2. 3-2 伸縮装置取替 (歩道用伸縮装置)

2) 支承防錆工（防錆塗装）

支承防錆工（防錆塗装）については、施工対象となる支承基数と1基あたりの費用として以下2点の図を作成した。

費用の内訳として機械運転費・材料費の情報が得られた2件について、総額から差し引き施工費のみのプロットとしたものが図2.2.3-4である（図中では2件が重複している）。2つの図を比較し、総額の場合と施工費のみの場合でプロットの傾向に大きな差は生じないと考えられるため、図2.2.3-3に示す、施工基数と総額の表が基本と考えられる。

他に影響する事項としては、支承1基あたりの施工面積が異なることから、支承の形状や規格、塗装仕様等が考えられる。

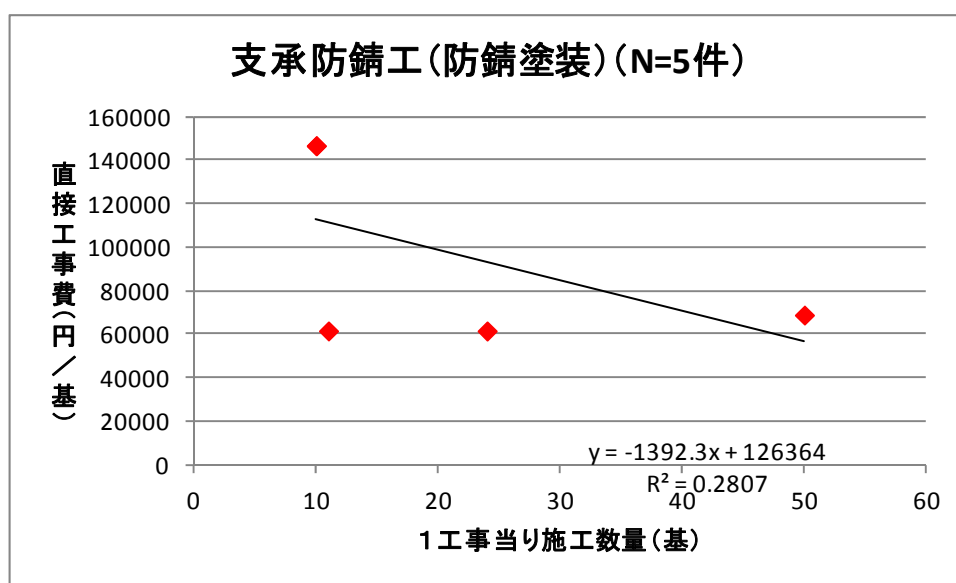


図 2.2.3-3 支承防錆工（防錆塗装）

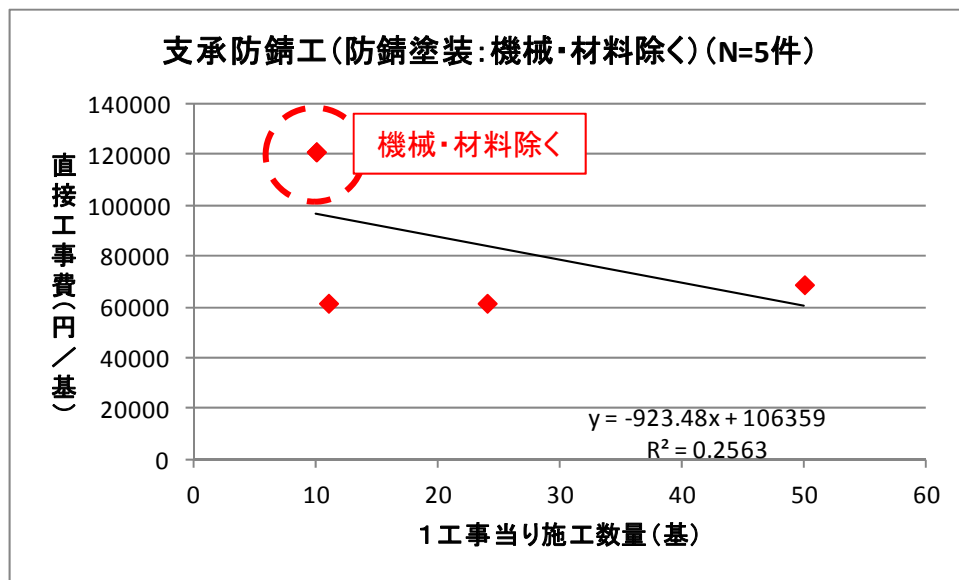


図 2. 2. 3-4 支承防錆工 (防錆塗装 : 機械 ・ 材料除く)

3) 支承防錆工（金属溶射）

支承防錆工（金属溶射）については、支承防錆工（防錆塗装）と同様に、施工対象となる支承基数と1基あたりの費用として以下2点の図を作成した。

費用の内訳として材料費の情報が得られた6件について、総額から差し引いたプロットとしたものが図2.2.3-5である（図中では2件が重複している）。総額で示した図2.2.3-6との比較では、プロットの傾向に大きな差は生じないと考えられるため、図2.2.3-6に示す施工基数と総額の表が基本と考えられる。

他に影響する事項としては、支承防錆工（防錆塗装）と同様に、支承の形状や規格、溶射仕様等が考えられる。

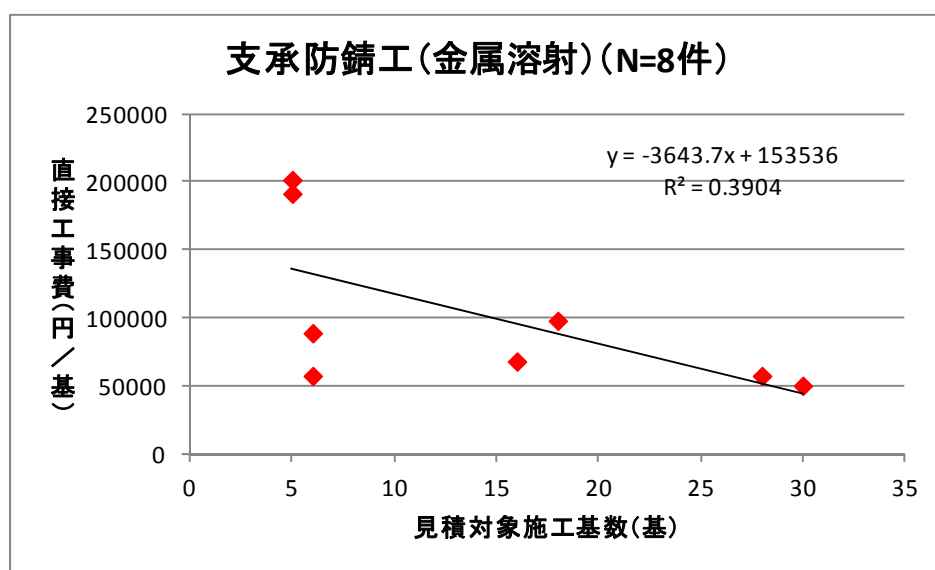


図 2.2.3-5 支承防錆工（金属溶射）

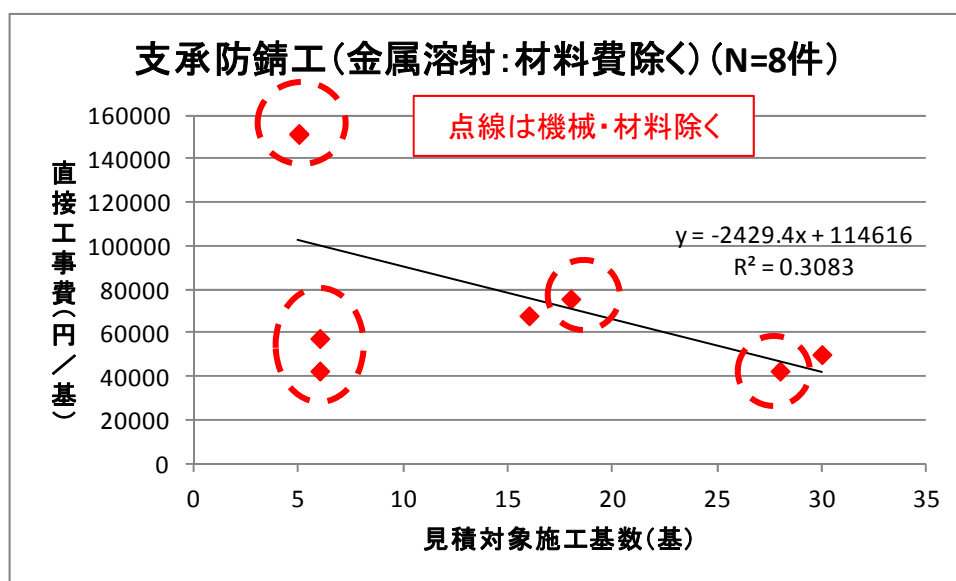


図 2.2.3-6 支承防錆工（金属溶射：材料費除く）

4) 断面修復工

断面修復工については、施工面積「m² あたり」及び充填量「m³ あたり」の 2 種の情報が混在していたため、それぞれについて図を作成した。

ただし、充填量の表として示した図 2.2.3-8 には、施工数量が 1.0m³ 以下の極小ロットのデータが含まれていたため、この 2 件を除外した図 2.2.3-9 を作成した。

本検討のデータ数では、施工面積又は充填量のいずれが集計用帳票の項目として最適か不明であるため、現時点では両方のデータを収集すべきだと考えられる。

他に影響する事項としては、鉄筋防錆処理の有無や断面修復材の種類が考えられる。

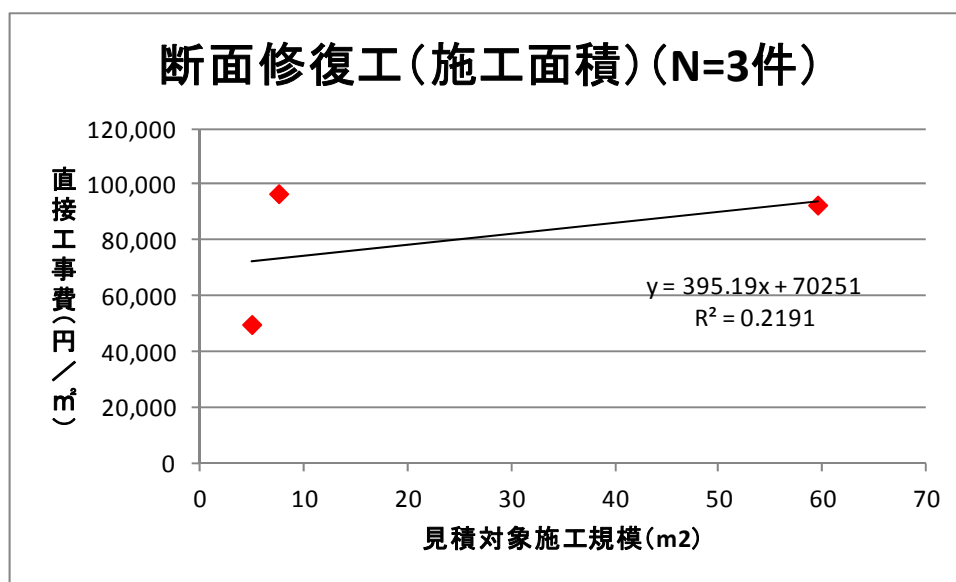


図 2.2.3-7 断面修復工（施工面積）

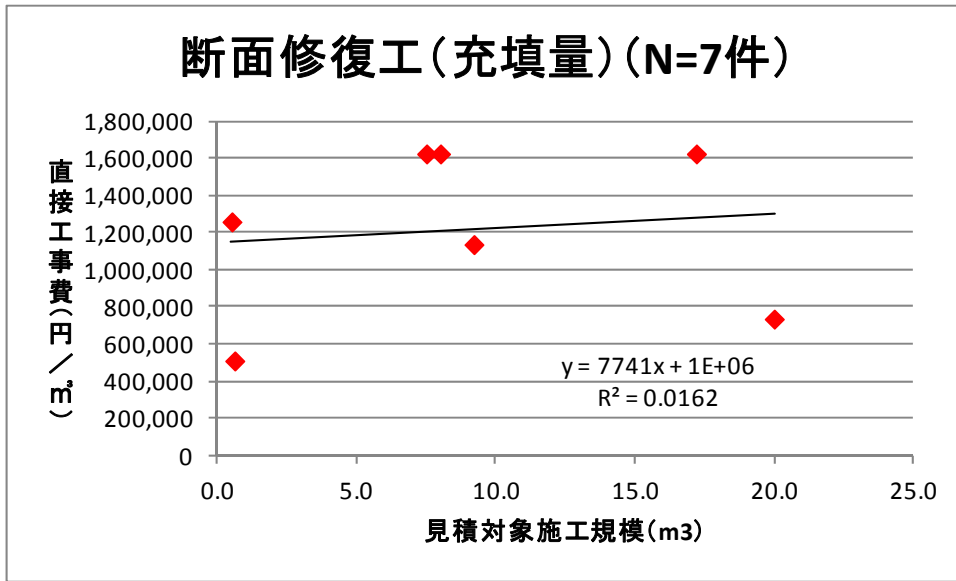


図 2. 2. 3-8 断面修復工 (充填量)

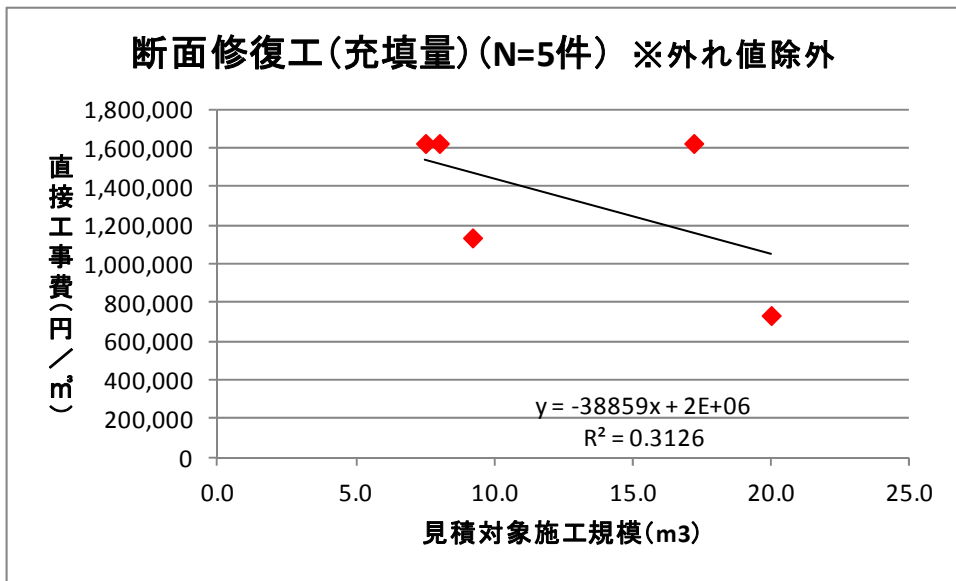


図 2. 2. 3-9 断面修復工 (充填量) 外れ値除外

5) 表面被覆工（含浸工法）

表面被覆工（含浸工法）については、施工規模として施工面積に関する図を作成した。

ただし、図 2.2.3-10 の中で、施工規模が 10,000m² を超えるデータは除外し、図 2.2.3-11 を作成した。

他に影響する事項としては、施工面処理の作業内容として簡易清掃又は下地処理の分類や、含浸材の種類が考えられる。特に含浸材の種類は、中性化対策又は塩害対策等の目的に応じて選択されるものであるため、重要な情報である。

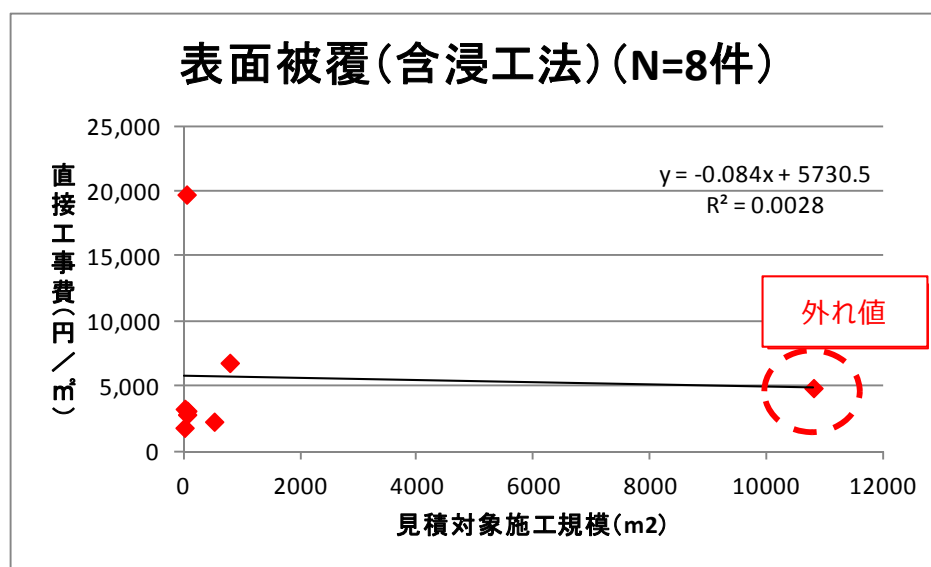


図 2.2.3-10 表面被覆（含浸工法）

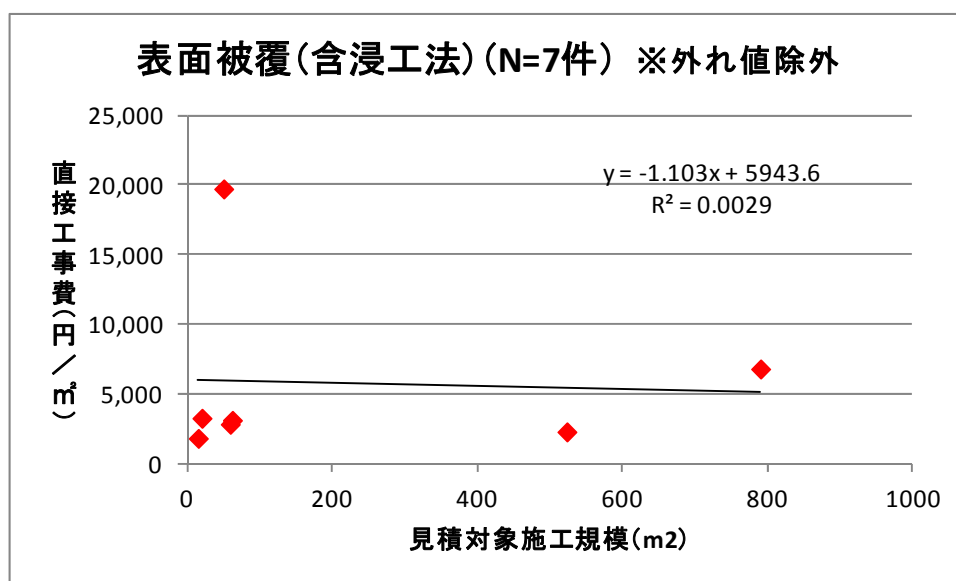


図 2.2.3-11 表面被覆（含浸工法）外れ値除外

6) ひび割れ注入

ひび割れ注入については、構造物として橋梁・河川構造物・トンネルのデータが得られたため、全てをプロットした図 2.2.3-12 及び、データ数が 7 件得られた橋梁のデータのみを抜粋した図 2.2.3-13 とを、施工延長を基に作成した。

施工規模（施工延長）の他に影響する事項としては、注入材の種類が考えられる。

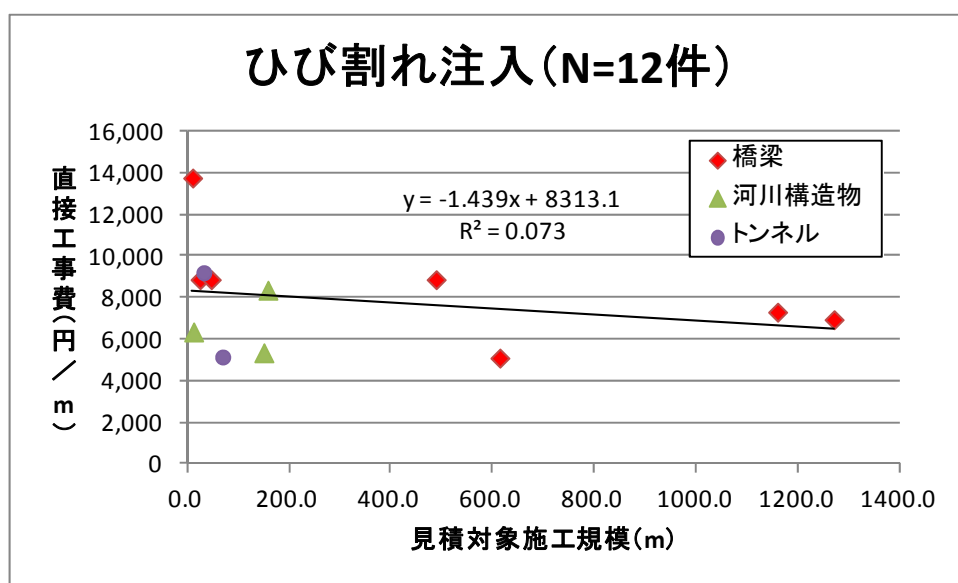


図 2.2.3-12 ひび割れ注入

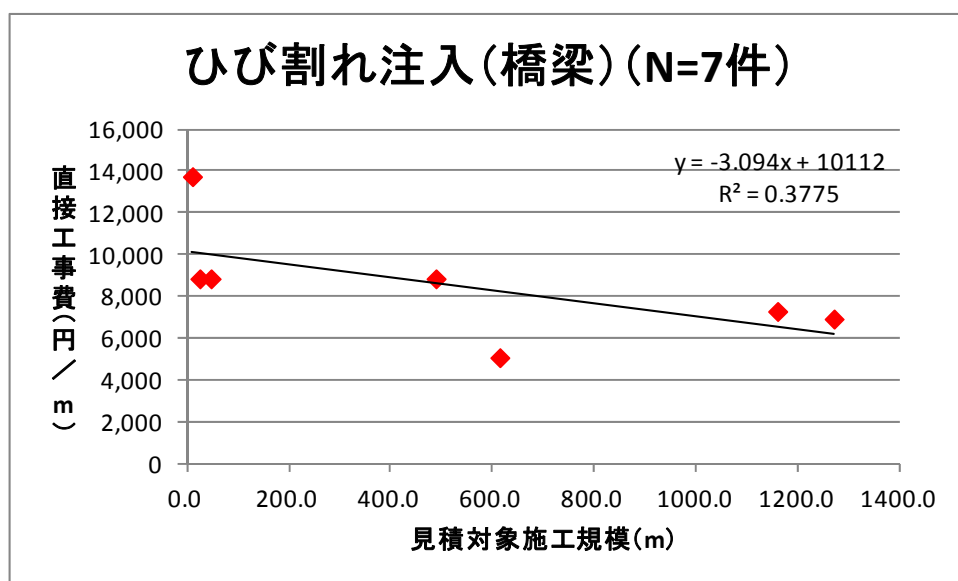


図 2.2.3-13 ひび割れ注入（橋梁）

7) 剥落防止（繊維シート取付）

剥落防止（繊維シート取付）については、施工規模として施工面積に関する図を作成したが、データ数が3件のみであったため参考図として示すものとし、直接工事費との相関については不明である。

他に影響する事項としては、繊維シートの種類、シートの目付量が考えられる。

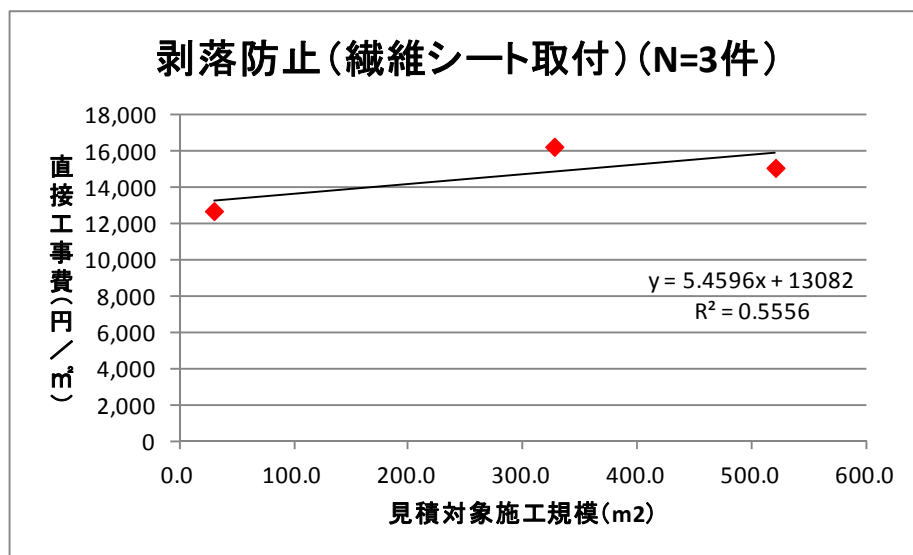


図 2. 2. 3-14 剥落防止（繊維シート取付）

ク．剥落防止（FRP シート取付）

剥落防止（FRP シート取付）については、剥落防止（繊維シート取付）と同様に施工規模として施工面積に関する図を作成したが、施工面積が 1.0m² のデータが含まれており、これを異常値と扱うと、データ数は 3 件となるため参考図として示す。

他に影響する事項としては、FRP シートの種類、固定用アンカーの規格や設置間隔が考えられる。

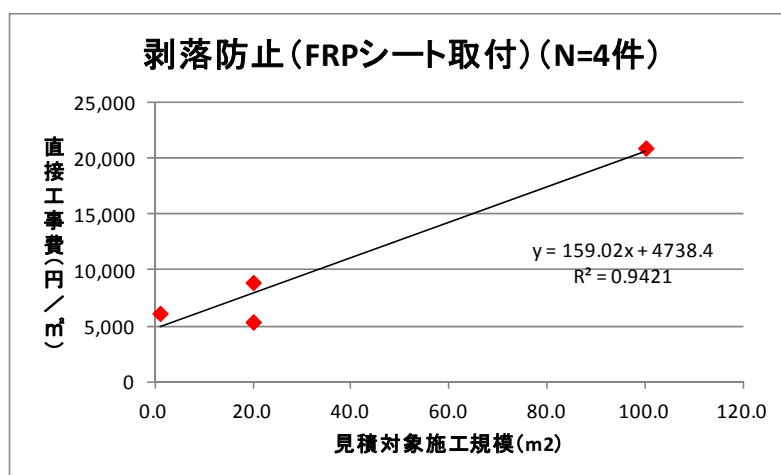


図 2. 2. 3-15 剥落防止（繊維シート取付）

(2) 概算工事費の算出と相関のある項目の検討

集計用帳票への記載項目として、前項にて図を作成し確認した項目を基に、集計用帳票における共通項目及び細別について、それぞれ必要と考えられる項目を表 2.2.3-1 及び表 2.2.3-2 に示す。

補修工事においては工種や細別の施工内容のみでなく、現場条件等によっても作業内容が変化し費用に少なからず影響を与えるため、細別に依らない共通の記載項目として、構造物諸元や工事条件に関する以下の項目を追加することとした。

また、各細別について採用した工法等の情報を記載項目とするのは、特殊な工法を採用したことにより作業内容が大きく変化する可能性が考えられ、同様の施工数量等に対しての直接工事費のバラツキの要因を特定し易くする意図である。

表 2.2.3-1 集計用帳票における共通項目

分類	項目
構造物諸元	橋梁
	函渠
	トンネル
	河川構造物
工事条件	施工時間帯指定の有無
	施工時間
	交通規制の有無
	交通規制時間
	足場条件（仮設）
	足場条件（高所作業車）
	資材搬入路の制限
	現場条件（市街地／郊外）
	現場条件（1 構造物／複数構造物点在）
各細別	採用した工法等の情報

表 2.2.3-2 集計用帳票への記載項目まとめ 1 / 5

伸縮装置取替

分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
構造物 諸元	スライド(有無、変更月、種類)	
	橋梁名	
	完成年度	
	橋長／径間	
	橋種	
	橋梁形式	
	床版	
	下部工	
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
工事数量	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	施工延長(m)	
伸縮装置の仕様	分類(荷重支持型／突合せ型／埋設型)	
	伸縮量(○～○mm)	
	止水装置の有無	
数量		
	施工数量(m)	
施工単価	施工単価(円/m)	

※施工単価参考資料 土木コスト情報

※施工単価参考資料 橋梁架設工事の積算

支承防錆工
(防錆塗装)

分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
構造物 諸元	スライド(有無、変更月、種類)	
	橋梁名	
	完成年度	
	橋長／径間	
	橋種	
	橋梁形式	
	床版	
	下部工	
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
工事数量	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	支承基数(基)	
支承仕様	塗装面積(m ²)	
	可動・固定区分	
	支承形式	
	主要材質	
塗装仕様	反力(KN)	
	素地調整	
	塗替塗装系	
数量	工法名(材料名)	
	基数	
	塗装面積(m ² /基)	
施工単価		
	素地調整単価(円/m ²)	
	塗装単価(円/m ²)	

※施工単価参考資料 防錆塗装カタログ

表 2.2.3-2 集計用帳票への記載項目まとめ 2 / 5

支承防錆工 (金属溶射)		
分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	涵渠	
	トンネル	
	河川 構造物	
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
工事数量	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	支承基数(基)	
支承仕様	溶射面積(m ²)	
	可動・固定区分	
	支承形式	
	主要材質	
塗装仕様	反力(KN)	
数量	溶射材	
	工法名(材料名)	
施工単価		
	基数	
	溶射面積(m ² /基)	

※施工単価参考資料 金属溶射カタログ

断面修復工		
分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	涵渠	完成年度
		延長
		材質(RC、PC)
		構造
		目的
		土被り
	トンネル	断面(内径)
		湧水の有無
		既存構造物撤去の有無
		水替えの有無
		トンネル名称
		完成年度
	河川 構造物	延長
		道路幅員
		断面積
		分類
		湧水の有無
		内装版等の有無
工事条件	内装版規格	内装版規格
		構造物(樋管樋門、可動堰等)
		構造物名称
		完成年度
		河川名
		構造区分(RCなど)
	施工部位	施工部位
		基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他
工事数量	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
施工部位	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	現場条件	
工事数量	断面修復材 充填量(m ³)	
	施工面積(m ²)	
施工内容	縦壁面(側方)橋台・橋脚、面渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床版、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
数量		
	鉄筋ケレン、防錆処理の有無	
施工単価	修復材の種類	
	工法名	
	施工面積(m ²)	
	材料充填量(m ³)	
	単価(施工面積)(円/m ²)	
	単価(充填量)(円/m ³)	

※施工単価参考資料 橋梁架設工事の積算

表 2.2.3-2 集計用帳票への記載項目まとめ 3 / 5

表面被覆 (含浸工法)			電気防食工 (犠牲陽極材設置)		
分類	項目	備考	分類	項目	備考
共通事項	事務所		共通事項	事務所	
	担当課			担当課	
	作成者指名			作成者指名	
	マイクロ			マイクロ	
	発注年度			発注年度	
	工事名			工事名	
	路線名及び事業名			路線名及び事業名	
構造物 諸元	工期		構造物 諸元	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)			スライド(有無、変更月、種類)	
	橋梁名			橋梁名	
	完成年度			完成年度	
	橋長／径間			橋長／径間	
	橋種			橋種	
	橋梁形式			橋梁形式	
	床版			床版	
	下部工			下部工	
	完成年度			完成年度	
	延長			延長	
	材質(RC、PC)			材質(RC、PC)	
	構造			構造	
	目的			目的	
	土被り			土被り	
	断面(内径)			断面(内径)	
	既存構造物撤去の有無			既存構造物撤去の有無	
	水替えの有無			水替えの有無	
	トンネル名称			トンネル名称	
	完成年度			完成年度	
	延長			延長	
	道路幅員			道路幅員	
	断面積			断面積	
	分類			分類	
	湧水の有無			湧水の有無	
	内装版等の有無			内装版等の有無	
	内装版規格			内装版規格	
	構造物(樋管樋門、可動堰等)			構造物(樋管樋門、可動堰等)	
	構造物名称			構造物名称	
	完成年度			完成年度	
	河川名			河川名	
	構造区分(RCなど)			構造区分(RCなど)	
	施工部位 基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他			施工部位 基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他	
工事条件	施工時間帯指定の有無		工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間			施工時間	
	交通規制の有無			交通規制の有無	
	交通規制時間			交通規制時間	
	足場条件(仮設)			足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)			足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限			資材搬入路の制限	
工事数量	現場条件(市街地／郊外)		工事数量	現場条件(市街地／郊外)	
	現場条件(1構造物／複数構造物点在)			現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
施工部位	施工面積(m ²)		施工部位	陽極材設置総数(個)	
	縦壁面(側方)橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面等			縦壁面(側方)橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等			天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等			床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他			その他	
施工内容 材料 工法等	施工面の処理(簡易清掃／下地処理)		施工内容 材料 工法等	犠牲陽極材の種類	
	含浸材種類 工法名			単位面積当たり取り付け数(個(本))/m ²) 工法名	
数量	施工面積(m ²)		数量	設置数(個(本))	
施工単価	単価(円/m ²)		施工単価	取付単価(円/個)	

※施工単価参考資料 土木コスト情報

電気防食工 (犠牲陽極材設置)		
分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
構造物 諸元	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
	橋梁名	
	完成年度	
	橋長／径間	
	橋種	
	橋梁形式	
	床版	
	下部工	
	完成年度	
	延長	
	材質(RC、PC)	
	構造	
	目的	
	土被り	
	断面(内径)	
	既存構造物撤去の有無	
	水替えの有無	
	トンネル名称	
	完成年度	
	延長	
	道路幅員	
	断面積	
	分類	
	湧水の有無	
	内装版等の有無	
	内装版規格	
	構造物(樋管樋門、可動堰等)	
	構造物名称	
	完成年度	
	河川名	
	構造区分(RCなど)	
	施工部位 基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他	
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
工事数量	現場条件(市街地／郊外)	
	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
施工部位	縦壁面(側方)橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
施工内容 材料 工法等	犠牲陽極材の種類	
	単位面積当たり取り付け数(個(本))/m ²) 工法名	
数量	設置数(個(本))	
施工単価	取付単価(円/個)	

表 2.2.3-2 集計用帳票への記載項目まとめ 4 / 5

ひび割れ注入

分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	涵渠	完成年度
		延長
		材質(RC、PC)
		構造
		目的
		土被り
		断面(内径)
		既存構造物撤去の有無
		水替えの有無
	トンネル	トンネル名称
		完成年度
		延長
		道路幅員
		断面積
		分類
		湧水の有無
	河川 構造物	内装版等の有無
		内装版規格
		構造物(樋管樋門、可動堰等)
		構造物名称
		完成年度
		河川名
		構造区分(RCなど)
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
工事数量	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	施工延長(m)	
施工部位	縦壁面(側方)橋台・橋脚、涵渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
注入材の種類	注入材種類	
	工法名	
数量	施工延長(m)	
施工単価	単価(円/m)	

※施工単価参考資料 橋梁架設工事の積算

※施工単価参考資料 土木工事標準積算基準書

剥落防止工
(繊維シート取付)

分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	涵渠	完成年度
		延長
		材質(RC、PC)
		構造
		目的
		土被り
		断面(内径)
		既存構造物撤去の有無
		水替えの有無
	トンネル	トンネル名称
		完成年度
		延長
		道路幅員
		断面積
		分類
		湧水の有無
	河川 構造物	内装版等の有無
		内装版規格
		構造物(樋管樋門、可動堰等)
		構造物名称
		完成年度
		河川名
		構造区分(RCなど)
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
工事数量	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
	施工面積(m2)	
施工部位	縦壁面(側方)橋台・橋脚、涵渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
繊維シート種類 規格(目付量)	炭素繊維／アラミド繊維(方向)	
	繊維シートの規格目付量(g/m2)	
	工法名	
数量	施工面積(m2)	
施工単価	単価(円/m2)	

※施工単価参考資料 土木コスト情報

表 2.2.3-2 集計用帳票への記載項目まとめ 5 / 5

剥落防止工 (FRPシート取付)		
分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	函渠	完成年度
		延長
		材質(RC、PC)
		構造
		目的
		土被り
		断面(内径)
		既存構造物撤去の有無
		水替えの有無
	トンネル	トンネル名称
		完成年度
		延長
		道路幅員
		断面積
		分類
		湧水の有無
		内装版等の有無
		内装版規格
	河川 構造物	構造物(樋管樋門、可動堰等)
		構造物名称
		完成年度
		河川名
		構造区分(RCなど)
		施工部位 基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
工事数量	施工面積(m ²)	
施工部位	縦壁面(側方)橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
繊維シート種類	枠、メッシュシート	
アンカー規格	M●—●●●	
アンカー設置間隔	m	
数量	施工面積(m ²)	
施工単価	単価(円/m ²)	

表面被覆工 (塗装工法)		
分類	項目	備考
共通事項	事務所	
	担当課	
	作成者指名	
	マイクロ	
	発注年度	
	工事名	
	路線名及び事業名	
	工期	
	スライド(有無、変更月、種類)	
構造物 諸元	橋梁	橋梁名
		完成年度
		橋長／径間
		橋種
		橋梁形式
		床版
		下部工
	函渠	完成年度
		延長
		材質(RC、PC)
		構造
		目的
		土被り
		断面(内径)
		既存構造物撤去の有無
		水替えの有無
	トンネル	トンネル名称
		完成年度
		延長
		道路幅員
		断面積
		分類
		湧水の有無
		内装版等の有無
		内装版規格
	河川 構造物	構造物(樋管樋門、可動堰等)
		構造物名称
		完成年度
		河川名
		構造区分(RCなど)
		施工部位 基礎／躯体／堰柱・門柱／胸壁・翼壁 扉体／水叩き／護床／護岸／管理橋 その他
工事条件	施工時間帯指定の有無	
	施工時間	
	交通規制の有無	
	交通規制時間	
	足場条件(仮設)	
	足場条件(高所作業車)	
	資材搬入路の制限	
	現場条件(市街地／郊外)	
	現場条件(1構造物／複数構造物点在)	
工事数量	施工面積(m ²)	
施工部位	縦壁面(側方)橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面等	
	天井面(上方)桁、床板、トンネル覆工、樋管等	
	床面(下方)床版、橋台・橋脚、屋根等	
	その他	
塗装主剤の種類	エポキシ樹脂／ポリウレタン樹脂／ポリマーセメント系	
数量	施工単価(円/m ²)	
施工単価	単価(円/m ²)	

※施工単価参考資料 橋梁架設工事の積算

※施工単価参考資料 土木工事標準積算基準書

(3) 各細別の集計用帳票（案）の作成

前項で検討した、表 2.2.3-1 に示す共通項目及び表 2.2.3-2 に示す各細別の記載項目のまとめに従い、各細別の概算工事費の集計用帳票（案）を作成した。また、作成した帳票の例を図 2.2.3-16～図 2.2.3-26 に示す。

伸縮装置取替原単価表(案)

事務所名

事務所

作成者氏名

マイクロー

発注年度

工事名

路線名及び事業名

工期

スライド(有無、変更月、種類)

無

距離標

記入に当たっての留意事項

[略図]・伸縮装置取替の平面、取替伸縮装置の構造を示した図面を添付願います。

表の中の

赤字

の部分

を記入の上、メールにて送付願います。

伸縮装置分類

荷重支持型／突合せ型／埋設型

伸縮装置伸縮量

伸縮量(○～○〇mm)を記載する。

止水装置の有無

止水装置を含む、含まないを○、×で記載する。(含む…○、含まない…×)

工法名

NETISなど特定工法の単価の場合工法名等を記載する。

橋種

鋼橋／PC橋／RC橋、等を記載する。

橋梁形式

板桁橋／箱桁橋／その他、等の形式を記載する。

下部工式

鋼製橋脚／RC橋脚／橋台、等を記載する。

足場条件

吊足場／朝顔／片側朝顔防護足場／橋脚回り足場／枠組足場／板張防護／シート張防護／パネル式吊足場 等

構造物諸元(橋梁)

橋梁名

完成年度

橋長

橋種

径間数

橋梁形式

床版

下部工形式

工事条件

施工時間の指定の有無

※有、無で記載する。

施工時間

23:30

～

4:50

※施工時間指定 有 の場合記載する。

交通規制の有無

※有、無で記載する。

規制時間

23:30

～

4:50

※規制時間 有 の場合記載する。

足場条件(仮設)

※足場種類を記載する。

足場条件(高所作業車)

※高所作業車規格を記載する。

資材搬入路の制限

※有、無で記載する。

現場条件1

※市街、郊外で記載する。

現場条件2

※構造物数を記載する。

<現場条件に関するメモや工法等>

番号

伸縮装置分類

伸縮装置伸縮量(mm)

止水装置の有無

工法名

施工数量(m)

施工単価(円/m)

金額(円)

1

2

3

4

5

図 2.2.3-16 集計用帳票（案）（伸縮装置取替）

第 2 章 - 91

作成者氏名	
マイクロ	

図 2.2.3-17 集計用帳票 (案) (支承防錆工 (防錆塗装))

支承防錆(金属溶射)原単価表(案)

事務所名	事務所
担当課	課

作成者氏名	
マイクロ	

発注年度		工事名		路線名及び事業名		工期	～																																											
スライド(有無、変更月、種類)				無	距離	標																																												
[略図]・支承防錆(金属溶射)を行なう支承の平面配置図、姿図(概略図)と塗装範囲を示した図面を添付願います。							記入に当たっての留意事項 ・表の中の 赤字 の部分を記入の上、メールにて送付願います。 鋼製支承 橋支承(LB)、支承板支承(BP+A、BP+B)、ピン支承(PN)、ピボット支承(PV)、ローラー支承(RO)、ロッカー支承(RCK)、ロッキングピボット支承(RPV)……支承形式をアルファベットで記載してください。 ゴム支承 可動・固定支承(可動)、地震時水平力分散ゴム支承(水平)、免震支承(免震)……支承の種類を()の略称で記載してください。 主要材質 金属支承、ゴム支承の区分を、(金属、ゴム)で記載してください。 反力(KN) 支承の受け持つ反力を記載してください。 ※単価の記載上、橋台・橋脚番号の記載が出来ない場合は、橋台・橋脚番号は行なわない。 溶射材 亜鉛(Zn)、亜鉛アルミニウム合金(Zn+Al)、アルミニウム(Al)、アルミニウムマグネシウム合金(Al+Mg) 橋種 鋼橋/PC橋/RC橋、等を記載する。 橋梁形式 板桁橋/箱桁橋/その他、等の形式を記載する。 下部工形式 鋼製橋脚/RC橋脚/橋台、等を記載する。 足場条件 吊足場/朝顔/片側朝顔防護足場/橋脚回り足場/特種足場/板強防護/シート張防護/パネル式吊足場 等 構造物諸元(橋梁) <table border="1"> <tr> <td>橋梁名</td><td></td><td>完成年度</td><td></td></tr> <tr> <td>橋長</td><td></td><td>橋種</td><td></td></tr> <tr> <td>径間数</td><td></td><td>橋梁形式</td><td></td></tr> <tr> <td>床版</td><td></td><td>下部工形式</td><td></td></tr> </table> 工事条件 <table border="1"> <tr> <td>施工時間の指定の有無</td><td></td><td>※有、無で記載する。</td></tr> <tr> <td>施工時間</td><td>23:30 ～ 4:50</td><td>※施工時間指定 有 の場合記載する。</td></tr> <tr> <td>交通規制の有無</td><td></td><td>※有、無で記載する。</td></tr> <tr> <td>規制時間</td><td>23:30 ～ 4:50</td><td>※規制時間 有 の場合記載する。</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>足場条件(仮設)</td><td></td><td>※足場種類を記載する。</td></tr> <tr> <td>足場条件(高所作業車)</td><td></td><td>※高所作業車規格を記載する。</td></tr> <tr> <td>資材搬入路の制限</td><td></td><td>※有、無で記載する。</td></tr> <tr> <td>現場条件1</td><td></td><td>※市街、郊外で記載する。</td></tr> <tr> <td>現場条件2</td><td></td><td>※構造物数を記載する。</td></tr> </table> <現場条件に関するメモや工法等>	橋梁名		完成年度		橋長		橋種		径間数		橋梁形式		床版		下部工形式		施工時間の指定の有無		※有、無で記載する。	施工時間	23:30 ～ 4:50	※施工時間指定 有 の場合記載する。	交通規制の有無		※有、無で記載する。	規制時間	23:30 ～ 4:50	※規制時間 有 の場合記載する。	足場条件(仮設)		※足場種類を記載する。	足場条件(高所作業車)		※高所作業車規格を記載する。	資材搬入路の制限		※有、無で記載する。	現場条件1		※市街、郊外で記載する。	現場条件2		※構造物数を記載する。
橋梁名		完成年度																																																
橋長		橋種																																																
径間数		橋梁形式																																																
床版		下部工形式																																																
施工時間の指定の有無		※有、無で記載する。																																																
施工時間	23:30 ～ 4:50	※施工時間指定 有 の場合記載する。																																																
交通規制の有無		※有、無で記載する。																																																
規制時間	23:30 ～ 4:50	※規制時間 有 の場合記載する。																																																
足場条件(仮設)		※足場種類を記載する。																																																
足場条件(高所作業車)		※高所作業車規格を記載する。																																																
資材搬入路の制限		※有、無で記載する。																																																
現場条件1		※市街、郊外で記載する。																																																
現場条件2		※構造物数を記載する。																																																
番号	橋脚台番号	支承仕様			金属溶射仕様		基数	溶射面積(m2/基)	溶射面積合計(m2)	溶射単価(円/m2)	溶射単価(円/基)	金額(円)																																						
		可動固定区分	支承形式	主要材質	反力(KN)	溶射材															工法名(材料名)																													
1																																																		
2																																																		
3																																																		
4																																																		
5																																																		

図 2. 2. 3-18 集計用帳票 (案) (支承防錆工 (金属溶射))

断面修復工原単価表(案)

事務所名

事務所

担当者

課

作成者氏名

マイク

発注年度		工事名		路線名及び事業名		工期	～		
スライド(有無、変更月、種類)		無		距離	標	記入に当たっての留意事項			
[略図]・断面修復箇所を示した平面図・断面図と断面修復の標準断面図を添付願います。						表の中の赤文字の部分 の部分を記入の上、メールにて送付願います。			
						施工部位 縦壁面(側方)、天井(上方)、床面(下方)など、施工部位により単価が違う場合該当する部位別に○を記入する。			
						鉄筋 単価に、鉄筋ケレン/防錆処理が含まれる、含まれないを記載する。(含まれる…○、含まれない…×)			
						修復材料 ポリマーセメント、樹脂系セメントの区分を記載する。			
						工法名 NETISなど特定工法の単価の場合工法名等を記載する。			
						橋梁形式 鋼橋/PC橋/RC橋、等を記載する。			
						橋梁形式 鉄桁橋/箱桁橋/その他、等の形式を記載する。			
						下部工 鋼製橋脚/RC橋脚/橋台、等を記載する。			
						足場条件 吊足場/朝顔/片側朝顔防護足場/橋脚回り足場/枠組足場/板張防護/シート張防護/パネル式吊足場 等			
						構造物諸元			
						名称		完成年度	
						延長			
						橋梁諸元			
						径間数		橋梁形式	
						橋種		下部工形式	
						床版			
						雨梁諸元			
						材質		断面(内径)	
						構造		既存構造物撤去の有、無	
						目的		水替えの有無	
土被り									
トンネル諸元									
道路幅員		湧水の有無							
断面積		内装板等の有無							
分類		内装板規格							
河川構造物諸元									
樋管・樋門		構造区分(RC等)							
可動堰									
<河川構造物施工部位> 施工にかかわる部分に○をつける									
基礎		堰柱							
翼壁		水叩き							
管理橋		護床							
工事条件									
施工時間の指定の有無		※有、無で記載する。							
施工時間		※施工時間指定 有 の場合記載する。							
交通規制の有無		※有、無で記載する。							
規制時間		※規制時間 有 の場合記載する。							
足場条件(仮設)		※足場種類を記載する。							
足場条件(高所作業車)		※高所作業車規格を記載する。							
資材搬入路の制限		※有、無で記載する。							
現場条件1		※市街、郊外で記載する。							
現場条件2		※構造物数を記載する。							
<現場条件に関するメモや工法等>									

番号	施工部位				鉄筋(ケレン/防錆の有無)	修復材の種類	工法名	施工面積(m2)	単価(面積)(円/m2)	材料充填量(m3)	単価(充填量)(円/m2)	金額(円)								
	縦壁面(側方)・橋台・橋脚、雨梁、樋門等の壁面	天井面(上方)・桁、床版、トンネル覆工、樋管等	床面(下方)・床版、橋合・橋脚、屋根等	その他																
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				

図 2.2.3-19 集計用帳票 (案) (断面修復工)

電気防食工（犠牲陽極材設置）原単価表（案）

事務所名

事務所

作成者氏名

マイクロ

発注年度

工事名

路線名及び事業名

工期

スライド（有無、変更月、種類）

距離標

記入に当たっての留意事項

[略図]・施工位置（部位）、施工延長わかる図面を添付願います。

表の中の

赤字

の部分を記入の上、メールにて送付願います。

施工部位

縦壁面（側方）、天井（上方）、床面（下方）など、施工部位により単価が違ふ場合該当する部位別に○を記載する。

犠牲陽極材の種類

亜鉛（Zn）／マグネシウム（Mg）／アルミ合金（Al）等を、（ ）内の記号で記載する。

設置数

単位面積当たりの犠牲陽極材設置数を記載する。（個（本）/m2）

工法名

NETISなど特定工法の単価の場合工法名等を記載する。

橋種

鋼橋／PC橋／RC橋、等を記載する。

橋梁形式

板桁橋／箱桁橋／その他、等の形式を記載する。

下部工

鋼製橋脚／RC橋脚／橋台、等を記載する。

足場条件

吊足場／朝顔／片側朝顔防護足場／橋脚回り足場／枠組足場／板張防護／シート張防護／パネル式吊足場 等

構造物諸

名称

完成年度

橋梁諸元

延長

橋梁形式

橋種

下部工形式

床版

面架諸元

材質

断面（内径）

構造

既存構造物撤去の有、無

目的

水替えの有無

土被り

トンネル諸元

道路幅員

透水の有無

断面積

内装板等の有無

分類

内装板規格

河川構造物諸元

樋管・樋門

構造区分（RCなど）

可動堰

＜河川構造物施工部位＞施工にかかわる部分に○をつける

基礎

堰体

堰柱

門柱

胸壁

翼壁

堰体

水叩き

護床

護岸

管理橋

その他

工事条件

施工時間の指定の有無

※有、無で記載する。

施工時間

23:30

～

4:50

※施工時間指定 有 の場合記載する。

交通規制の有無

※有、無で記載する。

規制時間

23:30

～

4:50

※規制時間 有 の場合記載する。

足場条件（仮設）

※足場種類を記載する。

足場条件（高所作業車）

※高所作業車規格を記載する。

資材搬入路の制限

※有、無で記載する。

現場条件1

※市街、郊外で記載する。

現場条件2

※構造物数を記載する。

＜現場条件に関するメモや工法等＞

番号

縦壁面（側方）橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面

天井面（上方）桁、床版、トナリ工、樋管等

床面（下方）床版、橋台・橋脚、屋根等

その他

犠牲陽極材の種類

単位面積当たり設置数（個（本）/m2）

工法名

設置数（個）

単価（円/個）

金額（円）

※断面修復の費用は含まない金額を記載する。

1

2

3

4

5

図 2.2.3-21 集計用帳票（案）（電気防食工（犠牲陽極材設置））

第 2 章 - 96

ひび割れ注入原単価表(案)

事務所名										事務所										作成者氏名									
担当課										課										マイクログ									
発注年度				工事名				路線名及び事業名				工期																	
スライド(有無、変更月、種類)				無				距離				標				記入に当たっての留意事項													
[略図]・施工位置(部位)、施工延長わかる図面を添付願います。														・表の中の 赤字 の部分を記入の上、メールにて送付願います。 施工部位 縦壁面(側方)、天井(上方)、床面(下方)など、施工部位により単価が違う場合該当する部位別に○を記入する。 注入材の種類 エポキシ樹脂/アクリル樹脂/ポリマーセメントモルタル を、記載する。 工法名 NETISなど特定工法の単価の場合工法名等を記載する。 橋種 鋼橋/PC橋/RC橋、等を記載する。 橋梁形式 板桁橋/箱桁橋/その他、等の形式を記載する。 下部工形式 鋼製橋脚/RC橋脚/橋台、等を記載する。 足場条件 吊足場/朝顔/片側朝顔防護足場/橋脚回り足場/枠組足場/板張防護/シート張防護/パネル式吊足場 等 構造物諸元 名称 完成年度 延長 橋梁諸元 径間数 橋梁形式 橋種 下部工形式 床版 面梁諸元 材質 断面(内径) 構造 既存構造物撤去の有、無 目的 水替えの有無 土被り トンネル諸元 道路幅員 湧水の有無 断面積 内装板等の有無 分類 内装板規格 河川構造物諸元 樋管・樋門 構造区分(RCなど) 可動堰 <河川構造物施工部位> 施工にかかわる部分に○をつける 基礎 躯体 堰柱 門柱 胸壁 翼壁 扉体 水叩き 護床 護岸 管理橋 その他 構造物諸元 施工時間の指定の有無 ※有、無で記載する。 施工時間 23:30 ~ 4:50 ※施工時間指定 有 の場合記載する。 交通規制の有無 ※有、無で記載する。 規制時間 23:30 ~ 4:50 ※規制時間 有 の場合記載する。 足場条件(仮設) ※足場種類を記載する。 足場条件(高所作業車) ※高所作業車規格を記載する。 資材搬入路の制限 ※有、無で記載する。 現場条件1 ※市街、郊外で記載する。 現場条件2 ※構造物数を記載する。 <現場条件に関するメモや工法等>															
番号	施工部位				注入材の種類	工法名	施工延長(m)	単価(円/m)	金額(円)																				
	縦壁面(側方)・橋台・橋脚、面梁、樋門等の壁面	天井面(上方)・桁、床版、トンネル環工、縦管等	床面(下方)・床版、橋台・橋脚、屋根等	その他																									
1																													
2																													
3																													
4																													
5																													

図 2. 2. 3-22 集計用帳票 (案) (ひび割れ注入)

表面被覆工（塗装工法）原単価表（案）

事務所名

事務所

作成者氏名

マイクロー

発注年度

工事名

路線名及び事業名

工期

スライド（有無、変更月、種類）

距離

標

記入に当たっての留意事項

表の中の

赤字

の部分

を記入の上、メールにて送付願います。

施工部位

縦壁面（側方）、天井（上方）、床面（下方）など、施工部位により単価が違う場合該当する部位別に○を記入する。

塗装主剤の種類

エポキシ樹脂／ポリウレタン樹脂／ポリマーセメント系

工法名

NETISなど特定工法の単価の場合工法名等を記載する。

橋種

鋼橋／PC橋／RC橋、等を記載する。

橋梁形式

鉄桁橋／箱桁橋／その他、等の形式を記載する。

下部工形式

鋼製橋脚／RC橋脚／橋台、等を記載する。

足場条件

吊足場／朝顔／片側朝顔防護足場／橋脚回り足場／枠組足場／板張防護／シート張防護／ハネル式吊足場 等

構造物諸元

名称

完成年度

延長

橋梁諸元

橋間数

橋梁形式

橋種

下部工形式

床版

面架諸元

材質

断面（内径）

構造

既存構造物撤去の有、無

目的

水替えの有無

土盛り

トンネル諸元

道路幅員

湧水の有無

断面積

内装板等の有無

分類

内装板規格

河川構造物諸元

樋管・樋門

構造区分（RC等）

可動堰

＜河川構造物施工部位＞施工にかかわる部分に○をつける

基礎

堰体

堰柱

門柱

胸壁

翼壁

扉体

水叩き

護床

護岸

管理橋

その他

構造物諸元

施工時間の指定の有無

※有、無で記載する。

施工時間

23:30

～

4:50

※施工時間指定 有 の場合記載する。

交通規制の有無

※有、無で記載する。

規制時間

23:30

～

4:50

※規制時間 有 の場合記載する。

足場条件（仮設）

※足場種類を記載する。

足場条件（高所作業車）

※高所作業車規格を記載する。

資材搬入路の制限

※有、無で記載する。

現場条件1

※市街、郊外で記載する。

現場条件2

※構造物数を記載する。

＜現場条件に関するメモや工法等＞

番号

縦壁面（側方）橋台・橋脚、面架、樋門等の壁面

天井面（上方）桁、床板、トナリ覆工、樋管等

床面（下方）床版、橋台・橋脚、堰根等

その他

塗装主剤の種類

工法名

施工面積（㎡）

単価（円/㎡）

金額（円）

1

2

3

4

5

図 2. 2. 3-25 集計用帳票（案）（表面被覆工（塗装工法））

第 2 章 - 100

支承防錆(金属溶射)原単価表(案)

事務所名

事務所

担当課

課

作成者氏名

マイク ロ

【作成例】

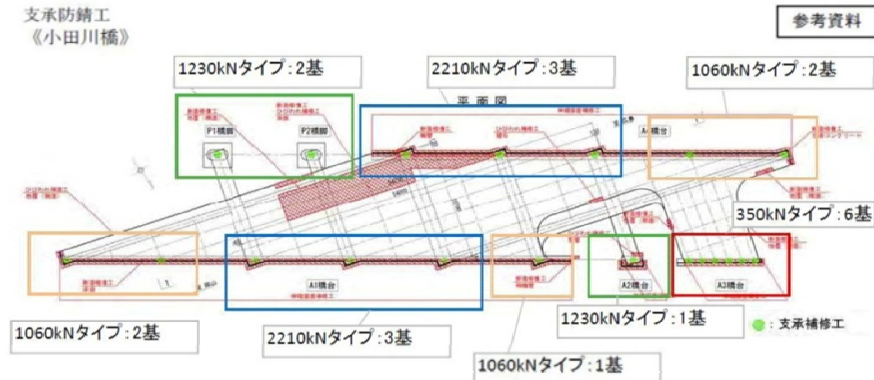
発注年度	平成25年度	工事名	福山管内構造物修繕工事	路線名及び事業名	国道2号	工期	平成25年5月	～	平成26年3月
スライド(有無、変更月、種類)			無	距離	標	記入に当たっての留意事項			
[略図]・支承防錆(金属溶射)を行なう支承の平面配置図、姿図(概略図)と塗装範囲を示した図面を添付願います。									
支承防錆工 《小田川橋》  参考資料 支承数： 20 基 100～1500kNタイプ 線支承 (LB寄) 6 基 100～1500kNタイプ 支承板支承 (BP寄) 8 基 1501～3000kNタイプ 支承板支承 (BP寄) 6 基 計 20 基						表の中の赤文字の部分を記入の上、メールにて送付願います。 鋼製支承 線支承(LB)、支承板支承(BP・A、BP・B)、ピン支承(PN)、ピボット支承(PV)、ローラー支承(RO)、ロッカー支承(RCK)、ロッキングピアピボット支承(RPV)……支承形式をアルファベットで記載してください。 ゴム支承 可動・固定支承(可動)、地震時水平力分散ゴム支承(水平)、免震支承(免震)……支承の種類を()の略称で記載してください。 主要材質 金属支承、ゴム支承の区分を、(金属、ゴム)で記載してください。 反力(KN) 支承の受け持つ反力を記載してください。 ※単価の記載上、橋台・橋脚番号の記載が出来ない場合は、橋台・橋脚番号は行なわない。 溶射材 亜鉛(Zn)、亜鉛アルミニウム合金(Zn+Al)、アルミニウム(Al)、アルミニウムマグネシウム合金(Al+Mg) 橋 鋼橋/PC橋/RC橋、等を記載する。 橋梁形式 板桁橋/箱桁橋/その他、等を記載する。 下部工 鋼製橋脚/RC橋脚/橋台、等を記載する。 足場条件 吊足場/脚盤/片側脚盤防護足場/橋脚回り足場/枠組防護/板張防護/シート防護/バネル式吊足場 等			
構造物諸元(橋梁)									
橋梁名		小田川橋		完成年度		1973年			
橋長		53.4m		橋種		鋼橋			
径間数		1径間		橋梁形式		桁橋			
床版		RC床版		下部工形式		RC			
工事条件									
施工時間の指定の有無		無		※有、無で記載する。					
施工時間		～		※施工時間指定 有 の場合記載する。					
交通規制の有無		無		※有、無で記載する。					
規制時間		～		※規制時間 有 の場合記載する。					
足場条件(仮設)		吊足場		※足場種類を記載する。					
足場条件(高所作業車)				※高所作業車規格を記載する。					
資材搬入路の制限		無		※有、無で記載する。					
現場条件1		市街地		※市街、郊外で記載する。					
現場条件2				※構造物数を記載する。					
<現場条件に関するメモや工法等>									

図 2. 2. 3-26 集計用帳票 (案) (支承防錆工 (金属溶射)) の作成例

2.3 維持修繕工事の積算に関わる事例集（案）等の作成

2.3.1 はじめに

我が国において、社会資本ストックの適切な維持管理・更新が大きな課題となっている。

例えば橋梁では、建設後 50 年以上を経過したものが平成 25 年で約 71,000 橋（全体の約 18%）から平成 35 年では 171,000 橋（同約 43%）となるなど、社会資本の老朽化が今後急速に進み、財政の制約があるなかで、どのようにマネジメントしていくのか、政策面、技術面等多様な観点から検討や技術開発が進められている。

一方、社会資本ストックの維持管理・更新を実行する立場である各施設の管理者としては、実務的な課題として、「適正な予定価格の積算」、「出来高及び品質の確認」に苦労を重ねている。

この理由として、維持修繕工事の施工条件や施工内容は多種多様であり、実態を反映した積算基準とすることが難しいことや、既設構造物の補修・補強の監督・検査において不可視部分の施工等に対する十分な対応が難しいことなどが挙げられる。

平成 26 年度に橋梁補修関係の断面修復工、ひび割れ補修工、表面被覆工が標準積算基準に加えられるなど、その業務量の増大に対応するための取組が進められており、使用される頻度が多い共通的な事項について基準化を進める取組が今後求められる。

また、上記のような維持修繕工事の特徴から基準化できない事項については、業務の効率化のための措置を講じることによって、業務負担の軽減を図ることが求められる。

この「業務の効率化のための措置」は、発注機関によって手法が異なり、また担当者個人が創意工夫により実施している取組などもあるが、これまでこれらを共有する取組は行われてこなかった。

そこで、国土技術政策総合研究所では、平成 25 年度より現状を改善するための検討を行っており、これまでに、積算については見積りにより積算した工種の歩掛や施工条件、見積り徴収の方法など、監督・検査については基準が無い中でどのように実施しているのかについて、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局の各事務所の協力のもとアンケート調査やヒアリング等を実施し、情報の収集、整理、分析を行ってきた。

これまでの成果を、維持修繕工事の積算に関わる事例集（案）、概算工事費集計用帳票（案）、施工管理項目（案）及び監督・検査事例（案）として取りまとめた。

2.3.2 維持修繕工事の積算に関わる事例集（案）等の作成方針

(1) 積算に関わる事例集（案）

本資料は、河川及び道路の土木構造物の維持・修繕工事のうち、積算の体系化が図られていない工種を対象とし、積算の体系化と工種の統一を図ることを目的として工事工種体系（案）を整理するとともに、追加された工種についての用語の定義を行った。また、追加された工種のうち、施工件数、重要度、必要性等を考慮して、10 工種を抽出し、工事発注時や見積り徴集の際の参考資料として、以下の資料を作成した。

- ・ 特記仕様書（条件明示）
- ・ 数量内訳書（積算方法）
- ・ 設計図面（工事内容の明示、条件明示）

(2) 概算工事費集計用帳票（案）

本資料は、(1) 積算に関わる事例集（案）において工事発注時の参考資料を作成した 10 工種について、概算工事費（直接工事費）と施工規模、施工条件について調査するための帳票である。

本帳票データを活用し、工事条件別に施工規模と概算工事費の関係を求め、積算時や見積り徴集の際の工事価格の参考資料とすることを目的に作成した。

(3) 施工管理項目（案）

本資料は、維持・修繕工事として追加された工種のうち 21 工種について、現場での施工管理項目である、出来形管理基準、品質管理基準、写真管理基準を実際の施工計画書を参考に作成した。

(4) 監督・検査事例集（案）

本資料は、維持修繕工事の監督検査について、受発注者間で共通の認識を持つための基礎資料として取りまとめたものであり、監督検査の具体例として、過去の実例をもとに、工法概要、工事図面、工事写真、施工管理方法（出来形管理、品質管理、写真管理、段階確認、立会確認等）を示した。

2.3.3 現場試行活用による検証

(1) アンケート概要

1) アンケート調査の内容

ア. 調査対象工種

維持修繕工事の事例集（素案）に示されている工種は表 2.3.3-1 に示すとおりで、「積算に関わる事例集」には 10 細別、「概算工事費集計用帳票」には 10 細別、「施工管理項目」には 21 細別、「監督・検査事例集」には 8 細別が示されている。今回のアンケート調査ではこれら全細別を対象とした。

表 2.3.3-1 事例集等（素案）に示されている細別の比較

	積算に関わる事例集 [10 細別]	概算工事費集計用帳票 [10 細別]	施工管理項目 [21 細別]	監督・検査事例集 [8 細別]
1	伸縮装置取替	伸縮装置取替	伸縮装置取替	
2	支承防錆工 (防錆塗装)	支承防錆工 (防錆塗装)	防錆塗装	
3	支承防錆工 (金属溶射)	支承防錆工 (金属溶射)	金属溶射	支承防錆工
4	断面修復工	断面修復工	断面修復	断面修復工
5	表面被覆工 (含浸工法)	表面被覆 (含浸工法)	表面被覆工 (含浸工法)	表面被覆工
6	電気防食工 (犠牲陽極材設置)	電気防食工 (犠牲陽極材設置)	犠牲陽極材設置	
7	表面被覆工 (塗装工法)	表面被覆工 (塗装工法)	表面被覆工 (塗装工法)	
8	ひび割れ注入	ひび割れ注入	ひび割れ注入	ひび割れ注入工
9	剥落防止工 (繊維シート取付)	剥落防止工 (繊維シート取付)	繊維シート取付	剥落防止工
10	剥落防止工 (FRP シート取付)	剥落防止工 (FRP シート取付)	F R P シート取付	
11			フレア溶接	
12			床版補強工 (炭素繊維接着工 法)	
13			あて板補強	
14			水切り	
15			沓座モルタル打換 え	
16			吹付工法	
17			橋面防水	
18			ひび割れ充填	ひび割れ充填工
19			鋼板接着	
20			増厚	
21			ロックボルト設置	
22				橋脚巻立て工
23				漏水対策工(線導水)

また、調査件数については、地域性によるばらつきをなくするため、各地方整備局 10 工事を抽出し回答をもらうこととした。(10 地整×10 工事＝100 工事)

また、維持修繕工事の事例集（素案）は発注時に使用するものから検査時に使用するものまでであるため、対象工事は、工事期間中または工事完了直後の工事とした。なお、これによりがたい場合は、工事完了後の工事を対象とした。

イ. 調査対象者

維持修繕工事の事例集（素案）の使用者は、発注者、受注者双方であり、また、発注者においては、発注部局の職員、監督職員、検査職員が使用者となる。

以下に各事例集の使用者を整理し、アンケートの調査対象者を表 2.3.3-2 のとおり設定した。

- ・積算に関わる事例集（素案）
発注者：当該工事の発注部署の職員
受注者：当該工事の監理技術者、現場代理人
- ・概算工事費集計用帳票（素案）
発注者：当該工事の発注部署の職員
受注者：当該工事の監理技術者、現場代理人
- ・施工管理項目（素案）及び監督・検査事例（素案）
発注者：当該工事の監督職員、及び、工事検査官
受注者：当該工事の監理技術者、現場代理人

表 2.3.3-2 アンケート調査対象者

	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案） 及び監督・検査事例（素案）
発注者	・当該工事の発注部署の職員		・当該工事の監督職員 ・工事検査官
受注者	・当該工事の監理技術者、現場代理人		

ウ. アンケート調査項目

アンケートは下記に示す 12 項目を基本とした。

表 2.3.3-3 基本調査項目

<u>(全体共通)</u>			
①工事概要（工事名、工期、工事内容、工事規模、概算数量）			
②適用又は適用を想定した工種等（レベル 4 まで）			
③適用上の課題・改善項目			
④業務の効率化に関する事項			
⑤その他特記事項			
<u>(積算に関する事例集関連)</u>	<u>(概算工事費集計用帳票関連)</u>	<u>(監督検査項目)</u>	<u>(監督・検査事例)</u>
⑥発注図書等に反映した具体的事項	⑦集計項目の妥当性 ⑧追加すべき集計項目 ⑨集計の単位等	⑩施工管理項目の妥当性 ⑪監督・検査事例の妥当性 ⑫他工種における監督・検査項目との整合性	

また、今回のアンケートでは、上記とあわせ、以下の内容を追加した。

- ・ 工事場所、発注者情報、契約額、工事制約条件
- ・ 業務の効率化につながった事例集の使い方
- ・ 事例集の活用促進方法

表 2.3.3-4 に具体的な調査項目を示す。

表 2.3.3-4 アンケート調査項目

分類	項目	
工事名等	適用または適用を想定した工種（レベル４）	
	工事名	
	回答者の立場	
記入者情報	所属	
	役職	
	氏名	
	電話	
	E-mail	
工事概要	工事場所	
	発注地方整備局名	
	発注事務所名	
	受注者（法人名）	
	工期（自）	
	工期（至）	
	契約額（当初）（税込）	
	契約額（最終）（税込）	
	工事内容	
	工事制約条件	
「積算に関わる事例集（素案）」について	発注図書等に反映した事項とその内容（適用性）	特記仕様書
		数量総括表
		設計図面
	業務の効率化につながった項目とその使い方	
	適用上の課題・改善項目	特記仕様書
		数量総括表
		設計図面
	活用促進の方法	
	その他	
「概算工事費集計用帳票（素案）」について	集計項目等の妥当性（適用上の課題・改善項目）	構造物諸元の項目
		工事条件の項目
		工事原単価項目
	業務の効率化に向けた更なる活用方法の提案	
	活用促進の方法	
	その他	
「施工管理項目（素案）」及び「監督・検査事例（素案）」について	「施工管理項目（素案）」の妥当性（適用性）	出来形管理項目
		品質管理項目
		写真管理項目
	業務の効率化につながった項目とその使い方	
	適用上の課題・改善項目	出来形管理項目
		品質管理項目
		写真管理項目
	他工種における監督・検査項目との整合性	出来形管理項目
		品質管理項目
		写真管理項目
	「監督・検査事例（素案）」の妥当性	事例集の必要性
		項目の追加
		項目の削除
	活用促進の方法	
	その他	

エ. 対象者別アンケート調査項目の設定

一つの工事で発注者（発注部署の職員、監督職員、工事検査官）と受注者が回答するので、アンケート対象者別に質問項目を以下の通り整理した。

工事名等 [①発注部署の職員／②監督職員／③工事検査官／④監理技術者、現場代理人]

項目	記載例	①	②	③	④
適用または適用を想定した工種 (レベル4まで)	以下の10細別より選択 伸縮装置取替／防錆塗装／金属溶射／断面修復工／表面被覆工(含浸工法)／犠牲陽極材設置／ひび割れ注入／繊維シート取付／FRPシート取付／表面被覆工(塗装工法)	○	○	○	○
工事名	○○○○工事	○	○	○	○
回答者の立場	以下の4区分より選択 発注部署の職員／監督職員／工事検査官／監理技術者、現場代理人	○	○	○	○

記入者情報 [①発注部署の職員／②監督職員／③工事検査官／④監理技術者、現場代理人]

項目	記載例	①	②	③	④
所属	株式会社○○建設 ○○部	○	○	○	○
役職	○○○長	○	○	○	○
氏名	○○ ○○	○	○	○	○
電話	0123-45-6789	○	○	○	○
E-mail	0123-98-7654	○	○	○	○

工事概要〔①発注部署の職員／②監督職員／③工事検査官／④監理技術者、現場代理人〕

項目	記載例	①	②	③	④
工事場所	〇〇県〇〇市〇〇地先	×	○	×	○
発注地方整備局名	〇〇地方整備局	×	○	×	○
発注事務所名	〇〇工事事務所	×	○	×	○
受注者(法人名)	株式会社〇〇組	×	○	×	○
工期(自)	2016/04/30	×	○	×	○
工期(至)	2016/10/01	×	○	×	○
契約額(当初)(税込)	10,800,000	×	○	×	○
契約額(最終)(税込)	12,960,000	×	○	×	○
工事内容	工事概要	×	○	×	○
工事制約条件	制約条件(概算工事費集計用帳票における工事条件と同じ) ・施工時間の指定の有無と作業時間帯 ・交通規制の有無と規制時間 ・足場条件(足場の種類、高所作業車の規格) ・資材搬入路の規制の有無 ・現場条件(市街地／山間僻地及び離島／地方部) ・構造物数 ・その他	×	○	×	○
概算工事数量(工事規模、概算数量)	(数量総括表における)細別一単位一数量	×	○	×	○

積算に関わる事例集(素案)〔①発注部署の職員／④監理技術者、現場代理人〕

項目	質問内容	①	④
発注図書等に反映した事項とその内容(適用性)	特記仕様書	○	×
	数量総括表		
	設計図面		
業務の効率化につながった要素とその内容	・当該工事の発注業務において、効率化につながった(つながる)であろうものがあれば、その項目と内容をお書きください。	○	×
適用上の課題・改善項目	特記仕様書	○	○
	数量総括表		
	設計図面		
活用促進の方法	・事例集(素案)の活用を促進させるための方法について、お考えをお書きください。	○	×
その他	・事例集(素案)に関して、ご意見、ご要望等をお書きください。	○	○

概算工事費集計用帳票（素案）〔①発注部署の職員／④監理技術者、現場代理人〕

項目		質問内容	①	④
集計項目等の妥当性（適用上の課題・改善項目）	構造物諸元の項目	・概算工事費を算出する際の条件の一つである構造物諸元の項目について、適用上の課題、改善項目があればお書きください。	○	○
	工事条件の項目	・概算工事費を算出する際の条件の一つである工事条件の項目について、適用上の課題、改善項目があればお書きください。		
	工事原単価項目	・概算工事費を算出する際の条件の一つである工事原単価の項目について、適用上の課題、改善項目があればお書きください。		
業務の効率化に向けた更なる活用方法の提案		・本帳票を一部追加変更等を行うことにより、発注業務の効率化が図られることがあれば、その変更内容と活用方法をお書きください。	○	×
活用促進の方法		・概算工事費集計用帳票（素案）の活用を促進させるための方法について、お考えをお書きください。	○	×
その他		・概算工事費集計用帳票（素案）に関して、ご意見、ご要望等をお書きください。	○	○

施工管理項目（素案）及び監督・検査事例（素案）〔②監督職員／③工事検査官／
④監理技術者、現場代理人〕

項目		質問内容	②	③	④
施工管理項目の妥当性（適用性）	出来形管理項目	・当該工事の施工管理項目において、施工管理項目（素案）に示した出来形管理項目の中で適用した（できる）項目があれば、その内容をお書きください。			
	品質管理項目	・当該工事の施工管理項目において、施工管理項目（素案）に示した品質管理項目の中で、適用した（できる）項目があれば、その内容をお書きください。	○	○	○
	写真管理項目	・当該工事の施工管理項目において、施工管理項目（素案）に示した写真管理基準の中で、適用した（できる）項目があれば、その内容をお書きください。			
業務の効率化につながった要素とその内容		・当該工事の監督・検査業務において、効率化につながった（つながる）であろうと思われるものがあれば、その項目と使い方をお書きください。	○	○	×
適用上の課題・改善項目	出来形管理項目	・維持・修繕の工事契約全般に対して、施工管理項目（素案）に示した出来形管理項目で課題や改善項目があればお書きください。			
	品質管理項目	・維持・修繕の工事契約全般に対して、施工管理項目（素案）に示した品質管理項目で課題や改善項目があればお書きください。	○	○	○
	写真管理項目	・維持・修繕の工事契約全般に対して、施工管理項目（素案）に示した写真管理項目で課題や改善項目があればお書きください。			
他工種における監督・検査項目との整合性	出来形管理項目	・出来形管理項目のみに内容について、類似工種と比較して整合が取れていない部分があればその内容をお書きください。			
	品質管理項目	・品質管理項目の内容について、類似工種と比較して整合が取れていない部分があればその内容をお書きください。	○	○	○
	写真管理項目	・写真管理項目の内容について、類似工種と比較して整合が取れていない部分があればその内容をお書きください。			
監督・検査事例の妥当性	事例集の必要性	・本事例集は、維持修繕工事の監督検査について、受発注者間で共通の認識を持つための基礎資料として取りまとめたものですが、このような事例集の整備拡充が必要か否かお書きください。またその理由もあわせてお書きください。	○	○	○
	項目の追加	・事例集として掲載してほしい項目があれば、その項目と記載理由をお書きください。			
	項目の削除	・事例集から削除してほしい項目があれば、その項目と記載理由をお書きください。			
活用促進の方法		・施工管理項目（素案）又は監督検査事例（素案）の活用を促進させるための方法について、お考えをお書きください。	○	○	×
その他		・施工管理項目（素案）及び監督・検査事例（素案）に関して、ご意見、ご要望等をお書きください。	○	○	○

オ. ヒアリング調査項目

アンケートを実施した後に、更に受発注者双方を対象にヒアリングを実施した。
ヒアリングの調査項目は以下のとおりである。

表 2.3.3-5 ヒアリング調査項目

<u>(全体共通)</u> ①当該現場の特記事項 ②アンケートで記載された課題・改善項目等の詳細内容 ③業務の効率化に関する事項			
<u>(積算に関わる事例集 関連)</u> ④発注者、受注者双方の 視点による適用性 ⑤現場適用時における 課題	<u>(概算工事費集計 用帳票関連)</u>	<u>(監督検査項目)</u> ⑥新技術を活用し た施工管理、監督・ 検査等	<u>(監督・検 査事例)</u>

ヒアリング調査票は、アンケート調査の回答内容について、詳細に調査したものである。また、新技術の活用した事例の有無や詳細について項目を追加した。

(2) アンケート調査結果概要

アンケート調査で 232 件のデータが回収された。アンケートの整理にあたっては工種別、項目別に整理するとともに、類似意見をまとめる形で整理を行った。

1) 結果概要

積算に関わる事例集（素案）に関して、発注図書に反映した（出来る）項目の有無について、特記仕様書は 61%、数量総括表は 38%、設計図面は 60%が有りとの回答であった。また、課題については、特記仕様書は 39%、数量総括表は 22%、設計図書は 22%が有りとの回答であった。

概算工事費集計用帳票（素案）に関する課題については、構造物の諸元については 28%、工事条件の項目については 29%、原単価の項目については、23%が有りとの回答であった。

施工管理項目（素案）に関する課題については、出来形管理基準は 60%、品質管理は 57%、写真管理は 52%が有りとの回答であった。

監督・検査事例（素案）については、80%が必要であるとの回答であった。

以上の結果を踏まえ、事例集（素案）を修正し、次に地方整備局等の出先機関である国道事務所等にヒアリングを実施した。

(3) ヒアリング調査結果

1) 対象工事

ヒアリング調査は、下記の工事を対象に実施した。

表 2.3.3-6 ヒアリング対象工事一覧

		事務所名	工事名	工種	参加者	備考
1	12月6日 13:15～	土佐国道	平成28年度 奈 半利管内橋梁補 修(その1)工事	防錆塗装	監督員 受注者	現場視察 (土佐国管 内の断面修 復工の現 場)
2			平成28年度 南 国管内橋梁補修 工事	伸縮装置取替	発注担当 受注者	
3	12月12日 13:30～	金沢河川国 道	H27・28管内橋梁 維持工事	伸縮装置取替	発注担当 監督員 受注者	—
4	12月13日 10:00～	三陸国道	釜石地区橋梁補 強補修工事	伸縮装置取替、ひ び割れ注入	発注担当 監督員 受注者	—
5	12月14日 10:00～	千葉国道	51号長熊大橋補 修工事	断面修復工、ひび 割れ注入、繊維シ ート取付、表面被 覆工(塗装工法)、 伸縮装置取替	監督員	—
6	12月16日 15:00～	常陸河川国 道	国道50号川島橋 外補修工事	伸縮装置取替	発注担当 監督員 受注者	—
7	12月19日 14:00～	南部国道	平成28年度白比 橋外1橋補修工 事	伸縮装置取替	発注担当 監督員 検査官 受注者	現場視察 (塗装塗 替)
8	12月26日 14:00～	福岡河川国 道	平成28年度福岡 国道管内南部地 区橋梁補修工事	ひび割れ注入、伸 縮装置取替、断面 修復	発注担当 受注者	現場視察 (高橋: ひ び割れ注 入、柳野橋 側道橋: 断 面修復)
9	1月13日 13:30～	高崎河川国 道	H27 三丁橋他橋 梁補修工事	断面修復工/吹付 工法、伸縮装置取 替	発注担当 受注者	—
10	1月19日 メール受 領	静岡国道	平成28年度 静 清維持管内橋梁 補修工事	金属溶射、防錆塗 装、断面修復工	発注担当 監督員 検査官 受注者	メールでの 意見聴取

(4) アンケート調査およびヒアリング調査結果を受けての整理

以下にアンケート調査における意見とヒアリング調査での意見を合わせて整理する。

意見は、事例集別、工種別に整理をしている。なお、特定の工種に限定しない工種共通の意見については、共通という項目を作り整理している。

なお、表中の色分けは同様に、素案から修正した内容を赤字、今後データの蓄積を待って改定すべき内容を青字、その他の意見を黒字で示している。

主な意見として次のようなものが挙げられる。

【積算に関わる事例集】

- ・メーカー指定や指定仮設とならないよう表現を工夫する必要がある。
- ・設計図面には、添加物、埋設物などの情報を記載することとしてほしい。

【概算工事費集計用帳票】

- ・工事条件（幅員、交通量、騒音対策の有無、施工地域・工事場所等）の追加してほしい。
- ・伸縮装置に遊間量を追加してほしい。
- ・契約後なので、メーカーを追加してほしい。

【施工管理項目】

- ・社内規定値は必要ないので削除すること。
- ・ひび割れ重点の出来形管理に深さを追加する。
- ・JIS 製品の写真管理方法について見直すこと。
- ・品質管理項目に書かれている施工環境を別項目とする。

表 2.3.3-7 アンケートとヒアリングでの意見等の整理結果一覧

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
共通	【アンケート】 その他意見：②の用語の定義について施工時の写真などがあるとともにイメージしやすい。	【アンケート】 その他意見：色々工夫されているようです。	【アンケート】 ①出来形管理項目：設計値以上の管理について、上限値・下限値を定めることはできないのでしょうか。	【アンケート】 意見・要望：施工監理項目毎の特微的管理情報について充実していくことが望まれる。
	その他意見：今まで参考に出来るものが無かったというのが現状なので事例集は有り難いと思う。	その他意見：非常に良いと思う。	①出来形管理項目：素案が何を根拠・出典なのか不明なので評価できない。施工は断面修復で、NETISのものを使用している。	意見・要望：結局事例集の更新は関連する指針及び基準等が変わればコンスタントにバージョンアップして欲しい。
	その他意見：色々工夫されているようです。	その他意見：良くまとまっている。	②品質管理項目：全体として「施工環境」は仕様書に記載する内容「断面修復」に比べ、「ひび割れ充填」の材料項目が少ない。	意見・要望：（案）として運用し、それにしばられることなく、改定を重ね、運用していただければ。（案）が出た時点で、それが100%とされる傾向がある）
	その他意見：施工管理項目が簡易で解りやすい。検査事例が参考になる。	その他意見：見積もりを取る際の参考に非常に役立つと思います。		意見・要望：もっと対象工種が増えると良い。片側範囲（プラスならプラスのみなど）ではなく、全て両側範囲がほしい。
	その他意見：補修内容毎に具体的に記述されており分かりやすい。	その他意見：（１）③のとおり（※(1)③回答内容↓） 主たる工種区分を追加してはどうか。 また、その区分に合わせた工事費（直工＋経費等）も算定できるようにしてはどうか		意見・要望：より多くの工種を対象にしてほしい。
	その他意見：業務発注の上で大変参考となる資料であるが、今後、新技術の普及や事例の追加等に合わせ、随時更新して頂きたい。	その他意見：記入内容が多いと（手間が多いと）作成しない傾向にある		意見・要望：今回のアンケート調査で、素案を知る機会をえた。改策にも情報共有できればと考えます。
	その他意見：工事技術等は日々進歩しているので、毎年見直し更新が必要 （品質規格・工法・材料等）常に最新のものにして頂きたい	その他意見：極力リスト選択できるようにし、手入力を減らす配慮をお願いしたい。		意見・要望：今後、補修工事が増大するため、できるだけ多くの工種を記載して頂きたい。また、基準化できる工種については、実態調査を密に行い、基準化していくサイクルを確立すべきである。
	その他意見：日々施工方法、使用材料が変化しますので、どの程度更新していけるのか	その他意見：【回答】→不要。設計業務段階もしくは発注段階で図面や特記で品質や条件を明示し、総括表及び規格や積算条件を整理すれば妥当な見積が可能。逆に帳票が増えてミスを増やすだけ。（矛盾した記載を生む要因である。）		意見・要望：参考資料は非常にわかりやすくまとめられていて、参考になりました。 継続して、新しい有用な技術・工法等も掲載して頂きたい。
	その他意見：条件で異なるので、条件明示が重要。	その他意見：何に役に立つのかよくわからない		意見・要望：自分が担当しない工種が多々あるため、定期的に追加項目について確認をしてほしい。
	その他意見：ケースバイケースの施工が多いため、あまり制約や指定を設定せずに、設計根拠・選定理由・積算条件の明示に注力した方がよい。（メーカー、製品とも多種多様なため）	その他意見：過去工事の時間制約等参考で明示する。 （EX.地元の要望で2.3時まで大きな音を出さない約束あった）		意見・要望：内容の更新と充実を図る。
	その他意見：（同上）（前問回答：積算はより簡素な方向に進む中で、積算への影響の有無に関わらず、必ず条件明示する必要のあるものと、場合によって条件明示してもよいものとを整理できればと思います。）	その他意見：施工時間の条件明示が必要		意見・要望：補修工事での工種別の管理項目、数量、写真箇所数の基準値があればいいと思います。
	その他意見：項目の追加（床版打換工）	その他意見：概算工事費はどのように使うものになるのか。予算要求で使って良いのか。		意見・要望：管理する必要のある項目を明確にすることは重要（他工事との横並びなど）と思われる。

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
共通	その他意見：新たに追加された細別について、数量算出要領への反映を要望	その他意見：工事条件により施工歩掛は大きく変わってしまう為、工事条件の把握が重要と思われる。		意見・要望：事例集により同一項目で各種管理ができるので良い
	その他意見：『新設橋の排水計画の手引き（案）[Ver. 2]』に準拠した伸縮装置であるかの記載があった方がよい	その他意見：10工種以外にも幅広く工種追加を要望		意見・要望：品質管理項目は各材料特性にまかせて、受注者が材料を選択できる幅を広げていただきたい。
	その他意見：体裁に関して、特記仕様書や数量総括表の記載例のページが横になっていて、見づらい。事例集全体としては、とても参考になるものだと思います。	その他意見：現地にて詳細調査および取り壊しを行った際に、補修方法の変更が発生するケースもあるため活用が難しいと思われる。		意見・要望：実際の施工業者の意見も十分反映させる必要あり
	その他意見：積雪寒冷地用伸縮装置の仕様・性能規定指標及び比較表の紹介 ・実態として、標準設計の製品同等以上と条件明示しているが、具体的な指標を示していない。 具体的な指標を示している事例があれば紹介していただきたい。 ・耐久性(対塩水、対ブレード圧)の高い仕様・性能を満足している製品の比較表(LCC)があれば紹介していただきたい。	その他意見：上記の課題・改善と同様。（※課題・改善の回答内容！） 特記仕様書：ひび割れ注入におけるエポキシ注入材規格の2種、3種の追記、数量総括表：ひび割れ注入における道路修繕-橋梁補修工の追加。		意見・要望：工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合の協議が、容易にできるような配慮
	その他意見：素案（平成28年〇月）の段階では、基準としても使いつらいので、せめて成立月入れていただきたい。	その他意見：[略図]・施工範囲（部位）、施工延長の他に その場所への資材搬入方法等の事例案の提示が必要。		意見・要望：社内規格値は通常、工事受注者が設定するものなので、発注者側でその自由度を拘束する必要はないものと思料する。
	その他意見：橋梁等、足場のない状況で詳細確認の出来ない歩掛見積については、調査後の歩掛見積再提出を前提とした発注としていただきたい	その他意見：今回選択した伸縮装置取替は（橋梁工にもあるが）市場単価だと概算工事費集計表の対象にあてはまらないと思う。歩掛が変わる（市場単価で無くなる）こともありうるのか？		意見・要望：これから増加することが予想される工種であり、早期の開示をお願いしたい。
	その他意見：設計内容がより詳細となり、条件等が明確化されることで、維持修繕工事の品質の向上に繋がると思われる。	その他意見：実際の活用事例で確認できたらイメージがしやすい。		意見・要望：橋梁補修工事において施工管理項目がないため、施工者への共通認識として早目の情報提供をお願いします。
	その他意見：これを基に設計図書作成及び現場監督等することになるのか、あくまでも参考なのか、 事例集の位置づけが分かりません	その他意見：実際に修復箇所を研ぎ合わせてみなければ、吹付量はわからないが、施工規模、形態（部分or全面）で概算金額がわかればよい。		意見・要望：構造物の老朽化に伴い多種多様な維持修繕の対応が必要になってきている。その参考として本事例集を活用したいので早期のとりまとめを期待する。
	その他意見：設計図面以外に過去の完成図・橋梁補修補強調査等のデータを公告時に参考資料で受領できるようにお願いしたい。現地調査をしないと現地構造がわからないため。	その他意見：■今回の調査対象工種だけ作成する目的が不明。 ■ 誤字が見受けられるので再度、文章の見直しが必要では？例）「徴収」が「徴集」になっている。「支承」が「支障」になっている等。		意見・要望：早期の実用化を期待します。
	その他意見：断面修復の施工環境で付着塩分量について、工事毎、橋梁毎、施工箇所等毎のいずれかの適用範囲かについて質問が来る場合があるので。（橋梁毎と回答している）	その他意見：この帳票と各種歩掛調査等と重複がないか、確認していただければと思います。		意見・要望：これらの事例集を作るのも必要だが、あわせて土木工事共通仕様書の改正をしていただきたい。維持修繕関係の記載が少ない。
	その他意見：統一化が図られるため、良いと思う。	その他意見：施工条件等の入力により、目的の事例を検索できるシステムであるとうい。		意見・要望：施工管理項目について、各関係機関、担当者の方々の主観によって、管理項目が変わるので維持修繕の分野での管理項目が土木工事共通仕様書に反映されると有難い。
	その他意見：このような事例集が運用上確立されれば（発注・監理）業務改善に大いに役立つ。	その他意見：・凍結防止剤の使用状況などで劣化の進み具合も変わるので、当該項目の記載欄があった方がよいのではないかと。		意見・要望：契約図書の内容に添付して頂きたい。
	その他意見：標準仕様がないものについて有用である。工種が増えたと良い。	その他意見：・この帳票を誰が作成するのかよく分かりません。帳票の取扱いに関するフロー（国総研、局、事務所、受注者）があればと思われます。←補足必要ではない？		意見・要望：・特記の記載事項や出来型管理、品質管理の数値を参考とした書籍や便覧について書籍の発行年度やページを記載しないと人事異動で担当が居なくなった際に間違い無く管理しきれなくなるとと思われます。参考書籍一覧を作成しといはとうでしょうか。
	その他意見：設計図書に工場製作品扱いの部材は明記願いたい。（積算時経費算出時必要の為）	その他意見：略図について発注図面のデータでもOKにして欲しい。		意見・要望：それぞれの管理基準の根拠も記載したほうが良いと思う。
	その他意見：維持修繕工事という言葉は、不適切では。レベル1が道路修繕とあわない。全ての項目が該当する場合のみしか使えないのか。	その他意見：標準的な事例が掲載されるものと理解してよいのか？また施工条件等により複数のケースについて掲載されるのか？		意見・要望：監督員も、経験が少ないため事例集があれば、役立つと思われる。
	その他意見：歩掛化することにより受注者の利益を削ることのないよう。	その他意見：複数ある工法の中から最安値である比較がわかると良い。		意見・要望：現場経験をjする期間が短くなっている今には必要なアイテムと思われる。
	その他意見：維持管理経験年数が少ない職員に活用出来そう	その他意見：補修費用が大きいものであれば概算費用を抑える必要はあるが、小さいものであれば、必要性は少ない。（過去の実績があるため）		意見・要望：土木工事施工管理基準と内容が重複しているので、必要性が不明。

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
共通	その他意見：新技術の支承若返り工法を採用しているため、コレには合わないと思います。			意見・要望：一連に集約されて解り易いが何時の時点で作成するのか不明、いずれすべての工種について適用になるのか、書類の簡素化になるのか不明
	その他意見：特記仕様書の作成例は良いと思うが、図面等については現場状況や環境によって変わるから、全てを網羅することは難しいと思われる。図面作成時の要点や注意点のみの記載でも良いのではないかと？			意見・要望：現場に携帯しやすいタイプにしていたきたい。
	その他意見：【回答】一体系ツリーの記述は細別、規格、単位以外全て削除。体系ツリーは年々変わるので意味のない更新をしなければならない。			意見・要望：工種毎の構成とした方が分かり安いと思います。
	特記仕様書：共通事項：現場条件：■現場作業時間帯 請負者→削除（又は受注者（文言の統一））			意見・要望：支承防錆の裏側は、場所によっては施工も管理も難しい。
	その他意見：・特記記載例などで事例集と地盤運用に違いがあった場合、地盤運用を優先にするが、事例集が事務所担当者を混乱させる可能性がある。設計図書に関しては事例集ではなく、統一事項として整理するべきではないかと考える。			意見・要望：施工の失敗事例を掲載する。
	その他意見：非常に役立つので、是非担当部署へ配布願いたい			意見・要望：施工管理においても、監督・検査事例のように写真付きだと分かりやすいと思う。
	その他意見：使用材料や数量、施工条件等、積算歩掛の標準化を図って欲しい。			意見・要望：積雪寒冷地の孔内で地下水が確認された場合は、定期的な支持力の確認（保守点検）が必要と思われる。
	その他意見：より具体的な内容について、甲乙で共有できればよいと思います。			意見・要望：内容は非常によいものだと思います。
	その他意見：橋梁維持補修工事においては、鋼桁、支承、落橋防止装置など、局所的な塗替えを行うことが多く、事例集（素案）の支承防錆工（防錆塗装）はその他の部分塗替え（防錆塗装）にも適用できるのか？			意見・要望：段階確認・立会確認の頻度（試験の基準）を記載してほしい
	その他意見：多種多様な維持修繕工事において、より多くの積算基準の明確化をしてほしい。			
	特記仕様書：吊り足場用金具の存置について、工事内容毎に積載荷重が違うこと及び経年劣化による腐食発生など治具の健全性が保てないことから、記載されないほうが良いと考えます。			
	特記仕様書：補足欄で、必要である、望ましい、望まれる、明記する、記載するという、各言葉の定義は何か。			
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】
				各業者で微妙に考えが変わるので、統一したものがあれば参考になる。 管理項目については、共通仕様書に載っていないものは、業者と施工計画書で決定するのが実態である。その際参考になる。（監督）
				今回の工事で以下のNETIS技術が業者から提案され採用した。 ・ボンドKEEPメンテ工法UM-3 ・プレスアドラー ・ブラットウォール ・コンクリート保水養生テープ 工事額の変更はしていない。 経済性には優れた工法である。 検査等の内容は業者と打合せを行いながら決めた。 現場の不具合等は無かった。（監督）
伸縮装置取	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
	特記仕様書：素案通りに参考メーカー名など記載してあるとわかりやすい	①構造物諸元の項目：・アンカー打込みの際、床版脆弱部想定・補修 ・地覆部等シーリングの想定 ・重量型伸縮装置だと、諸資材が多く撤去に手間がかかる。また、ラフタークレーンの必要性有る為、既設伸縮装置の仕様・重量等の把握	①出来形管理項目：既設舗装面に対しての管理は、既設舗装が良好な状態を前提にしているので適切な管理ではないと思います。	追加項目：床版取替：架設年数が50年以上の橋梁が多く、補修項目として床版取替の橋梁が増える傾向となるため。

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	特記仕様書：コンクリート配合表記は呼び強度とセメントの種別のみでよい。 メーカーの違いによる良品が使える場合が考えられる。	①構造物諸元の項目：既設伸縮装置の構造図。 伸縮装置取替工事においては、既設構造物の撤去作業の難易が工事費用に大きく影響するため。	①出来形管理項目：既設舗装面に轍がある場合、轍に合わせようとすると凹凸が出来てしまい、轍を考慮しないと段差が出来てしまう	追加項目：あと施工アンカー工・施工管理項目がはっきりしないから
	特記仕様書：施工管理及び品質管理1）配合…伸縮継手工工に使用する超速硬コンクリートは、JIS規格がないので、呼び強度のみの明記でよいのでは？スランプ・水セメント比等明記するとメーカー指定となることが想定される。	①構造物諸元の項目：現場に設置してある伸縮装置の構造諸元の明記があると撤去等の積算がしやすくなると思います。	①出来形管理項目：仕上げ高さ・据付け高さにおいてワダチ・現況横断・現況床版厚などにより規格値から外れる場合がある。	追加項目：注意点や検査手戻りが無いよう「失敗事例」もあれば紹介していただきたいと思います。
	特記仕様書：■指定材料の確認 ・次表に示す製品では無く、次表に示す製品と同等以上という記載の方がよいと思う。 ・監督職員の指示した材料というのは発注者が製品を指定するのか？	①構造物諸元の項目：（記入項目が多い） 緯度経度必要？	①出来形管理項目：取替えは現地合わせになるため摘要しない項目がある。	追加項目：伸縮装置取替えの事例集の記載が無いため追記を望む。 理由：伸縮装置の経年劣化による損傷事故が今後増えることが予想されることから、多くの事例集が必要と思われる。
	特記仕様書：使用材料の具体的な性能を記述されていない場合は選定にこまる場合があります。	①構造物諸元の項目：工事の起終点は緯度経度だとわかりにくい。住所も並記すればどうか。	①出来形管理項目：取替は、既設舗装面に対しての管理となるので、据付け高さや仕上げ高さのどちらかで良い。	追加項目：伸縮装置補修（縫の設置やバックアップ材の取替など）
	特記仕様書：・（発注者側）材料等を指定すると、物価資料等による経済比較が出来ない。 ・（受注者側）断面補修工-前処理、はつり後の不良部分の確認方法の明記。	①構造物諸元の項目：工事の範囲の緯度経度は必要あるのでしょうか？	①出来形管理項目：伸縮装置取替の場合、既存の舗装に合わせ設置を行う事から新設工事のような基準高管理がないため、据付け高さの管理の必要性の有無についてご検討いただきたい。	追加項目：施工管理項目（案）の21工種。より多くの項目を掲載してほしい
	特記仕様書：製品が指定されています	①構造物諸元の項目：記入項目が多い（緯度経度必要？）	①出来形管理項目：新設ではなく取替等の施工は既設舗装面が平坦ではないので、測定する場所により、測定値が異なる。 新設時ではない場合の規格値を作った方がよいと思われる。	追加項目：落橋防止装置（緩衝チェーン、P Cケーブル、ダンパー、せん断ストッパー等）の据付出来形に規格が無い場合
	特記仕様書：標準使用量はメーカーによって異なるので、固定されるとメーカー指定になってしまう（〇〇kg～〇〇kgの方が良いのではないかと）	①構造物諸元の項目：入力項目数が多いので必要最小限の簡素化が可能か？	①出来形管理項目：新設設置の出来形管理としては適用できるが、補修設置は現地合わせのため適用が難しい。	削除項目：施工管理方法：削除ではないが、品質規格で古いもの（断面修復-モルタル）がある最新の規格も載せるべきでは、しかし古い規格の材料も多く流通しているのどちらの規格でもよしとすべきか、判断が難しい
	特記仕様書：材料仕様を記載したが、製品指定となることが懸念される	①構造物諸元の項目：参考に床版遊間を追加してはと思います。	①出来形管理項目：据付け高さや仕上げ高さの違いはなにか。表面の凸凹出来形管理	削除項目：施工管理方法の品質管理において材料の規格。 理由は施工条件によって異なる場合があること、根拠が明確でないことが考えられます。
	特記仕様書：配合の『所定の強度が得られることが確認できる資料』とは何を指しているのかが不明（配合報告書？試験線報告書？（試験線を行わなくてもはいけない？））	①構造物諸元の項目：遊間を項目として追加してはどうか。	①出来形管理項目：据付け高さについて、施工管理基準（伸縮装置工）と数値が異なる。	
	特記仕様書：指定材料や工法指定する場合には、明記すべきだが、余計な情報まで特記に書くべきではない。 また、材料は十分に規格を明示する必要がある。	①構造物諸元の項目：延長とあわせて幅員を追加したい。	①出来形管理項目：据付高さ、表面の凹凸は取替えには適さないと考えます。※わだち等の為、管理できません。	
	特記仕様書： ・伸縮装置の区分には荷重支持型等の記載が必要 ・伸縮量については、常時及び地震時の記載が必要 ・メーカー名は参考としても記載しない	①構造物諸元の項目：1つの橋梁名で複数の橋種が存在する場合、区別ができるように●●橋（A1～P●）などと橋梁名の付け方を決めた方がよいのではないのでしょうか。	①出来形管理項目：据付高さや仕上げ高さだけで良いのでは。	
	特記仕様書：積算における市場単価方式における工種の場合、積算上影響のない項目（伸縮装置取替におけるコンクリート強度等）について、どこまで示す必要があるのか？	①構造物諸元の項目：市場単価の範囲に入らない場合、概算が大きく変わる可能性がある	①出来形管理項目：道路修繕工事の場合、仕様書通りの管理項目に適用されない場合があると思われます。	
	特記仕様書：特記仕様書に記載された夜間作業時間と警察協議回答の作業時間が異なっているが、設計変更の対象とならない。	①構造物諸元の項目：施工規模明記により、標準歩掛の適用可否の判断材料となる。	①出来形管理項目：工場製作（斜角付伸縮装置の場合）斜角に対する管理項目（誤差範囲）が必要だと考えます。	
	設計図面：伸縮継手装置取替工に関して、入札前積算の金額想定の為にも、参考ジョイント断面図は提示して頂きたい。	①構造物諸元の項目：設計段階で採用しているメーカー型式等の記載をお願いします。	①出来形管理項目：取替後の伸縮装置によって、適応できるものとできないものがあります。当工事では埋設型のゴムジョイントの為、仕上げ高さが舗装面に対し+になるよう製造元から指示されました。規格値として記載されていると混乱する可能性があるかもしれません。	
	特記仕様書：現地調査の為に足場が必要となり、現地調査、材料製作期間中などの供用日数を積算に反映し、契約変更の対象にしてもらいたい。	①構造物諸元の項目：・（受注者側）断面補修工対象構造物の詳細項目の記載（鉄筋の種類、かぶり等）	①出来形管理項目：土木施工管理基準の項目の伸縮継手工と現地での伸縮装置取替の工種の区別が違うと思う。	

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	特記仕様書：特記仕様書に記載がないため今後記載願います。	①構造物諸元の項目：適用示方書がわかる方が良い。	①出来形管理項目：類似工種の床板補強工の出来形管理項目のはつり長さL・はつり幅W・はつり深さtの追加を望む。	
	特記仕様書：仮復旧が必要な場合について記載。	①構造物諸元の項目：橋梁点検結果（健全度・対策区分等）を入れてから良いのではないかな。	②品質管理項目：現道工事において管理頻度の設定するのか？交通解放前に超速硬コンクリートの強度確認等	
	特記仕様書：伸縮装置取替についての表記をお願いしたい	①構造物諸元の項目：あまり必要のない情報のような気がする。	②品質管理項目：現道工事において管理頻度の設定するのか？交通解放前に超速硬コンクリートの強度確認等（試験費用が別途必要となる）	
	特記仕様書：橋梁支点部の構造についての「排水対策を実施するものとする」の記載があるが伸縮装置取替の主な理由は排水に問題があるため取り替えることが多いのでわざわざ記載する必要があるのか	①構造物諸元の項目：当該工種のみていいので補修履歴があると良い。	②品質管理項目：超速コンクリートのスランプ試験の場合、現道上の狭い規制ヤード内で行うので、時間的に余裕が無く苦慮しています。	
	特記仕様書：出来形管理、品質管理	①構造物諸元の項目：極力リスト選択できるようにし、手入力を減らす配慮をお願いしたい。地覆部の処理について、地覆ジョイント有り・無し、端部シール有り・無しの項目を追加。	②品質管理項目：スランプは使用材料によってことなるかと思えます。	
	特記仕様書：現場条件の表で「無」は何を示しているのでしょうか、O c mが2回でくるが厚みと何を示しているかわからない。	②工事条件の項目：車線規制が片側交互が必要。	③写真管理項目：検査実施状況とは具体的な表示	
	設計図面：積算用参考図についても、メーカーが類推できるようにすべきではないと考える。	②工事条件の項目：規制方法の追加。規制方法により規制設置撤去にかかる時間が違う為、施工時間にも影響するため追加した方が良く思われる。	③写真管理項目：出来形管理：既設伸縮装置撤去工の追加	
	数量総括表：旧ジョイント撤去工は撤去延長（m）と重量（t）で算出。搬運搬と処分、現場発生品運搬も算出	②工事条件の項目：現道の場合、片側施工・分割施工等の有無の記載をお願いします。	③写真管理項目：工場製作（斜角付伸縮装置の場合）斜角に対する管理項目（角度明示、検査状況）が必要だと考えます。	
	数量総括表：仮設工における設置期間の期間数、仮設面積等の詳細の提示。	②工事条件の項目：1日当りの施工車線相当数の想定	他工種との不整合部分（出来形）：施工管理基準及び規格値	
	数量総括表：諸雑費の内訳を細かく提示してほしい。	②工事条件の項目：施工時間帯における一般車両の交通量と歩行者の通行量の記載		
	数量総括表：伸縮装置延長のみの表記でよい。所り工等は現地条件で設計と異なる作業となる場合が考えられる。	②工事条件の項目：車道上の作業であれば、交通量や車線数を追加する。	他工種との不整合部分（出来形）：取替工事において延長等は、現地構造物等の状況に切り合いにより施工するので、実測値管理（出来形寸法）となります。	
	数量総括表：ア）共通仮設費：現場管理費 ①品質管理基準に記載されている項目に要する費用→品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用	②工事条件の項目：入力項目数が多いので必要最小限の簡素化が可能か？	他工種との不整合部分（出来形）：既設伸縮装置撤去において、新設する伸縮装置設置の寸法等の確保のため、類似工種の床板補強工の出来形管理項目と同様の出来形管理が必要と思われる。	
	数量総括表：レベル1の工事区分について、橋梁補修の場合は「道路修繕」ではなく「橋梁保全工	②工事条件の項目：記入項目が多い詳細な諸元必要？	他工種との不整合部分（写真）：全般に検査実施状況が記載されている項目がほしい	
	数量総括表：伸縮装置取替工の中に項目（カッター工、はつり工等）が細かく記載されているが、積算基準書では市場単価だと全て含まれるため細かい項目は出てこない。橋梁工でも後打ちコンクリート、アンカー等の別計上以外は出てこない。（積算基準も細別化されるのか？）	②工事条件の項目：細分化しすぎではないか。	他工種との不整合部分（出来形）：3-2-3-2.3-1伸縮装置工と据付け高さの規格値が違う。	
	数量総括表：項目が多すぎる（同じ数量になるものはまとめられるのでは）	②工事条件の項目：D I D区分を追加してはどうか。	他工種との不整合部分（出来形）：伸縮装置工：据付け高さの数値	
	数量総括表：P 1 5とP 4 5の工事区分と工種について、整合が取れていないと思われる。	②工事条件の項目：土木積算では「市街地」と「地方部」で記載していたと思います。	他工種との不整合部分（品質）：圧縮強度試験について類似工種では、σ 2 8を基準とした強度で管理しているが、維持修繕工事の場合、短時間で2.3N/mm2を満たすことが要求されるため、規定時間の設定が必要と思われる。	
	数量総括表：伸縮装置取替について、土木工事標準積算基準書との整合がとれているか？	②工事条件の項目：騒音対策の有無		
	数量総括表：数量の計上があったほうが良い	②工事条件の項目：防音対策が必要な施工場所か、否か。		
	数量総括表：具体的な数量が不明確な場合、施工にあたって苦慮する場合がある。	②工事条件の項目：施工条件明記により、標準歩掛の適用可否の判断材料となる。		
	数量総括表：（受注者側）断面補修工記載数量と現地の補修箇所の乖離。	②工事条件の項目：施工時間の条件明示が必要		

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	数量総括表：レベル2が橋梁支承工となっておりますが、橋梁付属物工でよろしいでしょうか？	②工事条件の項目：（受注者側）断面補修工 支障物等の工事に影響する項目 に記載		
	数量総括表：鋼製フィンガージョイントについて記載。	②工事条件の項目：舗装打換え工に伴う既設舗装版の取壊しに関して、ハッパ鈎取壊しが困難となった場合の路面切削機等による施工変更について。		
	数量総括表：数量総括表を何に使用するのか分からない	②工事条件の項目：極力リスト選択できるようにし、手入力を減らす配慮をお願いしたい。		
	設計図面：具体的な数値及び施工場所が不明確な場合、施工にあたって苦慮する場合がある。	③工事原単価の項目：伸縮装置の1.8m当たりの質量の項目の追加。		
	設計図面：設計図面に 支障物件(埋設構造物) 等の明示を取り入れていただきたい。（事前確認等の期間短縮）	③工事原単価の項目：参考に伸縮装置質量を追加してはと思います。		
	設計図面：基準温度と温度範囲の記載、材料表の記載（二重止水、アップスタンド、地覆カバー等の有無）、地覆部の止水処理方法	③工事原単価の項目：入力項目数が多いので必要最小限の簡素化が可能か？		
	設計図面：ウ）設計図面の赤書きの通りもれなく記載してあれば問題ありません。施工条件、規制の有無・分割施工なども記載していただけるとよいと思う。	③工事原単価の項目：市場単価と実施工単価が大きく違う（分割施工等）場合が多いので、改善をお願いしたい。		
	設計図面：既設のジョイントが図面で示せばベストだが、電子化される前に取り付けられたものが多く、既設の情報がないのが現状。	③工事原単価の項目：主たる工種区分を追加してはどうか。また、その区分に合わせた工事費（直工＋経費等）も算定できるようにしてはどうか		
	設計図面：設計図書に於いて既設構造物との寸法が合っていないことが多いので照査、現地測量に手間が非常に掛かる。	③工事原単価の項目：施工規模明記により、標準歩掛の適用可否の判断材料となる。		
	設計図面：設計図書の作成段階において現地との不一致が極力無いよう、当該橋梁の完成図面、補修歴等を十分照査して設計図面に反映していただきたい。	③工事原単価の項目：施工単価は直工ですか。		
	設計図面：側面図及び施工箇所の断面図の記載がない 伸縮装置の取替と舗装の施工がある場合個々の断面図の記載を願いたい。	③工事原単価の項目：各工種により追加したい項目があると考えられるので追加できるようにしてもらいたい。		
	設計図面：参考図として、発注時における足場の計画図があれば、架設計画をよりスムーズに行える様に思えます。	③工事原単価の項目：急激な物価の上昇		
	設計図面：参考として、伸縮量計算、設置時の月平均気温毎の遊間設定表(グラフ)があるとよい。	③工事原単価の項目：遊間、地震時の伸縮量の記載をした方が良いと思われます。		
	設計図面：施工管理基準及び規格値	③工事原単価の項目：極力リスト選択できるようにし、手入力を減らす配慮をお願いしたい。		
	設計図面：積算計上ミスの防止、不調不落対策の観点から、工種ごとに該当図面に単位数量（材料）表を掲載するのが望ましいと思う。			
	設計図面：・（受注者側）断面補修工特記記載内容を設計図面に反映。			
	【ヒアリング】 設計図面に 支障物件(埋設構造物) 等の明示を取り入れていただきたい。（受注）	【ヒアリング】 交通量や車線数は工事の歩掛に多大に影響するので必要。（発注）	【ヒアリング】 出来形管理項目に単位が必要でないか。（監督）	【ヒアリング】 P 78, 79で技術管理費がないので、記載してもらいたい。（発注）
	設計図書の共通事項で足場工は指定仮設とするのが望ましいとされているが、指定仮設として縛ってしまうと逆に業者がやりづらいし、変更もしづらい。（発注）	②工事条件の項目：施工時間帯における一般車面の交通量と歩行者の通行量の記載 規制する場合は、必ず交通量等が問題となるため。（受注） 発注者としては、記入欄があれば記入できる。ただし、一般車面の交通量は可能であるが、歩行者の交通量については記入は難しい。（発注）	写真管理基準の項目にJISマーク表示とあるが、材料承諾の場合があるので、JIS製品の使用は必須ではない。JISならマークを撮影し、それ以外であれば必要書類の提出が必要となる。どちらかでもいいという表現にするべき。（受注）	
	（3）－③設計図面：基準温度と温度範囲の記載、材料表の記載（二重止水、アップスタンド、地覆カバー等の有無）、地覆部の止水処理方法 伸縮装置は温度変化により変位が生じる。それらに関する内容は設計図面に記載されていないため、記載されていると助かる。 材料表の記載も合わせてお願いしたい。（受注）	資材搬入に関する現場条件が歩掛に与える影響が大きい。また、仮設材の撤去が毎日発生するような現場条件の場合も影響がある。（発注）		

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	（３）－①特記仕様書：使用材料の具体的な性能を記述されていない場合は選定に困る場合があります。 材料の種類や具体的な強度などが明示されていると製品を選定しやすいので、記載されていることが望ましい。 特にエポキシ系の材料には強度などに細かい設定があるため。（今回の工事では関係無い） ただし、最終的に使う材料は発注者と協議の上決定している。（発注）	騒音対策の有無 夜間に騒音が問題となる場合、その対策は概算工事費にどう反映されるのか。施工時間や順序の調整、防音シート設置などの対応をしなければならず、歩掛も変わってくる。 必ず発生する対策等については、しっかり積算で計上して欲しい。（受注）		
	（３）－①特記仕様書：共通事項：現場条件：■現場作業時間帯 請負者→削除（又は受注者（文言の統一）） p.41の表中に「請負者」という表記がある。（発注）			
	（３）－②数量総括表：ア）共通仮設費：現場管理費 ①品質管理基準に記載されている項目に要する費用→品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用 p.79の表の中ほどにある文章であるが、赤本に合わせた表現に修正すべきと考えます。（発注）			
	参考図について、伸縮装置詳細図（参考図）は、メーカー指定となるので、九州地整の標準図のような図面が望ましいと思われます。 a遊間が示されていれば、メーカーを示しているに等しい。受注者の積算時にメーカーの記載が無い場合、あてずっぽうで積算するしかない。（発注）			
	地覆部のシール材についても図面に明記する必要がある。（発注）			
	歩道下など、情報ボックスが敷設されている可能性があるため、その有無を記載する。また、材料についても場合によっては突き合わせ型を採用する必要があるのでは。（書いてあれば親切。）（発注）			
	（３）－①特記仕様書：材料等を指定すると、物価資料等による経済比較が出来ない。 メーカー名までは書く必要はない。伸縮量と遊間量で決まる。（発注）			
	目的の項目を探すときに手間がかかるため、電子版でリンクが貼られていると探しやすい。（発注）	10工種以外にも幅広く工種追加を要望。 維持修繕に関するものであれば幅広くあればよいということで、具体的に考えている工種は今のところ無い。（発注）		要望としていろんな事例を盛り込んでほしい。（受注）
	（３）－②数量総括表：レベル1の工事区分について、橋梁補修の場合は「道路修繕」ではなく「橋梁保全工事」ではないのか。（発注）			②項目の追加：落橋防止装置（緩衝チェーン、PCケーブル、ダンパー、せん断ストッパー等）の据付出来形に規格が無いため（受注）
	現行の積算基準書や特記記載例とのリンクをわかりやすくする。（発注）			現場に携帯しやすいタイプにしていきたい。 コンクリート関連では、そのようなタイプになっているものがある。（検査）
	伸縮装置の種類ごとのフローを掲載していただければありがたい。 種類により、市場単価、歩掛、見積等の選択ができれば、ありがたい。（発注）			②項目の追加：あと施工アンカー工 施工管理項目がはっきりしないから 耐震工事の場合、あと施工アンカーが必要となるため、追加して欲しい。 事例としては5年間で2橋。今後は増える見通し。（受注）
	新たに追加された細別について、数量算出要領への反映を要望。（発注）			
	設計図面：具体的な判例と注意点が記載されており、条件の記載忘れの防止になる。（発注）	工事発注の流れとして点検業務の内容をもとに、補修工事を発注することとなる。 点検時の損傷の程度のデータも入っていれば、工事を発注する際に参考になる。（発注）	設計図面と現地は、高さ等が異なるので現場合わせであり、管理できるのは施工延長ぐらいである。（受注）	過去の実績を調べるより、このような資料があれば便利である。また、統一性が図られる。（受注）

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	事例集の特記の記載例の内容が、北陸地盤の内容と異なる。（発注）	②工事条件の項目：施工時間帯における一般車両の交通量と歩行者の通行量の記載 規制する場合は、必ず交通量等が問題となるため。（受注） 発注者としては、記入欄があれば記入できる。ただし、一般車両の交通量は可能であるが、歩行者の交通量については記入が難しい。（発注）	市場単価以外の条件の場合に活用する資料として必要と思う。（発注）	新技術はコンサルから提案されたものは、極力採用していくスタンスである。 基本NETIS、今までの実績で採用している。（発注）
	（３）－②数量総括表：具体的な数量が不明確な場合、施工にあたって苦慮する場合がある。 金額が一式表示であったり、具体的な施工数量が不明なことがあったりする。 施工場所が明記されていない場合が稀にある。 施工前に現地を必ず確認し打合せを行うので問題ないが、発注時の見積で困ることになる。（受注）	小規模な工種が多く、細かい数量の工事が点在する場合は、積算が合わないことが多い。企業努力の問題でもあるが、なんとかしていただくと助かる。（受注）	据え付け高さと仕上げ高さは、変わらないので、片方でいいと思う。 表面の凹凸は、鋼製で出来ているので、管理する必要が無いと思える。（受注）	事例集の位置づけが、共通認識を持つということであるが、別にその必要はない。 事例集に縛られる必要もない。施工手順も施工計画書があれば解る。（監督）
	（３）－③設計図面：具体的な数値及び施工場所が不明確な場合、施工にあたって苦慮する場合がある。	今回選択した伸縮装置取替は（橋梁工にもあるが）市場単価だと概算工事費集計表の対象にあてはまらないと思う。歩掛が変わる（市場単価でなくなる）こともありうるのか？	①出来形管理項目：既設舗装面に轍がある場合、轍に合わせようとすると凹凸が出来てしまい、轍を考慮しないと段差が出来てしまう。	断面修復の出来形管理は共通仕様書にはない。実質は業者と協議して決めた。事例集に掲載されているが、参考なので結局は協議しなければならない。
	数量総括表の問題と同様である。（受注）	市場単価があるので、帳票自体が不要なのではないか。（受注）	現状は現地の状態にすりつけるようにして対応している。（受注）	ただまったくもって必要ないということではない。（監督）
		床版までではつる必要があるような大規模な補修の場合や、大がかりな足場設置が必要となった場合などは、通常の積算では金額が合わないことがある。（発注）		
	全般的な意見として情報を共有できればよいということ。（受注）	維持修繕工事の日当たり施工量に関する資料があれば、工期算定などの参考になる。例えば、伸縮装置だけの日当たり施工量など、工種別にあると良い。（発注）	出来形の管理値が舗装面に対して2mmという基準値が設定されていると、既設道路の轍には対応することが困難である。今回の工事でも「ロメンパッチ」により平坦性を保った。この対応は企業努力である。 舗装の補修と同時に発注されれば良いが、同時に発注されるケースはまれである。（20年以上の経験のなかで1回あっただけ）（受注）	北陸で監督検査の研修が実施されているので、勉強会で活用させて頂きたいと思う。（監督）
	特記仕様書：今まで材料指定とならないよう積算上で使用している材料についても詳細に記載するすべが無かった。伸縮装置取替えにあたり、使用コンクリートや舗装撤去等の内容を記載していなかったため参考になった。（発注）		①出来形管理項目：表面被覆工（含浸工法） 表面含浸では、材料に無色系が多いので長さ・幅は必要ないのでは通常の含浸材は無色透明なため、塗ったかどうか見た目ではわからない。そのような場合にはどうやって測るのか。 塗った場所は水を弾くので水をかけて写真を撮るか、使用量で管理するしかないのではないかと。最近では塗った場所がわかる材料も出てきている、その場合には長さや幅を測ることも可能である。（受注）	事例集ではあくまでも参考なので、標準に出来るものは標準にしていって欲しい。（監督）
	（３）－①特記仕様書：■指定材料の確認 ・次表に示す製品では無く、次表に示す製品と同等以上という記載の方がよいと思う。 ・監督職員の指示した材料というのは発注者が製品を指定するのか？ 現状では、あくまで参考だとしてもメーカーや型式までの記載はない。業者としては、明示されると不利となる場合もある。採算が合わない場合は代替案を提案することもある。（発注）		③写真管理項目：伸縮装置取替検査実施状況とは具体的な表示何を検査するのかということが不明確である。（受注）	特に、断面修復において具体的に管理する必要のある項目を把握するために活用できる。（監督）
	（３）－②数量総括表：伸縮装置取替工の中に項目（カッター工、はつり工等）が細かく記載されているが、積算基準書では市場単価だと全て含まれるため細かい項目は出てこない。橋梁工でも後打ちコンクリート、アンカー等の別計上以外は出てこない。（積算基準も細別化されるのか？） カッター工やはつり工などの細かい工種の単価も記載しなければいけないということでしょうか。（発注）		③写真管理項目：全般に検査実施状況が記載されているが項目がほしい 上記と同様、何を検査するのかということが不明確である。（受注）	施工管理に於いて、より具体的なマニュアルがあったほうが理解しやすい。（受注）

工 程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
伸縮装置取替	事例集には発注図が記載されているが、現実としては公告時に図面を示せていないことが多い。古い構造物の場合、図面を準備することが困難である。今回は完成図を用いて現地調査することができている。（発注）		P112 出来形管理項目の規格値はどうか。 舗装が後になると、この規格値は厳しい。条件明示が必要である。（発注）	必要である：施工管理に於いて、より具体的なマニュアルがあったほうが理解しやすい。 現場では品質管理項目に沿って管理している。経験している人ならいいが、若い人など知識の浅い人間に対してマニュアルは有用である。（監督）
	工種体系がないと、設計書を作成する担当者によってばらつきが生じる。標準的な体系があると作成しやすい。 これまでは、過去の類似工事を参考に作成している状況であるため、言葉の統一などがなされていないケースがあった。（発注）			構造物の老朽化に伴い多種多様な維持修繕の対応が必要になってきている。その参考として本事例集を活用したいので早期のとりまとめを期待する。（監督）
	（3）－②数量総括表：数量の計上があったほうがいい。 一式ではなく具体的な数量を確認したい。（受注）			今後、監督・検査を実施して行くうえで参考となる。（監督）
	用語の定義：受発注者間での齟齬を防止できる。（公告後の質問等）（発注）			検査官においては、初めて対応する項目も想定されるため、その場合には事例集を活用することが有用と考えます。（検査）
	床版や胸壁天端の損傷状況を確認し、損傷があれば補修することを明記。（設計時から損傷が進んでいる場合があるため。）（発注）			監督検査の講習などを四半期に1回の開催を計画している。実態としては4回開催出来ていない状況で、今年は2回開催した。周知する場として活用。（検査）
	既設アンカーボルトから離して新規アンカーを設置することを明記。（発注）			新しい材料や工法が出てきているが、適正な現場であれば適用している。設計段階でコンサルタントから提案として挙がる場合もある。（検査）
	伸縮装置前後の補修据付けを行う必要もあるのでは。（発注）			塗装については、沖縄地区鋼橋塗装マニュアルを沖縄総合事務局から出しているのが全国版と異なる内容がある。（検査）
	桁下（橋座）のはつり殻を撤去する旨を記載。 （撤去した殻を放置する業者もみられるため。）（発注）			事例集があると管理基準が明確になると思われる。（受注）
	二次止水機能を有する材料を採用することを記載してはどうか。 （昨年設計要領が変更されたが、新設以外についても対応すべきと考えるため。）（発注）			鋼橋足場設置工について、新設工事の歩掛しがなく、補修用足場の歩掛がない。 問題がある。（発注）
	車道部は荷重支持型を選定することを記載。 （書いてあれば親切。）（発注）			発注図の電子データをP21で受注者に渡せない場合、費用が発生するという項目がどこにも示されていない。（維持修繕工事に限らずだが）（発注）
	舗装厚や既設伸縮の構造が不明な場合も多いため、切欠き寸法などに対する留意事項を注記に記載してはどうか。 （福岡国道事務所では記載している。書いてあれば親切。）（発注）			コンクリート含浸材について無色なので、出来形管理等が出来ない。 残らないので、履歴が残らない。（発注）
				各業者で微妙に考えが変わるので、統一したものがあれば参考になる。 管理項目については、共通仕様書に載っていないものは、業者と施工計画書で決定するのが実態である。その際参考になる。（監督）
防錆塗装	【アンケート】 特記仕様書：橋梁添架物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記していただきたい	【アンケート】 ①構造物諸元の項目：工事の範囲の緯度経度は必要あるのでしょうか？	【アンケート】	追加項目：道路維持修繕エートンネル補修補強工の剥落防止工法（メッシュを用いたもの） 今後、トンネルの維持修繕で使用が増えてくると思われるため。
	数量総括表：上記で述べた現場条件を規格に明記していただきたい（上記：橋梁添架物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記していただきたい）	②工事条件の項目：土積では「市街地」と「地方部」で記載したいと思います。		削除項目：特になし 毎年リバイスを行って、追加してもらいたい。

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
防錆塗装	設計図面：上記で述べた支障する物があれば図面に反映していただきたい（上記：橋梁添架物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記していただきたい）	②工事条件の項目：片側車線単位での施工等、分割施工を考慮しなければならない場合は条件に明示していただきたい		
		②工事条件の項目：車道上の作業であれば、交通量や車線数を追加する。		
		③工事原単価の項目：施工単価は直工ですか。		
		③工事原単価の項目：小規模の施工について、使用材料数量が最少ロット数量に満たない場合は、最少ロット数量を保障した材料単価を採用していただきたい		
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】
		維持修繕の7割は見積りによる積算となっている。 同じ工種であっても、現場によって条件が変わるので見積りは必要。 但し標準は必要だと思う。現場条件が変われば係数が変わるようなことも必要である。 標準と個別対応を使い分ける必要がある。（受注、発注）		自分が担当しない工種が多々あるため、定期的に追加項目について確認をしてほしい。（監督）
				②項目の追加：トンネル補修補強工の剥落防止工法（メッシュを用いたもの） 「ガラスクロス付き連続繊維FRP格子筋（トウメッシュ）を用いたコンクリートの剥落防止工法」です。 NETISに記載がある新技術です。（監督）
				仕様書等に無いものに対して参考になる。（受注）
				同じものでも違う補修の仕方があるため有用である。（監督）
				監督員も、経験が少ないため事例集があれば、役立つと思われる。（監督）
金属溶射				必要である：新任出張所係長であるが、このような事例集があると注意点を確認できるため。（監督）
				発注者間でも共通の認識を持つために必要である。（検査官）
	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
	特記仕様書：発注者指定型として新技術を採用する場合の記載例もあればよいと考ええる。	①構造物諸元の項目：適用示方書を設けてはどうか。	①出来形管理項目：測定基準	追加項目：監督・検査事例とあるが、検査時の留意事項等が不明確
	特記仕様書：潤滑剤についても記載して欲しい。また、求める仕様で溶射金属（溶射材料）の選定方法を記載して欲しい。	②工事条件の項目：交差条件欄、施工時期欄（非出水期等）を設けてはどうか。	②品質管理項目：密着性試験	意見・要望：金属溶射の施工フローの追加①準備②潤滑剤注入③素地調整④粗面化処理⑤プラスト作業⑥金属溶射⑦封孔処理⑧上塗り塗装工
	特記仕様書：※断面修復の回答欄に記載 支那防錆工（金属溶射）に関して、素地調整のプラスト処理を行う際のプラスト材の処分方法、処分場所を明記して頂きたい。	③工事原単価の項目：材工共の特別調査のため、面積やm2単価等の算出が出来ない。	③品質管理項目：試験基準	
	数量総括表：潤滑剤についても記載して欲しい。 設計図面：潤滑剤についても記載して欲しい。		③写真管理項目：作業中の垂鉛材料のラベルの撮影が必要。金属溶射でないが仕様と異なる材料の持ち込みが発覚している。	
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】
	（3）-①特記仕様書：潤滑剤についても記載して欲しい。 また、求める仕様で溶射金属（溶射材料）の選定方法を記載して欲しい。維持修繕工事の事例集（素案）P87の図面例に記載されていますが、必要な工程と考えますか。工法指定になるのでしょうか？ 潤滑剤の仕様は、二硫化モリブデン溶液を使用しています。（発注）	③工事原単価の項目：材工共の特別調査のため、面積やm2単価等の算出が出来ない。設計図から面積を算出していません。支那タイプと荷重条件で見積もりしています。 支那の形状も複雑ですので、外気に接している部分の面積の算出が困難です。（発注）		
	（3）-②数量総括表：潤滑剤についても記載して欲しい。 必要な工程と考えますので、項目に追加した方がよいのではないのでしょうか？任意ではないのでは。（発注）	略図について発注図面のデータでもOKにして欲しい。事務所からの収集の際には、発注図面のデータの提出をお願いしたいです。 帳票にする際には、略図として作成して頂ければと思います。（発注）		

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
金属溶射	(3) -③設計図面：潤滑剤についても記載して欲しい。 必要な工程と考えますので、項目に追加した方がよいのではないのでしょうか？任意ではないのでは。 (発注)			
吹付工法	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
			①出来形管理項目：はつり深さは、必要以上のはつり込みが生じないようプラス管理の上限を定めることはできないか。（難しいですが）	追加項目：管理基準の他に、管理頻度の記載。
			①出来形管理項目：断面修復（はつり）の深さについては、コンクリートの不良部分に左右されるので、設計値以上の記載に課題。	
			①出来形管理項目：補修形状寸法は監督職員の立会により協議決定した値となるが、 管理項目に規格値のみだけで社内規格値は不要と思う。	
			③写真管理項目：①既設鉄筋かぶり状況確認について、立会い確認又は出来形管理とともに必要では？	
			③写真管理項目：完成検査時は足場もなく、不可視として扱われる。よって、全面所の幅・高さ・深さを撮影後、写真管理を行っているが、小規模な箇所数が多く、膨大な撮影枚数となる。よって撮影頻度を減らし、使用数量（空袋）での精算とならないか。	
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】
	(3) -②数量総括表：断面補修工記載数量と現地の補修箇所の乖離。 P54のレベル5にもっと詳細な規格（実現場に対応した）があった方がよいのではないか。（受注）	②工事条件の項目：断面補修工支障物等の工事に影響する項目に記載 支障物がかなりお金に左右されるので入れるべきである。	①出来形管理項目：伸縮装置取替は、伸縮装置工の据付け高さ±3mmと整合がとれていない。 土木工事施工管理基準と整合されていないため、修正させて頂きま す。（受注）	②項目の追加：管理基準の他に、管理頻度の記載。 「現場ごとに管理頻度は協議をおこなう。」という項目を追加する。頻度をガチガチに決められても困る。（受注）
		足場設置の具体的な条件を入れる必要がある。（受注）		
	(3) -①特記仕様書：断面補修工-前処理、はつり後の不良部分の確認方法の明記。 今回の工事で、コンクリートが古いくらでもはつれてしまう状態だった。 今回工事で現場で作成したフロー図に基づき、シュミットハンマーで強度確認しながら施工した。 P136監督検査事例で施工について「必要であれば強度の確認をおこなう。」と追記すべきではないか。（受注）	①構造物諸元の項目：断面補修工対象構造物の詳細項目の記載（鉄筋の種類、かぶり等） 対象構造物の詳細項目に鉄筋の種類、かぶりを入れるということ。かぶり等の条件によって金額が異なってくるため。（受注）	①出来形管理項目：断面修復／吹付工法 断面修復（はつり）の深さについては、コンクリートの不良部分に左右されるので、設計値以上の記載に課題。 補足で「現場の状況によって、コンクリートの健全性を確認した上で必要に応じて設計値を見直す等の対応を検討する」という項目を入れる。（受注）	
	(3) -③設計図面：断面補修工特記載内容を設計図面に反映。 特記の内容は全て図面に反映すべきである。（受注）		②品質管理項目：試験が必要項目については、試験内容の記載。	
			②品質管理項目：同一環境の場合は材料と施工の圧縮強度及び付着強度は材料と施工で統一してよいのでは。	
			②品質管理項目：外気温度管理として下限値から上限値の確認は必要ないか？	
			②品質管理項目：1箇所あたりの面積や使用量(m3)が少量の場合、例えば、メーカーの品質証明等により出ることが出来る（省略）ようにして頂きたい。	
			他工種との不整合部分（出来形）：伸縮装置取替は、伸縮装置工の据付け高さ±3mmと整合がとれていない。	
表面被覆工（含浸工法）	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
	特記仕様書：積算上で見込んだ材料等の規格についての記載は必要であるが、メーカー名までは記載しなくてもよいのでは？ 特記仕様書：資材関係のメーカー縛りは不要	①構造物諸元の項目：より詳細な構造物の諸元がわかり良い ②工事条件の項目：足場から施工場所までの高さを記載した方がよい （仮設条件によっては、十分な施工高さが取れない場合有り）	①出来形管理項目：表面含浸では、材料が無色系が多いので長さ・幅は必要ないのでは ①出来形管理項目：対象範囲に均等に施工されたか確認することが困難	追加項目：鉄筋圧接 追加項目：表面被覆工（含浸工法）材料使用量の判定等、検査方法が漠然としている。

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
表面被覆工 （含浸工 法）	特記仕様書：使用材料を指定されるのであれば施工時に問題がある	②工事条件の項目：より詳細な工事条件がわかり良い		
		③工事原単価の項目：施工部位により単価が違うので条件が詳細にわかり良い		
	特記仕様書：共通事項：各地整で作成している特記仕様書で網羅出来ると考えられます。 施工管理及び品質管理：メーカー指定となるため、メーカー名の記載は削除した方が良いと考えられます 設計図面：補修箇所やボリュームが多い工事の場合、施工箇所細部まで図示すると変更図面作成時に紙面上が煩雑になる。 また、ひびわれ補修や断面補修の積算数量は1橋単位で行うため、発注図面の作成により労力を要する。あくまで参考図として契約し、変更時には補修箇所が確定しているため契約図として作成が効率的。	③工事原単価の項目：伸縮装置の現場打ちコンクリートの摘要幅の記載。市場単でも表示されておらず標準幅(300～400程度)が不明である。そのため現場において通常より広い場合の変更の対応が困難。 ③工事原単価の項目：m2当たり塗布量の記載が必要と考えられます		
犠牲陽極材 設置	【アンケート】 特記仕様書：足場工供用日数は提示して頂きたい。各工種で調査、変更図作成、協議、工場製作等の期間を考慮して頂きたい。最終的に工期末日付近まで仮設していることが多い。また仮設数量に関しても、現場条件、施工性、安全性を考慮すると数量増になることが考えられるため、足場工の仮設期間、仮設数量は変更対象扱いにしてほしい。	【アンケート】 ①構造物諸元の項目：延長とあわせて幅員を追加願いたい。	【アンケート】 ①出来形管理項目：「かぶり」を追加する必要あり(増厚となることあり)	追加項目：ブラケット製作設置(耐震補強)・・・完全溶け込み溶接やアンカーの一般的な管理基準が必要
		②工事条件の項目：規制工の明記(全面通行止め施工等)。河川協議や各関係各所との協議状況の提示。	②品質管理項目：「抵抗値」は、出来形ではなく品質	
			③写真管理項目：設置状況(ワイヤ取付けとかかぶりの状況)	
ひび割れ注 入	【アンケート】 特記仕様書：ひび割れ注入におけるエポキシ注入材規格の2種、3種の追記 特記仕様書：橋梁(上部工)の動きのあるひび割れ補修について、追従性を要する場合のI ⁺ 杉樹脂系(3種)についての記述 特記仕様書：材料等の規格値について、補足事項に典拠を記載頂きたい。 特記仕様書：求められる強度や鉄筋の有無等や表面保護の仕上がりなど各現場条件によって内容が大きくかわるのではないかと 特記仕様書：ひび割れ注入など1種、3種の仕様についての記載等。 床板等の補修が多く追従性のある3種の使用が多いため。 特記仕様書：施工範囲及び補修内容が示されているが、表面ひび割れを想定しており、深部ひび割れを想定していない。 数量総括表：ダム堤体のひび割れ注入という特殊なケースかもしれないが、注入設備運転時間と注入材料を別項目で契約してもよいのではないかと 数量総括表：シーツ材、注入器具も含むとしてはどうか？ 数量総括表：ひび割れ注入における道路修繕-橋梁補修工の追加。 数量総括表：数量の計上があったほうが良い 数量総括表：工事区分、工程が示されているが、表面ひび割れを想定しており、深部ひび割れには不適である。 設計図面：設計図面が示されているが、表面ひび割れを想定しており、深部ひび割れには適合しない。	【アンケート】 ①構造物諸元の項目：河川構造物諸元の中にダム堤体が示されていない。 ①構造物諸元の項目：ダムは対象となっていますでしょうか ①構造物諸元の項目：工事の範囲の緯度経度は必要あるのでしょうか？ ①構造物諸元の項目：施工会社名を追加して頂きたい。 ①構造物諸元の項目：実際にやっているのとわからない(具体事例がないため) ①構造物諸元の項目：仮設規模や資機材搬入、移動経路にも反映するため、橋梁の立地条件と橋脚の高さの諸元は必要かと思われます。 ②工事条件の項目：D I D区分を追加してはどうか。 ②工事条件の項目：土木積算では「市街地」と「地方部」で記載していたと思います。 ②工事条件の項目：足場条件の記載が足場種類であり、高さが示されていない。また、足場材等の搬入方法の記載がない。 ②工事条件の項目：ダム堤体のひび割れ注入という特殊なケースかもしれないが、注入設備運転時間と注入材料を別項目で契約してもよいのではないかと	【アンケート】 ①出来形管理項目：表面ひび割れを想定しており、深部ひび割れには不適である。 ①出来形管理項目：当該工事では、注入量(kg)で管理を実施 ①出来形管理項目：長さについては、施工前の確認と同じ数値。材料使用量の確認だけでよいのではないのでしょうか。 ①出来形管理項目：特記や写真管理では、材料使用量が明記されているが、出来形管理項目に記載されていない ②品質管理項目：設計図書では、W=0.2～1.0未満を対象とし、w=1.0mm以上は、ひび割れ充填としている。 ②品質管理項目：シール材は撤去されるものであるため、その効果が期待されるものであれば、規格値は必要ないかと思われます。 ②品質管理項目：品質証明書の提出、練り上がり充填材の比重を追加 ②品質管理項目：材料について、メーカーの品質証明と現場試験は付着強さの試験のみではいかがでしょうか。 ②品質管理項目：メーカーによる証明で良いと考える。 ③写真管理項目：表面ひび割れを想定しており、深部ひび割れには不適である。 ③写真管理項目：延長の出来形写真は必要ないのではないのでしょうか。	【アンケート】 追加項目：仮補修方法の提案：管理の年数が残りわずかである場合の対応方法事例。 追加項目：具体的に思いつかない。 追加項目：経年的に支承等の劣化が著しく、今後、支承取り替え工が増加傾向にあるため、支承取り替え工の事例集を作成してほしい。 追加項目：調査会社および前回の施工会社名。 削除項目：特徴的な施設管理情報：(理由欄：無回答)

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
ひび割れ注入	設計図面：変更設計の都度、補修箇所の修正を行う必要があり、煩雑である。	②工事条件の項目：トンネル等は規制の種類によって施工能力が大きく変化するため、条件項目に追加した方がよいと思われます。		
	その他意見：ひび割れ注入の用語定義の備考欄には河川維持、構造物補修、クラック処理工、ひびわれ注入と工種が示されているのに対し、事例集では表面ひび割れ深さを示していない。	③工事原単価の項目：実際にやってみないとわからない（具体事例がないため）		
		②工事条件の項目：実際にやってみないとわからない（具体事例がないため）		
		③工事原単価の項目：①伸縮装置取替1車線又は2車線の施工単価		
		③工事原単価の項目：主たる工種区分を追加してはどうか。また、その区分に合わせた工事費（直工＋経費等）も算定できるようにしてはどうか		
		③工事原単価の項目：施工条件は反映できるように項目を追加した方がよいと思われます。		
		③工事原単価の項目：施工単価は直工ですか。		
		③工事原単価の項目：ひび割れ注入であれば幅、深さ、注入量等の実績も記載したらどうか。		
		③工事原単価の項目：施工機械、足場等の仮設材の搬入方法を、現場条件に合った適用・積算が必要である。		
	【ヒアリング】 設計図面の必要性の○×について「既設構造図」について、断面修復工ム、ひび割れ注入工×とされている。その違いが良くわからないので、両方とも△で統一を図るほうがよいのではないかと。（発注）	【ヒアリング】 ひび割れ注入工では特に無いが、同じ施工数量であっても、施工条件によって金額が変わってくる工種もある。例えば伸縮装置取替工では、はつり時に使用するブレーカーの騒音等が問題となり、歩掛などに影響が生じる。（受注）	【ヒアリング】	【ヒアリング】 今回の工事では以下のNETIS技術が業者から提案され採用した。 ・ボンドKEEPメンテ工法UM-3 ・プレスアドラー ・ブラットウォール ・コンクリート保水養生テープ 工事額の変更はしていない。 経済性には優れた工法である。 検査等の内容は業者と打合せをおこないながら決めた。 現場の不具合等は無かった。（監督）
	添架物の有無（施工時に支障となる物件）を明記。（発注）	橋梁補修の場合、九州地整の土木積算システムでは交通の影響を受けるかどうかに加え、D1D地区なのかどうかでお金が大きく変わってくる。ただし、直接工事費には影響しない（経費率が変わる）。（発注）		各業者で微妙に考えが変わるので、統一したものがあれば参考になる。 管理項目については、共通仕様書に載っていないものは、業者と施工計画書で決定するのが実態である。その際参考になる。（監督）
	ひび割れ注入は、点検時に作成した図面と現地との違いがある場合が多いため、図面を確認しながらの補修作業は大変煩雑な作業である。何かいい方法があれば知りたい。（発注）	③工事原単価の項目：主たる工種区分を追加してはどうか。また、その区分に合わせ工事費（直工＋経費等）も算定できるようにしてはどうか。 帳票については、直接工事費ではなく、工事費で整理した方がよいと思われる。複数の橋梁補修が1工事で発注される場合など、経費が大きな問題になってくるため。（発注）		
	事例集は施工業者が見るというより、設計時に活用してもらうためのものというイメージである。また、事例集には標準的なものを掲載するよりも、こんな例もあるんだというような少し特殊な事例等が入っているほうが参考となる。（発注）	複数橋で発注される場合、場所が離れて点在していると移動に時間がかかるので効率が悪い。 伸縮装置取替など、騒音が発生する場合ではどうしても企業努力が発生するケースが多い。 橋面舗装（伸縮装置取替時に発生する舗装工など）のお金が特に合わない。積算の内容と実際の乖離が大きい。歩掛を見積で計上する場合であればよいが、繁華街の場合はそれでも難しいケースがある。（発注）		
	（3）－②数量総括表：数量の計上があったほうがよい 数量総括表は通常一式表示であるが、個別の数量が確認できると工事の概要が把握でき、応れしやすい。 例えば1橋あたりの施工数量、全9橋での施工数量などを知りたい。一式表示では確認できない。（受注）			
	用語の定義：受発注者間での齟齬を防止できる。（公告後の質問等）（発注）			

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
ひび割れ注入	ひび割れ注入工の幅について、「一般に0.5～1.0は・・・」の文章は、トンネルの補修として一般的なことでは？橋梁の場合など、対象構造によってひび割れ幅と注入工法の事例がさまざまあることを書く方が良い。 （トンネルと橋梁とでは内容が違うため、トンネルだけではなく橋梁の図面も必要なのではないか。）（発注）			
	ひび割れ補修の事例は、橋梁（床版、下部工）もあった方がよい。 （ひび割れ補修の考え方がトンネルと異なるといいます。）（発注）			
	ひび割れ注入材料（1種、3種）の区別を明記。 （もしくは進行性のひび割れなのか、そうではないのかを明記すべき。）（発注）			
	ひび割れの原因を明記（施工業者へ設計思想を伝達）。 （施工方法が異なってくるため。）（発注）			
ひび割れ充填	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
			①出来形管理項目：全体として「社内規格値」は不要ひび割れ充填の「幅」の削除	
			②品質管理項目：全体として「施工環境」は仕様書に記載する内容「断面修復」に比べ、「ひび割れ充填」の材料項目が少ない	
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	他工種との不整合部分（出来形）：ひび割れ充填で深さの管理がない	【ヒアリング】
			ひび割れ充填の場合であるが、充填するためにひび割れ部をカットする深さを計測し、管理する必要があると考える。 設計では幅も深さもあるのに、施工時に深さの管理項目が無いのはおかしいのではないかと。充填前のカットした状態であれば深さは計測できる。 経験の浅い人にとっては、どれだけ深くカットすればよいのかの指標にもなる。（受注）	
断面修復	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
	特記仕様書：コンサルの調査結果と現地踏査結果が異なることが多いので、現地踏査を行うこと、踏査費用を変更の対象とすることとしていただきたい。	①構造物諸元の項目：補修経過年度	①出来形管理項目：施工管理基準及び規格値	追加項目：漏水防止工：遊離石灰や水が出ている箇所の補修は、表面的な補修では、意味が無いため。
	特記仕様書：・断面修復工に関して、施工前の詳細調査を実施する場合、その経費について監督員と協議し設計変更の対象とする旨の記載をして頂きたい。	①構造物諸元の項目：改善項目：構造物の直近の補修・改修履歴項目を加えると概算工事費結果の判断材料の一つになると思われる	①出来形管理項目：はつり面が断面修復工の仕上げ面になる場合は、はつり出来形のみで良いのは。	追加項目：施工フロー毎の施工説明および施工上の注意点等の掲載。 また、各工法・各作業単位の検査・留意事項が掲載されていれば監督上より分かり易い。
	特記仕様書：特記仕様書に記載された夜間作業時間と警察協議回答の作業時間が異なっているが、設計変更の対象とならない。	①構造物諸元の項目：直近の補修履歴の表記	①出来形管理項目：断面修復工は、はつりを行った時点で出来形が確定するため断面修復後の出来形管理は必要ないかと考えます。特に修復後の深さについては測定が不可能です。	追加項目：【回答】上記欄が保護されているため以下に記載項目「断面修復追加_写真管理の施工中のうち『はつり後状況』理由_不可視部分の写真記録は監督としては必須。（立会も必須）
	特記仕様書：■足場工・防護工については、現場状況を考慮して設置期間について変更する事が望ましいため、設計図書に足場の高さ・朝顔条件・供用月数などの詳細を記載しておくべきである。	①構造物諸元の項目：断面修復工に使用する材料の圧縮強度について既設構造物のコンクリート強度以上を求める場合においては、圧縮強度の記載が必要だと考えます。	①出来形管理項目：厚さの管理については平均厚の場合何点取るか、または最深部で管理するか等協議が必要となる	
	特記仕様書：既設コンクリート面が、すでに表面保護を行っていた場合の下地処理方法の明記	①構造物諸元の項目：工事の範囲の緯度経度は必要あるのでしょうか？	①出来形管理項目：断面修復工の深さ項目は断面修復工（はつり）の深さを代用した。	
	特記仕様書：P56表面被覆工（含浸工法）の前処理のように、P53断面修復工でも前処理について具体的に示して欲しい。	①構造物諸元の項目：（全工種） ・1日当たりの交通量によって劣化の進み具合も変わるので、当該項目の記載欄があった方がよいのではないかと。 ・「完成年度」の下に前回補修時期もしくは補修履歴の記載があればLCCの算出に役立つのではないかと。 ・健全度調査時期の記載欄があった方がよいのではないかと。 （伸縮装置取替、支承防錆工（防錆塗装、金属溶射） ・伸縮装置、支承のメーカーの記載欄があった方がよいのではないかと。	②品質管理項目：現場で行う試験と、材料承認で確認する品質の項目を分けたほうがよいのでは。	

工 程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
断面修復	特記仕様書：設計段階で主旨を踏まえた施工管理項目の設定が必要項目の標準値を事例集に明示	③工事原単価の項目：P95～104各表の右中段参照【回答】→以下(4)に記載※(4)記載内容：【回答】→不要。設計業務段階もしくは発注段階で図面や特記で品質や条件を明示し、総括表及び規格や積算条件を整理すれば妥当な見積が可能。逆に帳票が増えてミスを増やすだけ。（矛盾した記載を生む要因である。）	②品質管理項目：施工外気温については材料特性によるものになるので、指定しないほうがよいと考えます。湿度、表面含水率、硬化時間についても同様に指定しないほうがよいと考えます。	
	特記仕様書：今回トンネル修繕工事で、トンネル補修工について、もう少し具体的に出来ないか、検討して頂きたい。	①構造物諸元の項目：P95～104各表の右中段参照【回答】→以下(4)に記載※(4)記載内容：【回答】→不要。設計業務段階もしくは発注段階で図面や特記で品質や条件を明示し、総括表及び規格や積算条件を整理すれば妥当な見積が可能。逆に帳票が増えてミスを増やすだけ。（矛盾した記載を生む要因である。）	②品質管理項目：材料（モルタル）ポリマーセメントモルタル付着強度・付着試験に関して、当現場でも1.5N/mm2以上であることを確認したが、どの仕様書にも記述がないため不明確である。	
	特記仕様書：ひび割れ注入材等に対する具体的な使用材料名	②工事条件の項目：D I D 区分を追加してはどうか。	②品質管理項目：P109～132参照【回答】→(6)回答を参照（※(6)其他回答内容！） ・特記の記載事項や出来型管理、品質管理の数値を参考とした書籍や便覧について書籍の発行年度やページを記載しないと人事異動で担当が居なくなった際に間違い無く管理しきれなくなると思われます。参考書籍一覧を作成しといはてはどうでしょうか。	
	特記仕様書：断面修復工の材料表内に、ポリマーセメントモルタルが記載されていますが、■前処理3)に無収縮モルタルと吸水防止材の記載があり、矛盾するものと考えます。	②工事条件の項目：土木積算では「市街地」と「地方部」で記載していたと思います。	②品質管理項目：圧縮強度	
		②工事条件の項目：河川協議の有無	③写真管理項目：断面修復の補修寸法が全体的に小さい場合の代表部分をどうするのか	
	特記仕様書：■新技術の活用の「発注者指定型」は、今までは1工法であったが選択肢を増やしてほしい	②工事条件の項目：（全工種） 1日当たりの交通量によって施工の難易度も変わるので、当該項目の記載欄があった方が良いのではないかと。	③写真管理項目：P109～132参照【回答】→(6)回答を参照。（※(6)其他回答内容！） ・特記の記載事項や出来型管理、品質管理の数値を参考とした書籍や便覧について書籍の発行年度やページを記載しないと人事異動で担当が居なくなった際に間違い無く管理しきれなくなると思われます。参考書籍一覧を作成しといはてはどうでしょうか。	
	数量総括表：上記を行うと、概算発注になります。（上記：コンサルの調査結果と現地踏査結果が異なることが多いので、現地踏査を行うこと、踏査費用を変更の対象とすることとしていただきたい。）	②工事条件の項目：車道上の作業であれば、交通量や車線数を追加する。	③写真管理項目：品質管理写真として圧縮強度と付着強度の両方の写真管理が必要ではないか。（吹付工法にも適用したほうが良いのでは）	
	数量総括表：断面修復工、ひび割れ注入に関して、断面修復材、注入材の1橋当たりの使用量を明記して頂きたい。 ひび割れ充填に関しては対象外ではあるが、1橋当たりの充填材の使用量を明記して頂きたい。	②工事条件の項目：第3者対策の有無(防護等の必要性)	③写真管理項目：J I Sマーク表示無し（材料承諾願いで確認）	
	数量総括表：P40～73参照【回答】→平成28年度に追加された『橋梁補修で一番大事なレベル1の橋梁保全工事』が工事工種体系、用語集、総括表など体系ツリーの記述がある全ページで存在しない。 『体系ツリーは国総研HPの最新HPを参照』と記述し、細別(レベル4)とレベル5(標準的な規格)及び標準的な単位を記載すれば良いと考えらる。	②工事条件の項目：冬期施工の有無を記載した方がよい	③写真管理項目：延長・幅等出来形	
	数量総括表：断面修復工のレベル4（細別）吹付工法と項目にある断面修復工（左官）は異なるものであり統一が必要であると考えます。※端面修復と誤字があります。	②工事条件の項目：P95～104各表の右中段参照【回答】→以下(4)に記載※(4)記載内容：【回答】→不要。設計業務段階もしくは発注段階で図面や特記で品質や条件を明示し、総括表及び規格や積算条件を整理すれば妥当な見積が可能。逆に帳票が増えてミスを増やすだけ。（矛盾した記載を生む要因である。）	他工種との不整合部分（出来形）：測定の頻度を指定してください。	
	数量総括表：P63のひび割れ注入レベル2工種に橋梁工が無い。	②工事条件の項目：プラント設置箇所、給水、機器の配置など、施工ヤードの条件が必要。さらに、飛散防止が必要か否かも条件として必要。	他工種との不整合部分（出来形）：あて板補強や水切りなど工場製作部材は、道路修繕の工場製作工と同様が良いのではないかと。	

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
断面修復	設計図面：設計図面の補修工詳細図でひび割れ注入Bの注入孔配置、削孔長が理解しにくい。又、セグメント位置での断面修復も理解しづらい。	③工事原単価の項目：断面修復については、施工断面の大小によっても工法を選定することがありますので、箇所数、面積の区別が判別できればよろしいかと考えます。	他工種との不整合部分（品質）：圧縮強度試験においても測定の種類を指定してください。使用量が少ない現場が多いため、またプレミックス製品の場合品質がほぼ一定となるため1m3毎程度でよいと考えます。	
	設計図面：注入や断面修復の参考図を統一して欲しい。設計業者に示して成果を統一できる。	③工事原単価の項目：表面被覆工（含浸工法、塗装工法） 下地処理、プライマー塗布等の金額が横並びに記載されているものについては、右端に合計金額を記載する欄があった方がよいのではないかと。	他工種との不整合部分（品質）：「増厚」の品質管理（コンクリートの品質管理に準ずるならそのように記載してはどうか）	
	設計図面：補修履歴情報を記入して頂きたい	③工事原単価の項目：市場単価等は材工込みの単価しか分からない。	他工種との不整合部分（写真）：断面修復と吹付工法の圧縮強度と付着強度	
	設計図面：P56表面被覆工（含浸工法）の前処理ように、P53断面修復工でも前処理について具体的に示して欲しい。	③工事原単価の項目：主たる工種区分を追加してはどうか。 また、その区分に合わせた工事費（直工＋経費等）も算定できるようにしてはどうか		
	設計図面：P40～73参照【回答】→左上にある体系ツリーの標記不要。	③工事原単価の項目：改善項目：施工単価は施工箇所や現場条件により左右されるため備考欄に条件明示を行い、各単価を設定すると工事費算出の精度が上がると思われる		
	設計図面：鉄筋の最低かぶり厚が必要	③工事原単価の項目：1施工箇所の数量が少数だった場合の記入欄の追加		
	設計図面：断面修復構造図（例）に防錆処理にエポキシ系樹脂材と記載されていますが、他の規格による材料もある為、記載されない方がよいと考えます。	③工事原単価の項目：施工性(施工環境、施工規模)を反映できると良いのでは		
	設計図面：課題：補修工事の場合、工種によっては修復箇所が多くなり表現が難しい場合がある	③工事原単価の項目：施工単価は直工ですか。←明確にする必要あり？		
	設計図面：■断面修復工については、契約数量単位が橋（m3）であるため、図面記載の単位はm3が望ましい。	③工事原単価の項目：ノズルを挿入する余裕空間について記載が必要。また、 ブラントからの延長 も金額に影響する。		
	設計図面：ひび割れ注入材等に対する具体的な使用材料名			
	その他意見：断面修復工の施工方向（上面、側面、下面）の区分があると良いのでは。施工性、材料ロスが変わると思います。			
	その他意見：断面修復については、左官工法、注入工法、吹付工法に分類されるため、現地条件、損傷程度によって選別できるようにご検討下さい。			
	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】	【ヒアリング】
	設計図面の必要性の○×について「既設構造図」について、断面修復工△、ひび割れ注入工×とされている。その違いが良くわからないので、両方とも△で統一を図るほうがよいのではないかと。（発注）			
	添架物の有無（施工時に支障となる物件）を明記。（発注）			
	用語の定義：受発注者間での齟齬を防止できる。（公告後の質問等）（発注）			
	図面内の数量表について補修する損傷名（鉄筋露出など）を示すと良いと思われます。（損傷の原因によって補修方法が変わってくるため。）（発注）			
	歩掛にのらない項目については、注記を記載する必要がある。（例えば、断面修復におけるカッター工が入らない等）（作業手間がまったく異なるため。）（発注）			
	損傷の原因を明記（施工業者へ設計思想を伝達）。（損傷の原因によって補修方法が変わってくるため。）（発注）			

工程	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
断面修復	（3）-①特記仕様書：ひび割れ注入材等に対しての具体的な使用材料名品質規格を満たしたい場合、現地の状況次第では特記仕様書に記載された品質規格を満足できる製品に限られてしまうので、施工側としましては、もう少し幅広い製品を選定したいと思うので、品質規格の幅を広げてほしいと思います。 特に施工地区が異なる場合に施工環境、施工方法が変わってしまうからです。その為材料の選定に時間を費やし、施工が遅延してしまいます。（受注）			
	（3）-③設計図面：ひび割れ注入材等に対しての具体的な使用材料名（受注）			
繊維シート取付	【アンケート】 特記仕様書：繊維シートのラップ長についての記述、また部分的に剥落防止を施す場合の余貼り長について	【アンケート】 ②工事条件の項目：貼り付け箇所（上部、側面部などの箇所別の日当たり施工量の違いについて	【アンケート】 ①出来形管理項目：維持修繕工事全般にいえることだが、規格値が設計値以上となる場合が多く、社内規格値を設定するのが困難である。	【アンケート】 各業者で微妙に考えが変わるので、統一したものがあれば参考になる。 管理項目については、共通仕様書に載っていないものは、業者と施工計画書で決定するのが実態である。その際参考になる。（監督）
繊維シート取付	特記仕様書：繊維シート貼り付けの範囲としてクラック幅から〇〇mmなど、貼り付け範囲の定義がほしい		②品質管理項目：材料特性によるものが大きいので、これらの規格値とすると、材料が限られてくる。施工で行う品質管理は、温湿度及び付着力試験だけでよいと思われる。	今回の工事で以下のNETIS技術が業者から提案され採用した。 ・ボンドKEEPメンテ工法UM-3 ・プレスアドラー ・ブラットウォール ・コンクリート保水養生テープ 工事額の変更はしていない。 経済性には優れた工法である。 検査等の内容は業者と打合せをおこないながら決めた。 現場の不具合等はなかった。（監督）
	特記仕様書：コンサルの調査結果と現地踏査結果が異なることが多いので、現地踏査を行うこと、踏査費用を変更の対象とすることとしていただきたい。		②品質管理項目：引張強度の試験基準を具体的に記載することが必要	追加項目：品質管理の数値の根拠、必要性、適用ポイント
	数量総括表：上記を行うと、概算発注になります。（上記：コンサルの調査結果と現地踏査結果が異なることが多いので、現地踏査を行うこと、踏査費用を変更の対象とすることとしていただきたい。）		③写真管理項目：強度試験の写真について、施工規模によっては適用できない場合があるのでは	
	数量総括表：数量根拠としての繊維シート貼り付けの範囲としてクラック幅から〇〇mmなど、貼り付け範囲の定義がほしい			
	その他意見：設計図書（特記仕様書）の繊維シート取付の目付量の単位が違う。		他工程との不整合部分（写真）：出来形管理について、延長となっているが1箇所/200m程度よいと思われる。また、材料使用量は注入材の空袋・空缶のみとし注入器具は必要ないと思います。	
FRPシート取付	【アンケート】 特記仕様書：■下地処理の項目に「施工前に浮き等の調査を行い、浮きが発見された場合は叩き落とし等の処置を行うこと。」のような記載が必要では？（点検時と施工までの期間中に変状が進行している恐れがあるため。） ■Co.剥離断面については、断面修復を行うと記載があるが、断面修復を行った上に更にFRPシートを貼るのか？本工事については、浮き、剥離を叩き落したのち、FRPシートを貼っており断面修復は行っていない。断面修復をした後にFRPシートを貼ることは過剰施工では？ ■FRPシートの項目に記載の文章及び表は、特記仕様書ではなく、参考資料に記載するべきでは？（参考として示すと謳っているため）同時に図面への記載も不要では？ ■アンカーや金具のロスを計上するべきなのか不明。（アンカーにて設置をするもの等で通常ロスは見ていない。）	【アンケート】 ①構造物諸元の項目：トンネル諸元の追加事項－覆工厚、支障物件の有無	【アンケート】	【アンケート】

工種	積算に関わる事例集（素案）	概算工事費集計用帳票（素案）	施工管理項目（素案）	監督・検査事例（素案）
FRPシート取付	数量総括表：紫外線硬化タイプ等の直接貼付けの場合、アンカー等は使用しないので、その場合には適用できない。	①構造物諸元の項目：共通項目の「名称」、「完成年度」、「延長」の他に「所在地」が必要では？（一番上の項目でも良いと思うが）		
	設計図面：図面特記例に記載のある「3. 対象変状端部より、50cm以上確保する。」こちらの根拠が不明（製品指定にならないか？「FRPによるトンネル覆工剥落対策マニュアル」に記載されている事項であれば、特記仕様書に共通仕様書に準じた形で「適用すべき諸基準」という項目を作成し上記マニュアルを記載すべきでは？	②工事条件の項目：工事条件の追加事項－ 照明等の支障物件移設の有無		
	設計図面：覆工コンクリート打継目をまたぐ場合、打継目から定着長50cm以上確保する。とあるが、道路トンネル維持管理便覧では覆工厚+20cm以上確保となっており、不明な場合は最低50cm確保と記載有り。	②工事条件の項目：道路使用許可や河川占用など「他機関との協議」の有無の項目が必要では？		
		③工事原単価の項目：工事条件で仮設（足場、高所作業車）の有無を記載しているので、施工部位（壁面、天井面、床面等）を記入する必要があるか不明。細分化することにより手間の増、部位単位の費用の増につながるのでは？		
増厚	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
			③写真管理項目：・表面処理の完了状態がわかる写真が必要。 ・アンカーの削孔深さの確認写真が必要。	
ロックボルト設置	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
			②品質管理項目：地下水の有無、終了基準（リターンモルタルの比重確認等）	
表面被覆工（塗装工法）	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】	【アンケート】
	特記仕様書：【表面被覆工（塗装工法）】（※伸縮装置取替の回答欄に記載） ・使用材料の標準使用量が示されていますが、標準歩掛では、畝分を含む必要量を入力する必要があるため、標準的な比率を記載していただきたい。	①構造物諸元の項目：1橋当りの施工面積が200㎡以下の場合は、実績見積を採用願いたい。	①出来形管理項目： 全般的にだが、規格値と社内規格値が同じだと社内規格値の意味がない と思う。	各業者で微妙に考えが変わるので、統一したものがあれば参考になる。 管理項目については、共通仕様書に載っていないものは、業者と施工計画書で決定するのが実態である。その際参考になる。（監督）
	数量総括表：1橋当りの面積が少量のため、1橋当りの単価を出すため、橋数で数量を記載したい。	②工事条件の項目：①と同じ（※①記載内容：1橋当りの施工面積が200㎡以下の場合は、実績見積を採用願いたい。） 施工場所が近接する橋においても、橋毎に数量を計上し、実績積算願いたい。	①出来形管理項目：コンクリート保護塗装における塗膜厚は、膜厚計で計測出来ないため、材料使用量で確認している。現場によっては、テストピースにて塗膜厚を計測している場合もあるが、出来形管理項目から排除して欲しい。	今回の工事では以下のNETIS技術が業者から提案され採用した。 ・ボンドKEEPメンテ工法UM-3 ・ブレスアドラー ・ブラットウォール ・コンクリート保水養生テープ 工事額の変更はしていない。経済性には優れた工法である。検査等の内容は業者と打合せをおこないながら決めた。現場の不具合等はなかった。（監督）
		③工事原単価の項目：②と同じ（※②記載内容！ ①と同じ（※①記載内容：1橋当りの施工面積が200㎡以下の場合は、実績見積を採用願いたい。） 施工場所が近接する橋においても、橋毎に数量を計上し、実績積算願いたい。		削除項目：施工管理方法：コンクリート保護塗装の塗膜厚が計測出来ないため、塗膜厚の出来形管理項目を削除して欲しい。

(5) 改定内容

前項での意見を抜き出し、事例集での対応を下記の通り検討・整理した。

表 2.3.3-8 調査結果を受けた事例集の改定内容一覧

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
全体				工種体系を最新のものに修正。それに伴い各項目の訂正。
積算に関わる事例集	共通	事例集の位置づけが分かりません。	P2	追記する。(事例集に示す特記仕様書、設計図面等は、設計図書としての注意が必要なものを示したものであり、あくまでも参考資料として取り扱うものとする。)
		特記仕様書：共通事項：現場条件：■現場作業時間帯 請負者→削除（又は受注者(文言の統一)） p.41 の表中に「請負者」とう表記がある。	P41 等	適宜修正する。
		特記仕様書：吊り足場用金具の存置について、工事内容毎に積載荷重が違ふこと及び経年劣化による腐食発生など治具の健全性が保てないことから、記載されないほうが良いと考えます。	P40	共通事項の特記仕様書において、「■吊り足場用金具について」を削除する。
		特記仕様書：■足場工・防護工については、現場状況を考慮して設置期間について変更する事が望ましいため、設計図書に足場の高さ・朝顔条件・供用月数などの詳細を記載しておくべきである。	P40	共通事項の特記仕様書において、補足・注意事項に、「現場状況を考慮して設置期間について変更する事が望ましいため、設計図書に足場の高さ・朝顔条件・供用月数などの詳細を記載することが望ましい。」を追記する。
		特記仕様書：補足欄で、必要である、望ましい、望まれる、明記する、記載するという、各言葉の定義は何か。	P40 ～ 42	共通事項の特記仕様書において、補足・注意事項に記載している文書の語尾を統一する。「…望ましい。」、「…記載する。」等
		設計図面の必要性の○×について「既設構造図」について、断面修復工△、ひび割れ注入工×とされている。その違いが良くわからないので、両方とも△で統一を図るほうがよいのではないか。	P43	設計図面の表中の「既設構造図」におけるひび割れ注入工の「×」を「△」に修正する。
		P 78, 79 で技術管理費がないので、記載してもらいたい。	P79	表中の「現場管理費」を「技術管理費」に修正する。
		数量総括表：ア) 共通仮説費：現場管理費 ①品質管理基準に記載されている項目に要する費用→品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用 p.79 の表中の中ほどにある文章であるが、赤本に合わせた表現に修正すべきと考えます。	P79	表中の「現場管理費」の①を「品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用」に修正する。

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
			P3	(3)①の最後に「ただし、炭素繊維シート接着工法については、平成 28 年度に積算の体系化が図られたが、参考資料として取り纏めた。」と追記
	伸 縮 装置	特記仕様書：製品が指定されてしまう	P44	特記仕様書「■指定材料の確認」の表中の規格(参考)を削除する。
		特記仕様書：標準使用量はメーカーによって異なるので、固定されるとメーカー指定になってしまう(〇〇kg～〇〇kgの方が良いのではないか)		
		特記仕様書：材料仕様を記載したいが、製品指定となることが懸念される		
		特記仕様書：指定材料や工法指定する場合には、明記すべきだが、余計な情報まで特記に書くべきではない。 また、材料は十分に規格を明示する必要がある。 メーカー名は参考としても記載しない		
		特記仕様書：材料等を指定すると、物価資料等による経済比較が出来ない。 メーカー名までは書く必要はない。伸縮量と遊間量で決まる。		
		a 遊間が示されていれば、メーカーを示しているに等しい。受注者の積算時にメーカーの記載が無い場合、あてずっぽうで積算するしかない。		
		特記仕様書：現場条件の表で「無」は何を示しているのでしょうか、〇cm が2回でくるが厚みと何を示しているかわからない。	P44	特記仕様書「現場条件」の表の項目が抜けているので追加する。
		特記仕様書：使用材料の具体的な性能を記述されていない場合は選定にこまる場合があります。 材料の種類や具体的な強度などが明示されていると製品を選定しやすいので、記載されていることが望ましい。 特にエポキシ系の材料には強度などに細かい設定があるため。	P44	特記仕様書「■指定材料の確認」の表中の規格(参考)を削除する。
		数量総括表レベル1の工事区分について、橋梁補修の場合は「道路修繕」ではなく「橋梁保全工事」ではないのか。	P45	レベル2が間違っていたので、「橋梁支承工」から「橋梁附属物工」に修正する。
		数量総括表P15とP45の工事区分と工種が整合が取れていないと思われる。		
		数量総括表伸縮装置取替について、土木工事標準積算基準書との整合がとれているか？		
		設計図面：設計図面に支障物件(埋設構造物)等の明示を取り入れていただきたい。(事前確認等の期間短縮)	P46	設計図面中の図面特記例に、「可能な限り支障物件(埋設構造物)等の明示すること。」と追記する。
		設計図面に支障物件(埋設構造物)等の明示を取り入れていただきたい。		
		歩道下など、情報ボックスが敷設されている可能性があるため、その有無を記載する。また、材料についても場合によっては突き合わせ型を採用する		
		地覆部のシール材についても図面に明記する	P46	設計図面中の図面特記例に、「地覆部のシール材についても明記すること。」と追記する。
		参考図について、伸縮装置詳細図(参考図)は、メーカー指定となるので、九州地整の標準図のような図面が望ましいと思われます。	P46	九州地整の参考図をもとに添付する。

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
	防 錆 塗装	特記仕様書：橋梁添加物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記していただきたい	P47	特記仕様書における「現場条件」について、補足・注意事項として「橋梁添加物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記すること。」を追記する。
		設計図面：上記で述べた支障する物があれば図面に反映していただきたい（上記：橋梁添加物等、施工に影響をおよぼすような物があれば現場条件に明記していただきたい）	P49	設計図面中の図面特記例に、「可能な限り支障物件等の明示すること。」と追記する。
	金 属 溶射	（３）-①特記仕様書：潤滑剤についても記載して欲しい。 また、求める仕様で溶射金属（溶射材料）を選定方法を記載して欲しい。維持修繕工事の事例集（素案）P 8 7 の図面例に記載されていますが、必要な工程と考えます。工法指定になるのでしょうか？ 潤滑剤の仕様は、二硫化モリブデン溶液を使用しています。（発注）	P50	特記仕様書補足注意事項に「支承の滑り面へ潤滑性防錆材を注入する場合もある。」を追記。
		数量総括表：潤滑剤についても記載して欲しい。		
		（３）-②数量総括表：潤滑剤についても記載して欲しい。 必要な工程と考えますので、項目に追加した方がよいのでは無いでしょうか？任意ではないのでは。（発注）		
		設計図面：潤滑剤についても記載して欲しい。		
		（３）-③設計図面：潤滑剤についても記載して欲しい。 必要な工程と考えますので、項目に追加した方がよいのでは無いでしょうか？任意ではないのでは。（発注）		
	表 面 被 覆 工（含 侵 工 法）	特記仕様書：積算上で見込んだ材料等の規格についての記載は必要であるが、メーカー名までは記載しなくてもよいのでは？	P56	特記仕様書「■含侵材の仕様」における表中のメーカーの項目を削除する。
		特記仕様書：資材関係のメーカー縛りは不要		
		特記仕様書：共通事項：各地整で作成している特記仕様書で網羅出来ると思われます。施工管理及び品質管理：メーカー指定となるため、メーカー名の記載は削除した方がよいと思われます		
	犠 牲 陽 極 材 設 置			
	ひ び 割 れ 注 入	添架物の有無（施工時に支障となる物件）を明記。	P64	設計図面中の図面特記例に、「可能な限り支障物件等の明示すること。」と追記する。
	ひ び 割 れ 充 填			
	断 面 修 復	特記仕様書：断面修復工の材料表内に、ポリマーセメントモルタルが記載されていますが、■前処理 3) に無収縮モルタルと吸水防止材の記載があり、矛盾するものと考えます。	P53	「無収縮モルタル」を「ポリマーセメントモルタル」に修正

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
		数量総括表：断面修復工のレベル 4（細別）吹付工法と項目にある断面修復工（左官）は異なるものであり統一が必要であると考えます。※端面修復と誤字があります。	P54	数量総括表のレベル 4 を「吹付工法」かせ「左官工法」に修正する。 項目に書いている「端面修復」を「断面修復」に修正する。
		設計図面：鉄筋の最低かぶり厚さが必要かと	P55	図面特記例に「鉄筋の最低かぶり厚を明示する。」と記載
		添架物の有無（施工時に支障となる物件）を明記。	P55	設計図面中の図面特記例に、「可能な限り支障物件等の明示すること。」と追記する。
			P53	題名のあとに「（なお、吹付工法事例が入手できなかった為、左官工法を明記について取り纏めた）」と追記
	繊維シート取付	特記仕様書：繊維シートのラップ長についての記述また、部分的に剥落防止を施す場合の、余貼り長について	P65	赤本内容にて対応。
		特記仕様書：繊維シート貼り付けの範囲としてクランク幅から〇〇mmなど、貼り付け範囲の定義がほしい	P65	赤本内容にて対応。
		設計図書（特記仕様書）の繊維シート取付の目付量の単位が違う。	P65	特記仕様書「■使用材料」における表中の目付量の単位を「N/mm2」から「g/m2」に修正する。
	FRP 繊維シート取付			
	増厚			
	ロックボルト設置			
概算工事費集用帳票	共通	その他意見：何に役に立つのかよくわからない←補足必要でない？	P94 ～ 104	「以下に示す 10 工種について、現場で施工した構造物の諸元、工事条件、数量施工単価を帳票として収集することにより、将来的に標準歩掛や単価検討の参考となるよう、工事情報を収集するものである。」と修正。
		誤字が見受けられるので再度、文章の見直しが必要では？例）「徴収」が「徴集」になっている。「支承」が「支障」になっている等。	P94 ～ 104	適宜修正する。「徴収」に統一します。
		その場所への資材搬入方法等の事例案の提示が必要。	P95 ～ 105	留意事項に事例を追記する。
		構造物諸元の項目：延長とあわせて幅員を追加願いたい。	P95 ～ 105	諸元に「橋梁幅員」を追加する。
		②工事条件の項目：D I D 区分を追加してはどうか。	P95 ～ 105	・工事条件に「施工地域、工事場所」を追加する

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
		②工事条件の項目：土木積算では「市街地」と「地方部」で記載していたと思います。		・また、留意事項に「施工地域：共通仮設費率の補正に適用する施工地域を記載する。」を追加する。
		②工事条件の項目：騒音対策の有無	P95 ～ 105	・工事条件に「騒音対策の有無」を追加する ・また、留意事項に「施工にあたり、騒音対策を行ったか否かを記載する。」を追加する。
		②工事条件の項目：防音対策が必要な施工場所か、否か。		
		ひび割れ注入工では特に無いが、同じ施工数量であっても、施工条件によって金額が変わってくる工種もある。例えば伸縮装置取替工では、はつり時に使用するブレーカーの騒音等が問題となり、歩掛などに影響が生じる。（受注）		
		②工事条件の項目：第三者対策の有無（防護等の必要性）		
		資材搬入に関する現場条件が歩掛に与える影響が大きい。また、仮設材の撤去が毎日発生するような現場条件の場合も影響がある。（発注）	P95 ～ 105	工事条件の中にある現場条件1を「資材搬入にかかる制限を記載する。」に修正する。
		②工事条件の項目：足場条件の記載が足場種類であり、高さが示されていない。また、足場材等の搬入方法の記載がない。		
		③工事原単価の項目：施工機械、足場等の仮設材の搬入方法を、現場条件に合った適用・積算が必要である。		
		工事条件の項目：規制方法の追加。	P95 ～ 105	工事条件に「車線規制」を追加する。
		工事条件の項目：車線規制か片側交互か必要。		
		②工事条件の項目：現道の場合、片側施工・分割施工等の有無を記載をお願いします。		
		②工事条件の項目：規制工の明記（全面通行止め施工等）。河川協議や各関係各所との協議状況の提示。		
		②工事条件の項目：片側車線単位での施工等、分割施工を考慮しなければならない場合は条件に明示していただきたい		
		②工事条件の項目：トンネル等は規制の種類によって施工能力が大きく変化するため、条件項目に追加した方がよいと思われます。		
		②工事条件の項目：1日当りの施工車線相当数の想定	P95 ～ 105	工事条件に「交通量」を追加する。
		②工事条件の項目：施工時間帯における一般車両の交通量と歩行者の通行量の記載		
		②工事条件の項目：車道上の作業であれば、交通量や車線数を追加する。		
		交通量や車線数は工事の歩掛に多大に影響するので必要。（発注）		
		②工事条件の項目：施工時間帯における一般車両の交通量と歩行者の通行量の記載 規制する場合は、必ず交通量等が問題となるため。（受注） 発注者としては、記入欄があれば記入できる。ただし、一般車両の交通量は可能であるが、歩行者の交通量については記入は難しい。（発注）	P95 ～ 105	＜現場条件に関するメモや工法等＞に「例：支障物の有無、冬季施工等施工単価に影響する条件を記入ください。」を追記する。
		②工事条件の項目：・（受注者側）断面補修工 支障物等の工事に影響する項目に記載		
		①構造物諸元の項目：トンネル諸元の追加事項－覆工厚、支障物件の有無		
		②工事条件の項目：工事条件の追加事項－照明等の支障物件移設の有無		
		②工事条件の項目：冬期施工の有無を記載した方がよい		

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
	伸 縮 装置	①構造物諸元の項目：参考に床版遊間を追加してはと思います。	P95	原単価の記載項目に、遊間を追加する。メーカーも直接記入する。
		③工事原単価の項目：・遊間、地震時の伸縮量の記載をした方が良いと思われます。		
		①構造物諸元の項目：遊間を項目として追加してはどうか。		
		①構造物諸元の項目：設計段階で採用しているメーカー型式等の記載をお願いします。		
		構造物諸元の項目：適用示方書	P95	諸元に「適用示方書」を追加する。
	防 錆 塗装			
	金 属 溶射	①構造物諸元の項目：適用示方書欄を設けてはどうか。	P97	諸元に「適用示方書」を追加する。
	吹 付 工法	支障物がかかなりお金に左右されるので入れるべきである。 足場設置の具体的な条件を入れる必要がある。	対 応 箇 所 なし	〈現場条件に関するメモや工法等〉に「例：支障物の有無、冬季施工等施工単価に影響する条件を記入ください。」を追記する。
	表 面 被 覆 工（含 侵 工 法）			
	犠 牲 陽 極 材 設 置			
	ひ び 割 れ 注 入	③工事原単価の項目：ひび割れ注入であれば幅、深さ、注入量等の実績も記載したらどうか。	P101	原単価に注入量を追加する。
	ひ び 割 れ 充 填			
	断 面 修 復	ブラントからの延長	P98	工事条件の中に「ブラントと現場の距離」を追加する。
	織 維 シ ー ト 取 付			
	FRP 織 維 シー ト 取 付			
	増 厚			
	ロ ッ ク ボ ル ト 設 置			
	表 面 被 覆 工（塗 装 工 法）			
施 工 管 理 項目	共通	②品質管理項目：全体として「施工環境」は仕様書に記載する内容	P121、 123、 12.3	品質管理の中にある「施工環境」をはずし、別表として頁の下に記載する。

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
		社内規格値は通常、工事受注者が設定するものなので、発注者側でその自由度を拘束する必要はない	P109 ～132	出来形管理の中にある「社内規格値」を削除する。
		①出来形管理項目：補修形状寸法は監督職員の立会により協議決定した値となるが、管理項目に規格値のみだけで社内規格値は不要と思う。		
		①出来形管理項目：全体として「社内規格値」は不要 ひび割れ充填の「幅」の削除		
		①出来形管理項目：維持修繕工事全般にいえることだが、規格値が設計値以上となる場合が多く、社内規格値を設定するのが困難である。		
		①出来形管理項目：全般的にだが、規格値と社内規格値が同じだと社内規格値の意味がないと思う。		
		写真管理基準の項目に J I S マーク表示とあるが、材料承諾の場合があるので、J I S 製品の使用は必須ではない。J I S ならマークを撮影し、それ以外であれば必要書類の提出が必要となる。どちらかでいいという表現にすべき。（受注）	P111、 113、 114、 115、 118、 122、 125、 126、 129、 130、 131	写真管理の使用材料の標準（案）にある「品質証明（JIS マーク表示）」を「JIS マーク（JIS 製品の場合）」に修正する。
		「現場ごとに管理頻度は協議をおこなう。」という項目を追加する。	P109 ～132	出来形、品質、写真管理の表の下に「管理頻度は協議により決定する」を追記する。
	伸 縮 装 置	他工種との不整合部分（出来形）：3-2-3-2.3-1 伸縮装置工と据付高さの規格値が違う。	P112	出来形管理の据付高さの標準（案）「舗装面に対し 0～2」を「±3mm」に修正する。
		①出来形管理項目：伸縮装置取替は、伸縮装置工の据付け高さ±3mm と整合がとれていない。土木工事施工管理基準と整合されていないため、修正させていただきます。（受注）		
		出来形管理項目に単位が必要でないか。（監督）	P112	出来形管理の標準（案）に示している数字の後に単位（mm）を追記する。
	防 錆 塗 装			
	金 属 溶 射			
	吹 付 工 法			
	表 面 被 覆 工（含 侵 工 法）			
	犠 牲 陽 極 材 設 置	②品質管理項目：「抵抗値」は、出来形ではなく品質	P119	出来形管理の中にある「抵抗値」を、品質管理基準に移動する。
	ひ び 割 れ 注 入	②品質管理項目：シール材は撤去されるものであるため、その効果が期待されるものであれば、規格値は必要ないかと思われます。	P121	品質管理の中にある「材料（シール用エポキシ系樹脂）」を削除する。

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
	ひび割れ充填	ひび割れ充填の場合であるが、充填するためにひび割れ部をカットする深さを計測し、管理する必要があると考える。 設計では幅も深さもあるのに、施工時に深さの管理項目が無いのはおかしいのではないか。充填前のカットした状態であれば深さは計測できる。 経験の浅い人にとっては、どれだけ深くカットすればよいのかの指標にもなる。（受注）	P123	出来形管理の管理項目に「深さ d 規格値」を追記する。
		他工種との不整合部分（出来形）：ひび割れ充填で深さの管理がない		
	断面修復	②品質管理項目：施工外気温については材料特性によるものになるので、指定しないほうがよいと考えます。湿度、表面含水率、硬化時間についても同様に指定しないほうがよいと考えます。	P12.3	品質管理の中の「施工外気温測定」、「硬化時間」、「湿度」、「表面含水率」を削除する。
	繊維シート取付			
	FRP 繊維シート取付			
	増厚			
	ロックボルト設置			
監督・検査例	表面被覆工（塗装工法）			
	共通			
	伸縮装置			
	防錆塗装			
	金属溶射			
	吹付工法			
	表面被覆工（含侵工法）			
	犠陽極材設置			
	ひび割れ注入			
	ひび割れ充填			
	断面修復			

事例集	工種	意見	事例集頁	対応
	繊維シート取付			
	FRP繊維シート取付			
	増厚			
	ロボット設置			
	表面被覆工（塗装工法）			

2.3.4 「維持修繕工事の事例集（案）」（平成 28 年度版）の作成

維持修繕工事の事例集（素案）について、以下の内容を反映し、維持修繕工事の事例集（案）を作成した。

- ・各事例集に位置づけを追記
- ・平成 28 年 10 月版の工事工種体系との整合を図る
- ・アンケート、ヒアリング調査結果を踏まえた修正
- ・データベース化に向けた概算工事費集計用帳票の修正
- ・添付資料 1 に、「維持修繕工事の事例集（案）」（平成 28 年度版）を示す。

2.4 情報利活用に関する検討

2.4.1 積算実績データベースへの取込み検討

(1) 現状の維持修繕工事の入札契約方式

維持・修繕事業においては、点検結果を基に補修の優先順位が決定され、それに従って設計・施工が実施されている。設計段階では、点検結果を与条件として設計計算や数量計算が行われる。その後施工となるが、施工段階において足場を設置した近接目視やはつり検査等により、設計段階で想定できなかった事象が発覚し、設計・施工に手戻りが発生することがある。

このような中、維持・修繕事業では、従来の設計・施工分離発注方式とは異なる、「設計」と「施工」の連携を図る契約方法として、下図（図 2.4.1-1）の契約方式が提案されている。（出展：「維持管理等の入札契約方式ガイドライン（案）～包括的な契約の考え方～本編」平成 27 年 3 月 公益社団法人土木学会 建設マネジメント委員会 維持管理に関する入札・契約制度検討小委員会）



図 2.4.1-1 設計者と施工者の連携を図る契約

このような設計と施工の連携を図るためには、積算基準による積算、概算数量による積算、過去の類似工事実績に基づく積算、参考見積もりによる積算等により工事の予定価格を設定することとなる。

設計施工分離した契約、または、設計と施工の連携を図るための契約のいずれにしても、今回対象としている維持・修繕の工種は、工事工種体系に未だ位置づけられておらず、積算基準も未整備の状態であるため、過去の類似工事実績に基づく積算、又は、参考見積りによる積算にて予定価格の設定を行うこととなる。

一方、維持・修繕工事の見積もりは、資材の搬入経路や作業空間など現場条件による費用変動が大きいことが、過去の団体へのヒアリングから明らかになっている。

そのため、契約実績をデータとして蓄積し、今後の同種工事の発注時の積算価格や、徴集した見積り価格の妥当性の確認を行えるよう、データベースへの取り込みが必要である。

そこで、現在運用している積算実績データベースを活用することを念頭に、データの取り込む単位、蓄積の仕組み等を検討した。

(2) データの取り込み等に関する検討

事例集の一つを構成する「概算工事費集計用帳票」は、維持修繕工事の中で汎用性の高い 10 工種について、現場条件、施工条件、原単価を調査するものである。

「概算工事費集計用帳票」による調査は、現場条件別に施工規模と概算工事費（直接工事費）の関係を調べ、積算価格や見積価格の妥当性の確認を行うこと、ならびに、今後、維持修繕工事の適正な単価設定、施工実態を反映した積算基準・原単価表の作成を目的としている。ここでは、概算工事費集計用帳票を用いた調査の流れと、積算実績データベースへの取り込みの可能性について検討した。

1) 調査の流れ

ア. 蓄積の仕組み（調査方法）

維持修繕工事は、施工条件や施工規模により作業手間が変わり、工事価格が大きく変動する。また、維持修繕工事は、施工条件や施工規模が様々であり、たくさんのデータを集める必要がある。そのため、帳票の提出が定着されることが大切であるが、発注職員の手間にならないよう仕組みに配慮する必要がある。常に最新の帳票を入手でき、タイピングよく記入提出が可能な流れとして以下のとおりとする。

- ・最新の帳票をいつでも入手できるよう、国土交通省のイントラネットに帳票をアップする
- ・設計書データ作成時に、帳票を入力するようにする。

イ. 取り込む単位（調査の単位）

工事条件により概算工事費（直接工事費）が変化するため、工事単位ではなく、同一工事内で同一工事条件別に帳票を記入してもらうことが重要である。調査に際しては、前述の調査単位を明記すること。

- ・調査単位は、同一工事内で同一工事条件別とする

ウ. データの取り込み手法

積算実績 DB への取り込みは、帳票を作成しているエクセルデータを CSV 形式に変換する。また、帳票は、データの取込みや活用を考慮し、一行化したシートを帳票のシートに追加する。一行化データを CSV 形式で変換すれば、記入項目と記入データが整列しているので、積算実績 DB への入力項目の抽出が容易に行うことが出来るようになる。また、一行化したシートを作成しても帳票自体を変更すると、一行化データが崩れてしまうので、帳票データに保護をかける必要がある。

●集計シート【一行化データの作成】

以下に、伸縮装置の概算工事費集計用帳票のエクセルファイルを例として、作成したシートを示す。概算工事費集計用帳票は 2 つのシートで構成される。一つ目のシート「記入様式」は事例集に記載した帳票そのものであり、もう一つのシート「集計シート」は、記入様式に書かれたのデータを一行化したものである。記入者が「記入様式」に記入す

ると、記入内容は自動で「集計シート」に転記される。積算実績 DB への取り込みは、「集計シート」を CSV で保存したものを活用することとなる。また、新たな DB への取り込みも「集計シート」を活用することを想定している。

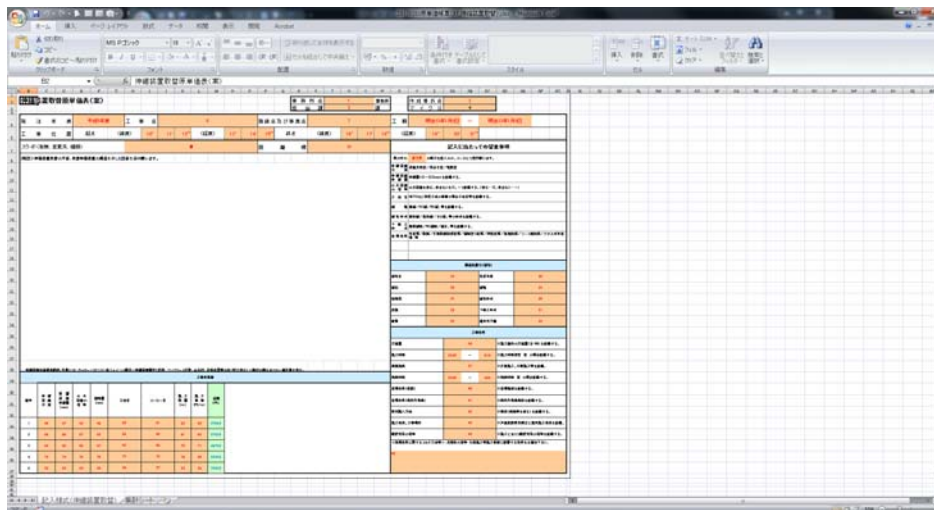


図 2.4.1-2 伸縮装置の単価帳票の「記入様式」

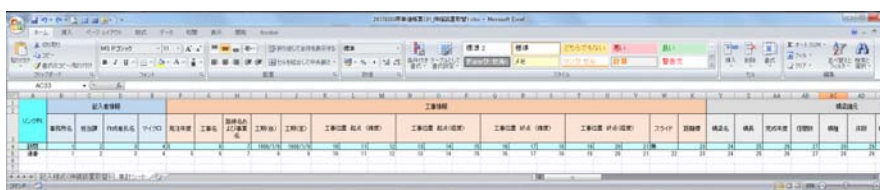


図 2.4.1-3 伸縮装置の単価帳票の「集計シート」(1/4)



図 2.4.1-3 伸縮装置の単価帳票の「集計シート」(2/4)



図 2.4.1-3 伸縮装置の単価帳票の「集計シート」(3/4)



図 2.4.1-3 伸縮装置の単価帳票の「集計シート」(4/4)

2) 積算実績DBへの取り込み

ア. 積算実績DB項目と帳票の項目比較

a. 比較する積算実績DBのテーブルの抽出

積算実績DBは設計書データを登録するものである。次ページに積算実績データベースのテーブル一覧を示す。この中で、帳票にて調査する概算工事費（直接工事費）等と関係のあるテーブルは「1 管理情報」～「12 条件」と考えられる。

表 2.4.1-1 積算実績データベースの仕様

テーブル名		
(1) 設計書データ関連	1) 設計書データ管理関係	1 管理情報
		2 スケジュール
		3 ユーザ情報
	2) 設計書データ関連	4 鏡
		5 コントロール
		6 エンジンパラメータ
		7 バージョン管理
		8 工種体系
		9 設計内訳書
		10 設計単価表
		11 登録単価
		12 条件
		13 エラー情報
		14 間接費 1 (直接工事費)
		15 間接費 2 (共通仮設費積上)
		16 間接費 3 (共通仮設費率計上)
		17 間接費 4 (イメージアップ率)
		18 間接費 5 (現場管理費)
		19 間接費 6 (中止期間中現場維持)
		20 間接費 7 (一般管理費等)
		21 間接費 8 (技術者間接費 電気用)
		22 間接費 9 (共通仮設費管理費区分 9)
		23 引継ぎ
		24 Nコード単価
		25 間接費 2 (共通仮設費積上 機械用)
		26 間接費 3 (共通仮設費率計上 機械用)
		27 間接費 5 (据付間接費 機械用)
		28 間接費 6 (現場管理費 機械用)
		29 間接費 7 (中止期間中現場維持 機械用)
		30 間接費 A (工場管理費 機械用)
		31 間接費 B (間接労務費 機械用)
		32 間接費 C (設計技術費 機械用)
		33 数量入力情報
		34 合算工事費 1 (直接工事費)
		35 合算工事 2 (共通仮設費積上)
		36 合算工事 3 (共通仮設費率計上)
		37 合算工事 4 (イメージアップ率)
		38 合算工事 5 (現場管理費)
		39 合算工事 6 (中止期間中現場維持)
		40 合算工事 7 (一般管理費等)
		41 現工事 0 (現工事総括)
		42 現工事 1 (直接工事費)
		43 現工事 2 (共通仮設費積上)
		44 現工事 3 (共通仮設費率計上)
		45 現工事 4 (イメージアップ率)
		46 現工事 5 (現場管理費)
		47 現工事 6 (中止期間中現場維持)
		48 現工事 7 (一般管理費等)
		49 現工事 8 (工種区分)
		50 現工事 9 (共通仮設費管理費区分 9)
		51 調整額
		52 現工事リスト
		53 条件項目
(2) 請負代金内訳書関連	1) 請負代金内訳書管理関係	
	2) 請負代金内訳書関係	
(3) 工事費内訳書関係		

b. 比較する積算実績DBのテーブルの抽出

ここでは、積算実績DBのデータテーブル1～12について、それぞれの入力項目と帳票の項目を比較する。表2.4.1-2に積算実績DBに当てはまる帳票の項目を、表2.4.1-3に積算実績DBに当てはめられない帳票の項目を示す。積算実績DBに取り込める帳票の項目は50程度の項目数であり、取り込めない項目は工種により異なるが30～100程度の項目数である。工事条件や工事諸元等を積算実績DBでは取り込むことが出来ないことを確認した。

表 2.4.1-2 積算実績DBに当てはまる帳票の項目

			伸縮装置取替	支承防錆工 (防錆塗装)	支承防錆工 (金属溶射)	断面修復工	表面被覆工 (含浸工法)	電気防食工 (犠牲陽極材設置)	ひび割れ注入	(繊維シート取付)	剥落防止工	表面被覆工 (塗装工法)
テーブル登録名		レコード長										
D__SEK__KNRI		682										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書ID	sj_sekkeisyo_id										
2	ファイル保存フラグ	sj_type_flg_s										
3	概算対象フラグ	sj_type_flg_g										
4	対象設計書フラグ	sj_type_flg_t										
5	設計終了フラグ	sj_type_flg_e										
6	類似対象フラグ	sj_type_flg_r										
7	工事価格	sj_koujikakaku										
8	工事原価	sj_koujigenka										
9	請負金額	sj_ukeoigaku										
10	契約区分	sj_keiyaku										
11	設計者名	sj_sekkeisya										
12	ユーザID	sj_user_id										
13	工事番号	sj_koujiban										
14	工事名称	sj_koujimei	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	主たる工種体系名称	sj_syukousyu										
16	施工県コード	sj_kencode										
17	施工地区コード	sj_chkucode										
18	事務所番号	sj_jimusyoban										
19	設計年月	sj_snengetu										
20	発注年月	sj_hnengetu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	変更回数	sj_henkou										
22	単価適用年月	sj_tnengetu										
23	工期開始年月日	sj_kokaishi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	工期終了年月日	sj_kosyuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	バージョン	sj_version										
26	スライド回数	sj_suraido										
27	スライド基準日	sj_suraidokij										
28	スライド区分	sj_suraidokub	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	保管開始年月	sj_hoknengetu										
30	保管期間	sj_hokankikan										
31	登録年月	sj_trknengetu										
32	類似移行指定	sj_ruijiikou										
33	保存日	Sj_Hymd										
34	フラグ1	Sj_Flg1										
35	フラグ2	Sj_Flg2										
36	フラグ3	Sj_Flg3										
37	フラグ4	Sj_Flg4										
38	フラグ5	Sj_Flg5										
39	契約番号	Sj_keiyakuno										
40	予備	Sj_yobi										
テーブル登録名		レコード長										
R__SCHEDULE												
No	項目名	フィールド名										
1	設計書ID	Sj_sekkeisyo_id										
2	ファイル保存フラグ	sj_type_flg_s										
3	概算対象フラグ	sj_type_flg_g										
4	対象設計書フラグ	sj_type_flg_t										
5	設計終了フラグ	sj_type_flg_e										
6	類似対象フラグ	sj_type_flg_r										
7	工事価格	sj_koujikakaku										
8	工事原価	sj_koujigenka										

9	請負金額	sj_ukeoigaku										
10	契約区分	sj_keiyaku										
11	設計者名	sj_sekkeisya										
12	ユーザID	sj_user_id										
13	工事番号	sj_koujiban										
14	工事名称	sj_koujimei	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	主たる工種体系名称	sj_syukousyu										
16	施工県コード	sj_kencode										
17	施工地区コード	sj_chkucode										
18	事務所番号	sj_jimusyoban										
19	設計年月	sj_snengetu										
20	発注年月	sj_hnengetu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	変更回数	sj_henkou										
22	単価適用年月	sj_tnengetu										
23	工期開始年月日	sj_kokaishi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	工期終了年月日	sj_kosyuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	バージョン	sj_version										
26	スライド回数	sj_suraido										
27	スライド基準日	sj_suraidokij										
28	スライド区分	sj_suraidokub	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	保管開始年月	sj_hoknengetu										
30	保管期間	sj_hokankikan										
31	登録年月	sj_trkngetu										
32	類似移行指定	sj_ruijiikou										
33	保存日	sj_hymd										
34	フラグ1	sj_flg1										
35	フラグ2	sj_flg2										
36	フラグ3	sj_flg3										
37	フラグ4	sj_flg4										
38	フラグ5	sj_flg5										
39	契約番号	sj_keiyakuno										
40	備考	sj_yobi										
41		sj_hostname										
42		sj_sflag										
43		sj_edate										
44		sj_status										
45		sj_message										
テーブル登録名		レコード長										
R_OFFICE												
No	項目名	フィールド名										
1	地県コード	ro_tiken_cd										
2	オフィスコード	ro_office_cd										
3	ホスト名	ro_host_name										
4	サービスID	ro_sid										
5	ユーザーID	ro_uid										
6	パスワード	ro_passwd										
7	サーバー名	ro_up_server										
8	フラグ1	ro_flg1										
9	フラグ2	ro_flg2										
10	フラグ3	ro_flg3										
テーブル登録名		レコード長										
D_SEK_KGMI		4573										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書ID	sj_sekkeisyo_id										
2	識別	sj_key1										
3	予備	sj_key1fill										
4	予備	sj_key2fill										
5	工事名	sj_koujimei	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	工事地名	sj_koujitime										
7	発注年月	sj_hnengetu	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	設計年月	sj_snengetu										
9	設計者名	sj_sekkeisya										

10	事務所コード	sj_jimusyono										
11	事務所名	sj_jimusyomei	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	工事番号	sj_koujiban										
13	設計区分 1	sj_sekkei1										
14	設計区分 2	sj_sekkei2										
15	変更回数	sj_henkou										
16	事業区分コード	sj_jkcode										
17	事業区分名	sj_jkmeisyou										
18	工事区分数	sj_koujisuu										
19	工事区分コード 1	sj_k1kcode										
20	工事区分名 1	sj_k1kmeisyou										
21	選択順序 1	sj_k1sjyunjyo										
22	工事区分コード 2	sj_k2kcode										
23	工事区分名 2	sj_k2kmeisyou										
24	選択順序 2	sj_k2sjyunjyo										
25	工事区分コード 3	sj_k3kcode										
26	工事区分名 3	sj_k3kmeisyou										
27	選択順序 3	sj_k3sjyunjyo										
28	工事区分コード 4	sj_k4kcode										
29	工事区分名 4	sj_k4kmeisyou										
30	選択順序 4	sj_k4sjyunjyo										
31	工事区分コード 5	sj_k5kcode										
32	工事区分名 5	sj_k5kmeisyou										
33	選択順序 5	sj_k5sjyunjyo										
34	工事量	sj_koujiryoku										
35	工期日数	sj_konissuu										
36	工期開始年月日	sj_kokanshi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	工期終了年月日(当初)	sj_kosyuuryout	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	工期終了年月日(変更)	sj_kosyuuryouh										
39	工期フラグ	sj_kokiflg										
40	施工県コード	sj_skencode										
41	施工県名	sj_skenmei										
42	施工地区コード	sj_stikucode										
43	施工地区名	sj_stikumei										
44	河川・路線コード	sj_krcode										
45	河川・線路名	sj_krmeisyou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	補正条件	sj_hojyouken										
47	補正係数 1	sj_hoseisuu1										
48	補正係数 2	sj_hoseisuu2										
49	単価適用年月	sj_tnengetu										
50	歩掛適用年月	sj_bnengetu										
51	調整区分	sj_cyousei										
52	予算科目 1	sj_y1kamoku										
53	目 1	sj_y1moku										
54	目の細分 1	sj_y1saibun										
55	事業名 1	sj_y1jigyou										
56	予算科目 2	sj_y2kamoku										
57	目 2	sj_y2moku										
58	目の細分 2	sj_y2saibun										
59	事業名 2	sj_y2jigyou										
60	予算科目 3	sj_y3kamoku										
61	目 3	sj_y3moku										
62	目の細分 3	sj_y3saibun										
63	事業名 3	sj_y3jigyou										
64	予算科目 4	sj_y4kamoku										
65	目 4	sj_y4moku										
66	目の細分 4	sj_y4saibun										
67	事業名 4	sj_y4jigyou										
68	設計概要コード 1	sj_slcode										
69	項目名称 1	sj_slmeishou										
70	設計内容 1	sj_slsekkei										

71	単位 1	sj_sl1tani											
72	工事区分コード` 2	sj_s2code											
73	項目名称 2	sj_s2meishou											
74	設計内容 2	sj_s2sekkei											
75	単位 2	sj_s2tani											
76	工事区分コード` 3	sj_s3code											
77	項目名称 3	sj_s3meishou											
78	設計内容 3	sj_s3sekkei											
79	単位 3	sj_s3tani											
80	工事区分コード` 4	sj_s4code											
81	項目名称 4	sj_s4meishou											
82	設計内容 4	sj_s4sekkei											
83	単位 4	sj_s4tani											
84	設計区分コード` 5	sj_s5code											
85	項目名称 5	sj_s5meishou											
86	設計内容 5	sj_s5sekkei											
87	単位 5	sj_s5tani											
88	設計区分コード` 6	sj_s6code											
89	項目名称 6	sj_s6meishou											
90	設計内容 6	sj_s6sekkei											
91	単位 6	sj_s6tani											
92	設計区分コード` 7	sj_s7code											
93	項目名称 7	sj_s7meishou											
94	設計内容 7	sj_s7sekkei											
95	単位 7	sj_s7tani											
96	設計区分コード` 8	sj_s8code											
97	項目名称 8	sj_s8meishou											
98	設計内容 8	sj_s8sekkei											
99	単位 8	sj_s8tani											
100	設計書区分コード` 9	sj_s9code											
101	項目名称 9	sj_s9meishou											
102	設計内容 9	sj_s9sekkei											
103	単位 9	sj_s9tani											
104	設計書区分コード` 1 0	sj_sacode											
105	項目名称 1 0	sj_sameishou											
106	設計内容 1 0	sj_sasekkei											
107	単位 1 0	sj_satani											
108	設計書更新年月日	sj_sknengappi											
109	設計書更新時間	sj_sktime											
110	発注年月号	sj_hnengetug											
111	開始年月号	sj_knengetug											
112	終了年月号(当初)	sj_snengetugt											
113	終了年月号(変更)	sj_snengetugh											
114	設計年月号	sj_snengetug											
115	主工種名	sj_syukousyu											
116	仮想県コード`	sj_kasoken_code											
117	前回請負金額	sj_zen_ukeoi_kakaku											
118	前回工事価格	sj_zen_koji_kakaku											
119	価格変換率	sj_kakaku_henkannritu											
120	オリジナルコード	sj_koji_org_code											
121	更新時識別用設計書 ID	sj_save_id											
122	亜熱帯補正区分	sj_ane_kbn											
123	労務の入力パラメータ	sj_rou_prm											
124	予備	sj_tailfill											
125	区分 3	sj_kbn3											
126	区分 2 - 1	sj_kbn2_1											
127	区分 2 - 2	sj_kbn2_2											

128	区分 1 - 1	sj_kbn1_1										
129	区分 1 - 2	sj_kbn1_2										
130	区分 1 - 3	sj_kbn1_3										
131	単価使用年月日（その 2）	sj_tnengetu2										
132	歩掛使用年月日（その 2）	sj_bnengetu2										
133	労務仮想県名称	sj_rkenmei1										
134	材料仮想県コード	sj_zkencode1										
135	材料仮想県名称	sj_zkenmei1										
136	施工県コード（その 2）	sj_skencode2										
137	施工県名（その 2）	sj_skenmei2										
138	施工地区コード（その 2）	sj_stikucode2										
139	施工地区名（その 2）	sj_stikumei2										
140	労務仮想県コード（その 2）	sj_rkencode2										
141	労務仮想県名称（その 2）	sj_rkenmei2										
142	材料仮想県コード（その 2）	sj_zkencode2										
143	材料仮想県名称（その 2）	sj_zkenmei2										
144	追加工種分単価適用年月（その 1）	sj_tui_tnengetu1										
145	追加工種分歩掛適用年月（その 1）	sj_tui_bnengetu1										
146	追加工種分単価適用年月（その 2）	sj_tui_tnengetu2										
147	追加工種分歩掛適用年月（その 2）	sj_tui_bnengetu2										
148	合意区分	sj_gouikbn										
テーブル登録名		レコード長										
D__SEK__CNTL		521										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_key1										
3	レコード N o	sj_key1rbango										
4	FILLER1	sj_key1fill										
5	識別子	sj_key2										
6	FILLER1	sj_key2fill										
7	歩掛施工単価年月度	sj_tnengetu										
8	歩掛歩掛適用年月度	sj_bnengetu										
9	歩掛県コード	sj_kencode										
10	歩掛区分 + 地区コード	sj_tikucode										
11	ユーザー権限レベル	sj_userlevel										
12	日数	sj_knissu										
13	開始年月日	sj_kkaishi										
14	終了予定年月日	sj_ksyuryo										
15	国債指定区分	sj_kokusai										
16	補正 1	sj_hosei1										
17	補正 2	sj_hosei2										
18	労務規制	sj_kisei										
19	労務調整係数	sj_roumuhi										
20	労務超時間 1	sj_cyouka1										
21	労務超時間 2	sj_cyouka2										
22	機損補正情報 1	sj_sonryohosei1										
23	機損補正情報 2	sj_sonryohosei2										
24	機損補正情報 3	sj_sonryohosei3										
25	機損補正情報 4	sj_sonryohosei4										
26	機損補正情報 5	sj_sonryohosei5										
27	機損補正情報 6	sj_sonryohosei6										

28	機損補正情報 7	sj_sonryohosei7										
29	機損補正情報 8	sj_sonryohosei8										
30	機損補正情報 9	sj_sonryohosei9										
31	補正ファンクションの番号	sj_fbangou										
32	補正ポジション	sj_position										
33	補正 x 区分	sj_xkubun										
34	補正 x 値	sj_xatai										
35	補正 y 区分	sj_ykubun										
36	補正 y 値	sj_yatai										
37	労務の入力パラメータ	sj_para										
38	労務のパターン番号	sj_patan										
39	労務の交代番号	sj_koutai										
40	労務の休日フラグ	sj_kyujitu										
41	作業開始時間 1	sj_start1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	作業終了時間 1	sj_end1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	作業開始時間 2	sj_start2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	作業終了時間 2	sj_end2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	作業開始時間 3	sj_start3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	作業終了時間 3	sj_end3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	県コード 2	sj_kencode2										
48	予備	sj_yobi1										
49	予備	sj_yobi2										
50	汐間割増	sj_warimasi										
51	予備	sj_yobi										
52	独自単価表最終 N o	sj_dokujitanka										
53	計算完了区分	sj_kkanryou										
54	チェック完了区分	sj_ckanryou										
55	随契調整区分	sj_zuikei										
56	未使用	sj_yobi4										
57	内訳明細区分	sj_utiwake										
58	チェック区分 1 (入力数値)	sj_yobi6										
59	チェック区分 2 (数量費)	sj_yobi7										
60	チェック区分 3 (施工単価)	sj_yobi8										
61	チェック区分 4 (工種体系)	sj_yobi9										
62	チェック区分 4 (緊急停止)	sj_yobi10										
63	主たる工種	sj_syukousyu										
64	間接費追加 1 1 0	sj_kan110										
65	間接費追加 1 1 1	sj_kan111										
66	間接費追加 1 1 2	sj_kan112										
67	運搬費対象回数	sj_unpan										
68	運搬費対象回数 2	sj_unpan2										
69	入力データ作成フラグ	sj_idataflg										
70	Nコード単価最終 N O	sj_ncode										
71	一括更新開始フラグ	sj_kaishi										
72	予備	sj_tailfill										
73		sj_ckbn3										
74		sj_ckbn2_1										
75		sj_ckbn2_2										
76		sj_ckbn1_1										
77		sj_ckbn1_2										
78		sj_ckbn1_3										
79		sj_dcnt01										
80		sj_dcnt02										
81		sj_dcnt03										
82		sj_dcnt04										
83		sj_dcnt05										
テーブル登録名		レコード長										
D _ S E K _ P A R M		378										

No	項目名	フィールド名										
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_key1										
3	レコード N o	sj_key1rbango										
4	FILLER1	sj_key1fill										
5	識別子	sj_key2										
6	FILLER2	sj_key2fill										
7	リターン値	sj_return										
8	起動モード	sj_kidoumode										
9	確認モード	sj_kakuninmode										
10	S Tコード	sj_stcode										
11	単価表コード	sj_tankacode										
12	単価使用年月	sj_otnengetu										
13	歩掛使用年月	sj_obnengetu										
14	県コード	sj_okencode										
15	区分+地区コード	sj_otikucode										
16	単価使用年月	sj_ntnengetu										
17	歩掛使用年月	sj_nbnengetu										
18	県コード	sj_nkencode										
19	区分+地区コード	sj_ntikucode										
20	補正 1	sj_hosei1										
21	補正 2	sj_hosei2										
22	労務補正規制	sj_kisei										
23	労務補正労務費調達 係数	sj_roumuhi										
24	労務補正超過時間 1	sj_cyouka1										
25	労務補正超過時間 2	sj_cyouka2										
26	機械損料補正情報 1	sj_sonryou1										
27	機械損料補正情報 2	sj_sonryou2										
28	機械損料補正情報 3	sj_sonryou3										
29	機械損料補正情報 4	sj_sonryou4										
30	機械損料補正情報 5	sj_sonryou5										
31	機械損料補正情報 6	sj_sonryou6										
32	機械損料補正情報 7	sj_sonryou7										
33	機械損料補正情報 8	sj_sonryou8										
34	機械損料補正情報 9	sj_sonryou9										
35	補正フアンクションの番号	sj_fbangou										
36	補正ポジション	sj_position										
37	補正 x 区分	sj_xkubun										
38	補正 x 値	sj_xatai										
39	補正 y 区分	sj_ykubun										
40	補正 y 値	sj_yatai										
41	労務の入力パラメー タ	sj_para										
42	労務のパターン番号	sj_patan										
43	労務の交代番号	sj_koutai										
44	労務の休日フラグ	sj_kyujitu										
45	作業開始時間 1	sj_start1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	作業終了時間 1	sj_end1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	作業開始時間 2	sj_start2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	作業終了時間 2	sj_end2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	作業開始時間 3	sj_start3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	作業終了時間 3	sj_end3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	県コード	sj_kencode										
52	予備	sj_yobi1										
53	予備	sj_yobi2										
54	汐間割増	sj_warimasi										
55	予備	sj_yobi										
56	管理区分	sj_kanri_kbn										
57	一次単価表コード	sj_ichiji										
58	設計年月	sj_sek_ym										
59	予備	sj_tailfill										
テーブル登録名		レコード長										

D _ S E K _ V E R F			190									
No	項目名	フィールド名										
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_shiki_betul										
3	レコード N o	sj_recode_no										
4	プログラム I D	sj_program_id										
5	予備	sj_key1fill										
6	識別子 (k e y 2)	sj_shiki_betu2										
7	予備	sj_key2fill										
8	バージョン番号	sj_o_ver_no										
9	適用バージョン番号	sj_o_teki_no										
10	バージョン番号	sj_n_ver_no										
11	適用バージョン番号	sj_n_teki_no										
12	予備	sj_tailfill										
テーブル登録名			レコード長									
D _ S E K _ K O S H			486									
No	項目名	フィールド名										
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_key1										
3	工事区分(レベル 1) 選択順	sj_key1koujis										
4	工事区分(レベル 1) コード	sj_key1koujic										
5	工事区分(レベル 1) 枝番	sj_key1koujin										
6	工種(レベル 2) コード	sj_key1kousyuc										
7	工種(レベル 2) 枝番	sj_key1kousyun										
8	種別(レベル 3) コード	sj_key1syubetc										
9	種別(レベル 3) 枝番	sj_key1syubetn										
10	細別(レベル 4) コード	sj_key1saibetc				○	○					○
11	細別(レベル 4) 枝番	sj_key1saibetn										
12	拡張用(レベル 5) コード	sj_key1kaku5c	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	拡張用(レベル 5) 枝番	sj_key1kaku5n										
14	拡張用(レベル 6) コード	sj_key1kaku6c										
15	拡張用(レベル 6) 枝番	sj_key1kaku6n										
16	予備	sj_key1fill										
17	識別子	sj_key2										
18	区分	sj_key2_kbn										
19	共通仮設費区分	sj_kskbn										
20	予備	sj_key2fill										
21	S T コード	sj_stcode										
22	オリジナルコード	sj_ocode										
23	工種体系名称	sj_ktmeisyou										
24	工種略名	sj_koushu										
25	単位	sj_ttani										
26	総括表用単位	sj_tsoukatu										
27	レベル	sj_level										
28	直・間区分	sj_fcyokkan										
29	共通仮設区分	sj_fkyoutuu										
30	必須条件区分	sj_fhissu										
31	間接工事算定区分	sj_fkansetu										
32	選択区分	sj_fsentak										
33	手入力区分	sj_fhandinput										
34	複写区分	sj_fcopykubun										
35	前回設定区分	sj_fosekkei										
36	管理費区分	sj_kanri_kbn										
37	単価表作成区分	sj_tanka_kbn										
38	補助欄(施工箇所・メモ)	sj_hsekoumemo										
39	補助欄(施工方法等)	sj_hshouhou										
40	主たる工種	sj_syu_kousyu										

41	ヘルプ区分	sj_help_kbn										
42	予備	sj_tailfill										
43	区分3	sj_ckbn3										
44	区分2-1	sj_ckbn2_1										
45	区分2-2	sj_ckbn2_2										
46	区分1-1	sj_ckbn1_1										
47	区分1-2	sj_ckbn1_2										
48	区分1-3	sj_ckbn1_3										
テーブル登録名		レコード長										
D_SEK_UTWK		1304										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書ID	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_key1										
3	計上区分	sj_key1keijyou										
4	工事区分：選択順	sj_key1koujis										
5	工事区分：コード	sj_key1koujic										
6	工事区分：枝番	sj_key1koujin										
7	工種：コード	sj_key1kousyuc										
8	工種：枝番	sj_key1kousyun										
9	種別：コード	sj_key1syubetc										
10	種別：枝番	sj_key1syubetn										
11	細別：コード	sj_key1saibetc										
12	細別：枝番	sj_key1saibetn										
13	拡張用(レベル5)：コード	sj_key1kaku5c										
14	拡張用(レベル5)：枝番	sj_key1kaku5n										
15	拡張用(レベル6)：コード	sj_key1kaku6c										
16	拡張用(レベル6)：枝番	sj_key1kaku6n										
17	予備	sj_key1fill										
18	拡張子	sj_key2										
19	レベル補数	sj_key2level										
20	集計先KEY	sj_key2syuukei										
21	予備	sj_key2fill										
22	単価表コード	sj_tankahyou										
23	名称	sj_meisyou										
24	規格	sj_kikaku										
25	補助欄(施工箇所・メモ)	sj_hsekoumemo										
26	補助欄(施工方法等)	sj_hshouhou										
27	単位	sj_tani										
28	総括表用単位	sj_soukatu										
29	レベル	sj_level										
30	STコード	sj_stcode										
31	データ種別	sj_fdata										
32	手入力区分	sj_fhandinput										
33	歩掛条件セーブフラグ	sj_fsave										
34	材料機械損料労務種別	sj_fzairyou										
35	丸め桁指定	sj_fmкета										
36	丸め種別	sj_fmasyubetu										
37	単位当たりの計算フラグ	sj_ftaniatari										
38	印刷指定フラグ	sj_fprint										
39	再構成不可フラグ	sj_fsaikousei										
40	管理費フラグ	sj_fkanrihi										
41	資材フラグ	sj_fsizai										
42	直・間区分	sj_feyokkan										
43	共通仮設費区分	sj_fkyoutuu										
44	間接工事算定区分	sj_fkansetu										

45	明細区分	sj_fmeisai										
46	仮設費等対象区分	sj_fksetu										
47	鏡指定工種	sj_fkagami										
48	運搬費計算対象区分	sj_unpanhi										
49	歩掛施工単価年月	sj_hsnengetudo										
50	歩掛歩掛適用年月	sj_bsnengetudo										
51	歩掛県コード	sj_hkencode										
52	歩掛地区コード	sj_htikucode										
53	補正 1	sj_hhosei1										
54	補正 2	sj_hhosei2										
55	労務規制	sj_hkisei										
56	労務調整係数	sj_hcyosei										
57	労務超時間 1	sj_hcyouka1										
58	労務超時間 2	sj_hcyouka2										
59	機損補正情報 1	sj_hkikaison1										
60	機損補正情報 2	sj_hkikaison2										
61	機損補正情報 3	sj_hkikaison3										
62	機損補正情報 4	sj_hkikaison4										
63	機損補正情報 5	sj_hkikaison5										
64	機損補正情報 6	sj_hkikaison6										
65	機損補正情報 7	sj_hkikaison7										
66	機損補正情報 8	sj_hkikaison8										
67	機損補正情報 9	sj_hkikaison9										
68	補正ファンクションの番号	sj_hfbangou										
69	補正ポジション	sj_hfposition										
70	補正 x 区分	sj_hfxkubun										
71	補正 x 値	sj_hfxatai										
72	補正 y 区分	sj_hfykubun										
73	補正 y 値	sj_hfyatai										
74	労務のパラメータ	sj_hfpara										
75	労務のパターン番号	sj_hfpatan										
76	労務の交代番号	sj_hfkoutai										
77	労務の休日フラグ	sj_hfkyujitu										
78	作業開始時間 1	sj_hfstart1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	作業終了時間 1	sj_hfend1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	作業開始時間 2	sj_hfstart2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	作業終了時間 2	sj_hfend2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	作業開始時間 3	sj_hfstart3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	作業終了時間 3	sj_hfend3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	県コード	sj_hfkencode										
85	予備	sj_yobi1										
86	予備	sj_yobi2										
87	汐間割増	sj_warimasi										
88	予備	sj_hfyobi										
89	数量	sj_osuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	総括表用数量	sj_osoukatuhyo										
91	単価	sj_otanka	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	金額	sj_okingaku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	数量	sj_nsuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	総括表用数量	sj_nsoukatuhyo										
95	単価	sj_ntanka										
96	金額	sj_nkingaku										
97	適用（上）	sj_tjyougyou										
98	適用（下）	sj_tkagyou										
99	数量総括表印刷文字数	sj_sprintmoji										
100	数量総括表用規格	sj_su_sou_kikaku										
101	数量総括表用適用	sj_su_sou_tekiyō										
102	運搬費計算対象区分 2	sj_unpankbn2										
103	レベル 4 入力状態	sj_level4										

104	予備	sj_tailfill											
105	工種略名	sj_koushu											
106	区分 3	sj_ckbn3											
107	区分 2 __ 1	sj_ckbn2_1											
108	区分 2 __ 2	sj_ckbn2_2											
109	区分 1 __ 1	sj_ckbn1_1											
110	区分 1 __ 2	sj_ckbn1_2											
111	区分 1 __ 3	sj_ckbn1_3											
112	残工事数量	sj_zan_su											
113	残工事金額	sj_zan_kin											
114	出来高数量	sj_deki_su											
115	出来高金額	sj_deki_kin											
116	出来高累計数量	sj_dekir_su											
117	出来高累計金額	sj_dekir_kin											
118	官積算単価	Sj_kanseki_tanka											
119	官積算金額	sj_kanseki_kin											
120	合意率指定	sj_goui_sitei											
121	合意率	sj_goui_ritu											
122	合意情報	sj_goui_info											
テーブル登録名		レコード長											
D__SEK__THYO		906											
No	項目名	フィールド名											
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id											
2	識別子	sj_key1											
3	単価表コード	sj_keyltanka											
4	明細区分	sj_keylmeisai											
5	構成行 N o	sj_keylkousei											
6	予備 1	sj_keylfill											
7	予備 2	sj_key2fill											
8	構成コード	sj_kouseicode											
9	名称	sj_meisyou											
10	規格	sj_kikaku											
11	単位	sj_tani											
12	S Tコード	sj_stcode											
13	規格対応コード	sj_ktcode											
14	規格対応名称	sj_ktmeisyou											
15	データ種別	sj_fdata											
16	手入力区分	sj_fhandinput											
17	歩掛条件セーブフラグ	sj_fsave											
18	材料機械損料労務種別	sj_fzairyou											
19	丸め桁指定	sj_fmкета											
20	丸め種別	sj_fmasyubetu											
21	単位あたりの計算フラグ	sj_ftaniatari											
22	印刷指定フラグ	sj_fprint											
23	再構成不可フラグ	sj_fsaikousei											
24	管理費フラグ	sj_fkanrihi											
25	資材フラグ	sj_fsizai											
26	明細区分	sj_fmeisai											
27	運搬費計算対象区分	sj_unpanhi											
28	運搬費計算対象区分 2	sj_unpanhi2											
29	規格条件入力区分	sj_kjouken											
30	削除区分	sj_skkubun											
31	予備	sj_tflgfill											
32	歩掛施工単位年月度	sj_hsnengetudo											
33	歩掛施工適用年月度	sj_bsnengetudo											
34	歩掛仮想県コード	sj_hkencode											
35	歩掛地区コード	sj_htikucode											
36	補正 1	sj_hhosei1											

37	補正 2	sj_hhosei2										
38	労務規制	sj_hkisei										
39	労務調整係数	sj_hcyosei										
40	労務超時間 1	sj_hcyouka1										
41	労務長時間 2	sj_hcyouka2										
42	機損補正情報 1	sj_hkikaison1										
43	機損補正情報 2	sj_hkikaison2										
44	機損補正情報 3	sj_hkikaison3										
45	機損補正情報 4	sj_hkikaison4										
46	機損補正情報 5	sj_hkikaison5										
47	機損補正情報 6	sj_hkikaison6										
48	機損補正情報 7	sj_hkikaison7										
49	機損補正情報 8	sj_hkikaison8										
50	機損補正情報 9	sj_hkikaison9										
51	補正ファンクションの番号	sj_hfbangou										
52	補正ポジション	sj_hfposition										
53	補正 x 区分	sj_hfxkubun										
54	補正 x 値	sj_hfxatai										
55	補正 y 区分	sj_hfykubun										
56	補正 y 値	sj_hfyatai										
57	労務の入力パラメータ	sj_hfpara										
58	労務のパターン番号	sj_hfpatan										
59	労務の交代番号	sj_hfkoutai										
60	労務の休日フラグ	sj_hfkyujitu										
61	作業開始時間 1	sj_hfstart1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	作業終了時間 1	sj_hfend1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	作業開始時間 2	sj_hfstart2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	作業終了時間 2	sj_hfend2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	作業開始時間 3	sj_hfstart3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	作業終了時間 3	sj_hfend3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	県コード	sj_hfkencode										
68	予備	sj_yobil										
69	予備	sj_yobi2										
70	汐間割増	sj_warimasi										
71	予備	sj_hfyobi										
72	数量	sj_osuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	単価	sj_otanka	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	基準数量	sj_ksuuryou										
75	基準単価	sj_oktanka										
76	金額	sj_okingaku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	数量	sj_nsuuryou	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	単価	sj_ntanka	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	基準数量	sj_nksuuryou										
80	基準単価種	sj_nktanka										
81	金額	sj_nkingaku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	適用 (上)	sj_tjyougyou										
83	適用 (下)	sj_tkagyou										
84	旧コード	sj_oldcode										
85	定義	sj_teigi										
86	参照	sj_sansyou										
87	二次労務費	sj_nijiroumu										
88	無償貸付機械	sj_musyou										
89	予備	sj_tailfill										
90	区分 3	sj_ckbn3										
91	区分 2 - 1	sj_ckbn2_1										
92	区分 2 - 2	sj_ckbn2_2										
93	区分 1 - 1	sj_ckbn1_1										
94	区分 1 - 2	sj_ckbn1_2										
95	区分 1 - 3	sj_ckbn1_3										
96	残工事数量	sj_zan_su										
97	残工事金額	sj_zan_kin										
98	出来高数量	sj_deki_su										

99	出来高金額	sj_deki_kin											
100	出来高累計数量	sj_dekir_su											
101	出来高累計金額	sj_dekir_kin											
テーブル登録名		レコード長											
D S E K T N K A		685											
No	項目名	フィールド名											
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id											
2	識別	sj_sikibetul											
3	属性	sj_zokusei											
4	区分	sj_kubun											
5	名称	sj_name1											
6	規格	sj_kikaku											
7	年度	sj_nendol											
8	予備	sj_key1fill											
9	識別	sj_sikibetu2											
10	マスタキーコード	sj_master_code											
11	年度	sj_nendo2											
12	予備	sj_key2fill											
13	材料データ	sj_zairyo_data											
14	名称	sj_name2											
15	規格名称	sj_kikaku_name											
16	単位	sj_tani											
17	上旬材料単価	sj_uztanka4											
18	上旬データ属性	sj_uzdata4											
19	中旬材料単価	sj_mztanka4											
20	中旬データ属性	sj_mzdata4											
21	下旬材料単価	sj_lztanka4											
22	下旬データ属性	sj_lzdata4											
23	上旬材料単価	sj_uztanka5											
24	上旬データ属性	sj_uzdata5											
25	中旬材料単価	sj_mztanka5											
26	中旬データ属性	sj_mzdata5											
27	下旬材料単価	sj_lztanka5											
28	下旬データ属性	sj_lzdata5											
29	上旬材料単価	sj_uztanka6											
30	上旬データ属性	sj_uzdata6											
31	中旬材料単価	sj_mztanka6											
32	中旬データ属性	sj_mzdata6											
33	下旬材料単価	sj_lztanka6											
34	下旬データ属性	sj_lzdata6											
35	上旬材料単価	sj_uztanka7											
36	上旬データ属性	sj_uzdata7											
37	中旬材料単価	sj_mztanka7											
38	中旬データ属性	sj_mzdata7											
39	下旬材料単価	sj_lztanka7											
40	下旬データ属性	sj_lzdata7											
41	上旬材料単価	sj_uztanka8											
42	上旬データ属性	sj_uzdata8											
43	中旬材料単価	sj_mztanka8											
44	中旬データ属性	sj_mzdata8											
45	下旬材料単価	sj_lztanka8											
46	下旬データ属性	sj_lzdata8											
47	上旬材料単価	sj_uztanka9											
48	上旬データ属性	sj_uzdata9											
49	中旬材料単価	sj_mztanka9											
50	中旬データ属性	sj_mzdata9											
51	下旬材料単価	sj_lztanka9											
52	下旬データ属性	sj_lzdata9											
53	上旬材料単価	sj_uztanka10											
54	上旬データ属性	sj_uzdata10											
55	中旬材料単価	sj_mztanka10											
56	中旬データ属性	sj_mzdata10											

57	下旬材料単価	sj_lztanka10										
58	下旬データ属性	sj_lzdata10										
59	上旬材料単価	sj_uztanka11										
60	上旬データ属性	sj_uzdata11										
61	中旬材料単価	sj_mztanka11										
62	中旬データ属性	sj_mzdata11										
63	下旬材料単価	sj_lztanka11										
64	下旬データ属性	sj_lzdata11										
65	上旬材料単価	sj_uztanka12										
66	上旬データ属性	sj_uzdata12										
67	中旬材料単価	sj_mztanka12										
68	中旬データ属性	sj_mzdata12										
69	下旬材料単価	sj_lztanka12										
70	下旬データ属性	sj_lzdata12										
71	上旬材料単価	sj_uztanka1										
72	上旬データ属性	sj_uzdata1										
73	中旬材料単価	sj_mztanka1										
74	中旬データ属性	sj_mzdata1										
75	下旬材料単価	sj_lztanka1										
76	下旬データ属性	sj_lzdata1										
77	上旬材料単価	sj_uztanka2										
78	上旬データ属性	sj_uzdata2										
79	中旬材料単価	sj_mztanka2										
80	中旬データ属性	sj_mzdata2										
81	下旬材料単価	sj_lztanka2										
82	下旬データ属性	sj_lzdata2										
83	上旬材料単価	sj_uztanka3										
84	上旬データ属性	sj_uzdata3										
85	中旬材料単価	sj_mztanka3										
86	中旬データ属性	sj_mzdata3										
87	下旬材料単価	sj_lztanka3										
88	下旬データ属性	sj_lzdata3										
89		sj_uztanka011										
90		sj_uzdata011										
91		sj_mztanka011										
92		sj_mzdata011										
93		sj_lztanka011										
94		sj_lzdata011										
95		sj_uztanka022										
96		sj_uzdata022										
97		sj_mztanka022										
98		sj_mzdata022										
99		sj_lztanka022										
100		sj_lzdata022										
101		sj_uztanka033										
102		sj_uzdata033										
103		sj_mztanka033										
104		sj_mzdata033										
105		sj_lztanka033										
106		sj_lzdata033										
107		sj_tchk_flg										
108		sj_old_code										
109		sj_tailfill										
テーブル登録名		レコード長										
D__SEK__JYKN		1131										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書 I D	sj_sekkeisyo_id										
2	識別子	sj_shiki_betu										
3	単価表コード	sj_tanka_code										
4	明細区分	sj_meisai_kubun 1										
5	構成行 N o	sj_kousei_numbe r										

6	予備	sj_key1fill										
7	キー 2 予備	sj_key2fill										
8	データ種別	sj_data_shubetu										
9	手入力区分	sj_te_input_kubun										
10	歩掛条件セーフフラグ	sj_bukake_jyoken_save										
11	材料機械損料労務種別	sj_zaiki_sonrou_shubetu										
12	丸め桁指定	sj_marume_keta										
13	丸め種別	sj_marume_shubetu										
14	単位当たりの計算フラグ	sj_tani_keisan										
15	印刷指定フラグ	sj_insatu_shitei										
16	再構成不可フラグ	sj_saikouse_flg										
17	管理費フラグ	sj_kanrihi_flg										
18	資材フラグ	sj_shizai_flg										
19	明細区分	sj_meisai_kubun2										
20	ユーザー単価使用フラグ	sj_user_flg										
21	予備	sj_jflgfill										
22	条件名 1	sj_jouken1										
23	識別フラグ 1	sj_ninsiki_flg1										
24	属性 1	sj_jouken_kind1										
25	条件名称 1	sj_jouken_mei1										
26	回答文字列(単位) 1	sj_kaitou_mei1										
27	回答値 1	sj_kaitou_ti1										
28	条件名 2	sj_jouken2										
29	識別フラグ 2	sj_ninsiki_flg2										
30	属性 2	sj_jouken_kind2										
31	条件名称 2	sj_jouken_mei2										
32	回答文字列(単位) 2	sj_kaitou_mei2										
33	回答値 2	sj_kaitou_ti2										
34	条件名 3	sj_jouken3										
35	識別フラグ 3	sj_ninsiki_flg3										
36	属性 3	sj_jouken_kind3										
37	条件名称 3	sj_jouken_mei3										
38	回答文字列(単位) 3	sj_kaitou_mei3										
39	回答値 3	sj_kaitou_ti3										
40	条件名 4	sj_jouken4										
41	識別フラグ 4	sj_ninsiki_flg4										
42	属性 4	sj_jouken_kind4										
43	条件名称 4	sj_jouken_mei4										
44	回答文字列(単位) 4	sj_kaitou_mei4										
45	回答値 4	sj_kaitou_ti4										
46	条件名 5	sj_jouken5										
47	識別フラグ 5	sj_ninsiki_flg5										
48	属性 5	sj_jouken_kind5										
49	条件名称 5	sj_jouken_mei5										
50	回答文字列(単位) 5	sj_kaitou_mei5										
51	回答値 5	sj_kaitou_ti5										
52	フラグ 1	sj_inpFlg1										
53	フラグ 2	sj_inpFlg2										
54	フラグ 3	sj_inpFlg3										
55	フラグ 4	sj_inpFlg4										
56	フラグ 5	sj_inpFlg5										
57	予備	sj_tailfill										
テーブル登録名		レコード長										
D__SEK__KBTk		1132										
No	項目名	フィールド名										
1	設計書 ID	kt_sekkei_id										

2	識別子	kt_sikibetu										
3	計上区分	kt_keijyou										
4	工事区分：選択順	kt_koujis										
5	工事区分：コード	kt_koujic										
6	工事区分：枝番	kt_koujin										
7	工種：コード	kt_kousyuc										
8	工種：枝番	kt_kousyun										
9	種別：コード	kt_syubetuc										
10	種別：枝番	kt_syubetun										
11	細別：コード	kt_saibetuc										
12	細別：枝番	kt_saibetun										
13	拡張 L5：コード	kt_kaku5c										
14	拡張 L5：枝番	kt_kaku5n										
15	拡張 L6：コード	kt_kaku6c										
16	拡張 L6：枝番	kt_kaku6n										
17	体系コード	kt_taikeicd										
18	オリジナルコード	kt_orgcode										
19	レベル	kt_lebel										
20	条件項目文字列	kt_string										
21	類似・実績・保存区分	kt_jisekikbn										
22	モデル設計書区分	kt_modelkbn										
23	概算統計区分	kt_gaisankbn										
24	自動処理エラー区分	kt_errkbn										
25	登録済み区分	kt_sumi										

表 2.4.1-3 積算実績DBに当てはめられない帳票の項目

	伸縮装置取替	支承防錆工 (防錆塗装)	支承防錆工 (金属溶射)	断面修復工	表面被覆工 (含浸工法)	電気防食工 (犠牲陽極材設)	ひび割れ注入	剥落防止工 (繊維シート取)	剥落防止工 (FRPシート取)	表面被覆工 (塗装工法)
担当課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
作成者氏名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイクロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事位置 起点 (緯度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事位置 起点 (経度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事位置 終点 (緯度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事位置 終点 (経度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
距離標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
構造物諸元 名称	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
構造物諸元 延長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
構造物諸元 完成年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁諸元 径間数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁諸元 橋種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁諸元 床版	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁諸元 橋梁形式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁諸元 下部工形式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 材質				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 構造				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 目的				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 土被り				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 断面 (内径)				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 既存構造物撤去の有、無				○	○	○	○	○	○	○
函渠諸元 水替えの有無				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 道路幅員				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 断面積				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 分類				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 湧水の有無				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 内装板等の有無				○	○	○	○	○	○	○
トンネル諸元 内装板企画				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物諸元 樋管・樋門				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物諸元 可動堰				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物諸元 構造区分 (RC等)				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 基礎				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 躯体				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 堰柱				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 門柱				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 胸壁				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 翼壁				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 扉体				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 水叩き				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 護床				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 護岸				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 管理橋				○	○	○	○	○	○	○
河川構造物施工部位 その他				○	○	○	○	○	○	○
工事条件 交通規制の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 規制時間 (自)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 規制時間 (至)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 足場条件 (仮設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 足場条件 (高所作業車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 資材搬入路の制限	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 現場条件 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 現場条件 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事条件 <現場条件に関するメモや工法等>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事原単価 1 工法名	○	○								

工事原単価 2	工法名	○	○								
工事原単価 3	工法名	○	○								
工事原単価 4	工法名	○	○								
工事原単価 5	工法名	○	○								
工事原単価 1	橋脚橋台番号		○	○							
工事原単価 1	可動固定区分		○	○							
工事原単価 1	支承形式		○	○							
工事原単価 1	主要材質		○	○							
工事原単価 1	素地調整		○								
工事原単価 1	塗替塗装系		○								
工事原単価 1	工法名（材料名）		○								
工事原単価 1	塗装面積（m2/基）		○								
工事原単価 1	塗装面積合計（m2）		○								
工事原単価 1	素地調整単価（円/m2）		○								
工事原単価 1	素地調整（金額）		○								
工事原単価 1	塗装単価（円/m2）		○								
工事原単価 1	塗装（金額）		○								
工事原単価 2	橋脚橋台番号		○	○							
工事原単価 2	可動固定区分		○	○							
工事原単価 2	支承形式		○	○							
工事原単価 2	主要材質		○	○							
工事原単価 2	素地調整		○								
工事原単価 2	塗替塗装系		○								
工事原単価 2	工法名（材料名）		○								
工事原単価 2	塗装面積（m2/基）		○								
工事原単価 2	塗装面積合計（m2）		○								
工事原単価 2	素地調整単価（円/m2）		○								
工事原単価 2	素地調整（金額）		○								
工事原単価 2	塗装単価（円/m2）		○								
工事原単価 2	塗装（金額）		○								
工事原単価 3	橋脚橋台番号		○	○							
工事原単価 3	可動固定区分		○	○							
工事原単価 3	支承形式		○	○							
工事原単価 3	主要材質		○	○							
工事原単価 3	素地調整		○								
工事原単価 3	塗替塗装系		○								
工事原単価 3	工法名（材料名）		○								
工事原単価 3	塗装面積（m2/基）		○								
工事原単価 3	塗装面積合計（m2）		○								
工事原単価 3	素地調整単価（円/m2）		○								
工事原単価 3	素地調整（金額）		○								
工事原単価 3	塗装単価（円/m2）		○								
工事原単価 3	塗装（金額）		○								
工事原単価 4	橋脚橋台番号		○	○							
工事原単価 4	可動固定区分		○	○							
工事原単価 4	支承形式		○	○							
工事原単価 4	主要材質		○	○							
工事原単価 4	素地調整		○								
工事原単価 4	塗替塗装系		○								
工事原単価 4	工法名（材料名）		○								
工事原単価 4	塗装面積（m2/基）		○								
工事原単価 4	塗装面積合計（m2）		○								
工事原単価 4	素地調整単価（円/m2）		○								
工事原単価 4	素地調整（金額）		○								
工事原単価 4	塗装単価（円/m2）		○								
工事原単価 4	塗装（金額）		○								
工事原単価 5	橋脚橋台番号		○	○							
工事原単価 5	可動固定区分		○	○							
工事原単価 5	支承形式		○	○							
工事原単価 5	主要材質		○	○							
工事原単価 5	素地調整		○								
工事原単価 5	塗替塗装系		○								
工事原単価 5	工法名（材料名）		○								

工事原単価 5	塗装面積 (m2/基)		○									
工事原単価 5	塗装面積合計 (m2)		○									
工事原単価 5	素地調整単価 (円/m2)		○									
工事原単価 5	素地調整 (金額)		○									
工事原単価 5	塗装単価 (円/m2)		○									
工事原単価 5	塗装 (金額)		○									
工事原単価 1	溶射材			○								
工事原単価 1	工法名 (材料名)			○								
工事原単価 1	溶射面積 (m2/基)			○								
工事原単価 1	溶射面積合計 (m2)			○								
工事原単価 1	溶射単価 (円/m2)			○								
工事原単価 1	溶射 (金額)			○								
工事原単価 2	溶射材			○								
工事原単価 2	工法名 (材料名)			○								
工事原単価 2	溶射面積 (m2/基)			○								
工事原単価 2	溶射面積合計 (m2)			○								
工事原単価 2	溶射単価 (円/m2)			○								
工事原単価 2	溶射 (金額)			○								
工事原単価 3	溶射材			○								
工事原単価 3	工法名 (材料名)			○								
工事原単価 3	溶射面積 (m2/基)			○								
工事原単価 3	溶射面積合計 (m2)			○								
工事原単価 3	溶射単価 (円/m2)			○								
工事原単価 3	溶射 (金額)			○								
工事原単価 4	溶射材			○								
工事原単価 4	工法名 (材料名)			○								
工事原単価 4	溶射面積 (m2/基)			○								
工事原単価 4	溶射面積合計 (m2)			○								
工事原単価 4	溶射単価 (円/m2)			○								
工事原単価 4	溶射 (金額)			○								
工事原単価 5	溶射材			○								
工事原単価 5	工法名 (材料名)			○								
工事原単価 5	溶射面積 (m2/基)			○								
工事原単価 5	溶射面積合計 (m2)			○								
工事原単価 5	溶射単価 (円/m2)			○								
工事原単価 5	溶射 (金額)			○								
工事原単価 1	縦壁面 (側方) 橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面				○	○	○	○	○	○	○	○
工事原単価 1	天井面 (上方) 桁、床板、トンネル覆工、樋管等				○	○	○	○	○	○	○	○
工事原単価 1	床面 (下方) 床版、橋台・橋脚、屋根等				○	○	○	○	○	○	○	○
工事原単価 1	その他				○	○	○	○	○	○	○	○
工事原単価 1	鉄筋 (ケレン/防錆の有無)				○							
工事原単価 1	施工面積 (m2)				○							
工事原単価 1	単価 (面積) (円/m2)				○							
工事原単価 2	縦壁面 (側方) 橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面				○							
工事原単価 2	天井面 (上方) 桁、床板、トンネル覆工、樋管等				○							
工事原単価 2	床面 (下方) 床版、橋台・橋脚、屋根等				○							
工事原単価 2	その他				○							
工事原単価 2	鉄筋 (ケレン/防錆の有無)				○							
工事原単価 2	施工面積 (m2)				○							
工事原単価 2	単価 (面積) (円/m2)				○							
工事原単価 3	縦壁面 (側方) 橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面				○							
工事原単価 3	天井面 (上方) 桁、床板、トンネル覆工、樋管等				○							
工事原単価 3	床面 (下方) 床版、橋台・橋脚、屋根等				○							
工事原単価 3	その他				○							
工事原単価 3	鉄筋 (ケレン/防錆の有無)				○							
工事原単価 3	施工面積 (m2)				○							
工事原単価 3	単価 (面積) (円/m2)				○							
工事原単価 4	縦壁面 (側方) 橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面				○							
工事原単価 4	天井面 (上方) 桁、床板、トンネル覆工、樋管等				○							

工事原単価 4	床面（下方）床版、橋台・橋脚、屋根等				○						
工事原単価 4	その他				○						
工事原単価 4	鉄筋（ケレン/防錆の有無）				○						
工事原単価 4	施工面積（m2）				○						
工事原単価 4	単価（面積）（円/m2）				○						
工事原単価 5	縦壁面（側方）橋台・橋脚、函渠、樋門等の壁面				○						
工事原単価 5	天井面（上方）桁、床板、トンネル覆工、樋管等				○						
工事原単価 5	床面（下方）床版、橋台・橋脚、屋根等				○						
工事原単価 5	その他				○						
工事原単価 5	鉄筋（ケレン/防錆の有無）				○						
工事原単価 5	施工面積（m2）				○						
工事原単価 5	単価（面積）（円/m2）				○						
工事原単価 1	金額（円）				○						
工事原単価 2	金額（円）				○						
工事原単価 3	金額（円）				○						
工事原単価 4	金額（円）				○						
工事原単価 5	金額（円）				○						
工事原単価 1	工法名				○						
工事原単価 2	工法名				○						
工事原単価 3	工法名				○						
工事原単価 4	工法名				○						
工事原単価 5	工法名				○						
工事原単価 1	繊維シートの種類				○						
工事原単価 1	シート規格目付量（g/m2）								○		
工事原単価 1	工法名								○		
工事原単価 2	繊維シートの種類								○		
工事原単価 2	シート規格目付量（g/m2）								○		
工事原単価 2	工法名								○		
工事原単価 3	繊維シートの種類								○		
工事原単価 3	シート規格目付量（g/m2）								○		
工事原単価 3	工法名								○		
工事原単価 4	繊維シートの種類								○		
工事原単価 4	シート規格目付量（g/m2）								○		
工事原単価 4	工法名								○		
工事原単価 5	繊維シートの種類								○		
工事原単価 5	シート規格目付量（g/m2）								○		
工事原単価 5	工法名								○		
工事原単価 1	FPR シートの種類									○	
工事原単価 1	アンカー規格									○	
工事原単価 1	アンカー設置間隔（m）									○	
工事原単価 1	工法名									○	
工事原単価 2	FPR シートの種類									○	
工事原単価 2	アンカー規格									○	
工事原単価 2	アンカー設置間隔（m）									○	
工事原単価 2	工法名									○	
工事原単価 3	FPR シートの種類									○	
工事原単価 3	アンカー規格									○	
工事原単価 3	アンカー設置間隔（m）									○	
工事原単価 3	工法名									○	
工事原単価 4	FPR シートの種類									○	
工事原単価 4	アンカー規格									○	
工事原単価 4	アンカー設置間隔（m）									○	
工事原単価 4	工法名									○	
工事原単価 5	FPR シートの種類									○	
工事原単価 5	アンカー規格									○	
工事原単価 5	アンカー設置間隔（m）									○	
工事原単価 5	工法名									○	
工事原単価 1	塗装主剤の種類										○
工事原単価 1	工法名										○
工事原単価 1	下地処理単価（円/m2）										○
工事原単価 1	プライマー塗布単価（円/m2）										○
工事原単価 1	下塗り（パテ塗布）単価（円/m2）										○

工事原単価 1	中塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 1	上塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 1	金額 (円)											○
工事原単価 2	塗装主剤の種類											○
工事原単価 2	工法名											○
工事原単価 2	下地処理単価 (円/m2)											○
工事原単価 2	プライマー塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 2	下塗り (パテ塗布) 単価 (円/m2)											○
工事原単価 2	中塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 2	上塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 2	金額 (円)											○
工事原単価 3	塗装主剤の種類											○
工事原単価 3	工法名											○
工事原単価 3	下地処理単価 (円/m2)											○
工事原単価 3	プライマー塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 3	下塗り (パテ塗布) 単価 (円/m2)											○
工事原単価 3	中塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 3	上塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 3	金額 (円)											○
工事原単価 4	塗装主剤の種類											○
工事原単価 4	工法名											○
工事原単価 4	下地処理単価 (円/m2)											○
工事原単価 4	プライマー塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 4	下塗り (パテ塗布) 単価 (円/m2)											○
工事原単価 4	中塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 4	上塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 4	金額 (円)											○
工事原単価 5	塗装主剤の種類											○
工事原単価 5	工法名											○
工事原単価 5	下地処理単価 (円/m2)											○
工事原単価 5	プライマー塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 5	下塗り (パテ塗布) 単価 (円/m2)											○
工事原単価 5	中塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 5	上塗り材塗布単価 (円/m2)											○
工事原単価 5	金額 (円)											○

イ．データの蓄積と活用

帳票で集めたデータを活用するために以下の対応を検討した。

a．比較する積算実績DBのテーブルの抽出

次回DBの改良時に今回の帳票に取り込めない項目を追加する。ただし、今回取り込めない項目は、工事場所、構造物諸元、工事条件、原単価算出時の数量などであり、全工事を対象とした積算実績DBにこれら項目を追加すると、維持修繕工事以外では必要の無い項目が増え、DBとして煩雑になってしまう恐れがある。

b．新たにDBを作成

今回の帳票では、積算実績DBへの取り込みに向けて集計シート（一行化データ）を作成した。この一行化データを活用して、帳票の全項目を使用したDBを新たに作成し、展開することが望ましい。ここでは、新たなDBのイメージを示す。

- ・収集した原単価帳票の保存にあたり、ファイル名を変更する。その際、マクロを使用して容易に変更が出来るようにする。
- ・DBは工種別にエクセルファイルで作成する。
- ・収集した原単価帳票の「集計シート」の吸い上げは、DBに組み込むマクロを使用し、容易に取り込みが出来るようにする。
- ・DBに落としたデータを、エクセルのフィルタ機能を使用して、条件の絞り込みが行えるようにする。
- ・絞り込んだデータだけで、数量と金額の分布図と一次回帰式を表示するようにする。

以下にデータ取込みのイメージを示す。

原単価帳票からデータベースの作成(帳票のリネーム)

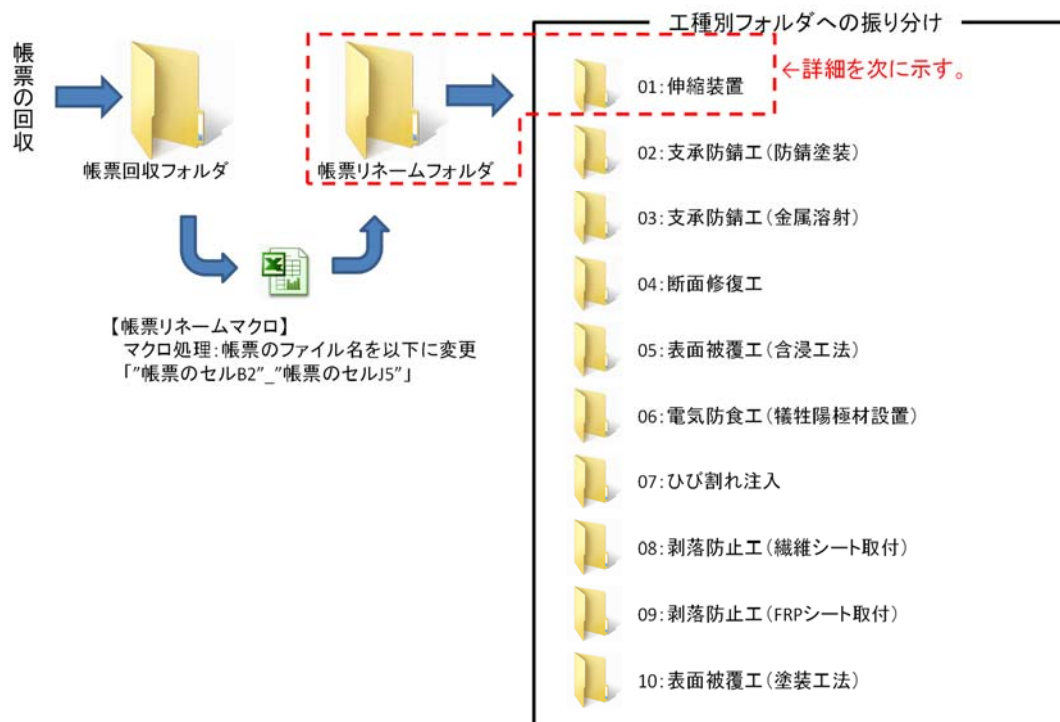


図 2.4.1-4 原単価帳票からデータベースの作成

原単価帳票からデータベースの作成(リネームデータのDBへの吸い上げ)

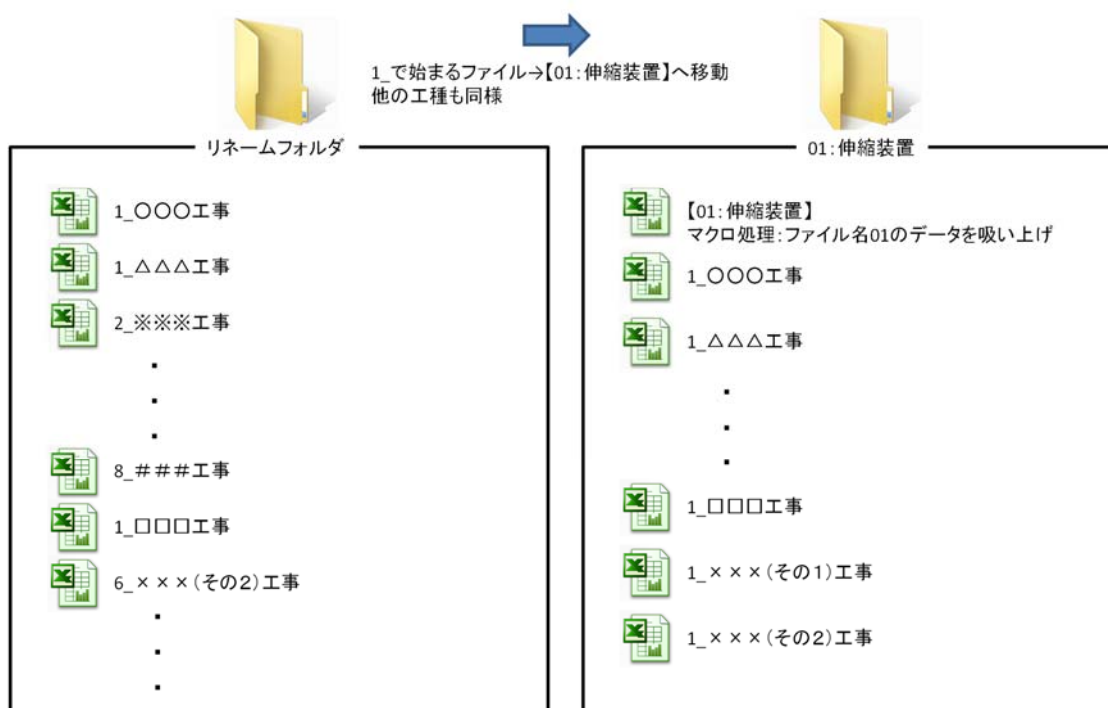


図 2.4.1-5 原単価帳票からデータベースの作成

データベース、及び、施工単価－工事費グラフ(イメージ)

【01:伸縮装置】sheet名「BD」

➤データベースの項目は帳票の集計シートと同様

➤項目にフィルタを表示させておく

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【01:伸縮装置】sheet名「グラフ」

➤データベース上で表示されているデータにて自動図化

➤一次回帰式とR2を表示

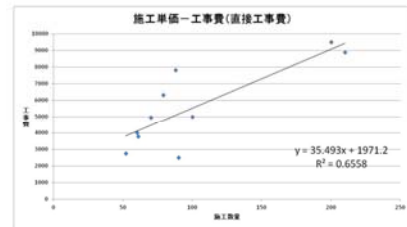


図1 左の全てのデータを使用した図

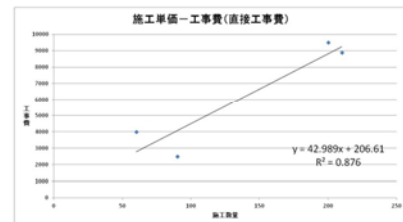


図2 左のデータのうち、交通量36以上でフィルタリングしたときの図

図 2.4.1-6 データベースの機能

(3) 維持修繕工事における概算工事費集計システム（仮称）

収集した概算工事費集計用帳票のデータを取込み、絞り込んだ条件における数量と工事費の関係を見るために、概算工事費集計用帳票システムを作成した。システムはリネーム作業とDBで構成されている。以下にそれぞれの内容を説明する。なお、本システムは電子成果品の OTHERS フォルダに収納する。

1) リネーム作業

- ・収集した概算工事費集計用帳票を帳票回収フォルダに収納する。
- ・【帳票リネームマクロ】.xlms を使用し、帳票のファイル名を変更し、帳票リネームフォルダに収納する。

以下にシステムの構成を示す。

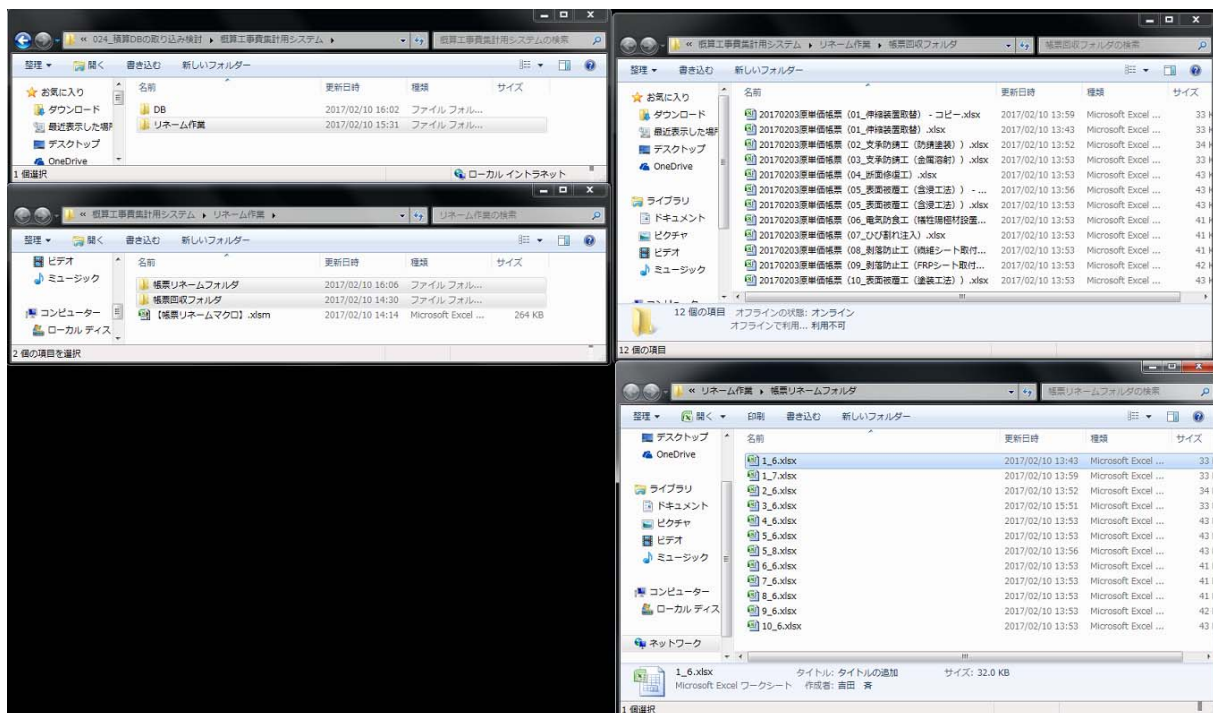


図 2.4.1-7 システムにおけるリネーム作業の構成

また、以下に【帳票リネームマクロ】.xlsmの概要を示す。

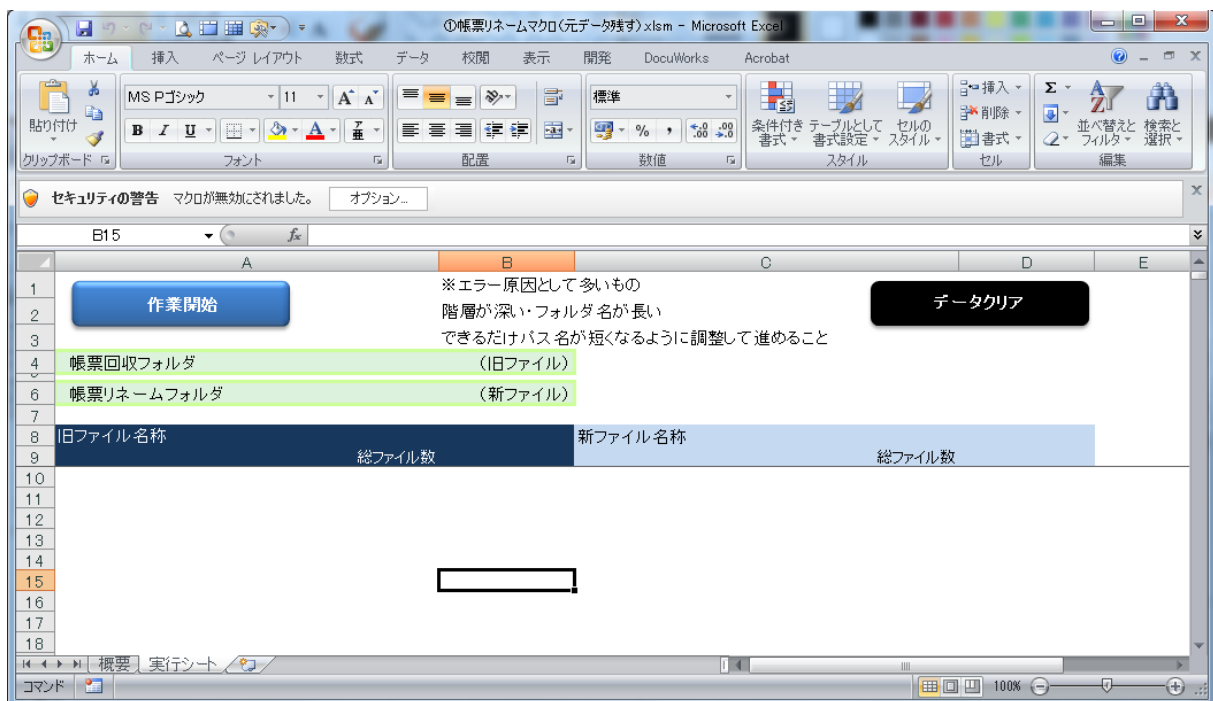
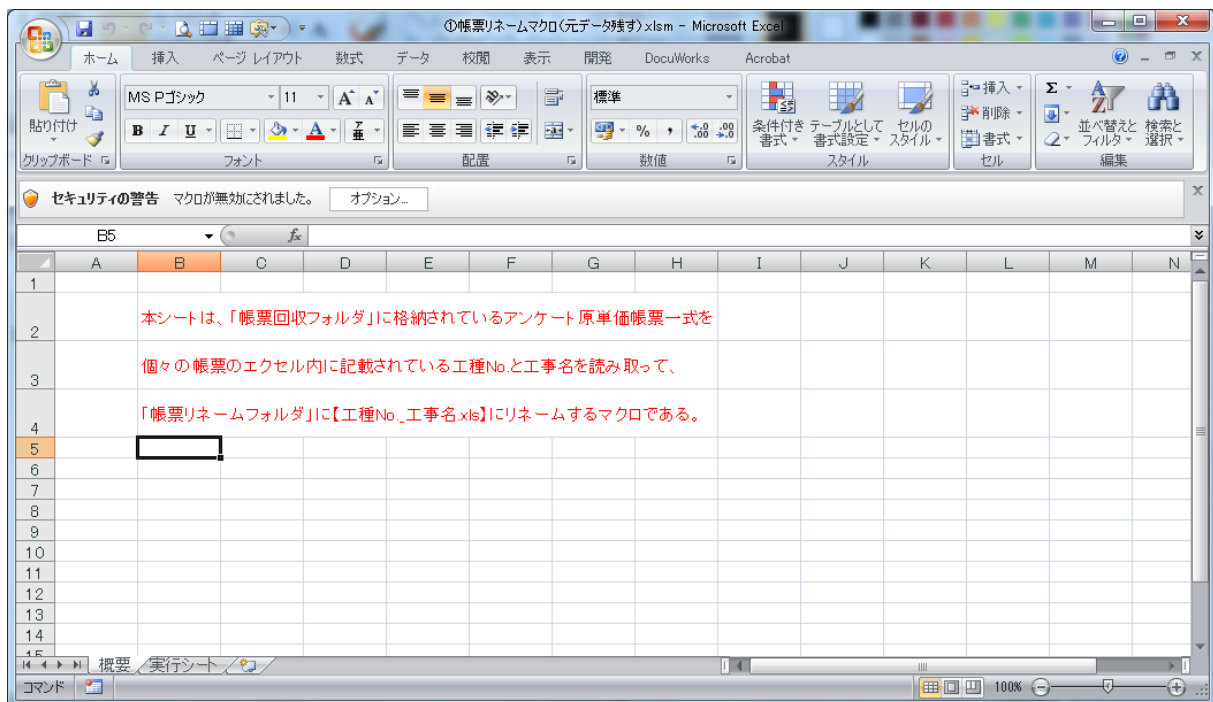


図 2.4.1-8 【帳票リネームマクロ】.xlsm の概要

2) D B

- ・D Bは工種ごとにフォルダが構成されている。
- ・各フォルダにはデータベースとなるエクセル【01：伸縮装置】.xlsm 等が収納されている。
- ・帳票リネームフォルダに収納されたファイルを、D B中にある該当する工種ファイルに収納する。
- ・各フォルダにあるデータベースとなるエクセル【01：伸縮装置】.xlsm を使用し、データを吸い上げる。
- ・データベースとなるエクセル【01：伸縮装置】.xlsm には、グラフというシートが存在し、自動で数量と金額のグラフが作成される。なお、条件等をフィルタで抽出すると、抽出された工事だけのグラフが作成される。

以下にシステムの構成を示す。

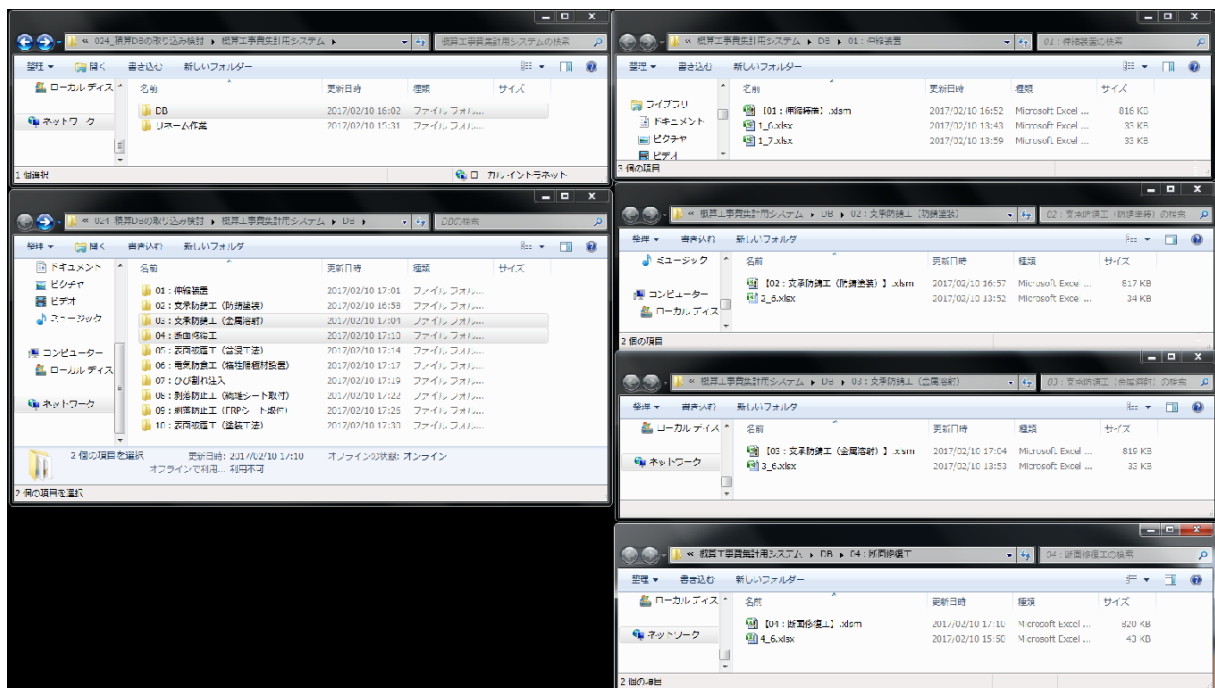


図 2.4.1-9 システムにおけるD Bの構成

また、以下に【01：伸縮装置】.xlsm を例にDBの概要を示す。

The figure displays four screenshots of an Excel spreadsheet titled '【01：伸縮装置】.xlsm'. Each screenshot shows a different sheet within the workbook, all labeled 'BC15' in the top-left corner. The sheets contain various data tables with headers in Japanese. The first sheet shows a table with columns for project name, construction year, and expansion device details. The second sheet shows a table with columns for expansion device details and construction conditions. The third sheet shows a table with columns for expansion device details and construction conditions. The fourth sheet shows a table with columns for expansion device details and construction conditions.

図 2.4.1-10 【01：伸縮装置】.xlsm の概要

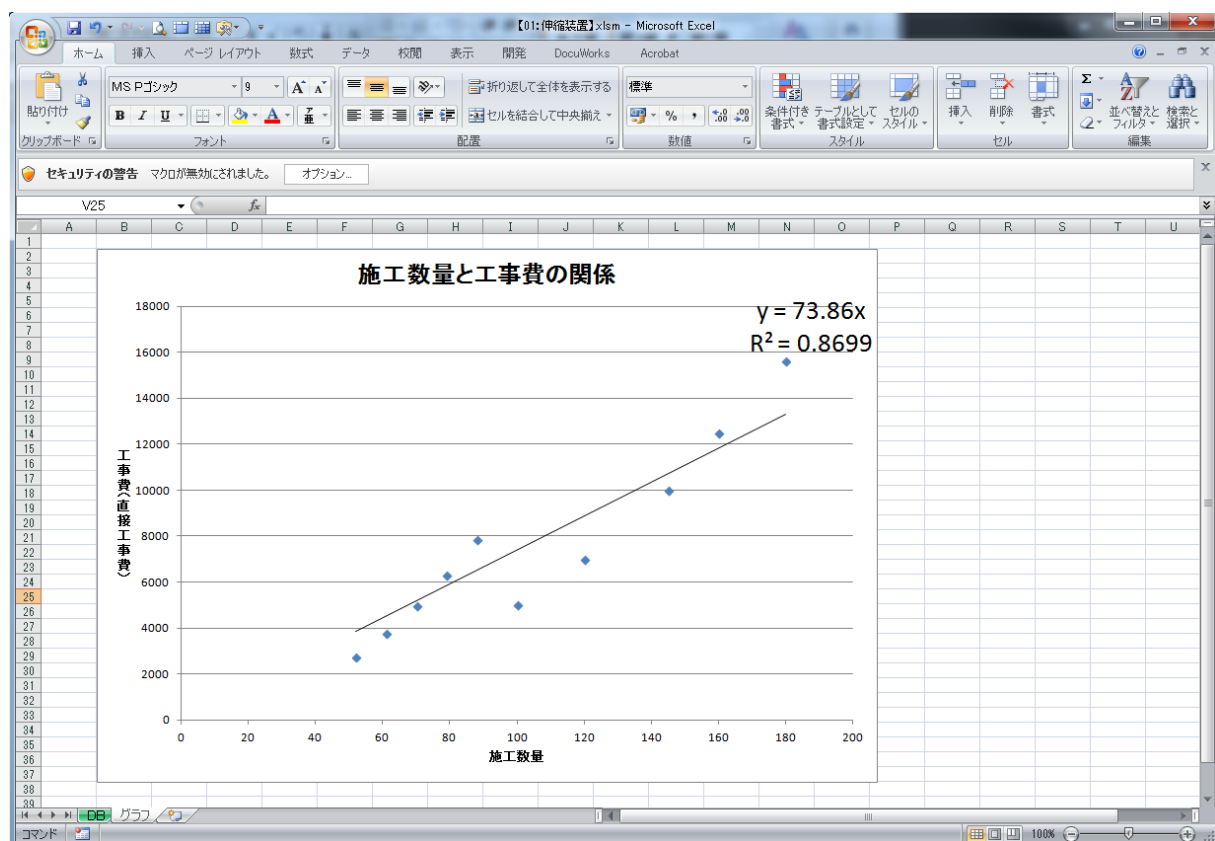


図 2.4.1-11 【01：伸縮装置】.xls の概要（グラフ）

2.5 まとめ

本章において検討した結果を以下の通り示す。

①社会資本の維持修繕工事発注への利活用

積算や監督、検査において基準化が十分されていない維持修繕工事を対象に、工種の体系化を図るとともに、用語の定義、及び発注図書での留意事項など見積依頼時に必要となる情報等について明確化した。

②社会資本の維持修繕工事に必要な情報の蓄積・管理

今後の維持管理や工事発注に有用な情報の蓄積・管理の仕組みを構築するための集計項目等を検討するとともに帳票のフォーマット（案）を作成した。

③社会費資本の維持修繕工事の効率化を支援する情報利活用技術の構築

参考文献

- 1) 国土交通省 大臣官房 技術調査課：国土交通省 土木工事標準積算基準 平成 28 年度
- 2) 国土交通省 国土技術政策総合研究所：新土木工事積算大系における工事工種体系ツリーおよび用語定義集 平成 28 年度